

2024 年度

大同大学

アセスメント調査

結果報告書



自分が変わる、未来を変える。

2025 年 10 月

大同大学アセスメント調査の実施および報告書の作成にあたって

大学評価委員会
委員長 棚橋 秀行

本学では 2022 年度より全学組織的な取り組みとして学生実態調査を実施しており、2023 年 12 月に学生実態調査のみを報告書として取り纏めた。その後、2024 年 4 月 1 日付で「アセスメント・ポリシー」および「アセスメント・プラン」が施行されたことを受け、2024 年度より学生の学修成果に関する他の調査結果も含め「大同大学アセスメント調査結果報告書」として取り纏めることとした。本報告書は以下に示すように 9 つの章により構成されている。

〈目次〉

第1章 アセスメント・ポリシーとアセスメント・プランについて	3
1. 1 アセスメント・ポリシー	4
1. 2 アセスメント・プラン	5
第2章 取組み状況の評価	9
2. 1 取組み状況の評価の概要	10
2. 2 各学科専攻の取組み状況の評価	11
第3章 DP 到達度評価（学生実態調査・企業卒業生アンケート）	23
3. 1 DP 到達度評価の概要	24
3. 2 各学科専攻の DP 到達度評価	25
第4章 DP 到達度評価（GPS-A）	29
4. 1 DP 到達度評価の概要	30
4. 2 各学科専攻の DP 到達度評価	31
第5章 学生実態調査	41
5. 1 学生実態調査の概要	42
5. 2 各学科専攻の満足度	43
5. 3 報告書	45
第6章 授業評価アンケート	87
6. 1 授業評価アンケートの概要	88
6. 2 各学科専攻の授業評価アンケート	89
第7章 学修成果の点検・検証の総括（2021年度入学生）	93
7. 1 学修成果の点検・検証の総括	94
7. 2 各学科専攻の DP 一覧	105
7. 3 各学科専攻の 2021 年度入学生の DP ポイントグラフ	108
第8章 各学科専攻のコメントシート	125
第9章 まとめ	137

第 1 章 アセスメント・ポリシーとアセスメント・プランについて

1. 1 アセスメント・ポリシー

大同大学アセスメント・ポリシー

(2024年4月25日 制定)

本アセスメント・ポリシーは、学生の学修成果の点検・評価に関する方針を定めるものです。

1. 点検・評価の方針

- 1) 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーを踏まえて、点検・評価を行う。
- 2) 点検・評価の尺度は大学全体で統一する。
- 3) 点検・評価にあたり客観的な視点として学外の意見を参考にする。
- 4) 点検・評価の結果は経年比較が可能な数値データを用いる。
- 5) 点検・評価の透明性を保つため、結果の概要は広く一般に公開する。
- 6) 点検・評価は毎年度行う。

2. 具体的実施方法

点検・評価の尺度と評価方法は「大同大学アセスメント・プラン」に定める。

附則

第1条 2024年4月1日から施行する。

第2条 「大同大学学修成果に係るアセスメント・ポリシー」（平成28年10月1日制定）は、2024年3月31日を以って、廃止する。

1. 2 アセスメント・プラン

大同大学アセスメント・プラン

(2024年4月25日 制定)

1. 点検・評価の尺度

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー、以下「DP」という。）に基づき、学生の入学時から卒業後までの成長（卒業時に習得する具体的な能力）[図1]を、大学全体レベル（全学）、学科・専攻レベル（学士課程）、授業科目レベル（授業担当者）の3つのレベルで検証を行う。

(1) 大学全体レベル（全学）

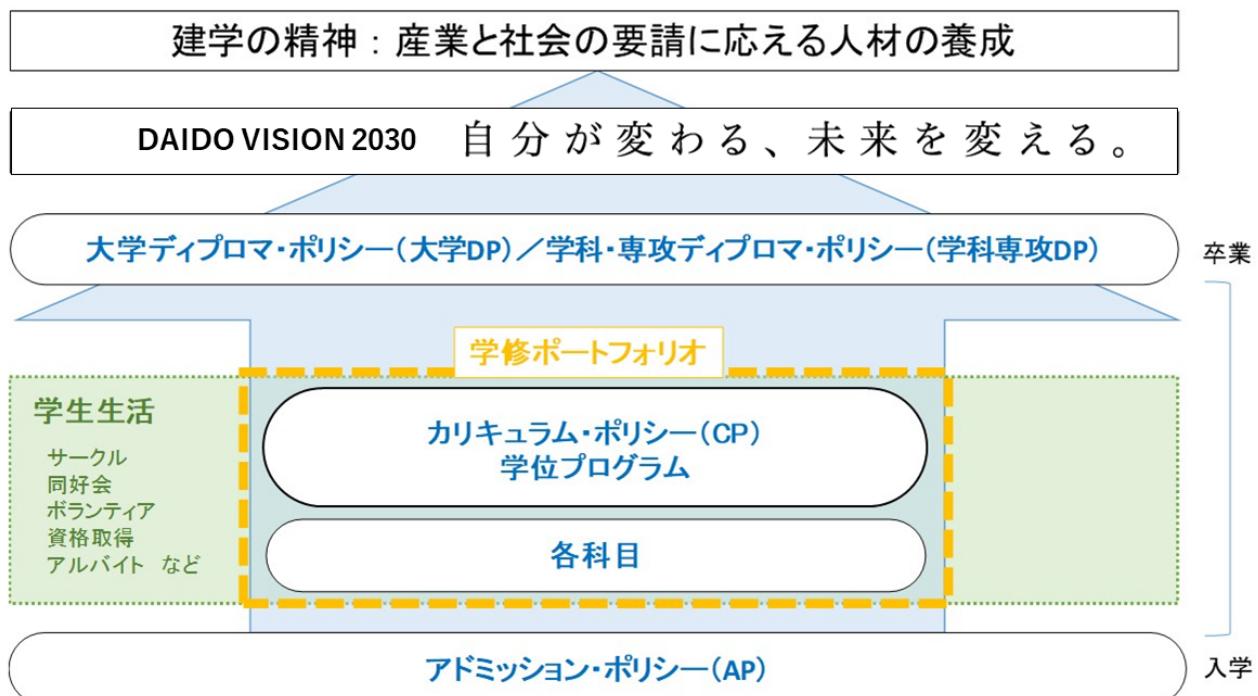
大学全体レベルでは、在学生・卒業生・企業からの評価結果を総合的に分析し、3つの方針の整合性の確認、学修成果・教育成果の総括的な検証を行う。

(2) 学科・専攻レベル（学士課程）

学科・専攻レベルでは、カリキュラム・科目構成の検証、学修ポートフォリオによる学生の習得状況の検証、各科目の学修状況を基に、大学DPならびに学科・専攻DPの達成状況について検証を行う。

(3) 授業科目レベル（授業担当者）

授業科目レベルは、カリキュラムマップの貢献度や大学DPに繋がる能力について、授業評価アンケート等を活用して、授業方法の適切性について検証を行う。



[図1]

また、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に求められる学生が卒業時に達成すべき質的水準を確保するための具体的な能力と習得場面を〔表1〕に定義する。

〔表1〕

大学 DP	具体的な能力		習得場面
a 社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	a 倫理観	社会をよりよくする活動を行う上で、守るべき法令や規則、規範・秩序などを理解し、責任感をもって誠実に行動する能力	ガイダンス、授業、キャリア支援、学内活動、学外活動、
	a 規律性	社会を構成する一員として、法令や規則などの明文化されたルールや、他者と交わした約束事を守り行動する能力	ガイダンス、授業、キャリア支援、学内活動、学外活動
	a 主体性	課題を認識し、目標を設定し、計画を立てる過程の中で、自身の考えを持ち、具体的な行動を起こす能力	授業、学内活動、学外活動
	a 協働性	社会・組織・クラスなどのコミュニティーの中で、多様な価値観を理解した上で自分の役割を担い、協力しながら行動する能力	授業（特にアクティブラーニング）、学内活動、学外活動
	a 課題発見力	現状を把握し、目標を設定し、現状と目標とのギャップを認識する能力	授業、学内活動、キャリア支援
	a コミュニケーション力	相手を理解した上で、自分の意志を表現し、合意形成を図る能力	授業（特にアクティブラーニング）、学内活動、学外活動
b 豊かな教養を身につけている	b 豊かな教養	多角的に物事を考えるために、あらゆる物事に興味・関心をもって、歴史や文化、社会の仕組みなど幅広い知識を習得していること	授業、学内活動、学外活動
	b 他者理解	相手を尊重し、多様な価値観があることを理解していることと、身体的・精神的な特徴を理解していること	授業（特にアクティブラーニング）、学内活動、学外活動
c 確かな専門性を身につけている	c 専門知識・技能	社会のニーズや様々な課題の解決に向けて、自らの専門分野において身に付けるべき知識や技術とそれを活用する能力	授業、資格取得
	c 論理的思考力	課題解決や結論を導くために順序立てて考え、課題を認識し、集計分析や考察・提案する能力	授業
d 豊かな創造力を身につけている	d 創造力	社会のニーズに対して、自由な発想の下、独自に工夫や応用を重ね、新しい価値を創造する能力	授業、卒業研究

3. 評価方法

各レベルにおける評価方法を〔表2〕に整理する。

〔表2〕

レベル (実施主体)	評価指標【実施時期】	参考資料
大学全体レベル (全学)	<ul style="list-style-type: none"> ・DP ポイント（学修ポートフォリオ）【各期】 ・授業外活動状況（学修ポートフォリオ）【各期】 ・外部アセスメント調査（GPS-Academic） 【1年次・2年次・4年次】 ・DP 到達度調査【4年次、卒業後3年、企業】 ・学生実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種入学試験結果 ・入学期前教育 ・プレイスメントテスト ・休学・退学率 ・学生相談履歴 ・就職状況 ・資格取得状況 ・学生実態調査 ・授業批評
学科・専攻レベル (学士課程)	<ul style="list-style-type: none"> ・DP ポイント（学修ポートフォリオ）【各期】 ・授業外活動状況（学修ポートフォリオ）【各期】 ・外部アセスメント調査（GPS-Academic） 【1年次・2年次・4年次】 	
授業科目レベル (授業担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート【各期】 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイスメントテスト

第 2 章 取組み状況の評価

2. 1 取組み状況の評価の概要

本章では、本学のアセスメントプランに基づき実施した以下の調査等

- ①「DP 到達度調査の回答率」②「学生実態調査の回答率」③「GPS-A に対する回答率」
- ④「授業評価アンケート回答率」⑤「学修ポートフォリオ学生記入率」
- ⑥「学生ポートフォリオ教員記入率」

を、それぞれの評価基準を元に「取組状況の評価」として各学科及び全学科における評価を掲載している。なお、⑤⑥を除いた各調査の詳細については、以降の章にて掲載する。

① 「DP 到達度調査の回答率」

<卒業直前調査の回答率>

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
80%以上	70%～80%未満	50%～70%未満	30%～50%未満	30%未満

<卒業後 3 年目 OB・OG に対する調査の回答率>

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
50%以上	40%～50%未満	30～40%未満	20%～30%未満	20%未満

<企業アンケートの回答率>

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
80%以上	70%～80%未満	50%～70%未満	30%～50%未満	30%未満

② 「学生実態調査の回答率」

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
80%以上	70%～80%未満	50%～70%未満	30%～50%未満	30%未満

③ 「GPS-A に対する回答率」

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
80%以上	70%～80%未満	50%～70%未満	30%～50%未満	30%未満

④「授業評価アンケート回答率」

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
60%以上	50%～60%未満	40%～50%未満	30%～50%未満	30%未満

⑤「学修ポートフォリオ学生記入率」

⑥「学修ポートフォリオ教員記入率」

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
100%	90%～100%未満	80%～90%未満	70%～80%未満	70%未満

2. 2 各学科専攻の取組み状況の評価

2024年度 アセスメント・チェックシート

① 機械工学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	C	30.2	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	91.5	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	A	76	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	A	71.8	A	78						
	3年生(後期末)回答率	C	47.7	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	D	29.1	C	45.3						
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	94	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	A	77.7	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	77.9	S	80.9						
	1年生(後期末)	A	56.2	S	66.2						
	2年生(前期末)	A	51.3	S	61.3						
	2年生(後期末)	A	51.8	A	54.6						
	3年生(前期末)	B	42.3	A	53.9						
	3年生(後期末)	C	35.7	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	B	87	A	94.4						
	1年生(後期末)	D	56.1	B	81						
	2年生(前期末)										
	2年生(後期末)										
	3年生(前期末)										
	3年生(後期末)										
	4年生(前期末)										
	4年生(後期末)										
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	D	51.9	B	81.5						
	本年度 後期末	D	50.5	C	76.2						

① 機械システム工学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	B	64.2	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	96.6	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	B	67.3	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	A	77.7	A	78						
	3年生(後期末)回答率	B	69.1	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	B	63.0	C	45.3						
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	90.2	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	C	41.7	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	71.2	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	62.1	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	61	S	61.3						
	2年生(後期末)	A	57.1	A	54.6						
	3年生(前期末)	S	66.5	A	53.9						
	3年生(後期末)	S	64.1	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	A	91.7	A	94.4						
	1年生(後期末)	C	79	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	B	83.3	B	81.5						
	本年度 後期末	C	75.2	C	76.2						

① 電気電子工学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	B	60.1	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	92.9	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	A	73.8	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	A	75.5	A	78						
	3年生(後期末)回答率	C	39.8	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	B	57.9	C	45.3						
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	90.3	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	C	47.8	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	71.8	S	80.9						
	1年生(後期末)	A	56.6	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	62.9	S	61.3						
	2年生(後期末)	B	48.6	A	54.6						
	3年生(前期末)	B	48.2	A	53.9						
	3年生(後期末)	A	53.1	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	A	93.3	A	94.4						
	1年生(後期末)	C	75	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	B	80.9	B	81.5						
	本年度 後期末	C	75	C	76.2						

① 建築学科建築専攻 取り組み状況の評価

機会	項目	2024		2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	D	25	C	47.5				
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8				
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9				
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	97.0	S	96.5				
	1年生(後期末)回答率	B	58.6	A	79.3				
	2年生(後期末)回答率	B	58.8	A	78				
	3年生(後期末)回答率	B	50.6	B	58.2				
	4年生(後期末)回答率	D	24.1	C	45.3				
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100				
	2年生(後期末)回答率	S	90.7	S	92.9				
	4年生(後期末)回答率	D	27.4	B	54.5				
授業評価アンケート回答率 ※建築専攻・インテリアデザイン専攻共通	1年生(前期末)	S	81.9	S	80.9				
	1年生(後期末)	S	69.8	S	66.2				
	2年生(前期末)	A	53.8	S	61.3				
	2年生(後期末)	A	53	A	54.6				
	3年生(前期末)	B	42.3	A	53.9				
	3年生(後期末)	C	35.7	B	47.8				
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	A	94.5	A	94.4				
	1年生(後期末)	C	73.6	B	81				
	2年生(前期末)	-	-	-	-				
	2年生(後期末)	-	-	-	-				
	3年生(前期末)	-	-	-	-				
	3年生(後期末)	-	-	-	-				
	4年生(前期末)	-	-	-	-				
学修ポートフォリオ 教員記入率	4年生(後期末)	-	-	-	-				
	本年度 前期末	C	75.3	B	81.5				
	本年度 後期末	D	56.9	C	76.2				

① 建築学科インテリアデザイン専攻 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	C	32.4	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	90.9	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	A	73.2	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	S	83.9	A	78						
	3年生(後期末)回答率	B	53.7	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	D	29.7	C	45.3						
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	100	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	C	47.1	B	54.5						
授業評価アンケート回答率 ※建築専攻・インテリアデザイン専攻共通	1年生(前期末)	S	81.9	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	69.8	S	66.2						
	2年生(前期末)	A	53.8	S	61.3						
	2年生(後期末)	A	53	A	54.6						
	3年生(前期末)	B	42.3	A	53.9						
	3年生(後期末)	C	35.7	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	S	100	A	94.4						
	1年生(後期末)	A	95.1	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	A	95.1	B	81.5						
	本年度 後期末	A	95.1	C	76.2						

① 建築学科都市空間インフラ専攻 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	S	95.8	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100.0	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	S	82.7	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	S	89.7	A	78						
	3年生(後期末)回答率	S	81.7	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	S	90.2	C	45.3						
GPS-Aに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	100	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	S	95.6	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	86.3	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	71.4	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	75.2	S	61.3						
	2年生(後期末)	A	51.6	A	54.6						
	3年生(前期末)	S	75.7	A	53.9						
	3年生(後期末)	S	63.8	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	S	100	A	94.4						
	1年生(後期末)	A	94.3	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	S	100	B	81.5						
	本年度 後期末	A	94.3	C	76.2						

① 建築学科かおりデザイン専攻 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	S	95.8	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	93.8	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	A	77.8	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	A	79.2	A	78						
	3年生(後期末)回答率	A	70.4	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	S	95.8	C	45.3						
GPS-AIに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	95.8	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	S	100	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	71.4	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	68.8	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	78.5	S	61.3						
	2年生(後期末)	S	63.6	A	54.6						
	3年生(前期末)	A	50.2	A	53.9						
	3年生(後期末)	A	56.2	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	S	100	A	94.4						
	1年生(後期末)	A	91.5	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	S	100	B	81.5						
	本年度 後期末	S	100	C	76.2						

① 情報システム学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	A	77.4	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	99.3	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	S	93.0	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	S	89.4	A	78						
	3年生(後期末)回答率	A	70.1	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	A	72.8	C	45.3						
GPS-AIに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	96.5	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	S	90.9	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	92.5	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	78.6	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	66.8	S	61.3						
	2年生(後期末)	S	66.6	A	54.6						
	3年生(前期末)	S	65.5	A	53.9						
	3年生(後期末)	A	53.3	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	S	100	A	94.4						
	1年生(後期末)	A	91.5	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	A	90.7	B	81.5						
	本年度 後期末	A	91.5	C	76.2						

① 情報デザイン学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	D	19.6	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100.0	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	S	87.2	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	S	85.7	A	78						
	3年生(後期末)回答率	B	67.2	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	D	17.1	C	45.3						
GPS-AIに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	90.1	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	D	23.1	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	90.5	S	80.9						
	1年生(後期末)	S	74.8	S	66.2						
	2年生(前期末)	S	63.6	S	61.3						
	2年生(後期末)	A	51.3	A	54.6						
	3年生(前期末)	A	52.3	A	53.9						
	3年生(後期末)	B	44.6	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	B	89	A	94.4						
	1年生(後期末)	A	90.8	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	B	86.7	B	81.5						
	本年度 後期末	B	80	C	76.2						

① 総合情報学科 取り組み状況の評価

機会	項目	2024				2025		2026		2027	
		学科評価		全学評価		学科評価		学科評価		学科評価	
		評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
DP到達度調査の回答率	卒業直前調査の回答率	D	16.4	C	47.5						
	卒業後3年目OB・OGに対する調査の回答率	-	-	D	12.8						
	企業アンケートの回答率	-	-	C	49.9						
学生実態調査の回答率	1年生(新入生時)回答率	S	98.6	S	96.5						
	1年生(後期末)回答率	S	93.0	A	79.3						
	2年生(後期末)回答率	B	69.1	A	78						
	3年生(後期末)回答率	C	35.0	B	58.2						
	4年生(後期末)回答率	D	16.0	C	45.3						
GPS-AIに対する回答率	1年生(新入生時)回答率	S	100	S	100						
	2年生(後期末)回答率	S	89.7	S	92.9						
	4年生(後期末)回答率	D	28.8	B	54.5						
授業評価アンケート回答率	1年生(前期末)	S	73.4	S	80.9						
	1年生(後期末)	A	54.6	S	66.2						
	2年生(前期末)	A	55.9	S	61.3						
	2年生(後期末)	B	49.2	A	54.6						
	3年生(前期末)	B	48.4	A	53.9						
	3年生(後期末)	C	34.1	B	47.8						
学修ポートフォリオ 学生記入率	1年生(前期末)	B	89	A	94.4						
	1年生(後期末)	C	75	B	81						
	2年生(前期末)	-	-	-	-						
	2年生(後期末)	-	-	-	-						
	3年生(前期末)	-	-	-	-						
	3年生(後期末)	-	-	-	-						
	4年生(前期末)	-	-	-	-						
	4年生(後期末)	-	-	-	-						
学修ポートフォリオ 教員記入率	本年度 前期末	C	76.7	B	81.5						
	本年度 後期末	D	69.4	C	76.2						

第3章 DP到達度評価（学生実態調査・企業卒業生アンケート）

3. 1 DP到達度評価の概要

本章では、本学の「DP 到達度」を

- ・在学生を対象とした「学生実態調査」
- ・卒業生の入社企業を対象とした「企業アンケート」
- ・卒業後 3 年経過した卒業生を対象とした「卒業生アンケート」

の視点から、以下の評価基準を元に「DP 到達度の評価」として、各学科及び全学科における評価を掲載している。なお、各調査の概要は以下の通り。

表1 各調査概要

調査名	回答期間	対象	実施指示	回答数	回答率
学生実態調査	2025年2月6日 ～2月20日	卒業研究履修生 753名	学生実態調査 項目に追加	358	47.5%
企業アンケート	2024年11月4日 ～12月20日	2024年3月 卒業生入社企業 513社	就職状況調査 実施時に QR コード記載の 紙面にて依頼	256	49.9%
卒業生アンケート	2024年12月18日 ～ 2025年1月31日	2022年度卒業生 (卒業後3年) 679名	QR コード記 載のハガキを 保証人住所に 郵送	87	12.8%

表2 各調査評価基準

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって 改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
15%以上	12%～15%未満	6%～12%未満	3%～6%未満	3%未満

3. 2 各学科専攻のDP到達度評価

2024年度 アセスメント・チェックシート

② 機械工学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生評議調査							●英語アグレート[発揮]			●卒業アグレート[実績]			●英語アグレート[期待]			
生徒次第[目標] 以下における能力を發揮、態度のうち、あなたが在学中に身に付いたと思うものをすべて選びください。							大同大学の学生が古塵町に発揮している能力・姿勢、態度をすべて選びください。			以下における能力や態度のうち、大学在学中にあなたが社会に出て、「後輩に教える」と思ふものすべて選びください。			以下における能力や態度のうち、特に身に付けて欲しい能力や態度、姿勢を3つ選びください。			
評価(実現・発揮・実績など)													評価(期待)			
2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	
学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	1 a 倫理観	B	B	B		B	B		B	C			C	B		
	2 a 現実性	B	C	B		A	A		B	B			B	B		
	3 a 主体性	A	B	B		B	B		A	C			S	A		
	4 a 協働性	B	B	A		S	S		A	B			S	S		
	5 a 課題発見力	B	B	B		C	B		B	A			B	B		
	6 a コミュニケーション力	S	S	A		S	S		S	B			S	S		
b豊かな教養を身についている	7 b 豊かな教養	C	C	C		D	D		C	D			D	D		
	8 b 他の理解	B	B	B		B	C		B	A			C	C		
C確かな専門性を身に付けている	9 c 専門知識・技能	B	A	S		B	A		B	B			B	C		
	10 c 論理的思考力	B	B	C		B	C		B	C			C	D		
d豊かな創造力を身につけている	11 d 創造力	C	C	D		D	C		C	C			D	D		

② 機械システム工学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査							●英語アンケート[発揮]				●卒業アンケート[実現]				●英語アンケート[期待]				
生徒次第【選択】 以下における能力や態度、態度のうち、あなたが在学中に身に付いたと思うものをすべてお選びください。							大同大学の在学生が実施にて発揮している能力・態度、をもとへお選びください。				以下における能力や態度、態度のうち、あなたが社会に出で、「後で」といふときに思つるものすべてをお選びください。				以下における能力や態度のうち、大学在学中に特に身に付けて欲しい能力や態度、態度を3つお選びください。				
評価(実感・発揮・実績など)															評価(期待)				
2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	
学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価
a社会人として活動するためには必要な基礎的な能力を身につけている	1 a倫理観	B	B	B		B	B			B	C			C	B				
	2 a規範性	C	C	B		A	A			B	B			B	B				
	3 a主体性	A	B	B		B	B			A	C			S	A				
	4 a協働性	A	B	A		S	S			A	B			S	S				
	5 a課題解決力	C	B	B		C	B			B	A			B	B				
	6 aコミュニケーション力	S	S	A		S	S			S	B			S	S				
b豊かな教養を身につけている	7 b豊かな教養	C	C	C		D	D			C	D			D	D				
	8 b他者理解	C	B	B		B	C			B	A			C	C				
C確かな専門性を身に付けている	9 c専門知識・技能	A	A	S		B	A			B	B			B	C				
	10 c論理的思考力	C	B	C		B	C			B	C			C	D				
	d豊かな創造力を身につけている	C	C	D		D	C			C	C			D	D				

② 電気電子工学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査							●英語アンケート【発達】			●英語アンケート【実績】			●英語アンケート【期待】		
生徒次第【目標】 以下における能力を、どの程度のうち、あなたが在学中に身に付いたと思うものをすべて選んでください。							太岡大学の英語生が古高麗で発展している能力を、最も多く持つものとして選んでください。			以下における能力を、どの程度のうち、あなたが社会に出で、「後でこうしたい」と思ったものすべてを選んでください。			以下における能力や態度のうち、大学在学中に特に身に付けて欲しい能力や態度、希望を3つ選んでください。		
評価(実感・発揮・実績など)													評価(期待)		
2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		
学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価
a社会人として活動するためには必要な基礎的な能力を身につけている	1 a 倫理観	C	B	B		B	B		B	C			C	B	
	2 a 規律性	C	C	C		A	A		B	B			B	B	
	3 a 主従性	B	B	A		B	B		A	C			S	A	
	4 a 協働性	B	B	S		S	S		A	B			S	S	
	5 a 課題発見力	B	B	C		C	B		B	A			B	B	
	6 a コミュニケーション力	S	S	S		S	S		S	B			S	S	
b豊かな教養を身につけている	7 b 豊かな教養	C	C	D		D	D		C	D			D	D	
	8 b 他者理解	C	B	C		B	C		B	A			C	C	
C確かな専門性を身に付けている	9 c 専門知識・技能	S	A	S		B	A		B	B			B	C	
	10 c 論理的思考力	B	B	D		B	C		B	C			C	D	
d豊かな創造力を身につけている	11 d 創造力	D	C	D		D	C		C	C			D	D	

② 建築学科建築専攻 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査								●企業アンケート【実績】				●卒業生アンケート【実績】				●企業アンケート【期待】			
●4年次の実態【実績】								大同大学の企業生が就職時に発揮している能力・態度を教えてください。				以下における能力・姿勢、態度のうち、あなたが社会に出で、「後にこうしている」と思うものをすべてお選びください。				以下にある能力・態度のうち、大学在学中に特に身に付けて欲しい能力や特徴、態度を3つ選んでください。			
以下に示す能力・態度の中から、あなたが在学中に身に付いたと思うものをすべてお選びください。																			
評価(実感・実揮・実績など)																			
2024				2024				2024				2024				2024			
学科評価		全学評価		学科評価		全学評価		全学評価		全学評価		全学評価		全学評価		全学期待		全学期待	
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	1	a 倫理観	D	B	B			B	B			B	C			C	B		
	2	a 規律性	B	C	B			A	A			B	B			B	B		
	3	a 主体性	B	B	B			B	B			A	C			S	A		
	4	a 協働性	B	B	S			S	S			A	B			S	S		
	5	a 課題発見力	B	B	B			C	B			B	A			B	B		
	6	a コミュニケーション力	S	S	S			S	S			S	B			S	S		
b豊かな教養を身につけている	7	b 豊かな教養	B	C	C			D	D			C	D			D	D		
	8	b 他者理解	D	B	B			B	C			B	A			C	C		
C確かな専門性を身に付けている	9	c 専門知識・技能	A	A	S			B	A			B	B			B	B		
	10	c 論理的思考力	B	B	D			B	C			B	C			C	D		
d豊かな創造力を身につけている	11	d 創造力	B	C	D			D	C			C	C			D	D		

② 建築学科インテリアデザイン専攻 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査						●英語アンケート[実績]			●卒業生アンケート[実績]			●英語アンケート[期待]			
※本次の実験!						大同大学の在学生が活躍時に発揮している能力・姿勢、実感をすべてお選びください。			以下における能力・学習姿勢、個性のうち、あなたが社会に出でて「役立つ」と思ひのものをすべてお選びください。			以下における能力・学習姿勢、個性を3つお選びください。			
評価(実績・発揮・実績など)												評価(期待)			
2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	
学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	1 a倫理観	B	B	C		B	B		B	C		C	B		
	2 a規律性	C	C	B		A	A		B	B		B	B		
	3 a主従性	S	B	B		B	B		A	C		S	A		
	4 a協働性	C	B	S		S	S		A	B		S	S		
	5 a課題発見力	C	B	B		C	B		B	A		B	B		
	6 aコミュニケーション力	S	S	S		S	S		S	B		S	S		
b豊かな教養を身につけている	7 b豊かな教養	C	C	C		D	D		C	D		D	D		
	8 b他の理解	C	B	B		B	C		B	A		C	C		
C豊かな専門性を身に付けている	9 c専門知識・技能	D	A	S		B	A		B	B		B	C		
	10 c論理的思考力	C	B	D		B	C		B	C		C	D		
d豊かな創造力を身につけている	11 d創造力	S	C	C		D	C		C	C		D	D		

② 建築学科都市空間インフラ専攻 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●卒業実現指標				●卒業アピール【発揮】				●卒業アピール【実績】				●卒業アピール【期待】				
4年生(末期)実施				大同大学の卒業率が適時に発揮している能力や姿勢、態度をすべてお選びください。				以下における能力や姿勢、態度のうち、あなたが社会に出で、「既に立っている」と思うものをすべてお選びください。				以下における能力や姿勢のうち、大字を文中に特に気に付けて欲しい能力や姿勢、態度を3つお選びください。				
以下における能力や姿勢のうち、あなたが在学中に身に付いたと思ったものすべてをお選びください。				評価(実感・発揮・実績など)				評価(実感・発揮・実績など)				評価(期待)				
2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	
学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	
a社会人として活動するためには必要な基礎的な能力を身につけている	1	a倫理観	A	B	S		B	B		B	C		C	B		
	2	a規範性	C	C	S		A	A		B	B		B	B		
	3	a主体性	B	B	B		B	B		A	C		S	A		
	4	a協働性	A	B	A		S	S		A	B		S	S		
	5	a課題発見能力	D	B	B		C	B		B	A		B	B		
	6	aコミュニケーション力	S	S	A		S	S		S	B		S	S		
b豊かな教養を身につけている	7	b豊かな教養	C	C	C		D	D		C	D		D	D		
	8	b他者理解	B	B	C		B	C		B	A		C	C		
c確かな専門性を身に付けている	9	c専門知識・技能	A	A	B		B	A		B	B		B	C		
	10	c論理的思考力	B	B	D		B	C		B	C		C	D		
d豊かな創造力を身につけている	11	d創造力	D	C	D		D	C		C	C		D	D		

② 建築学科かおりデザイン専攻 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査						●正菜アングレー【発揮】			●卒業生アンケート【実績】			●正菜アングレー【期待】		
●4年次実態【実績】 あなたが在学中に身に付いたことのうもすべてお選びください。						大同大学の卒業生が活躍時に発揮している能力・実効、実績をすべてお選びください。			以下における能力・実効、実績のうち、あなたが社会に出でて「役立つ」と思ふものをすべてお選びください。			以下における能力・実効のうち、大字在学中に特に身に付けて欲しい能力・実効を3つお選びください。		
						評価(実感・発揮・実績など)						評価(期待)		
	2024	2023				2024	2023		2024	2023		2024	2023	
学科評価	全学評価	学科評価				全学評価	全学評価		学科評価	全学評価		全学期待	全学期待	
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけています	1 a 倫理観	B	B	B		B	B		B	C		C	B	
	2 a 報應性	C	C	A		A	A		B	B		B	B	
	3 a 主体性	A	B	B		B	B		A	C		S	A	
	4 a 協働性	A	B	A		S	S		A	B		S	S	
	5 a 課題実施力	C	B	B		C	B		B	A		B	B	
	6 a ミュニケーション力	S	S	A		S	S		S	B		S	S	
b豊かな教養を身についている	7 b 豊かな教養	D	C	C		D	D		C	D		D	D	
	8 b 他者理解	B	B	A		B	C		B	A		C	C	
C確かな専門性を身についている	9 c 専門知識・技能	A	A	B		B	C		B	B		B	C	
	10 c 論理的思考力	D	B	C		B	C		B	C		C	D	
d豊かな創造力を身についている	11 d 創造力	D	C	D		D	C		C	C		D	D	

② 情報システム学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査				●生徒アンケート【免携】				●卒業アンケート【実績】				●卒業アンケート【期待】				
●4年次実験【実現】 以下にあげた能力の中、最も得意のうち、あなたが在学中に付けていたと思うものすべてお選びください。				大岡大学の卒業生が活躍時に効果している能力【実現】、今後もしてお選びください。				以下にあげた能力【姿勢】、あなたが社会に出でてお役立つときにと思うものをすべてお選びください。				以下にあげた能力【姿勢】のうち、大学在学中に特に身に付けて欲しい能力【姿勢】、今後も3つお選びください。				
評価(実感・免携・実績など)								評価(期待)								
2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	2024	2023	
A学科評価	全学科評価	学科評価	全学科評価	A学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	A学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	全学科評価	
a社会人として活動するためには必要な基礎的な能力を身につけている	1 a倫理観	B	B	B	B	B	B	C	B	C	B	B	C	B		
	2 a規範性	C	C	B	A	A	B	B	A	C	B	B	B	B		
	3 a主体性	B	B	B	B	B	B	C	B	S	A	S	A			
	4 a協働性	B	B	A	S	S	S	A	B	B	S	S				
	5 a課題発見力	B	B	B	C	B	C	B	A	B	B	B	B	B		
	6 aコミュニケーション力	S	S	A	S	S	S	S	B	B	S	S	S	S		
b豊かな教養を身につけている	7 b豊かな教養	C	C	D	D	D	D	C	D	C	D	D	D	D		
	8 b他者理解	B	B	B	B	C	B	B	A	B	C	C	C	C		
c確かな専門性を身に付けている	9 c専門知識・技能	S	A	S	B	A	B	B	B	B	B	B	B	C		
	10 c論理的思考力	B	B	C	B	C	B	B	C	B	C	C	C	D		
d豊かな創造力を身に付けている	11 d創造力	C	C	C	D	C	D	C	C	C	C	D	D	D	D	

② 情報デザイン学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査											●企業アンケート【発揮】			●卒業生アンケート【実績】			●企業アンケート【期待】		
4年次末(実績) 以下にある能力や姿勢、態度のうち、あなたが在学中に身に付けたと思うものをすべてお選びください。											大同大学の卒業生が実習時に発揮している能力や姿勢、態度をすべてお選びください。			以下における能力や姿勢、態度のうち、あなたが社会に出でて役に立っていると思うものをすべてお選びください。			以下における能力や姿勢のうち、大学在学中に身に付けて欲しい能力や姿勢、態度を3つお選びください。		
評価(実感・発揮・実績など)																	評価(期待)		
2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023			
学科評価	全学評価	学科評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学期待	全学期待			
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	1 a倫理観	B	B	B		B	B		B	C			C	B					
	2 a規律性	D	C	B		A	A		B	B			B	B					
	3 a主体性	B	B	B		B	B		A	C			S	A					
	4 a協働性	B	B	S		S	S		A	B			S	S					
	5 a課題発見力	C	B	C		C	B		B	A			B	B					
	6 aコミュニケーション力	S	S	S		S	S		S	B			S	S					
b豊かな教養を身につけている	7 b豊かな教養	C	C	D		D	D		C	D			D	D					
	8 b他者理解	B	B	B		B	C		B	A			C	C					
c専門知識・技能	9 c専門知識・技能	A	A	S		B	A		B	B			B	C					
	10 c論理的思考力	B	B	D		B	C		B	C			C	D					
d豊かな創造力を身につけている	11 d創造力	B	C	C		D	C		C	C			D	D					

② 情総合情報学科 DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)

●学生実態調査											●企業アンケート【発揮】			●卒業生アンケート【実績】			●企業アンケート【期待】		
4年次末(実績) 以下にある能力や姿勢、態度のうち、あなたが在学中に身に付けたと思うものをすべてお選びください。											大同大学の卒業生が実習時に発揮している能力や姿勢、態度をすべてお選びください。			以下における能力や姿勢、態度のうち、あなたが社会に出でて役に立っていると思うものをすべてお選びください。			以下における能力や姿勢のうち、大学在学中に身に付けて欲しい能力や姿勢、態度を3つお選びください。		
評価(実感・発揮・実績など)																	評価(期待)		
2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023		2024	2023			
学科評価	全学評価	学科評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学評価	全学評価	学科評価	全学期待	全学期待			
a社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている	1 a倫理観	B	B	B		B	B		B	C			C	B					
	2 a規律性	B	C	S		A	A		B	B			B	B					
	3 a主体性	S	B	B		B	B		A	C			S	A					
	4 a協働性	B	B	S		S	S		A	B			S	S					
	5 a課題発見力	D	B	B		C	B		B	A			B	B					
	6 aコミュニケーション力	S	S	S		S	S		S	B			S	S					
b豊かな教養を身につけている	7 b豊かな教養	D	C	D		D	D		C	D			D	D					
	8 b他者理解	C	B	B		B	C		B	A			C	C					
c専門知識・技能	9 c専門知識・技能	C	A	C		B	A		B	B			B	C					
	10 c論理的思考力	C	B	D		B	C		B	C			C	D					
d豊かな創造力を身につけている	11 d創造力	C	C	D		D	C		C	C			D	D					

第 4 章 DP 到達度評価 (GPS-A)

4. 1 DP到達度評価の概要

本章では、本学の「DP 到達度」を、外部アセスメントテスト「GPS-A」の視点から、以下の評価基準を元に「DP 到達度の評価」として、各学科及び全学科における評価を掲載している。なお、調査の概要は以下の通り。

表1 調査概要

実施期間	対象	実施指示	受験者数	受験率
2025年4月3日 ～4月17日	25生入学時 840名	新入生オリエンテーション時	840名	100.0%
2025年3月26日 ～4月17日	23生3年進級時 862名	前期履修ガイダンス時	801名	92.9%
2023年4月3日 ～5月19日	23生入学時 922名	新入生キャリアガイダンス時	830名	90.0%

表2 調査評価基準

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
58以上	52以上～58未満	47以上～52未満	41以上～47未満	41未満

4. 2 各学科専攻のDP到達度評価

2024年度 アセスメント・チェックシート

③機械工学科 DP到達度の評価(GPS-A)			21生経年比較								
			①入学時			②3年次9月			③4年次末		
			21生			21生			21生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	B	B	B	
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	B	
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	B	B	A	B	B	A	S	A	-	
	対人関係	A	A	S	A	S	S	S	S	-	
	計画・実行	B	B	A	A	A	A	S	A	-	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	C	B	C	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-	
	協働的思考力	D	D	D	B	C	C	C	D	-	
	創造的思考力	C	C	C	C	C	C	C	C	-	
4年次末3ヶ年比較											
			③4年次末			③4年次末			③4年次末		
			21生			22生			23生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-							
	リーダーシップ	B	B	-							
	コラボレーション	B	B	-							
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	S	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	S	A	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
2年次末3ヶ年比較											
			②2年次末			②2年次末			②2年次末		
			23生			22生					
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B				
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	B				
	コラボレーション	B	B	-	B	B	B				
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	B	B	-	C	B	A				
	対人関係	A	A	-	A	A	S				
	計画・実行	A	A	-	A	A	A				
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-	C	C	C				
	批判的思考力	C	C	-	C	D	D				
	協働的思考力	C	C	-	C	C	D				
	創造的思考力	B	B	-	C	C	C				
入学時3ヶ年比較											
			①入学時			①入学時			①入学時		
			25生			24生			23生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B	B	B	B	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	C	C	B	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B	
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	C	B	-	B	B	-	B	B	A	
	対人関係	A	A	-	A	A	-	A	A	S	
	計画・実行	B	A	-	B	A	-	A	A	A	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-	D	D	-	C	C	C	
	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C	
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	D	C	C	
	創造的思考力	C	B	-	D	D	-	D	D	C	
2024年度結果											
			①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末		
			25生			23生			21生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	-	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	B	B	-	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	-	
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	C	B	-	B	B	-	S	A	-	
	対人関係	A	A	-	A	A	-	S	S	-	
	計画・実行	B	A	-	A	A	-	S	A	-	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-	C	C	-	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	D	D	-	
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	C	D	-	
	創造的思考力	C	B	-	D	D	-	C	C	-	

③ 機械システム工学科 DP到達度の評価(GPS-A)

本学のDP項目	GPS-A測定項目	21生経年比較								
		①入学時			②3年次9月			③4年次末		
		21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	B	B	C	B	C	B	-
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	自己管理	B	B	A	B	B	A	A	A	-
	対人関係	A	A	S	A	S	S	S	S	-
	計画・実行	B	B	A	A	A	A	A	A	-
	思考力総合	C	C	C	B	B	C	D	C	-
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-
	協働的思考力	D	D	D	B	C	C	D	D	-
	創造的思考力	C	C	C	C	C	D	C	C	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	B	B	C	D	C	-
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-
	協働的思考力	D	D	D	B	C	C	D	D	-
	創造的思考力	C	C	C	C	C	D	C	C	-
	自己管理	A	A	-						
	対人関係	S	S	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	D	C	-						
	批判的思考力	D	D	-						
	協働的思考力	D	D	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	D	C	-						
4年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	③4年次末			③4年次末			③4年次末		
		21生	21生	21生	22生	22生	22生	23生	23生	23生
a 主体性 a 協働性	自己管理	A	A	-						
	対人関係	S	S	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	D	C	-						
	批判的思考力	D	D	-						
	協働的思考力	D	D	-						
	創造的思考力	D	C	-						
	自己管理	A	A	-						
	対人関係	S	S	-						
	計画・実行	A	A	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	B	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	C	B	-						
2年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	②2年次末			②2年次末			②2年次末		
		23生	23生	23生	22生	22生	22生	22生	22生	22生
a 主体性 a 協働性	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	B	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	C	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	C	B	-						
入学時3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			①入学時			①入学時		
		25生	25生	25生	24生	24生	24生	23生	23生	23生
a 主体性 a 協働性	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	C	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	C	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	C	B	-						
2024年度結果										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末		
		25生	25生	25生	23生	23生	23生	21生	21生	21生
a 主体性 a 協働性	自己管理	B	B	-						
	対人関係	C	C	-						
	計画・実行	B	B	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	C	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
	創造的思考力	C	B	-						
	自己管理	B	B	-						
	対人関係	A	A	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	C	-						
	協働的思考力	C	C	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	C	B	-						
今後、積み上げる										

③ 電気電子工学科 DP到達度の評価(GPS-A)		21生経年比較									
		①入学時			②3年次9月			③4年次末			
		21生		21生		21生		21生		21生	
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	C	B	B	-
	コラボレーション	B	B	B	C	B	B	C	B	B	-
	自己管理	B	B	A	B	B	A	B	A	A	-
	対人関係	S	A	S	S	S	S	S	S	S	-
	計画・実行	A	B	A	A	A	A	A	A	A	-
	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	C	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	C	D	D	-
	協働的思考力	D	D	D	B	C	C	C	D	D	-
	創造的思考力	C	C	C	C	C	C	C	C	C	-
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
4年次末3ヶ年比較											
③4年次末		③4年次末			③4年次末			③4年次末			
21生		22生			23生			24生			
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-							
	リーダーシップ	C	B	-							
	コラボレーション	C	B	-							
	自己管理	B	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
2年次末3ヶ年比較											
②2年次末			②2年次末			②2年次末			②2年次末		
23生			22生			21生			20生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B				
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	B				
	コラボレーション	B	B	-	B	B	B				
	自己管理	B	B	-	B	B	A				
	対人関係	S	A	-	A	A	S				
	計画・実行	A	A	-	A	A	A				
	思考力総合	C	C	-	C	C	C				
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	D	D	D				
	協働的思考力	C	C	-	D	D	D				
	創造的思考力	C	C	-	D	C	D				
	思考力総合	C	C	-	C	D	C				
	批判的思考力	C	C	-	C	C	C				
入学時3ヶ年比較											
①入学時			①入学時			①入学時			①入学時		
25生			24生			23生			22生		
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B	B	B	B	B
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	C	C	C	B
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B	B
	自己管理	B	B	-	B	B	-	C	B	A	A
	対人関係	A	A	-	S	A	-	A	A	S	S
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	B	A	A	A
	思考力総合	C	C	-	C	D	-	C	C	C	C
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	C	D	-	C	C	C	C
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C	C
	創造的思考力	B	B	-	C	D	-	C	D	C	C
	思考力総合	C	C	-	C	C	-	C	C	C	C
	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	C	C	C	C
2024年度結果											
①入学時(2025.4)				②2年次末				③4年次末			
25生				23生				21生			
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	C	B	B	-
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	C	B	B	-
	自己管理	B	B	-	B	B	-	B	A	A	-
	対人関係	A	A	-	S	A	-	S	S	S	-
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	A	A	A	-
	思考力総合	C	C	-	C	C	-	C	C	C	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	C	D	D	-
	協働的思考力	C	C	-	C	C	-	C	D	D	-
	創造的思考力	B	B	-	B	B	-	C	D	D	-
	思考力総合	C	C	-	C	C	-	C	C	C	-
	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	C	C	C	-

4年次末の経年データについては
今後、積み上げる

③ 建築学科建築専攻 DP到達度の評価(GPS-A)

本学のDP項目	GPS-A測定項目	21生経年比較								
		①入学時			②3年次9月			③4年次末		
		21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	B	B	C	B	B	B	-
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	C	B	-
	自己管理	B	B	A	A	B	A	B	A	-
	対人関係	A	A	S	S	S	S	A	S	-
	計画・実行	B	B	A	A	A	A	A	A	-
	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	-
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	C	D	-
	協働的思考力	D	D	D	C	C	C	D	D	-
	創造的思考力	C	C	C	C	C	C	C	C	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	-
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	C	D	-
	協働的思考力	D	D	D	C	C	C	D	D	-
	創造的思考力	C	C	C	C	C	C	C	C	-
	自己管理	B	A	-						
	対人関係	A	S	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	D	-						
	協働的思考力	D	D	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	C	C	-						
4年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	③4年次末			③4年次末			③4年次末		
		21生			22生			23生		
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-						
	リーダーシップ	B	B	-						
	コラボレーション	C	B	-						
	自己管理	B	A	-						
	対人関係	A	S	-						
	計画・実行	A	A	-						
	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	D	-						
	協働的思考力	D	D	-						
	創造的思考力	C	C	-						
2年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	②2年次末			②2年次末			②2年次末		
		23生			22生					
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B			
	リーダーシップ	B	C	-	B	C	B			
	コラボレーション	B	B	-	B	B	B			
	自己管理	A	B	-	B	B	A			
	対人関係	S	A	-	A	A	S			
	計画・実行	A	A	-	A	A	A			
	思考力総合	B	C	-	C	C	C			
	批判的思考力	C	C	-	D	D	D			
	協働的思考力	B	C	-	C	C	D			
	創造的思考力	B	B	-	C	C	C			
入学時3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			①入学時			①入学時		
		25生			24生			23生		
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	B
	リーダーシップ	B	C	-	B	C	-	B	C	B
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B
	自己管理	A	B	-	A	B	-	A	B	A
	対人関係	S	A	-	S	A	-	S	A	S
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	A	A	A
	思考力総合	C	C	-	D	D	-	C	C	C
	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C
	創造的思考力	B	B	-	D	D	-	D	D	C
2024年度結果										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末		
		25生			23生			21生		
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	-
	リーダーシップ	B	C	-	B	C	-	B	B	-
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	C	B	-
	自己管理	A	B	-	A	B	-	B	A	-
	対人関係	S	A	-	S	A	-	A	S	-
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	A	A	-
	思考力総合	C	C	-	B	C	-	C	C	-
	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	C	D	-
	協働的思考力	C	C	-	B	C	-	D	D	-
	創造的思考力	B	B	-	B	B	-	C	C	-

4年次末の経年データについては

今後、積み上げる

③ 建築学科インテリアデザイン専攻 DP到達度の評価(GPS-A)

本学のDP項目	GPS-A測定項目	21生経年比較													
		①入学時			②3年次9月			③4年次末							
		21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生	21生					
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	-					
	リーダーシップ	C	C	B	B	C	B	C	B	-					
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	C	B	-					
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	C	B	A	B	B	A	A	A	-					
	対人関係	A	A	S	S	S	A	S	-	-					
	計画・実行	B	B	A	S	A	A	A	A	-					
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	C	B	C	D	C	-					
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-					
	協働的思考力	D	D	D	C	C	C	D	D	-					
	創造的思考力	C	C	C	C	C	C	D	C	-					
4年次末3ヶ年比較															
本学のDP項目	GPS-A測定項目	③4年次末			③4年次末			③4年次末							
		21生			22生			23生							
		4年次末の経年データについては 今後、積み上げる													
2年次末3ヶ年比較															
本学のDP項目	GPS-A測定項目	②2年次末			②2年次末			②2年次末							
		23生			22生										
入学時3ヶ年比較															
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			①入学時			①入学時							
		25生			24生			23生							
2024年度結果															
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末							
		25生			23生			21生							

③ 建築学科都市空間インフラ専攻 DP到達度の評価(GPS-A)		21生経年比較									
		①入学時			②3年次9月			③4年次末			
		21生		21生		21生		21生			
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	A	B	-	
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	B	B	-	
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	-	
	自己管理	B	B	A	B	B	A	A	A	-	
	対人関係	S	A	S	S	S	S	S	S	-	
	計画・実行	A	B	A	S	A	A	S	A	-	
	思考力総合	C	C	C	C	B	C	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	C	D	-	
	協働的思考力	D	D	D	C	C	C	C	D	-	
	創造的思考力	C	C	C	D	C	C	B	C	-	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-	C	B	C	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	-	D	D	D	D	D	-	
	協働的思考力	C	D	-	D	C	D	C	D	-	
	創造的思考力	B	C	-	D	C	C	C	C	-	
	自己管理	A	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	S	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	B	C	-							
	自己管理	A	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	S	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	B	C	-							
	自己管理	A	A	-							
	対人関係	S	S	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	D	C	-							
	批判的思考力	D	C	-							
	協働的思考力	D	C	-							
	創造的思考力	D	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	A	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	協働的思考力	D	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							
	計画・実行	A	A	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	C	-							
	協働的思考力	C	C	-							
	創造的思考力	B	B	-							
	自己管理	B	B	-							
	対人関係	S	A	-							

③ 建築学科かおりデザイン専攻 DP到達度の評価(GPS-A)

本学のDP項目	GPS-A測定項目	21生経年比較								
		①入学時			②3年次9月			③4年次末		
		21生		21生		21生		21生		21生
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	B	C	B	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	B	B	C	B	C	B	-
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	-
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	B	B	A	B	B	A	B	A	-
	対人関係	A	A	S	A	S	S	A	S	-
	計画・実行	A	B	A	B	A	A	C	A	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	-
	批判的思考力	C	C	C	C	B	C	C	D	-
	協働的思考力	C	D	D	B	C	C	C	D	-
	創造的思考力	C	C	C	B	C	C	C	C	-
4年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	③4年次末			③4年次末			③4年次末		
		21生		22生		23生		4年次末の経年データについては 今後、積み上げる		
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-						
	リーダーシップ	C	B	-						
	コラボレーション	B	B	-						
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	B	A	-						
	対人関係	A	S	-						
	計画・実行	C	A	-						
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	思考力総合	C	C	-						
	批判的思考力	C	D	-						
	協働的思考力	C	D	-						
	創造的思考力	C	C	-						
2年次末3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	②2年次末			②2年次末			②2年次末		
		23生		22生		22生		今後、積み上げる		
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B			
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	B			
	コラボレーション	B	B	-	C	B	B			
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	C	B	-	C	B	A			
	対人関係	A	A	-	A	A	S			
	計画・実行	B	A	-	B	A	A			
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	思考力総合	B	C	-	D	C	C			
	批判的思考力	C	C	-	D	D	D			
	協働的思考力	A	C	-	D	C	D			
	創造的思考力	A	B	-	D	C	C			
入学時3ヶ年比較										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			①入学時			①入学時		
		25生		24生		23生		今後、積み上げる		
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	-	B	B	B	B	B	B
	リーダーシップ	B	C	-	C	C	-	C	C	B
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	A	B	-	C	B	-	C	B	A
	対人関係	S	A	-	A	A	-	B	A	S
	計画・実行	A	A	-	B	A	-	C	A	A
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	思考力総合	C	C	-	D	D	-	C	C	C
	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	D	C	C
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C
	創造的思考力	C	B	-	D	D	-	C	D	C
2024年度結果										
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末		
		25生		23生		21生		今後、積み上げる		
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	-	B	B	-	B	B	-
	リーダーシップ	B	C	-	C	C	-	C	C	-
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	-
a 主体性 a 協働性 a 課題発見力 b 他者理解	自己管理	A	B	-	C	B	-	B	A	-
	対人関係	S	A	-	A	A	-	A	S	-
	計画・実行	A	A	-	B	A	-	C	A	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	思考力総合	C	C	-	B	C	-	C	C	-
	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	C	D	-
	協働的思考力	C	C	-	A	C	-	C	D	-
	創造的思考力	C	B	-	A	B	-	C	C	-

③ 情報システム学科 DP到達度の評価(GPS-A)		21生経年比較									
		①入学時			②3年次9月			③4年次末			
		21生		21生		21生		21生		21生	
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	B	B	B	-
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	B	-
	自己管理	B	B	A	B	B	A	A	A	A	-
	対人関係	A	A	S	A	S	S	S	S	S	-
	計画・実行	B	B	A	A	A	A	S	A	-	-
	思考力総合	B	C	C	B	B	C	C	C	C	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	批判的思考力	B	C	C	A	B	C	C	D	-	-
	協働的思考力	C	D	D	B	C	C	C	D	-	-
	創造的思考力	B	C	C	B	C	C	B	C	-	-
	4年次末3ヶ年比較										
	③4年次末			③4年次末			③4年次末			4年次末の経年データについては 今後、積み上げる	
a 主体性 a 協働性	21生	22生		23生							
	自己管理	A	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	S	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	C	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	B	C	-							
	2年次末3ヶ年比較										
	②2年次末			②2年次末			②2年次末			2年次末の経年データについては 今後、積み上げる	
a 主体性 a 協働性	23生	22生									
	自己管理	B	B	-	C	B	A				
	対人関係	A	A	-	S	A	S				
	計画・実行	A	A	-	A	A	A				
	思考力総合	B	C	-	B	C	C				
	批判的思考力	B	C	-	C	D	D				
	協働的思考力	B	C	-	B	C	D				
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	創造的思考力	A	B	-	C	C	C				
入学時3ヶ年比較											
①入学時		①入学時			①入学時			①入学時			
								23生		入学時3ヶ年データについては 今後、積み上げる	
		25生	24生		23生		22生				
a 主体性 a 協働性	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
	レジリエンス	B	B	-	B	B	B	B	B	B	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	C	C	C	C	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	B	B	B	B	
	自己管理	C	B	-	B	B	-	C	B	A	
	対人関係	S	A	-	A	A	-	A	A	S	
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	B	A	A	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	B	C	-	C	D	-	C	C	C	
	批判的思考力	B	C	-	C	D	-	B	C	C	
	協働的思考力	B	C	-	C	D	-	B	C	C	
	創造的思考力	A	B	-	C	D	-	C	D	C	
2024年度結果											
①入学時(2025.4)				②2年次末			③4年次末			2024年度結果の経年データについては 今後、積み上げる	
本学のDP項目	25生		23生		21生		2024年度結果				
	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	B	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	B	B	B	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B	
	自己管理	C	B	-	B	B	-	C	B	A	
	対人関係	S	A	-	A	A	-	A	A	S	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	計画・実行	A	A	-	A	A	-	B	A	A	
	思考力総合	B	C	-	C	D	-	C	C	C	
	批判的思考力	B	C	-	C	D	-	B	C	C	
	協働的思考力	B	C	-	C	D	-	B	C	C	
	創造的思考力	A	B	-	C	D	-	C	D	C	

③ 情報デザイン学科 DP到達度の評価(GPS-A)		21生経年比較									
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			②3年次9月			③4年次末			
		21生			21生			21生			
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	B	B	B	B	C	B	-	
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	B	B	-	
	コラボレーション	B	B	B	C	B	B	C	B	-	
	自己管理	C	B	A	B	B	A	B	A	-	
	対人関係	A	A	S	S	S	S	S	S	-	
	計画・実行	A	B	A	A	A	A	A	A	-	
	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-	
	協働的思考力	C	D	D	B	C	C	C	D	-	
	創造的思考力	B	C	C	C	C	C	C	C	-	
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	思考力総合	C	C	C	B	B	C	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	C	B	B	C	D	D	-	
	協働的思考力	C	D	D	B	C	C	C	D	-	
	創造的思考力	B	C	C	C	C	C	C	C	-	
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	B	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
4年次末3ヶ年比較											
本学のDP項目	GPS-A測定項目	③4年次末			③4年次末			③4年次末			
		21生			22生			23生			
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	-							
	リーダーシップ	B	B	-							
	コラボレーション	C	B	-							
	自己管理	B	A	-							
	対人関係	S	S	-							
	計画・実行	A	A	-							
	思考力総合	C	C	-							
	批判的思考力	D	D	-							
	協働的思考力	C	D	-							
	創造的思考力	C	C	-							
2年次末3ヶ年比較											
本学のDP項目	GPS-A測定項目	②2年次末			②2年次末			②2年次末			
		23生			22生						
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	C	B	B				
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	B				
	コラボレーション	B	B	-	C	B	B				
	自己管理	B	B	-	B	B	A				
	対人関係	S	A	-	A	A	S				
	計画・実行	S	A	-	A	A	A				
	思考力総合	B	C	-	C	C	C				
	批判的思考力	B	C	-	D	D	D				
	協働的思考力	B	C	-	C	C	D				
	創造的思考力	B	B	-	C	C	C				
入学時3ヶ年比較											
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時			①入学時			①入学時			
		24生			23生						
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	-	C	B	B	B	B	B	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	B	C	C	B	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B	
	自己管理	C	B	-	B	B	-	B	B	A	
	対人関係	S	A	-	A	A	-	S	A	S	
	計画・実行	A	A	-	A	A	-	A	A	A	
	思考力総合	B	C	-	D	D	-	C	C	C	
	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C	
	協働的思考力	C	C	-	D	D	-	C	C	C	
	創造的思考力	A	B	-	D	D	-	C	D	C	
2024年度結果											
本学のDP項目	GPS-A測定項目	①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末			
		25生			23生			21生			
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	C	B	-	B	B	-	C	B	-	
	リーダーシップ	C	C	-	C	C	-	B	B	-	
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	C	B	-	
	自己管理	C	B	-	B	B	-	B	A	-	
	対人関係	S	A	-	S	A	-	S	S	-	
	計画・実行	A	A	-	S	A	-	A	A	-	
	思考力総合	B	C	-	B	C	-	C	C	-	
	批判的思考力	C	C	-	B	C	-	D	D	-	
	協働的思考力	C	C	-	B	C	-	C	D	-	
	創造的思考力	A	B	-	B	B	-	C	C	-	

4年次末の経年データについては
今後、積み上げる

③ 総合情報学科 DP到達度の評価(GPS-A)		21生経年比較									
		①入学時			②3年次9月			③4年次末			
		21生		21生		21生		21生		21生	
本学のDP項目	GPS-A測定項目	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	B	B	B	B	A	B	-	-
	リーダーシップ	C	C	B	C	C	B	B	B	-	-
	コラボレーション	B	B	B	B	B	B	B	B	-	-
	自己管理	B	B	A	C	B	A	A	A	-	-
	対人関係	A	A	S	S	S	S	S	S	-	-
	計画・実行	B	B	A	A	A	A	A	A	-	-
	思考力総合	D	C	C	D	B	C	D	C	-	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理できるか)	批判的思考力	D	C	C	C	B	C	D	D	-	-
	協働的思考力	C	D	D	D	C	C	D	D	-	-
	創造的思考力	D	C	C	D	C	C	D	C	-	-
	思考力総合	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
	批判的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	協働的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	創造的思考力	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
	思考力総合	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
	批判的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	協働的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	創造的思考力	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
	思考力総合	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
4年次末3ヶ年比較											
本学のDP項目		③4年次末			③4年次末			③4年次末			
		21生		22生		23生					
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-
	リーダーシップ	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-
	コラボレーション	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-
	自己管理	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-
	対人関係	S	S	-	-	-	-	-	-	-	-
	計画・実行	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-
	思考力総合	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	協働的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	創造的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	思考力総合	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-
	批判的思考力	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
2年次末3ヶ年比較											
本学のDP項目		②2年次末			②2年次末			②2年次末			
		23生		22生		23生					
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	B	-	-	-	-
	リーダーシップ	C	C	-	B	C	B	-	-	-	-
	コラボレーション	B	B	-	B	B	B	-	-	-	-
	自己管理	B	B	-	B	B	A	-	-	-	-
	対人関係	A	A	-	S	A	S	-	-	-	-
	計画・実行	A	A	-	A	A	A	-	-	-	-
	思考力総合	C	C	-	D	C	C	-	-	-	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	D	D	D	-	-	-	-
	協働的思考力	D	C	-	D	D	D	-	-	-	-
	創造的思考力	D	C	-	D	C	D	-	-	-	-
	思考力総合	C	C	-	D	D	D	-	-	-	-
	批判的思考力	C	C	-	D	D	D	-	-	-	-
入学時3ヶ年比較											
本学のDP項目		①入学時			①入学時			①入学時			
		25生		24生		23生					
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	B	B	B	B
	リーダーシップ	B	C	-	C	C	-	C	C	C	B
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	B	B
	自己管理	B	B	-	B	B	-	B	B	B	A
	対人関係	A	A	-	A	A	-	A	A	A	S
	計画・実行	B	A	-	A	A	-	A	A	A	A
	思考力総合	C	C	-	D	D	-	D	C	C	C
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	D	C	C	C
	協働的思考力	D	C	-	D	D	-	D	C	C	C
	創造的思考力	D	C	-	D	D	-	D	C	C	C
	思考力総合	C	C	-	D	D	-	D	C	C	C
	批判的思考力	C	C	-	D	D	-	D	C	C	C
2024年度結果											
本学のDP項目		①入学時(2025.4)			②2年次末			③4年次末			
		25生		23生		21生					
		学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	学科評価	全学評価	全受検 大学平均	全受検 大学平均
a 主体性 a 協働性	レジリエンス	B	B	-	B	B	-	A	B	-	-
	リーダーシップ	B	C	-	C	C	-	B	B	-	-
	コラボレーション	B	B	-	B	B	-	B	B	-	-
	自己管理	B	B	-	B	B	-	A	A	-	-
	対人関係	A	A	-	A	A	-	S	S	-	-
	計画・実行	B	A	-	A	A	-	A	A	-	-
	思考力総合	C	C	-	C	C	-	D	C	-	-
a 協働性(議論ができるか) b 他者理解(意思疎通ができるか) c 専門知識・技能(課題を理解、情報処理ができるか)	批判的思考力	C	C	-	C	C	-	D	D	-	-
	協働的思考力	D	C	-	D	C	-	D	D	-	-
	創造的思考力	D	C	-	D	C	-	D	D	-	-
	思考力総合	C	B	-	C	B	-	D	C	-	-
	批判的思考力	C	B	-	C	B	-	D	C	-	-

4年次末の経年データについては
今後、積み上げる

第 5 章 学生実態調査

5. 1 学生実態調査の概要

本章では、本学の学生の「満足度」を在学生を対象とした「学生実態調査」の視点から、以下の評価基準を元に「満足度の評価」として、各学科及び全学科における評価を掲載している。なお、各調査の概要は以下の通り。

表1 調査概要

回答期間	対象	実施指示	回答数	回答率
2025年2月6日 ～2月20日	卒業研究履修生 753名	学生実態調査項目 に追加	358	47.5%

表2 調査評価基準

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって 改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
4.5以上	4.0以上～4.5未満	2.5以上～4.0未満	1.5以上～2.5未満	1.5未満

5. 2 各学科専攻の満足度

2024年度 アセスメント・チェックシート

④ 機械工学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																	
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)					
	24生		23生		22生		21生		2021年度の4年生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.91	B	3.95	B	3.85	B	3.89	A	4.06	A	4.13	S	4.5	A	4.24	B
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.85	B	3.83	B	3.82	B	3.75	A	4	B	3.95	A	4.41	A	4.02	B	3.82
【授業】に対する満足度を教えてください。	A	4.03	B	3.93	B	3.76	B	3.84	B	3.95	B	3.99	A	4.38	A	4.15	B	3.88
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	S	4.5	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.28	A	4.28	A	4.18	A	4.09	A	4.19	A	4.31	S	4.69	A	4.46	—	—
あなたの学生生活は充実していましたか。	A	4.03	B	3.95	B	3.86	B	3.91	B	3.99	B	3.97	A	4.41	A	4.13	B	3.95
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.96	B	3.89	B	3.81	B	3.8	B	3.9	A	4.04	A	4.28	A	4.18	—	—
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.34	A	4.2	A	4.29	A	4.18	A	4.25	A	4.31	A	4.44	A	4.3	—	—

④ 機械システム工学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																	
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)					
	24生		23生		22生		21生		2021年度の4年生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.93	B	3.95	B	3.52	B	3.89	B	3.98	A	4.13	A	4.24	A	4.24	B
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.73	B	3.83	B	3.69	B	3.75	B	3.87	B	3.95	B	3.99	A	4.02	B	3.82
【授業】に対する満足度を教えてください。	B	3.83	B	3.93	B	3.69	B	3.84	B	3.89	B	3.99	A	4.04	A	4.15	B	3.88
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	4.15	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.34	A	4.28	A	4.05	A	4.09	A	4.2	A	4.31	A	4.37	A	4.46	—	—
あなたの学生生活は充実していましたか。	B	3.76	B	3.95	B	3.82	B	3.91	B	3.81	B	3.97	A	4.24	A	4.13	B	3.95
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.8	B	3.89	B	3.7	B	3.8	A	4.06	A	4.04	A	4.22	A	4.18	—	—
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.04	A	4.2	A	4.02	A	4.18	A	4.26	A	4.31	A	4.26	A	4.3	—	—

④ 電気電子工学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																	
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)					
	24生		23生		22生		21生		2021年度の4年生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.48	B	3.95	B	3.73	B	3.89	B	3.95	A	4.13	A	4.07	A	4.24	B
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.55	B	3.83	B	3.69	B	3.75	B	3.66	B	3.95	B	3.84	A	4.02	B	3.82
【授業】に対する満足度を教えてください。	B	3.5	B	3.93	B	3.69	B	3.84	B	3.74	B	3.99	A	4.02	A	4.15	B	3.88
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	4.02	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.95	A	4.28	B	3.89	A	4.09	A	4.16	A	4.31	A	4.2	A	4.46	—	—
あなたの学生生活は充実していましたか。	B	3.74	B	3.95	B	3.73	B	3.91	A	4.13	B	3.97	A	4.16	A	4.13	B	3.95
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.76	B	3.89	B	3.58	B	3.8	B	3.87	A	4.04	A	4.18	A	4.18	—	—
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	B	3.97	A	4.2	A	4.17	A	4.18	A	4.05	A	4.31	A	4.02	A	4.3	—	—

④ 建築学科建築専攻 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																	
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)					
	24生		23生		22生		21生		2021年度の4年生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.93	B	3.95	A	4.14	B	3.89	A	4.26	A	4.13	A	4.26	A	4.24	B
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.83	B	3.83	B	3.84	B	3.75	A	4.14	B	3.95	A	4.26	A	4.02	B	3.82
【授業】に対する満足度を教えてください。	B	3.9	B	3.93	A	4.05	B	3.84	A	4.26	B	3.99	A	4.32	A	4.15	B	3.88
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	3.95	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.05	A	4.28	B	3.96	A	4.09	S	4.52	A	4.31	S	4.63	A	4.46	—	—
あなたの学生生活は充実していましたか。	A	4.27	B	3.95	A	4.04	B	3.91	A	4.24	B	3.97	B	3.68	A	4.13	B	3.95
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.61	B	3.89	B	3.95	B	3.8	A	4.26	A	4.04	A	4	A	4.18	—	—
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.32	A	4.2	A	4.26	A	4.18	A	4.38	A	4.31	A	4.42	A	4.3	—	—

④ 建築学科インテリアデザイン専攻 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																	
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)					
	24生		23生		22生		21生		2021年度の4年生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.33	B	3.95	A	4.35	B	3.89	A	4.4	A	4.13	B	3.91	A	4.24	B
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	A	4.1	B	3.83														

④ 建築学科都市空間インフラ専攻 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果															
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)			
	24生		23生		22生		21生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	A	4	B	3.95	B	3.77	B	3.89	A	4.15	A	4.13	A	4.43	A	4.24
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.84	B	3.83	B	3.6	B	3.75	A	4.17	B	3.95	A	4.2	A	4.02
【授業】に対する満足度を教えてください。	B	3.91	B	3.93	B	3.62	B	3.84	A	4.25	B	3.99	A	4.35	A	4.15
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	S	4.5	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.35	A	4.28	B	3.9	A	4.09	A	4.42	A	4.31	S	4.61	A	4.46
あなたの学生生活は充実していましたか。	A	4.07	B	3.95	B	3.87	B	3.91	B	3.9	B	3.97	A	4.15	A	4.13
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.91	B	3.89	B	3.54	B	3.8	A	4.17	A	4.04	S	4.5	A	4.18
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.16	A	4.2	B	3.98	A	4.18	A	4.42	A	4.31	A	4.24	A	4.3

④ 建築学科かおりデザイン専攻 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)				
	24生		23生		22生		21生										
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.95	B	3.95	A	4.26	B	3.89	A	4.11	A	4.13	A	4	A	4.24	
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	A	4.05	B	3.83	A	4.21	B	3.75	B	3.84	B	3.95	B	3.83	A	4.02	
【授業】に対する満足度を教えてください。	A	4.1	B	3.93	A	4.21	B	3.84	B	3.95	B	3.99	A	4.13	A	4.15	
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B	3.65	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.1	A	4.28	A	4.16	A	4.09	A	4.05	A	4.31	A	4.35	A	4.46	
あなたの学生生活は充実していましたか。	A	4.1	B	3.95	A	4.11	B	3.91	A	4	B	3.97	A	4.13	A	4.13	
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	A	4	B	3.89	A	4.11	B	3.8	B	3.84	A	4.04	B	3.74	A	4.18	
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.05	A	4.2	A	4.05	A	4.18	A	4.21	A	4.31	A	4.22	A	4.3	

④ 情報システム学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)				
	24生		23生		22生		21生										
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.03	B	3.95	B	3.91	B	3.89	A	4.31	A	4.13	A	4.35	B	4.24	
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.87	B	3.83	B	3.84	B	3.75	A	4.14	B	3.95	A	4	B	4.02	
【授業】に対する満足度を教えてください。	A	4	B	3.93	B	3.94	B	3.84	A	4.14	B	3.99	A	4.1	A	4.15	
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	4.17	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.39	A	4.28	A	4.06	A	4.09	A	4.4	A	4.31	S	4.65	A	4.46	
あなたの学生生活は充実していましたか。	B	3.95	B	3.95	B	3.83	B	3.91	A	4.09	B	3.97	A	4.12	A	4.13	
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.97	B	3.89	B	3.89	B	3.8	A	4.15	A	4.04	A	4.18	A	4.18	
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.19	A	4.2	A	4.17	A	4.18	A	4.38	A	4.31	A	4.35	A	4.3	

④ 情報デザイン学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果																
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)				
	24生		23生		22生		21生										
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.16	B	3.95	A	4.05	B	3.89	A	4.13	A	4.13	A	4.1	A	4.24	
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	A	4	B	3.83	B	3.61	B	3.75	B	3.73	B	3.95	B	3.65	A	4.02	
【授業】に対する満足度を教えてください。	A	4.2	B	3.93	B	3.95	B	3.84	B	3.81	B	3.99	A	4.15	A	4.15	
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	4.2	A	4.18	A	4.21
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.45	A	4.28	A	4.24	A	4.09	A	4.44	A	4.31	A	4.25	A	4.46	
あなたの学生生活は充実していましたか。	B	3.99	B	3.95	B	3.92	B	3.91	B	3.87	B	3.97	A	4	A	4.13	
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	A	4.05	B	3.89	B	3.82	B	3.8	B	3.98	A	4.04	A	4.05	A	4.18	
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.22	A	4.2	A	4.33	A	4.18	A	4.36	A	4.31	S	4.65	A	4.3	

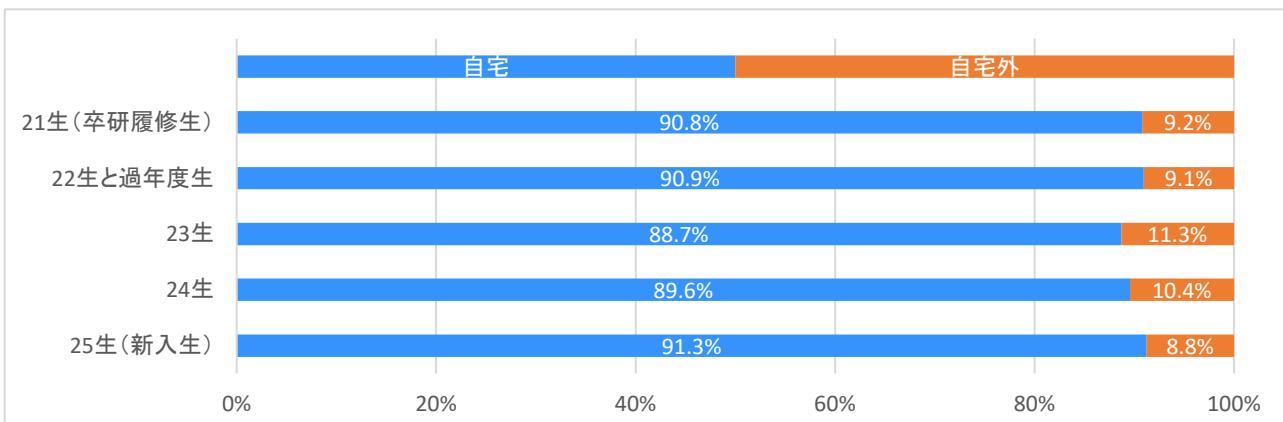
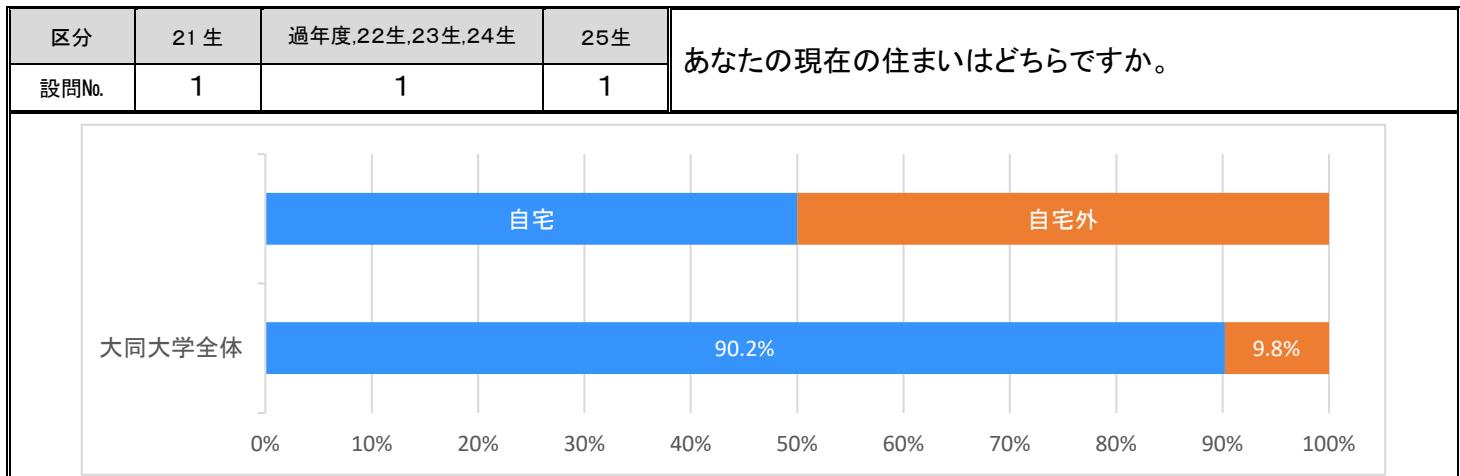
④ 総合情報学科 満足度の評価(学生実態調査)

	2024年度結果															
	1年生(後期末)				2年生(後期末)				3年生(後期末)				4年生(後期末)			
	24生		23生		22生		21生									
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア
【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。	B	3.79	B	3.95	B	3.94	B	3.89	B	3.96	A	4.13	B	3.67	A	4.24
【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。	B	3.65	B	3.83	B	3.55	B	3.75	B	3.85	B	3.95	B	3.75	A	4.02
【授業】に対する満足度を教えてください。	B	3.67	B	3.93	B	3.77	B	3.84	B	3.81	B	3.99	B	3.75	A	4.15
【卒業研究】に対する満足度を教えてください。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	4.17	A	4.18
【主指導教員】に対する満足度を教えてください。	A	4.12	A	4.28	A	4.04	A	4.09	A	4.07	A	4.31	A	4.08	A	4.46
あなたの学生生活は充実していましたか。	B	3.76	B	3.95	A	4.19	B	3.91	B	3.74	B	3.97	B	3.67	A	4.13
就職・進学における大学の支援に満足していますか。	B	3.73	B	3.89	B	3.77	B	3.8	A	4	A	4.04	B	3.92	A	4.18
職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。	A	4.35	A	4.2	A	4.13	A	4.18	A	4.37	A	4.31	A	4.25	A	4.3

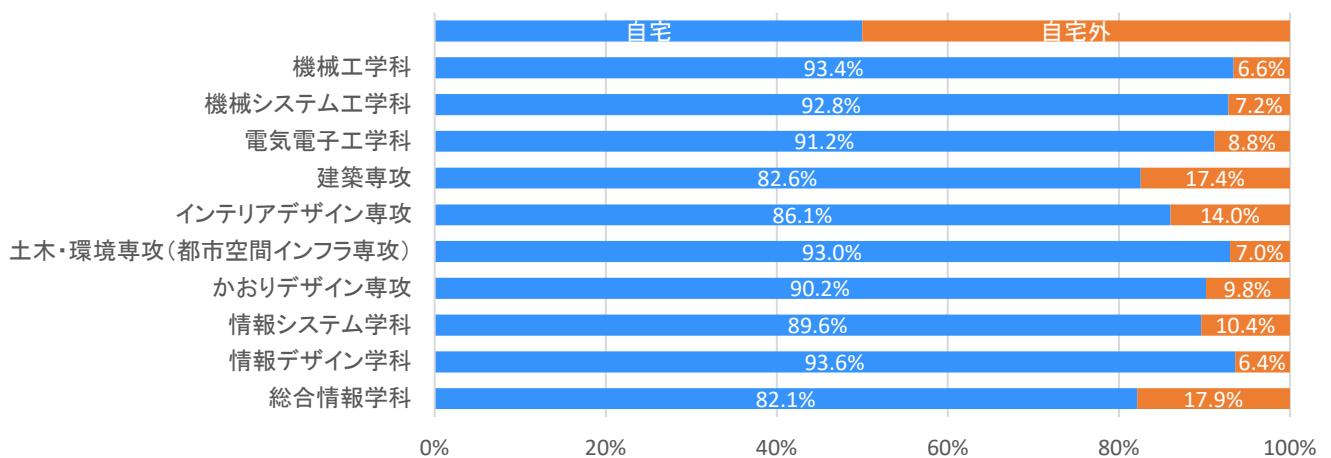
5. 3 報告書

回答属性

所属学科 2025年5月現在	21生 卒業生	22生（含む過年度生） 新4年生	(上段：回答人数 下段：対象人数)			総計
			23生 新3年生	24生 新2年生	25生 新入学生	
機械工学科	32 (110)	83 (174)	84 (117)	79 (104)	86 (94)	364 (599)
機械システム工学科	68 (108)	94 (136)	87 (112)	70 (104)	85 (88)	404 (548)
電気電子工学科	44 (76)	39 (98)	71 (94)	62 (84)	91 (98)	307 (450)
建築学科 建築専攻	19 (79)	44 (87)	57 (97)	41 (70)	97 (100)	258 (433)
建築学科 インテリアデザイン専攻	11 (37)	22 (41)	26 (31)	30 (41)	40 (44)	129 (194)
建築学科 土木・環境専攻 都市空間インフラ専攻	46 (51)	58 (71)	52 (58)	43 (52)	44 (44)	243 (276)
建築学科 かおりデザイン専攻	23 (24)	19 (27)	19 (24)	21 (27)	30 (32)	112 (134)
情報システム学科	83 (114)	101 (144)	127 (142)	119 (128)	139 (140)	569 (668)
情報デザイン学科	20 (117)	86 (128)	102 (119)	102 (117)	128 (128)	438 (609)
総合情報学科	12 (75)	28 (80)	47 (68)	66 (71)	71 (72)	224 (366)
総計	358 (791)	574 (986)	672 (862)	633 (798)	811 (840)	3048 (4277)



<本学の各学科の平均>



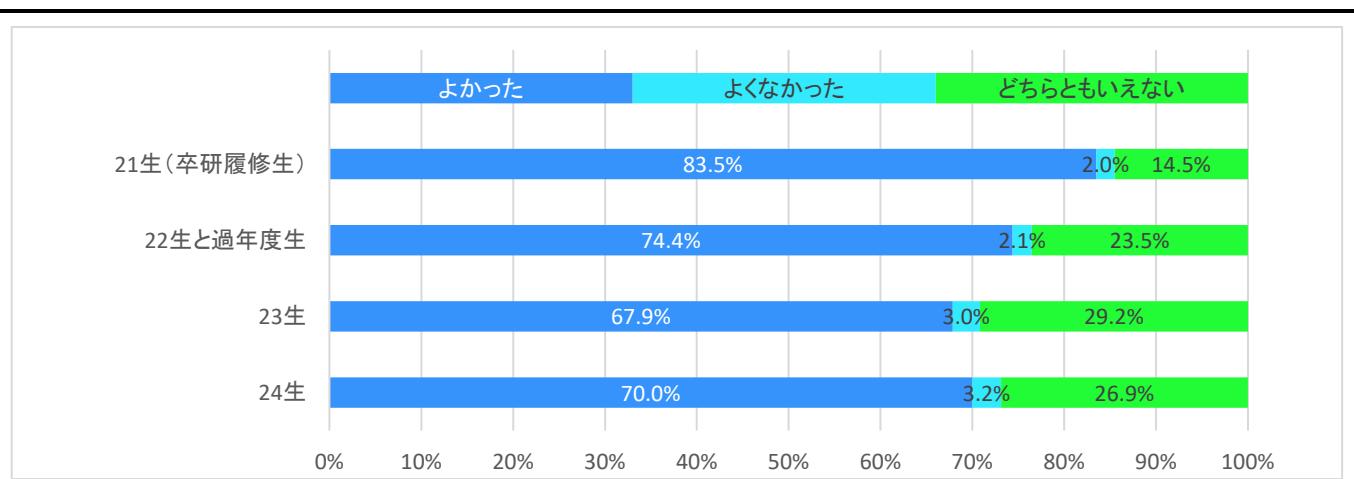
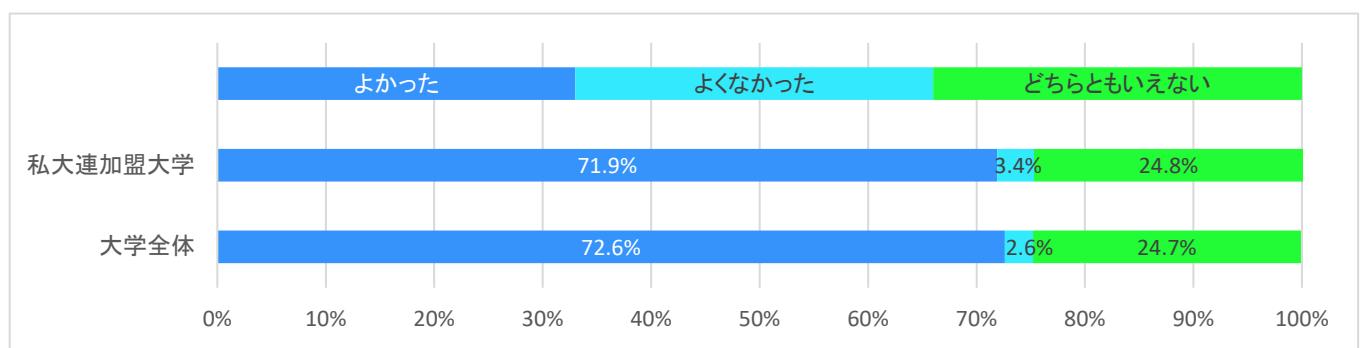
自宅通学学生が圧倒的多数

「自宅」と回答した割合が本学全体で90.2%となっており、圧倒的多数を占める結果となった。

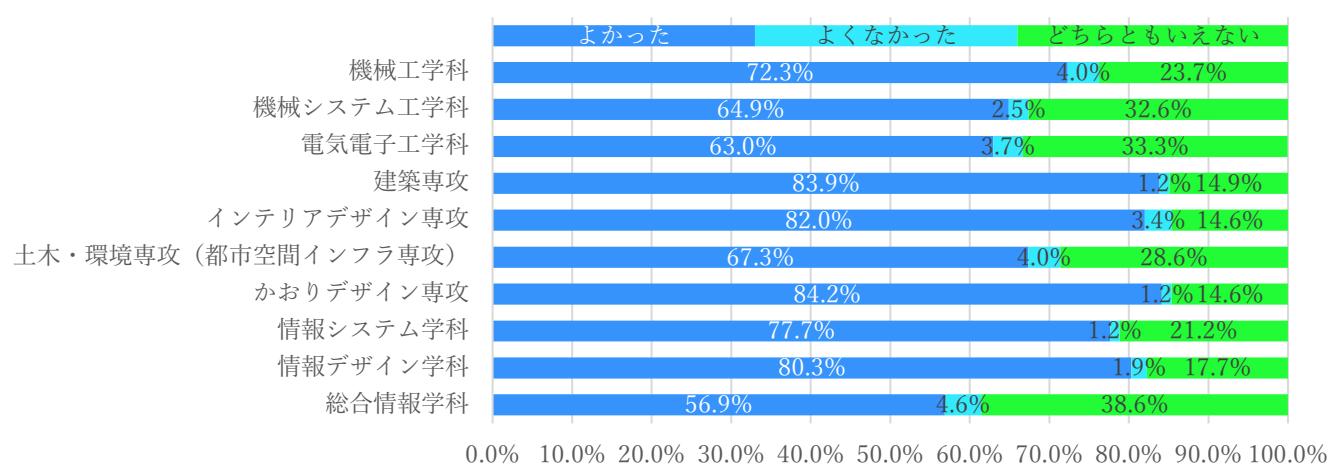
毎年同様の傾向にある。

これは「大同町駅」からすぐと、公共交通機関でのアクセスが非常に便利であるからこそその結果と考えられる。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	所属する学科・専攻に入学してよかったです。
設問No.	3	4	—	



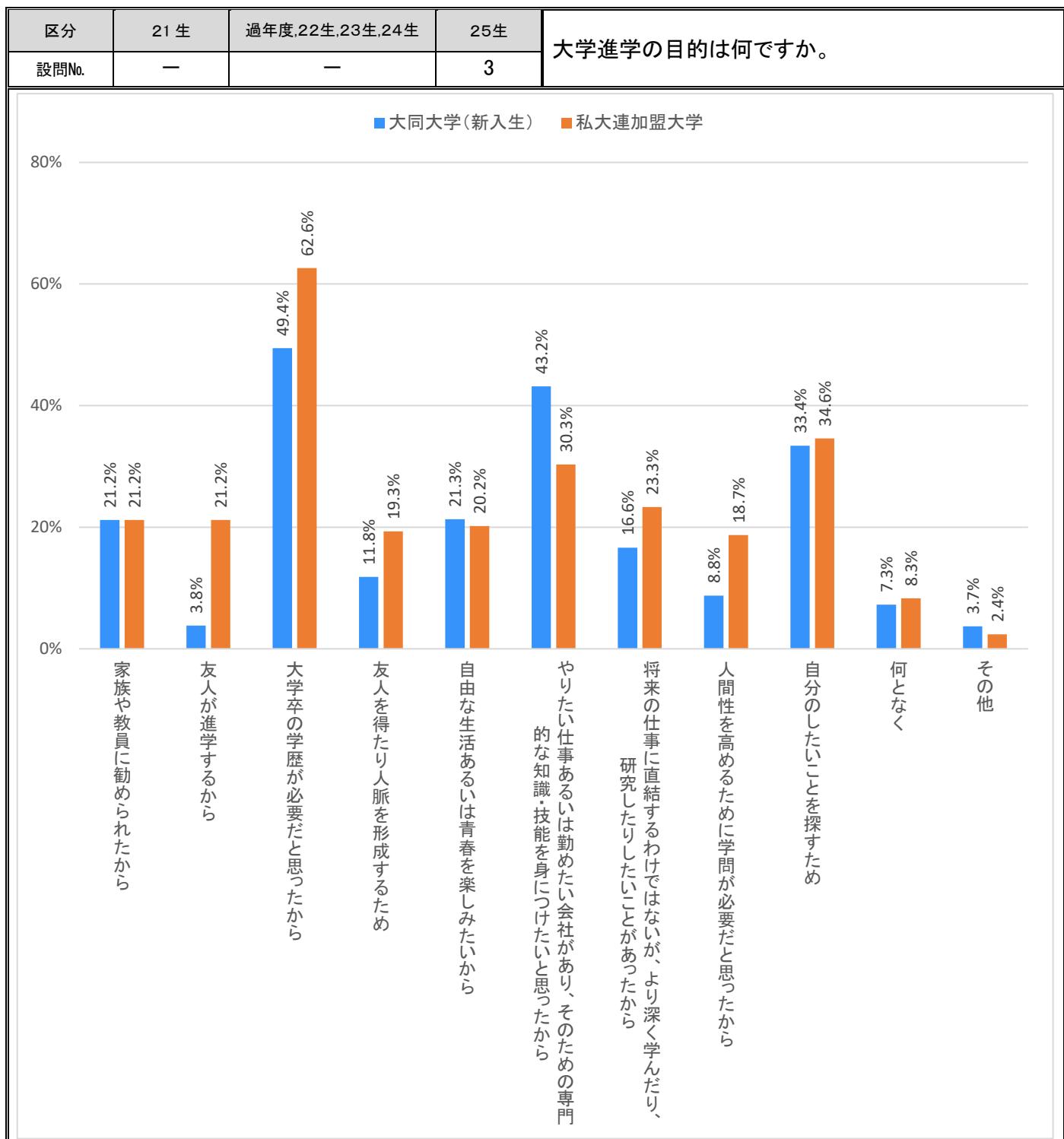
<学科の全学の平均>



学部・学科への満足度は年々上がっている

所属する学部・学科に入学して「よかったです」と回答した本学学生の割合は72.6%で、全国平均を0.7ポイント上回っている。

特に21生(卒研履修生)は83.5%が「よかったです」と回答しており、充実した学生生活を送れていることが伺える結果となつた。

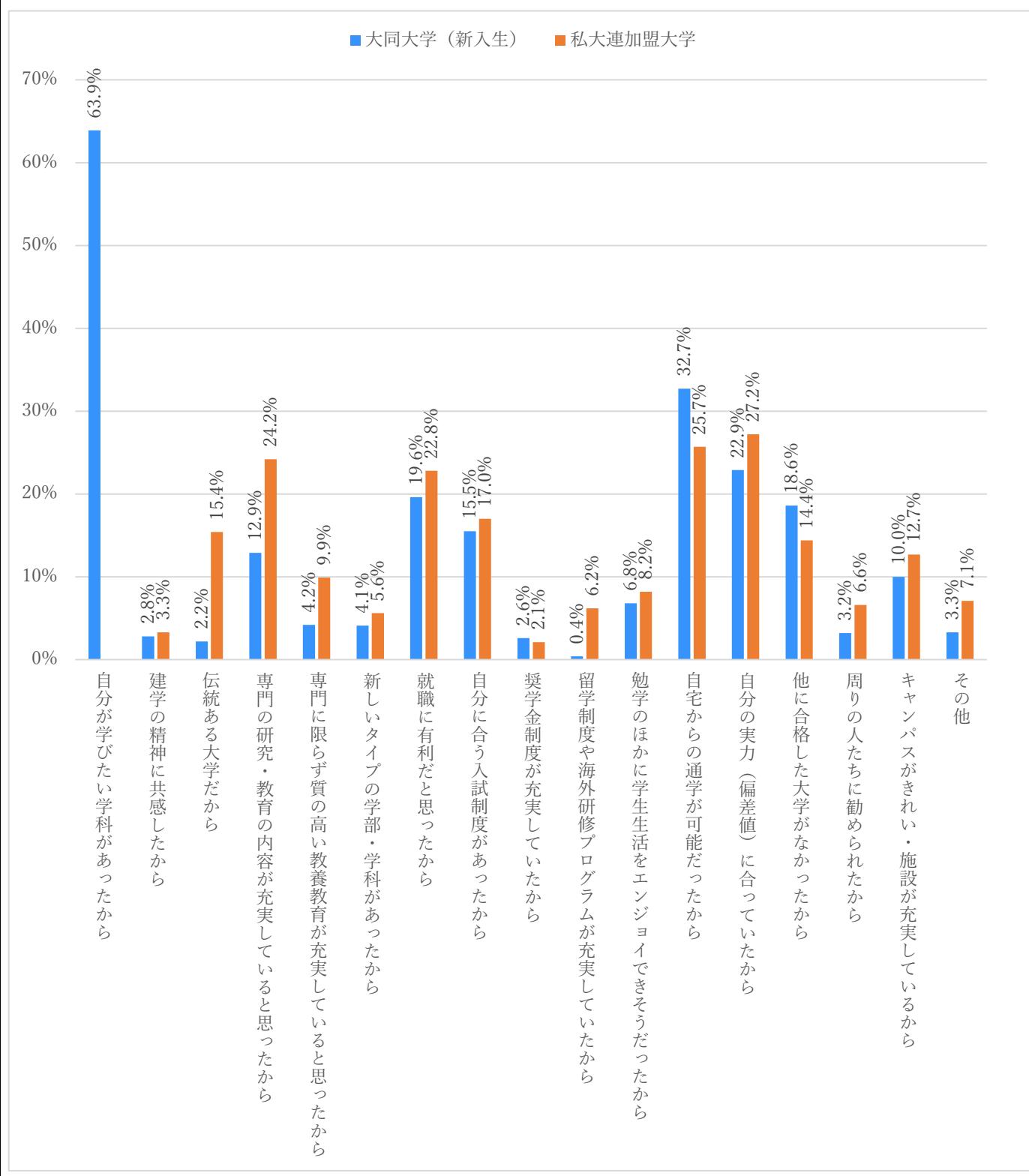


【入試・広報室】

「大学卒の学歴が必要だと思ったから」が1位

大学進学の目的については、新入生全体では、「大学卒の学歴が必要だと思ったから」が 49.4%で最も高く、次いで「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」が 43.2%、「自分のしたいことを探すため」が 33.4%であった。全国平均と比較すると「大学卒の学歴が必要だと思ったから」は 13.2%低く、「やりたい仕事あるいは勤めたい会社があり、そのための専門的な知識・技能を身につけたいと思ったから」は 12.9%高いことから、明確な目的のもと本学へ進学する学生が多いことが伺える。

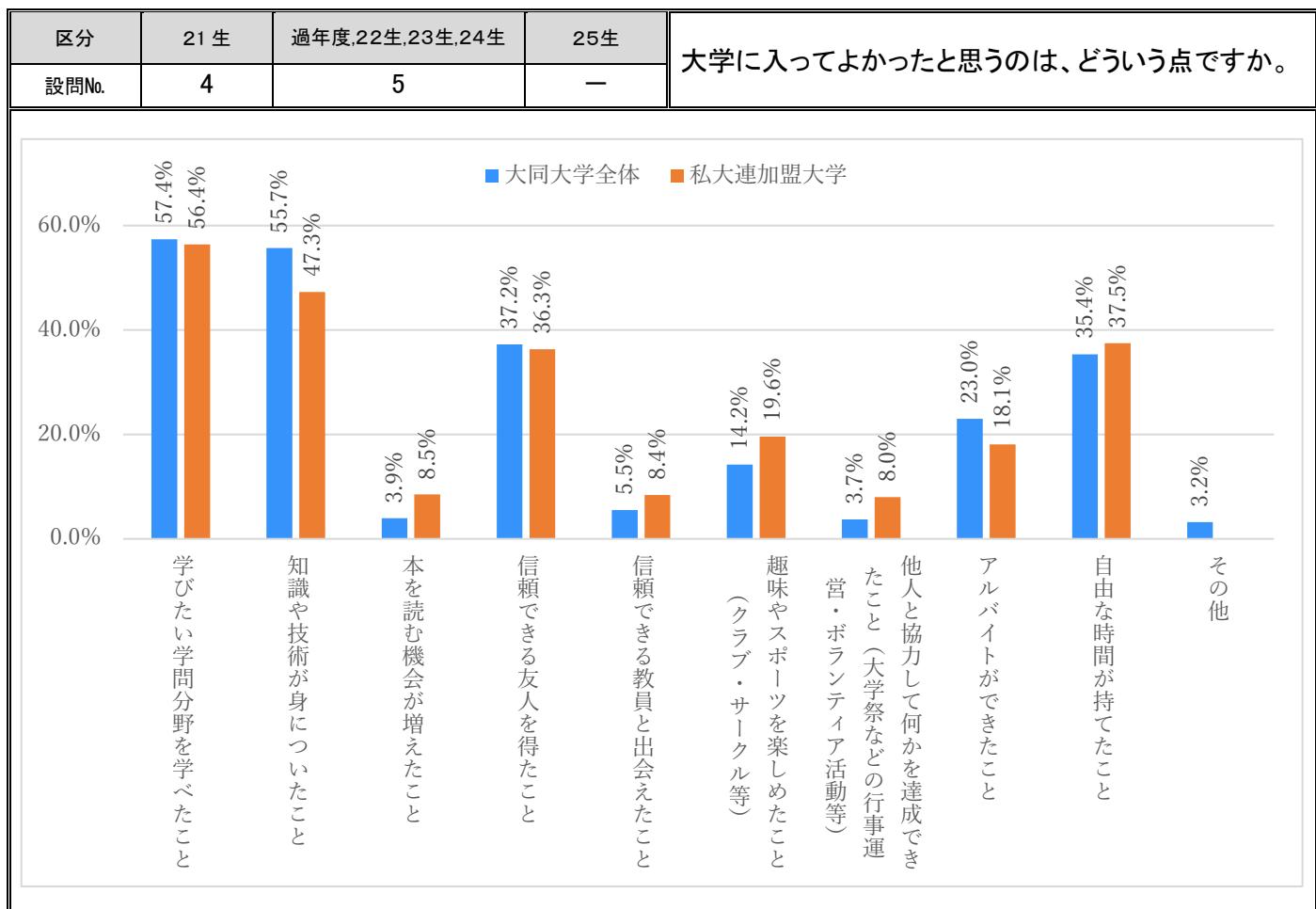
区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	大同大学を選択した理由は何か。
設問No.	一	一	4	



【入試・広報室】

「学びたい学科」と「通学が可能」が高い

大同大学を選択した理由については、新入生全体では、「自分が学びたい学科があったから」が 63.9%で最も高く、次いで「自宅からの通学が可能だったから」が 32.7%、「自分の実力(偏差値)に合っていたから」が 22.9%であった。本学の学びとアクセスの良さに魅力を感じているようだ。



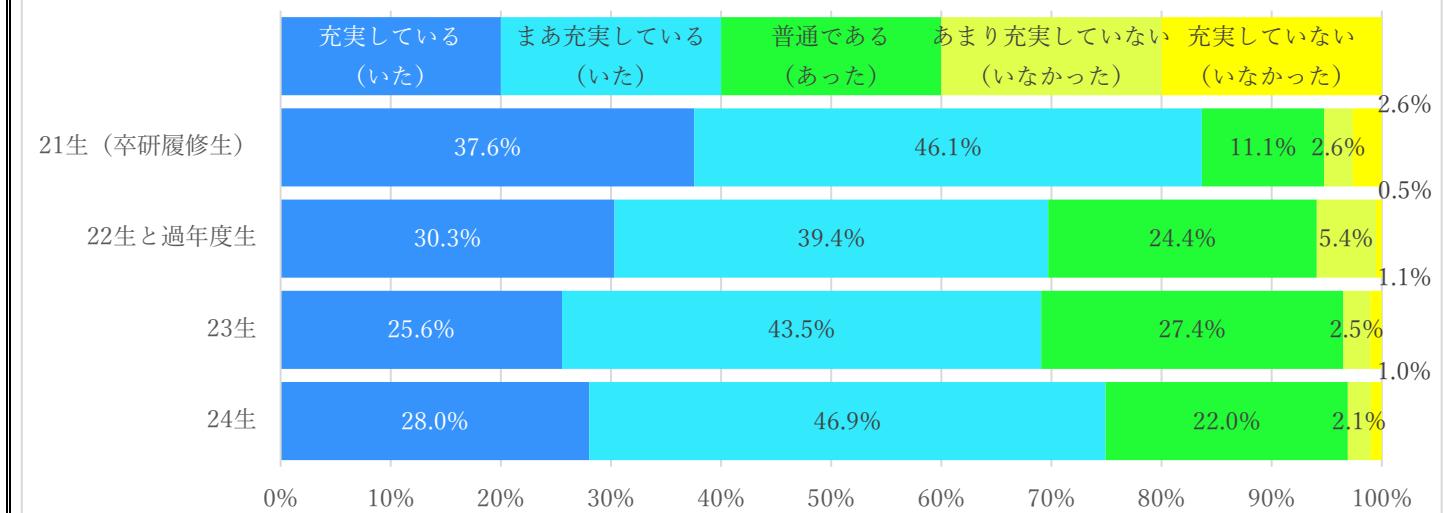
「学びたい学問分野を学べたこと」「知識や技術が身についたこと」に高い満足度

「学びたい学問分野を学べたこと」「知識や技術が身についたこと」が高い結果となった。

また「信頼できる友人を得たこと」と回答した学生も多く、嬉しい結果となっている。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	あなたの学生生活は充実していましたか。							
設問No.	5	6	—								
				充実している (いた)							
				まあ充実している (いた)							
				普通である (あった)							
				あまり充実していない (いなかつた)							
				充実していない (いなかつた)							
				4.5%							
私大連加盟大学	21.9%	36.9%	26.0%	10.7%							
大同大学全体	28.8%	43.9%	23.2%	2.8%							
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%

<本学の各学年の平均>



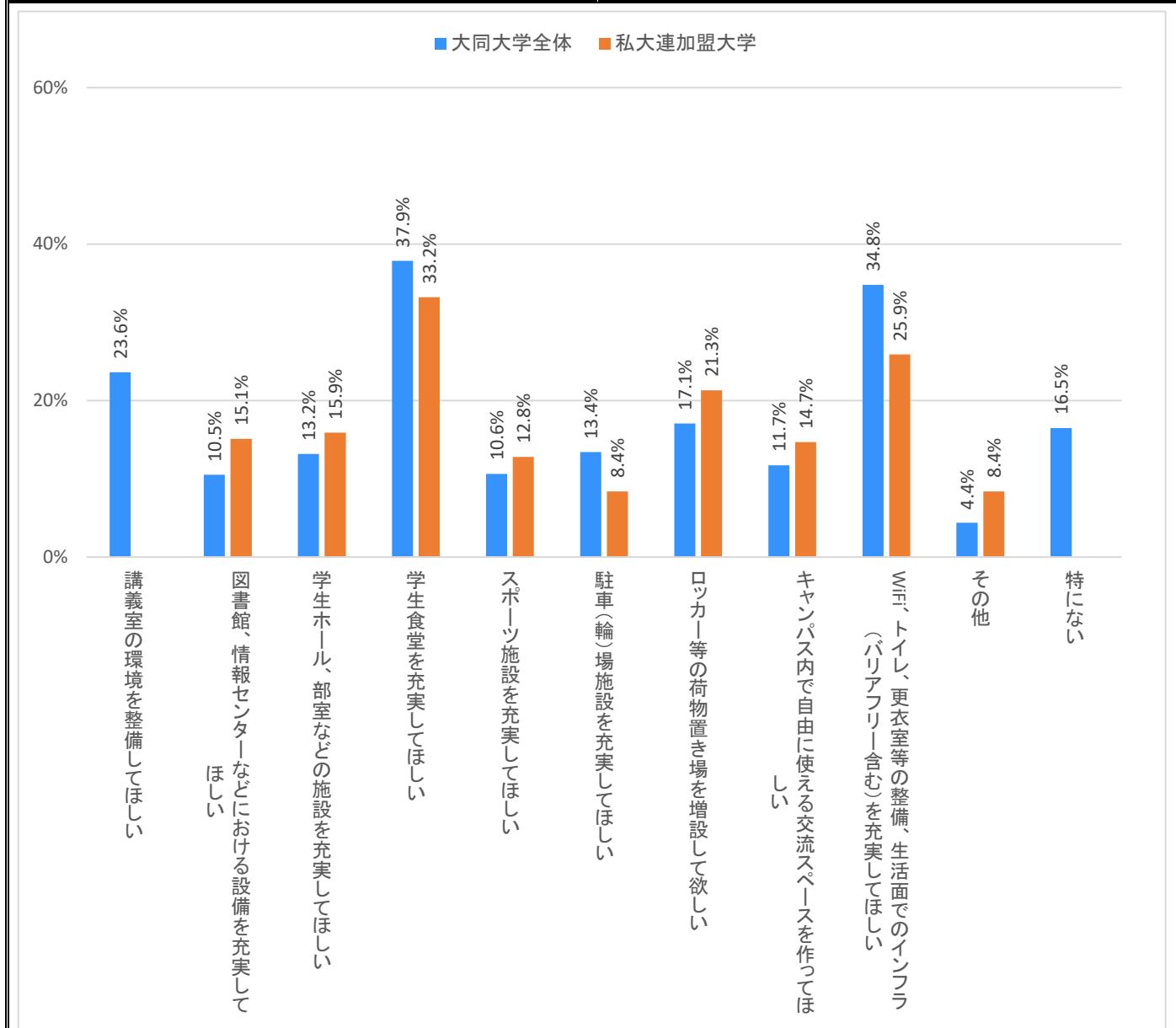
【学生室】

充実度は全国平均より 10 ポイント以上高い

「充実している」「まあ充実している」を合計した「充実群」で見ると本学全体は、72.7%という結果となった。これは全国平均より13.9ポイント高い結果となっている。

21生(卒研履修生)は、学生生活の4年間を振り返って83.7%が「充実」と回答している。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	大学の施設に対する要望にはどのようなものがありますか。
設問No.	6	7	—	



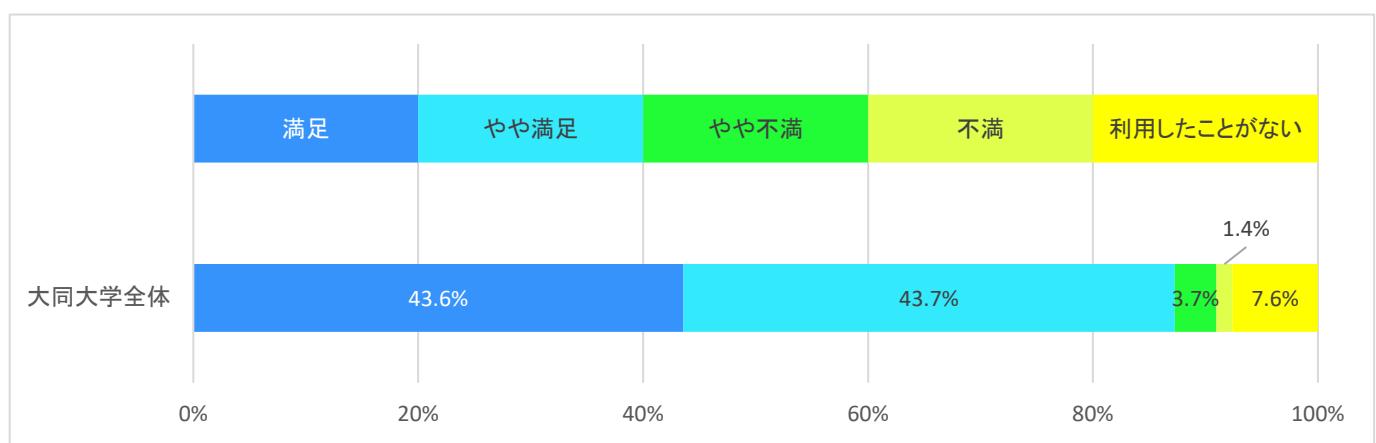
【学生室】

「学生食堂を充実してほしい」、「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラを充実してほしい」への要望が高い

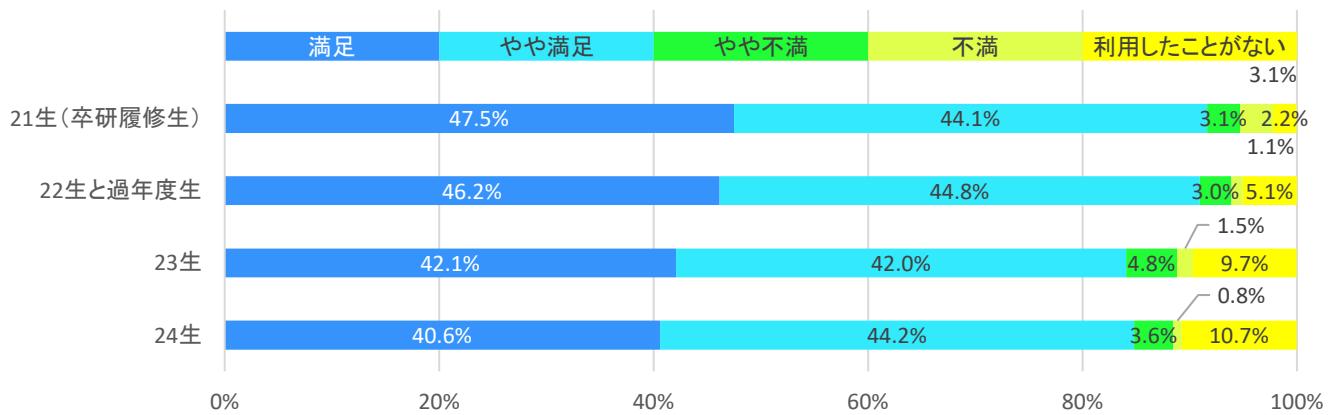
「学生食堂を充実してほしい」、「Wi-Fi、トイレ、更衣室等の整備、生活面でのインフラを充実してほしい」が上位2項目となっている。

全体を通じての意見・要望(自由記述)も含めて検討したい。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について満足していますか。
設問No.	7	8	—	



<本学の各学年の平均>



【学生室】

満足度が87.3%と高い

職員の窓口対応の満足度について、「満足」「やや満足」を合計した「満足群」で見ると、全体で87.3%と高い結果を維持している。引き続き、丁寧な対応を心掛けたい。

【教務室】

学生からの満足は得られている

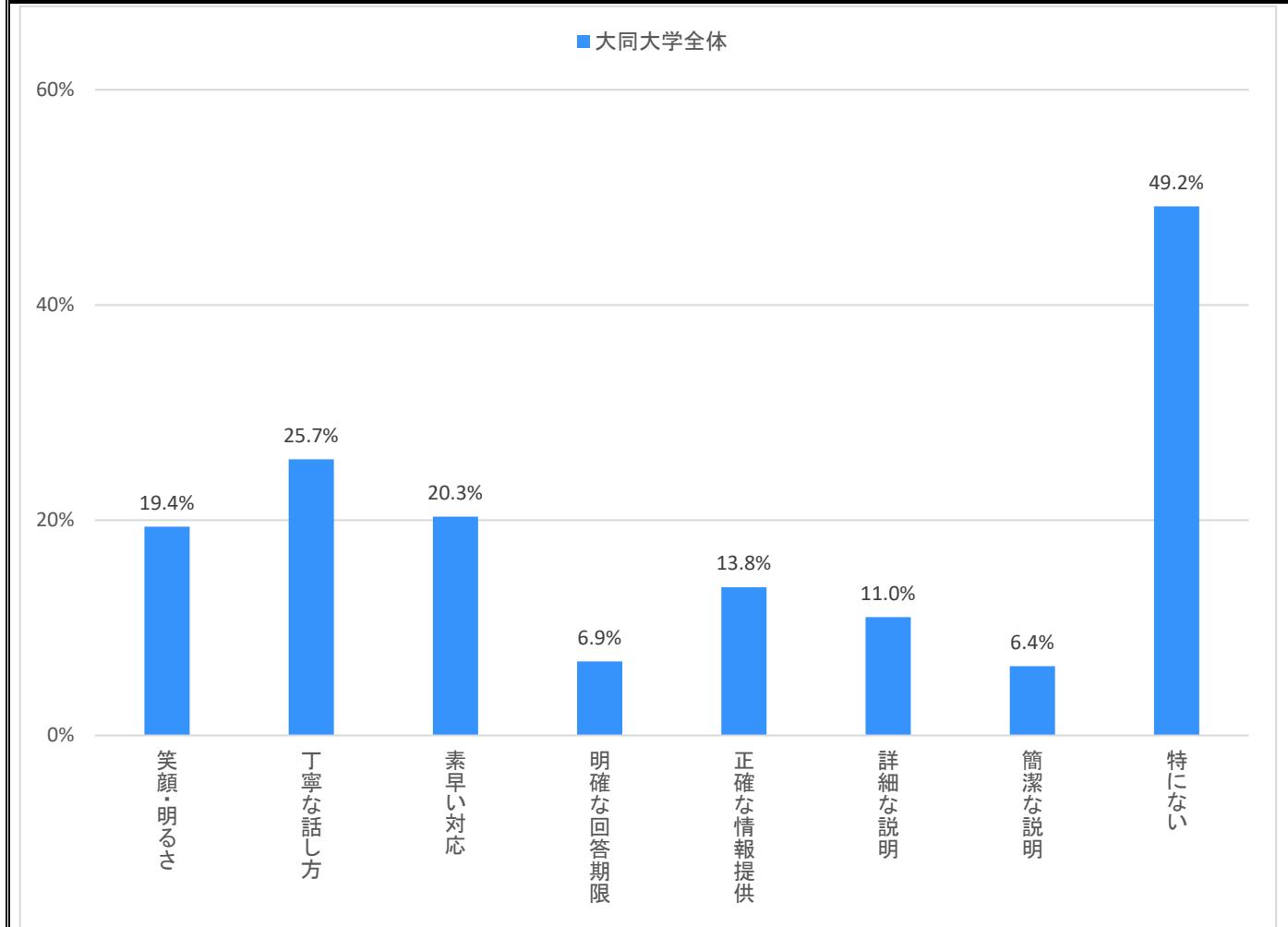
大学全体で87%の学生が満足回答をしている。本学の窓口は機能していると思われる。今後も引き続き次の設問「窓口対応の課題」を踏まえ、利用者の100%満足を目指し学生対応を継続していく。

【キャリア支援室】

引き続き満足度の向上策を検討する

満足、やや満足の合計が約9割を超えており、大きな問題はないと思われる。しかしながら、「満足」と「やや満足」を足した割合が、1%程度下がっていること、不満を持つ学生もいることから、改善は継続して進める必要はあると思われる。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	職員の窓口対応(学生室・教務室・キャリア支援室など)について、改善してほしい点を選択してください。
設問No.	8	9	—	



【学生室】

「丁寧な話し方」「素早い対応」「笑顔・明るさ」が求められている

一期一会の気持ちを持って、引き続き、丁寧な対応を心掛けたい。

さらに窓口でも人材の養成に寄与したい。

【教務室】

学生が利用しやすい環境

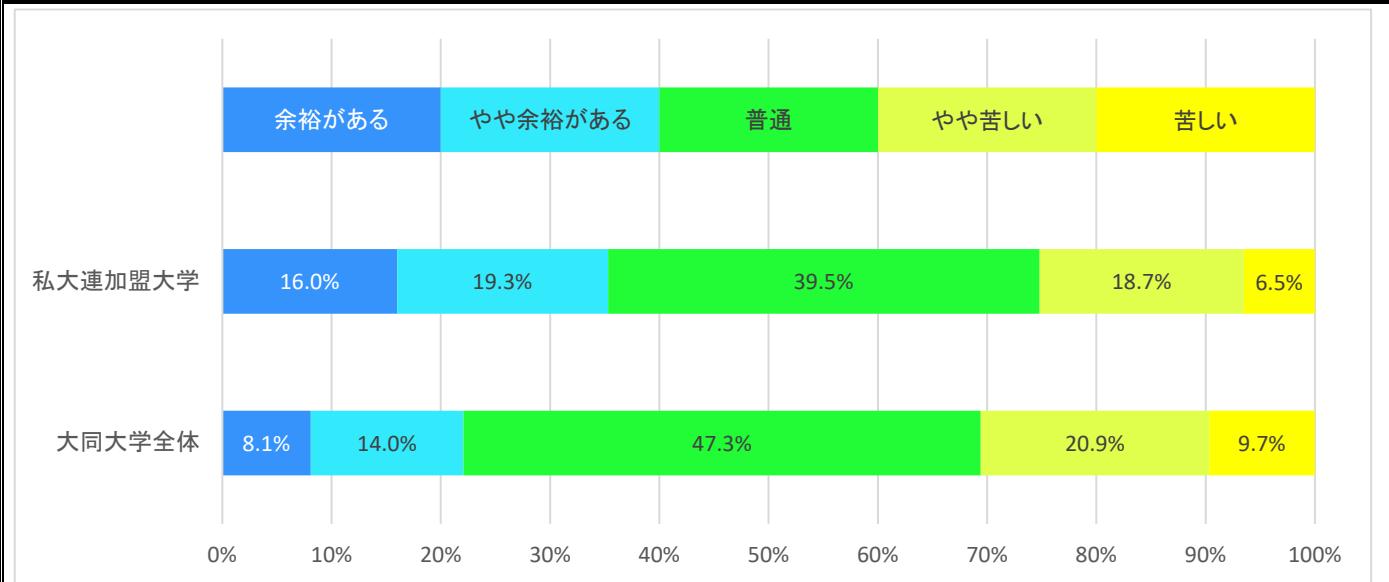
「笑顔・明るさ」「丁寧な話し方」「素早い対応」の3点への改善要望が高い。どの項目も窓口業務の必須事項である。各項目は、教務室として今一度、これらのことを行なうことを心がけ学生が利用しやすい環境を提供していきたい。

【キャリア支援室】

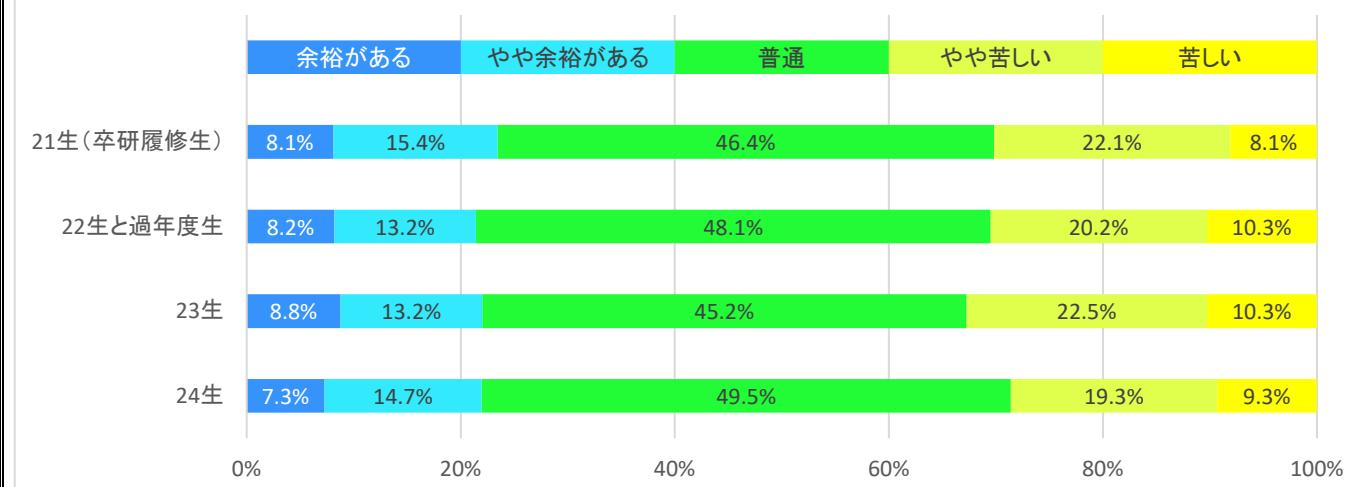
現状を把握し、対応策を検討する

昨年度対比で、各項目ともに数ポイント数値がアップしている。昨年度までは、改善傾向にあったが、逆転している。今後の動向に注視する必要があると思われる。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	あなたは自分の経済状況についてどのように感じていますか。
設問No.	9	10	—	



<本学の各学年の平均>

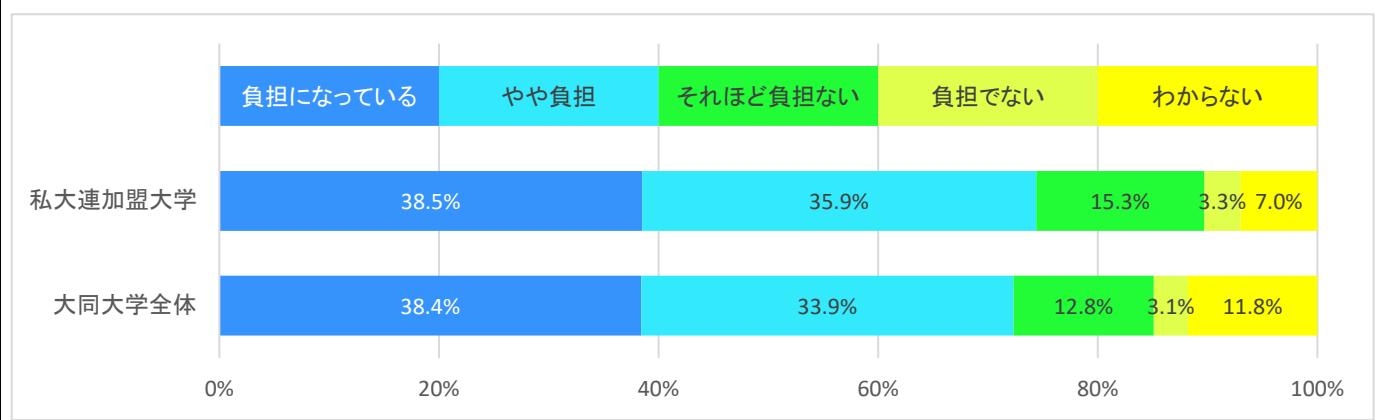


【学生室】

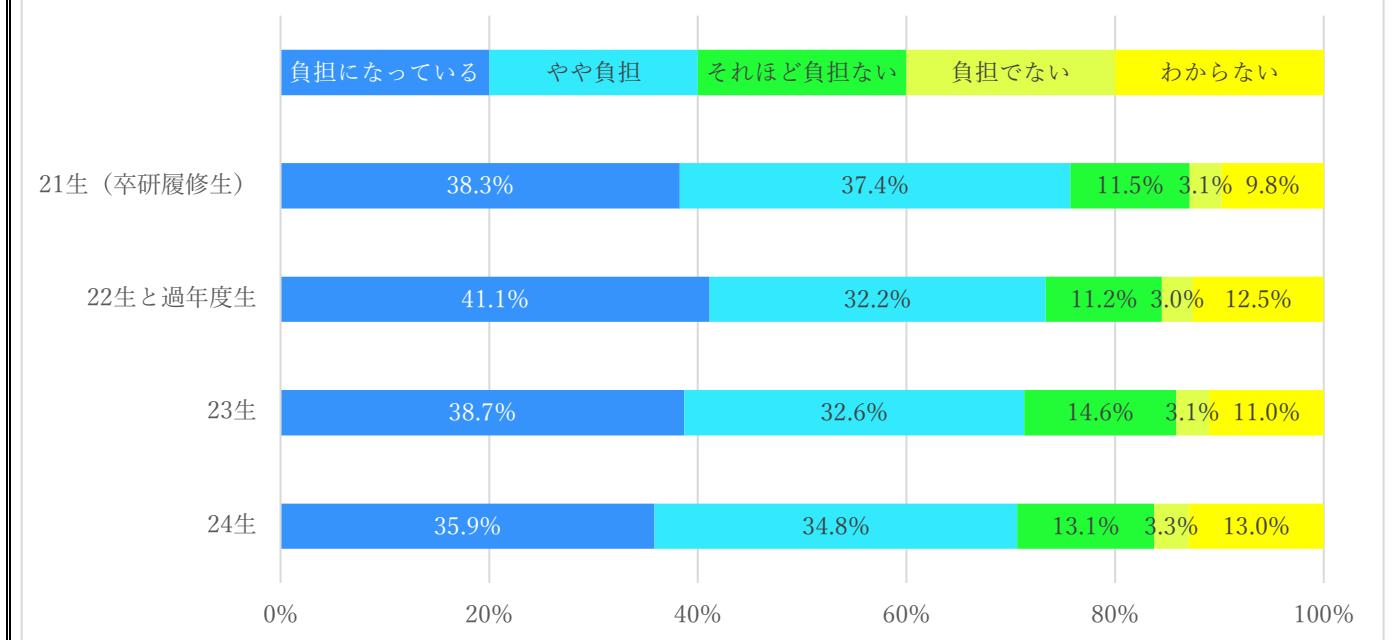
経済状況が「やや苦しい」「苦しい」と回答した学生が全国平均より高い

本学全体では、「やや苦しい」「苦しい」と回答した合計で見ると 30.6%で、全国平均の 25.2%と比較すると高い結果となった。奨学金制度の周知について引き続き注力する。

区分	21生	過年度、22生、23生、24生	25生	あなたの家の家計にとって、学費は負担になっていると思いますか。
設問No.	10	11	—	



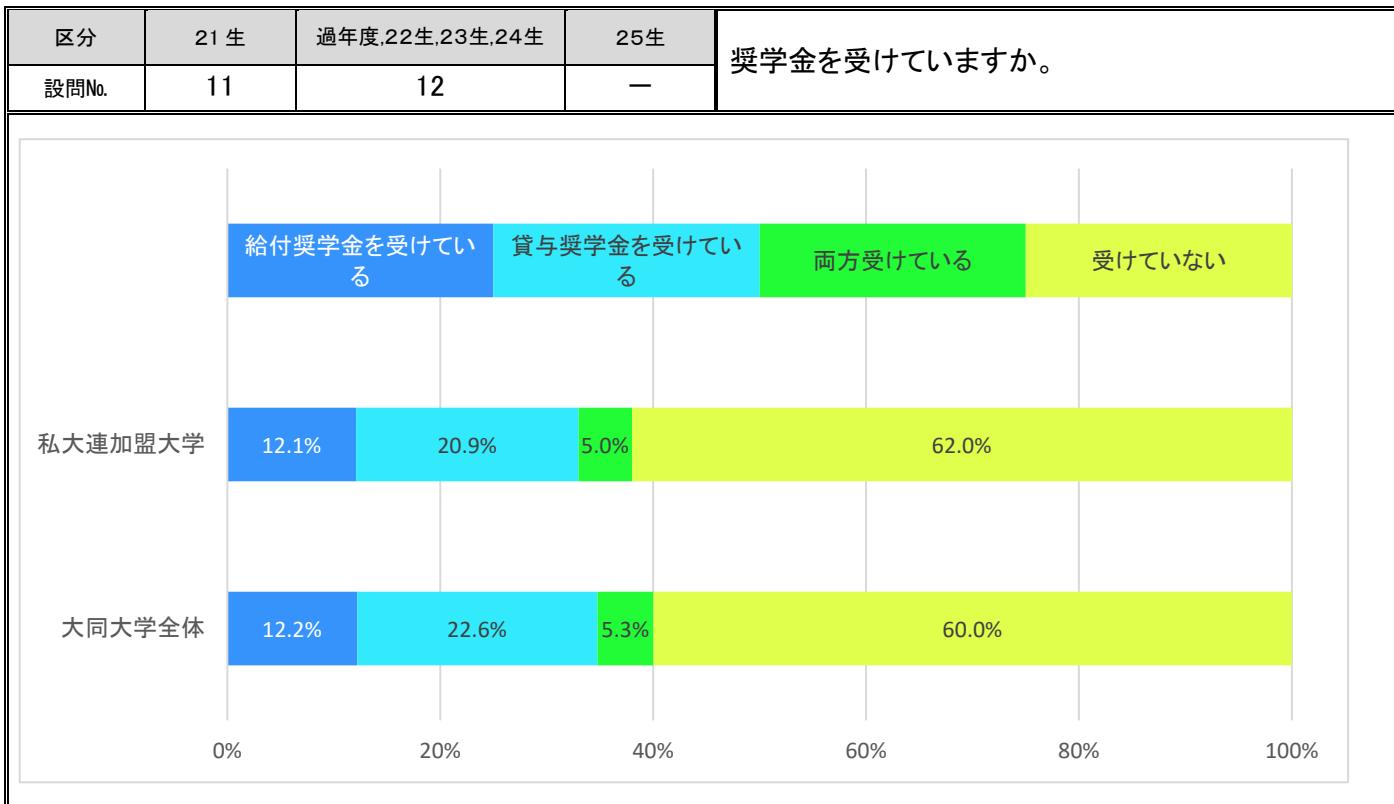
<本学の各学年の平均>



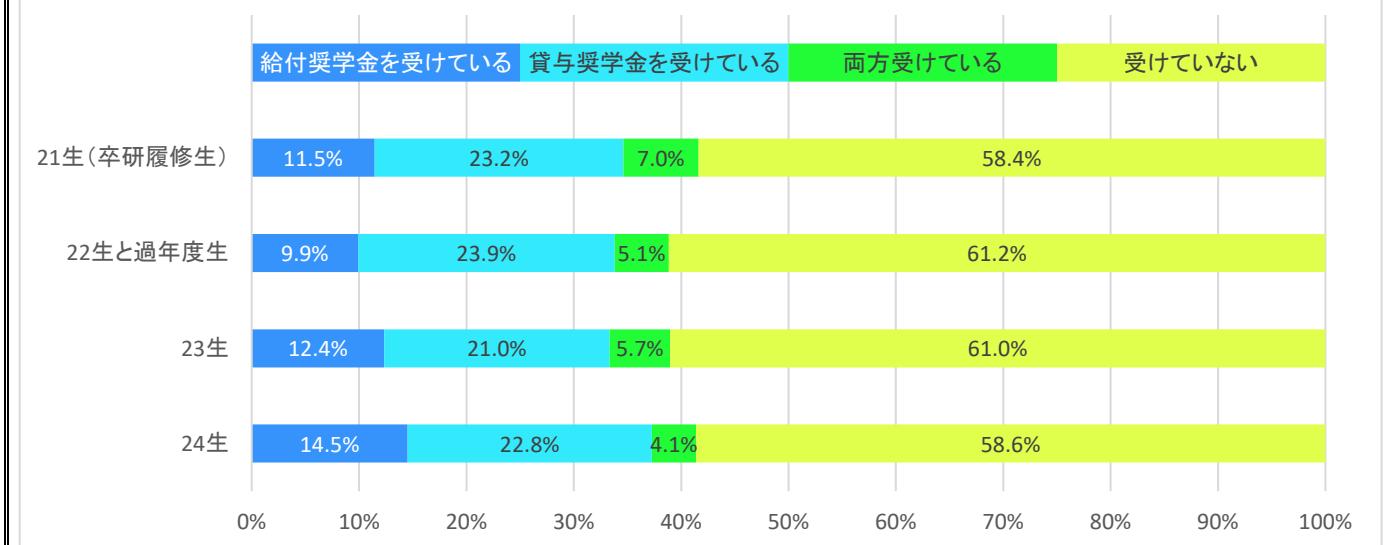
【学生室】

学費が家計の負担になっていると感じる学生は全国平均とほぼ同等

本学全体では、「負担になっている」「やや負担」と回答した合計で見ると 72.3%で、全国平均の 74.4%とほぼ同等の結果となった。奨学金制度の周知について引き続き注力する。



＜本学の各学年の平均＞

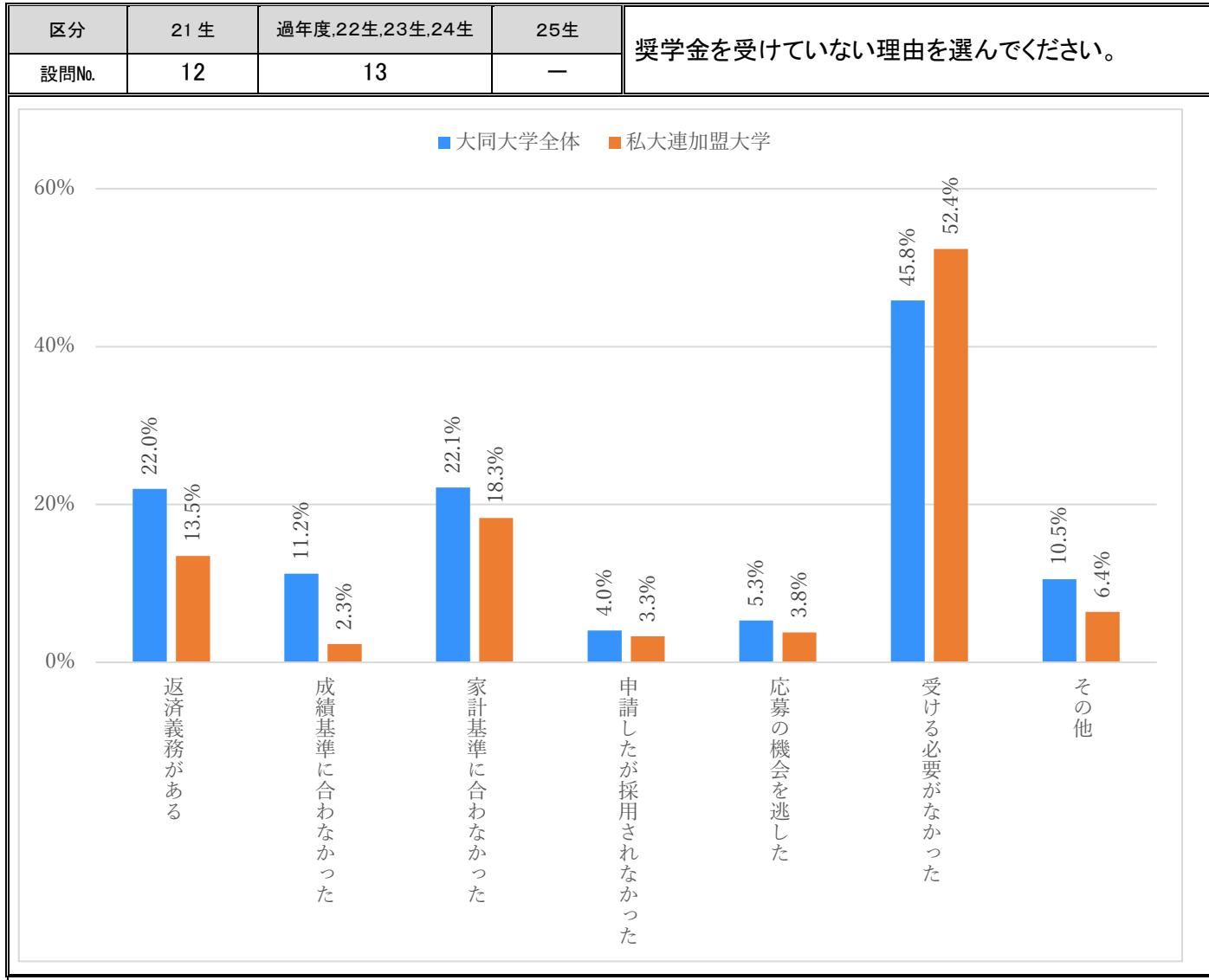


【学生室】

昨年度の調査結果より奨学金を受けている学生の割合が上がっている

奨学金を「受けている」と回答した学生の割合は40.1%で、昨年度より2.9ポイント高い結果となっている。

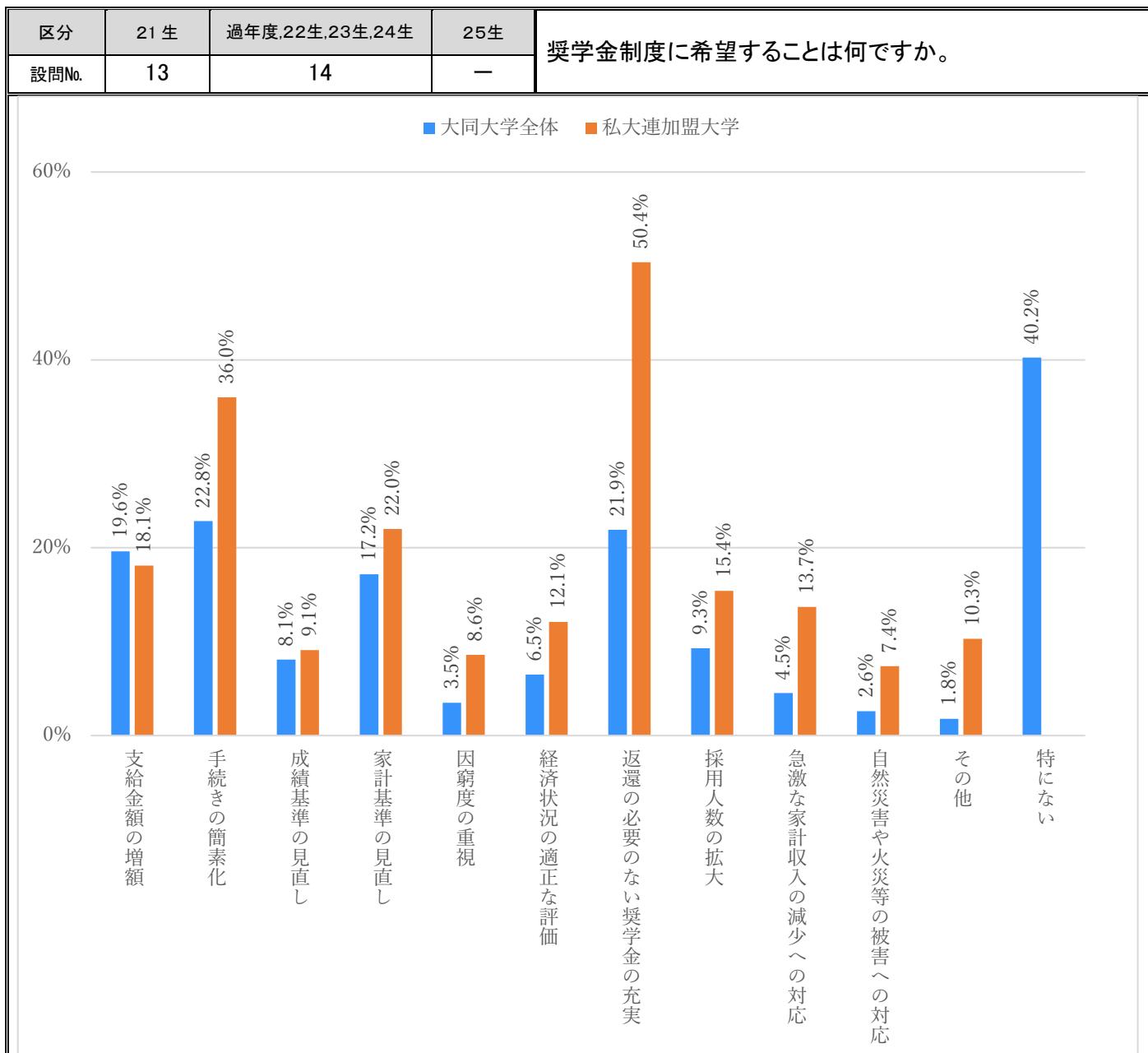
奨学金を受けたいが「制度を知らず受けられなかった」という学生を0にするため、制度の周知について引き続き注力する。



【学生室】

「応募の機会を逃した」学生の割合を減らしたい

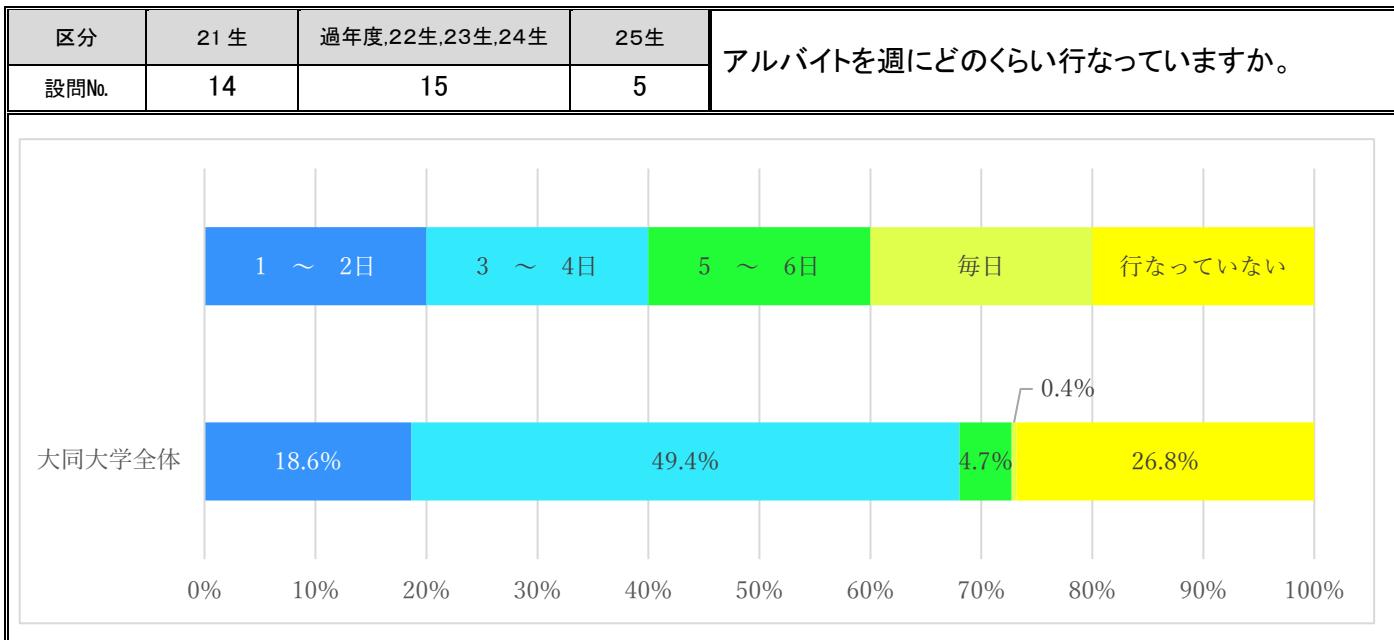
「応募の機会を逃した」と回答した学生の割合は、昨年度と比べて数ポイント改善している。引き続き積極的に案内してさらに改善を目指す。



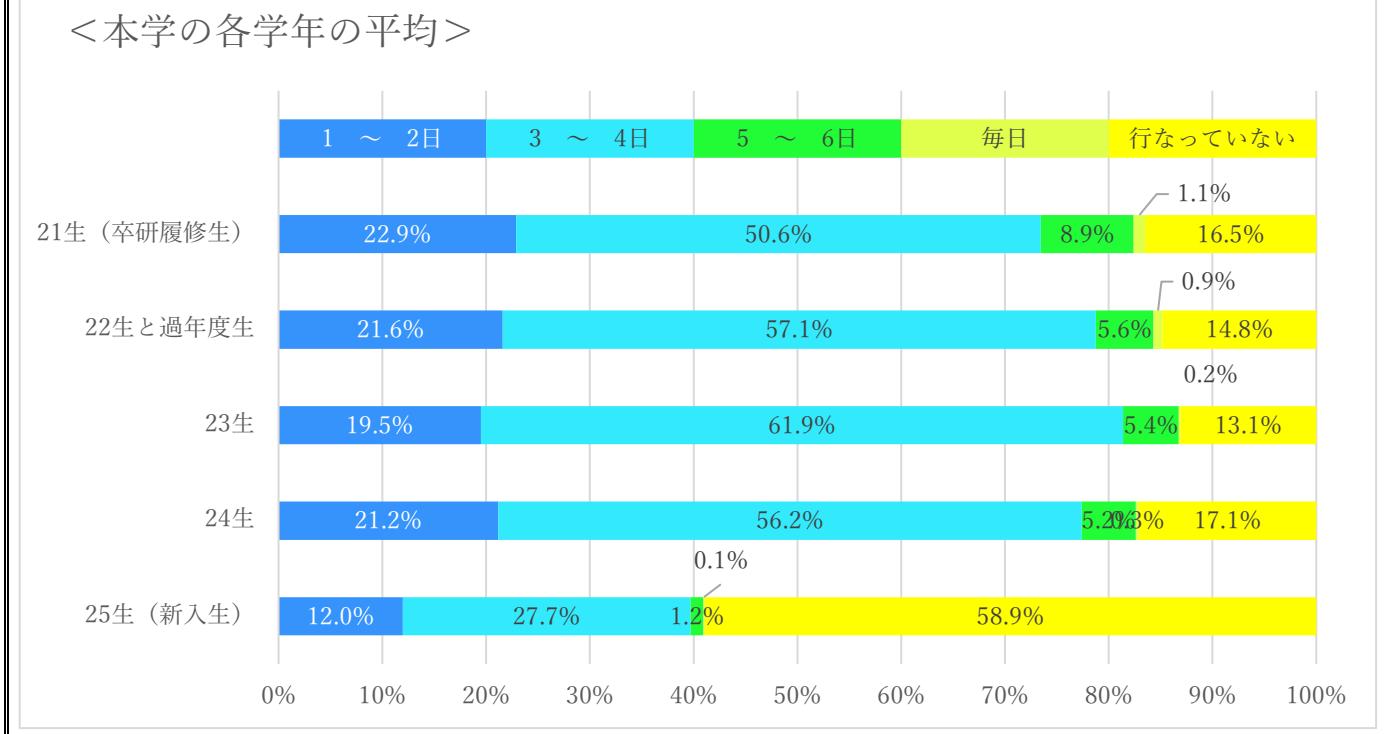
【学生室】

「手続きの簡素化」、「返還の必要のない奨学金の充実」への希望が高い

「手続きの簡素化」への対応は難しいが、「返還の必要のない奨学金の充実」は検討を進めている。



<本学の各学年の平均>

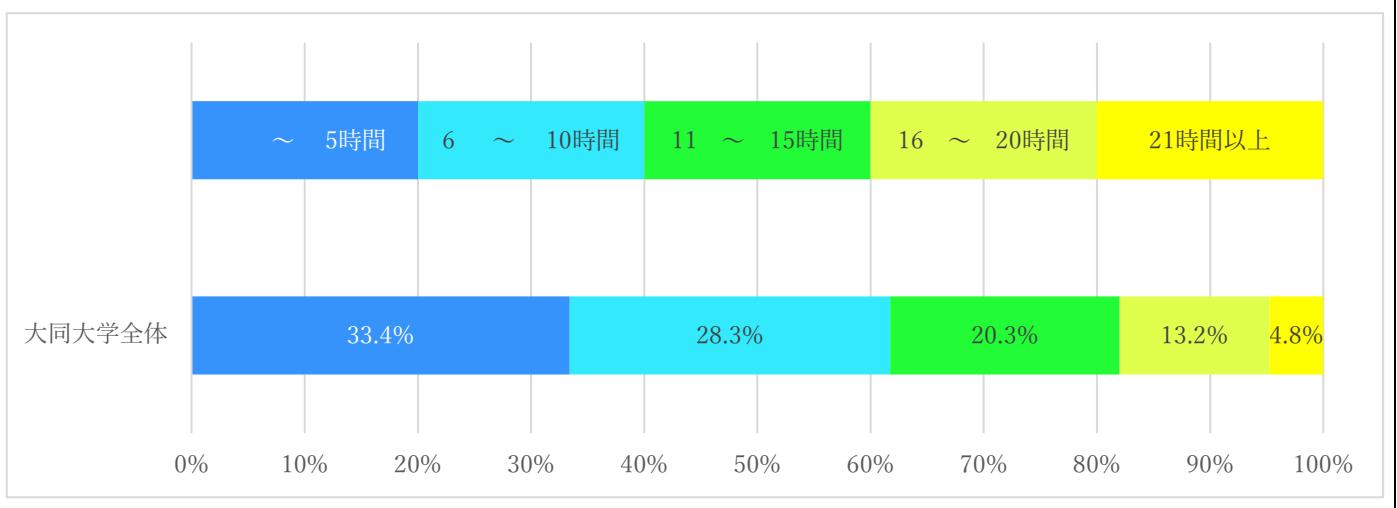


【学生室】

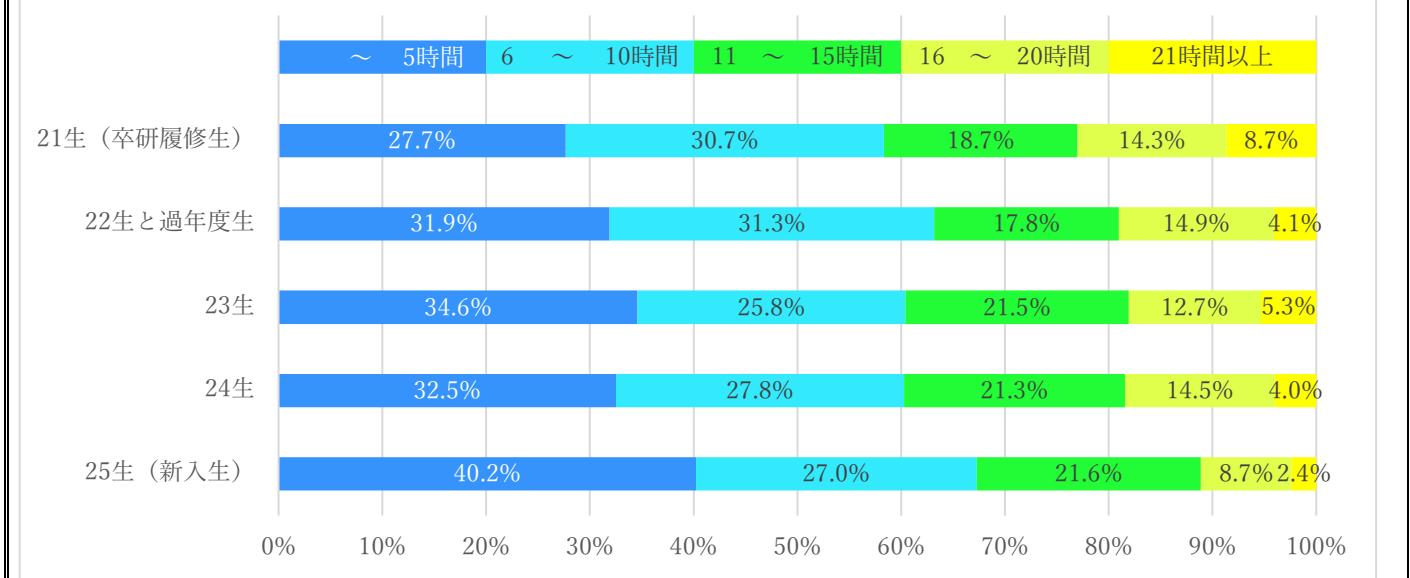
「3~4日」と回答した学生が最多い

回答の傾向は昨年度と変わっていない。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	1週間のアルバイト時間を選択してください。
設問No.	15	16	6	



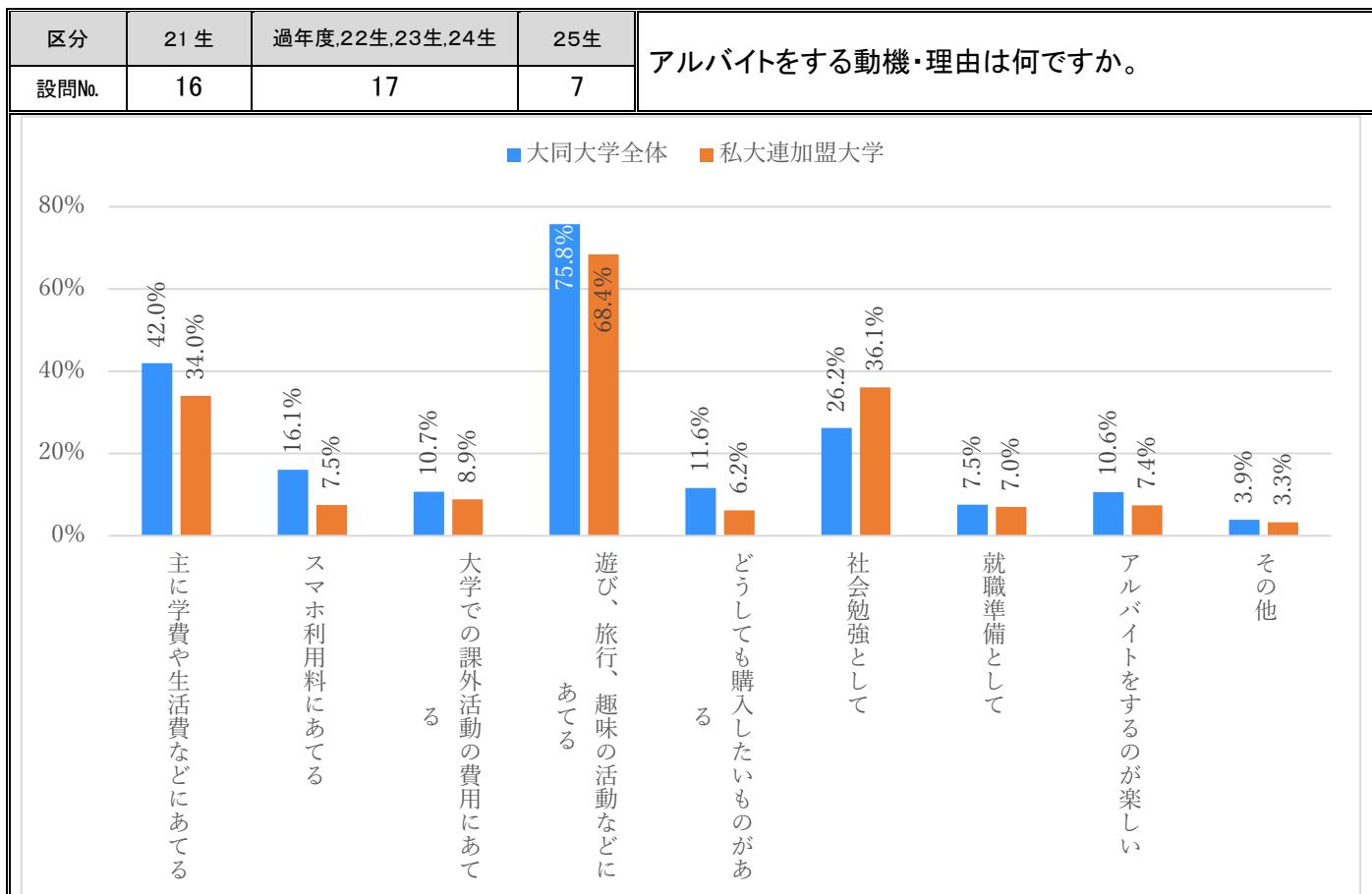
<本学の各学年の平均>



【学生室】

「~5 時間」と回答した学生が最も多い

回答の傾向は昨年度と変わっていない。

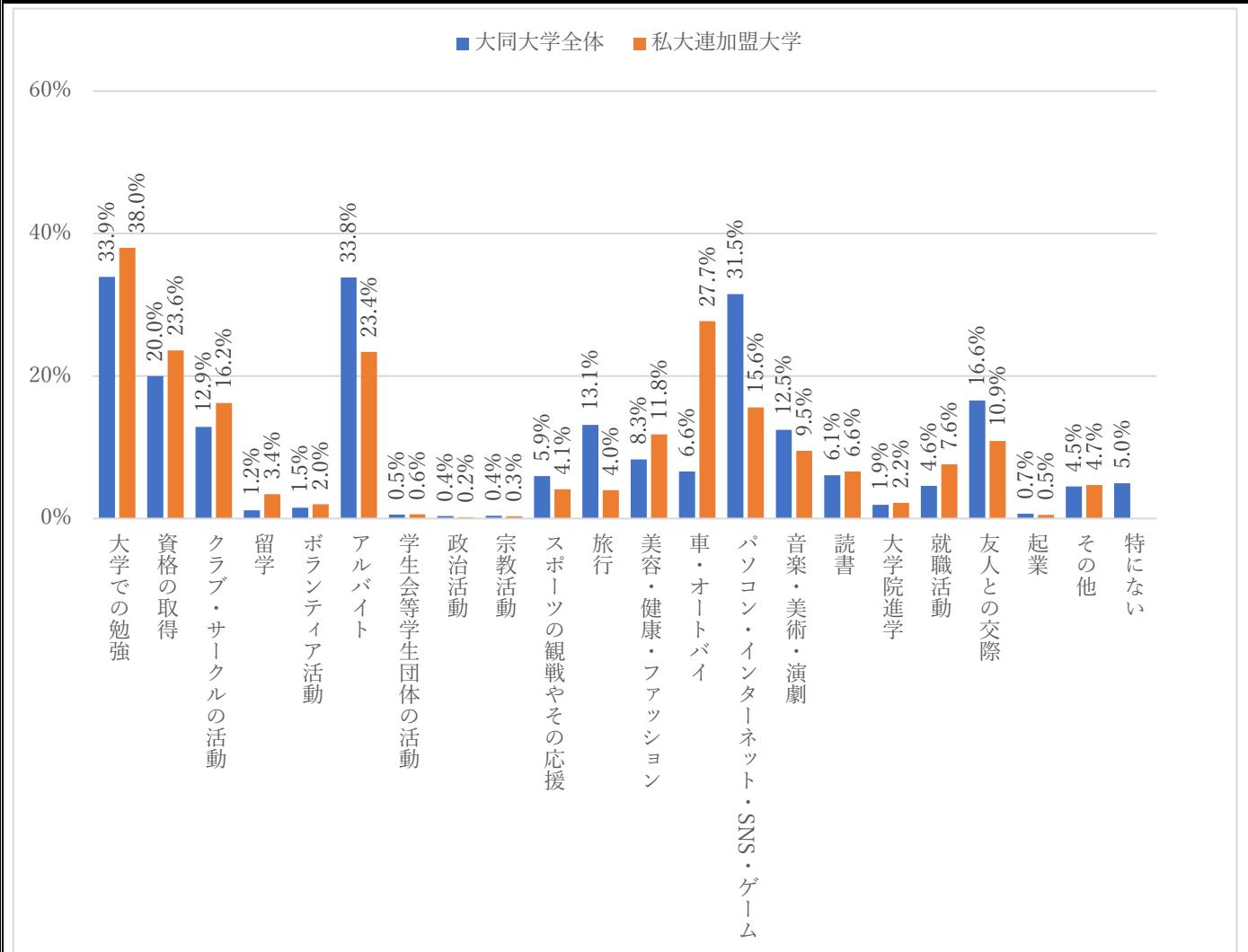


【学生室】

「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」と回答した学生が圧倒的に多い

本学では、「遊び、旅行、趣味の活動などにあてる」と回答した学生の割合が最も高く 75.8%、次いで「主に学費や生活費などにあてる」が高く 42.0% であった。回答の傾向は昨年度と変わっていない。

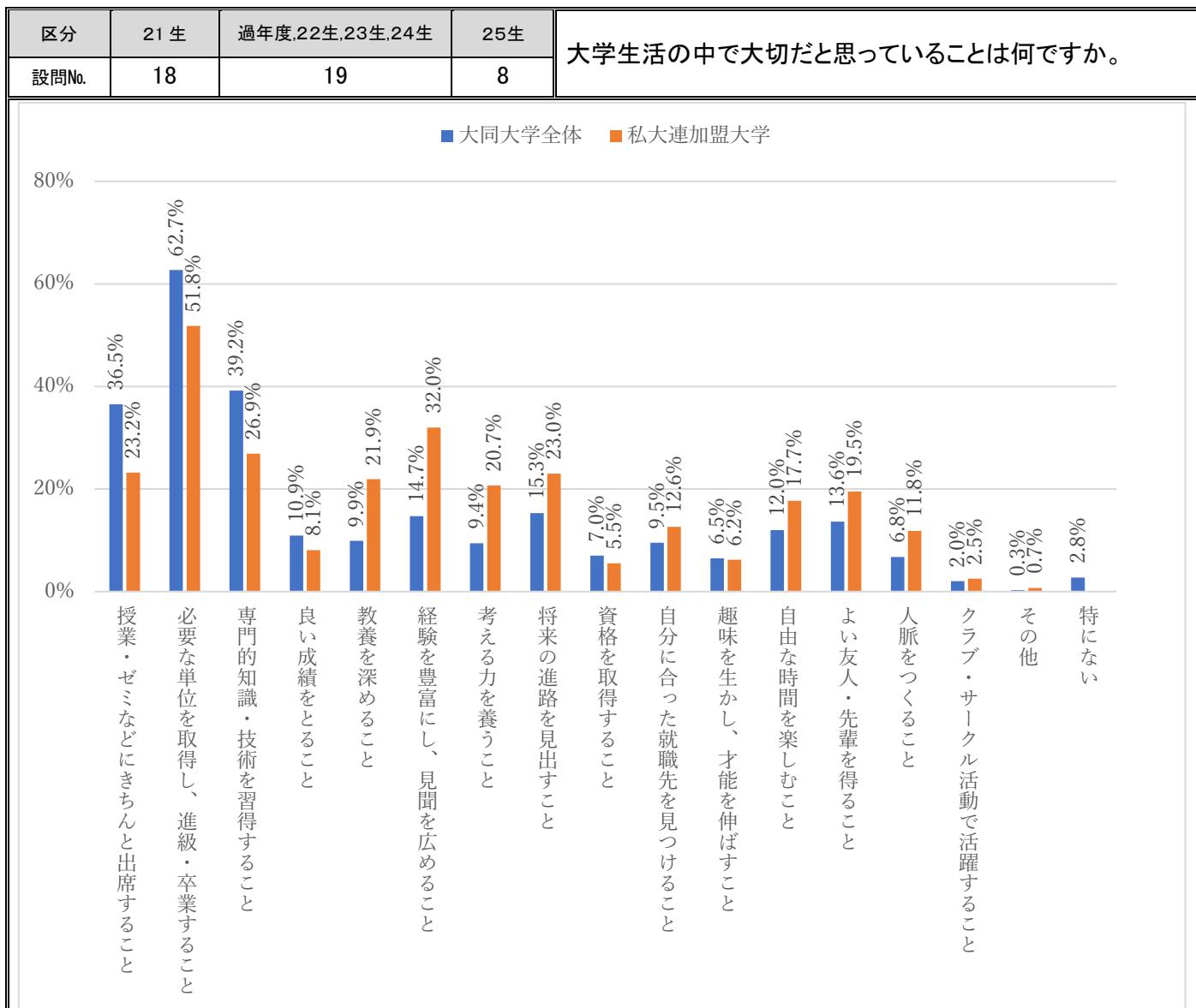
区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	現在、あなたが興味や関心を持って熱心に取り組んでいることは次のどれですか。
設問No.	17	18	—	



【学生室】

「大学での勉強」と回答した学生が最も多い

「大学での勉強」と回答した学生の割合が昨年度よりも 4.1 ポイント上がって、最も高くなかった。本学学生の真面目さがうかがえる嬉しい結果となった。

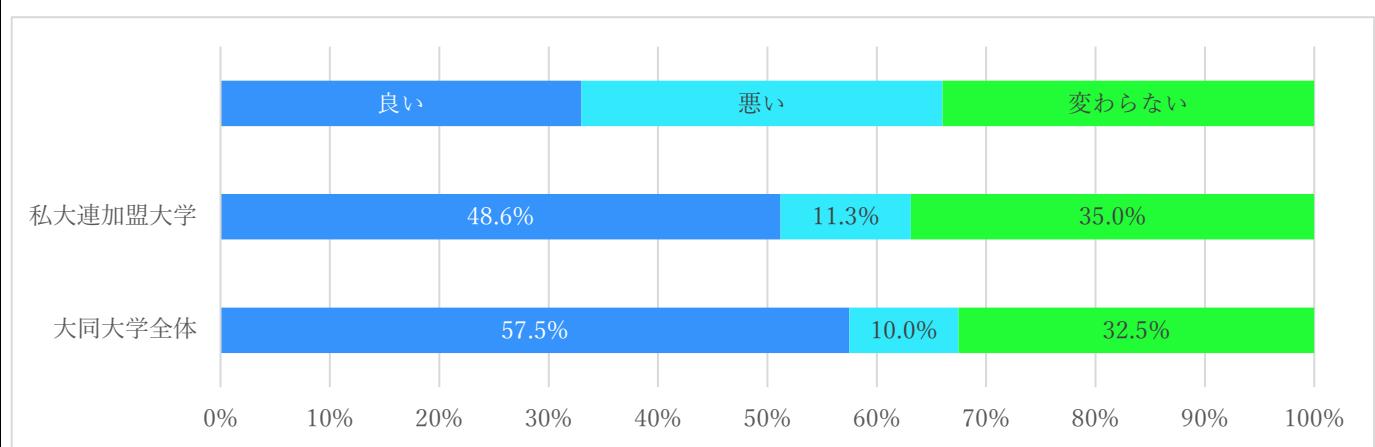


【学生室】

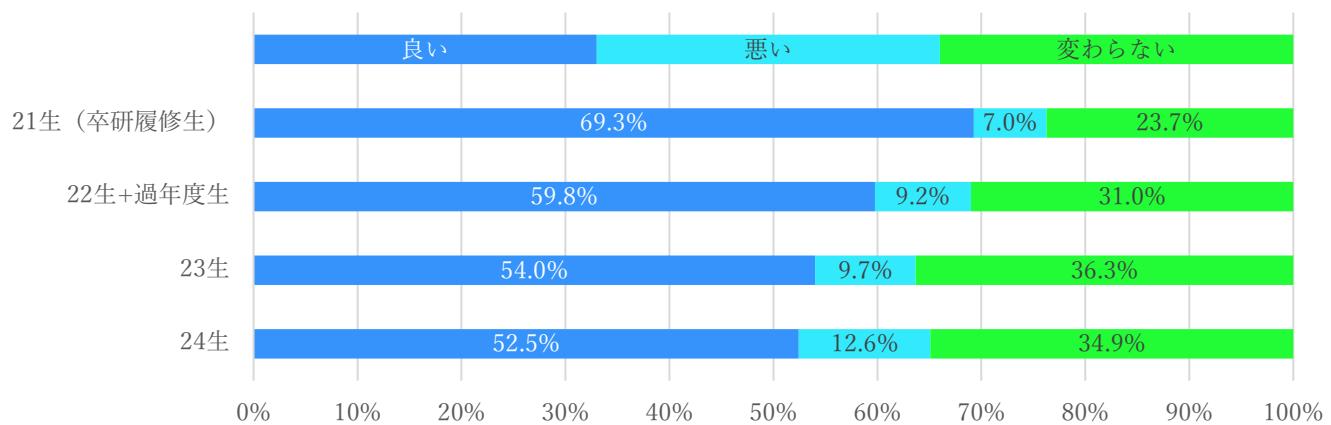
「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」と回答した学生が最も多い

「必要な単位を取得し、進級・卒業すること」と回答した学生の割合が最も高く、次いで「専門的知識・技術を習得すること」、「授業・ゼミなどにきちんと出席すること」と回答した学生の割合が高い。これらは全て、全国平均を 10 ポイント以上上回った。なお、回答の傾向は昨年度と変わっていない。

区分	21生	過年度、22生、23生、24生	25生	あなたは、大学生になってからの自分の心身の状態をどう感じていますか。
設問No.	19	20	—	



<本学の各学年の平均>



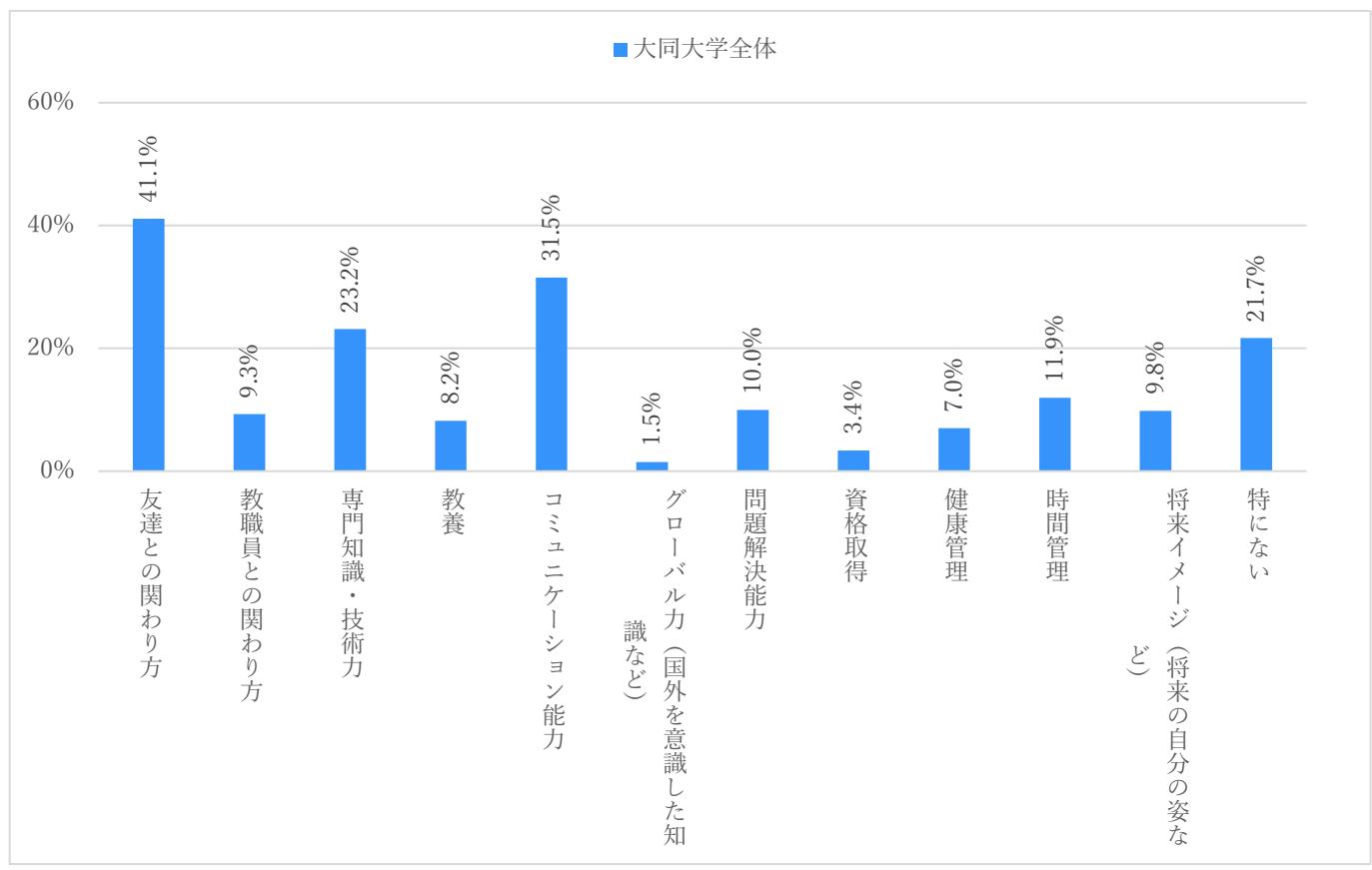
【学生室】

「良い」が昨年度の回答を上回る

「良い」と回答した学生の割合は 57.5% で、昨年度の回答を 3.7 ポイント上回った。

「良い」以外に回答した学生のケアについて引き続き注力する。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	昨年と比べて自信が持てるようになったのは何ですか。
設問No.	20	21	—	か。



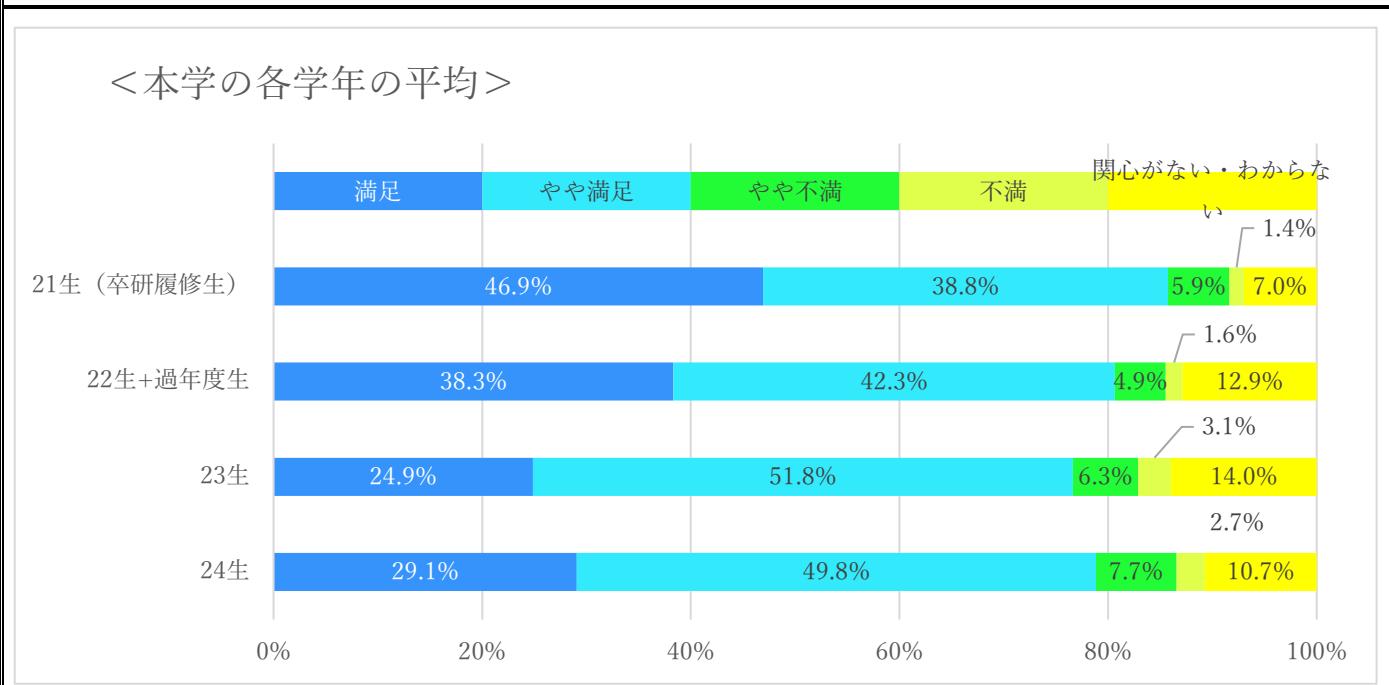
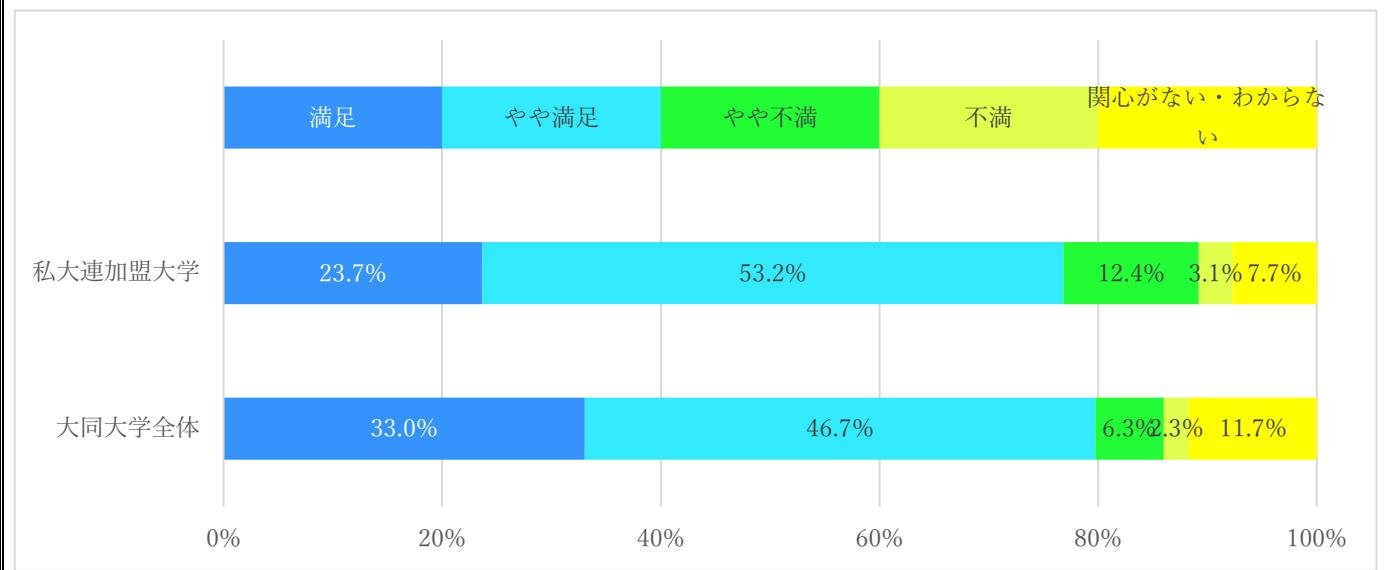
【総務室】

「友達との関わり方」「コミュニケーション能力」が顕著になっている

40%以上が「友達との関わり方」を挙げ、次いで「コミュニケーション能力」が 31.5%となっており、対人関係能力に自信がついている傾向が顕著になっている。

また、「専門知識・技術力」は 23.2%と、専門教育の比率も高い。

区分	21生	過年度、22生、23生、24生	25生	【学科・専攻の教員】に対する満足度を教えてください。
設問No.	21	22	—	

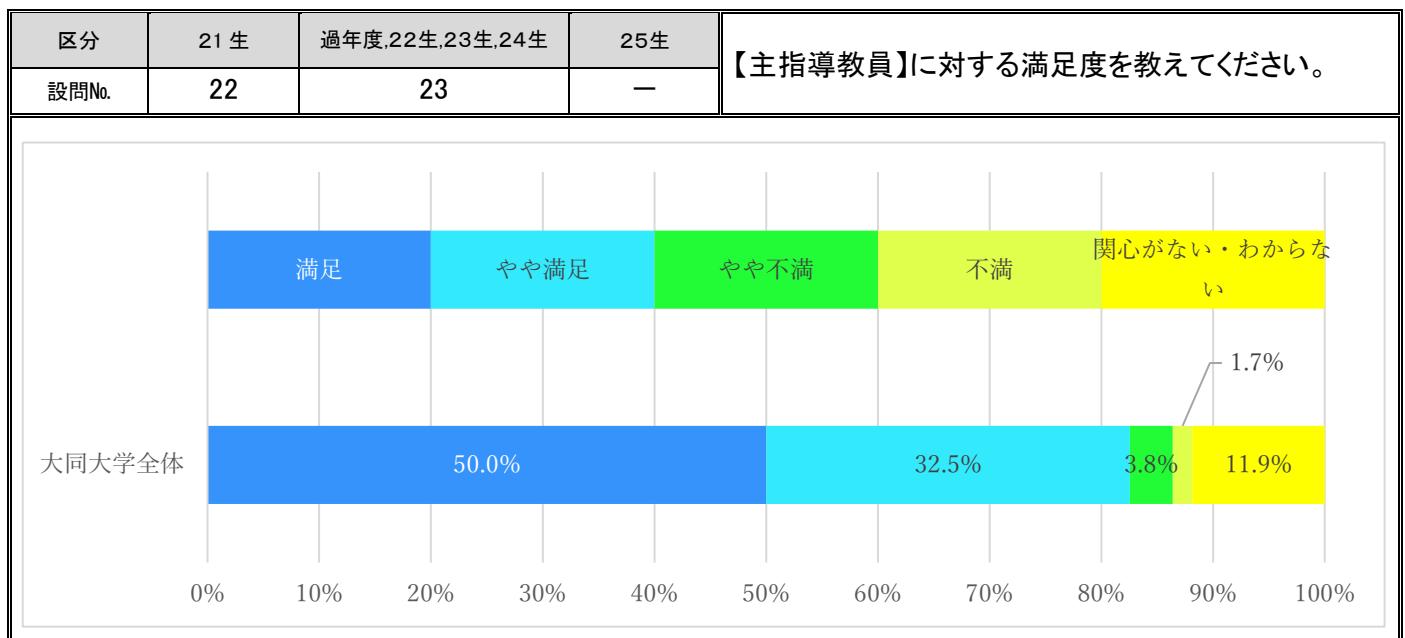


【学生室】

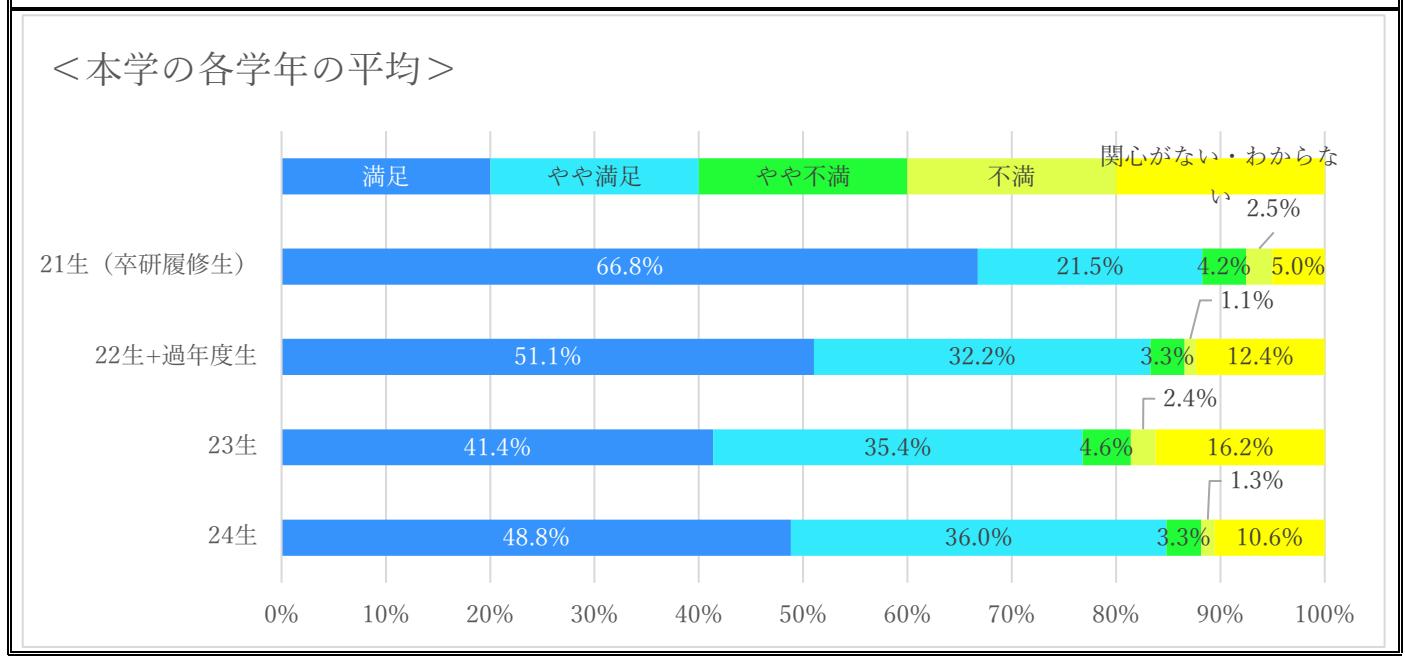
満足度が高い

「満足」「やや満足」を合計した「満足群」で見ると本学全体は79.7%で、全国平均を上回っている。なお、学年別で見ると、21生(卒研履修生)の満足度が最も高く、85.7%である。

4年間の教員とのかかわりを振り返って、「満足」と回答しているに違いない。



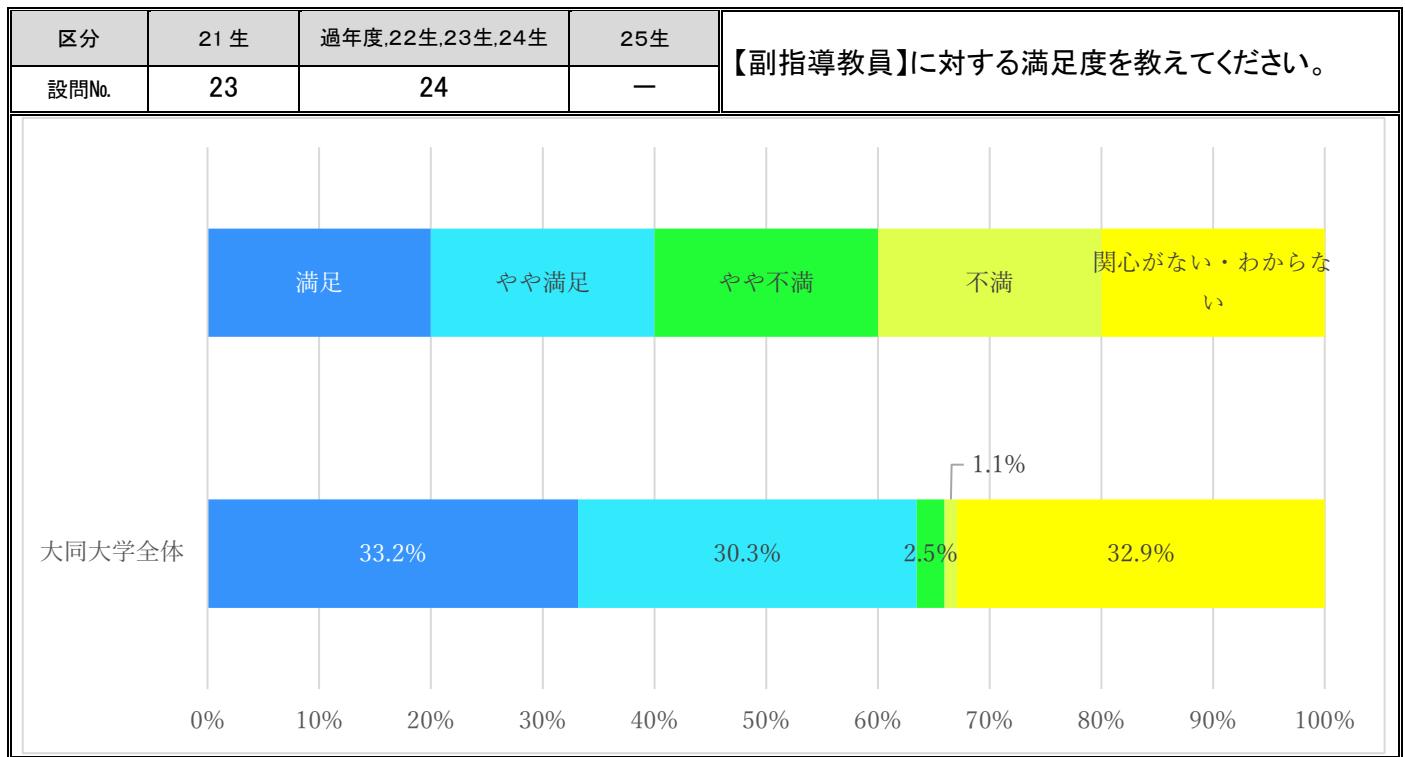
<本学の各学年の平均>



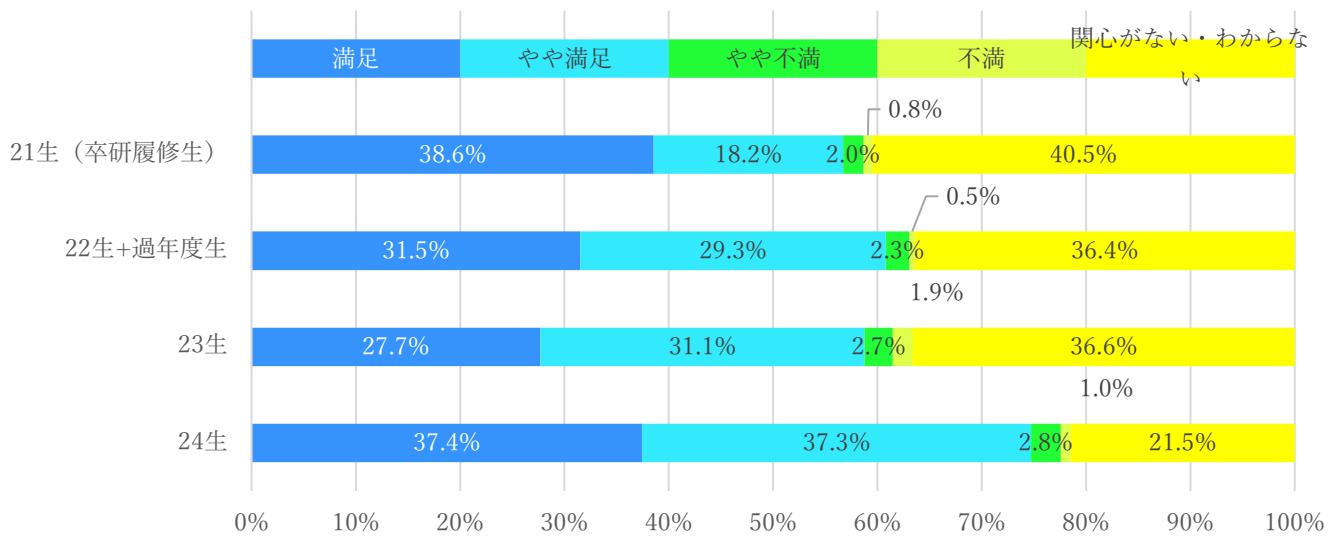
【学生室】

満足度が高い

「満足」「やや満足」を合計した「満足群」で見ると本学全体は 82.5% で、全国平均を上回っている。なお、学年別で見ると、21 生(卒研履修生)が最も高く、88.3% である。卒業研究でのかかわりが密で大きいと考える。



<本学の各学年の平均>

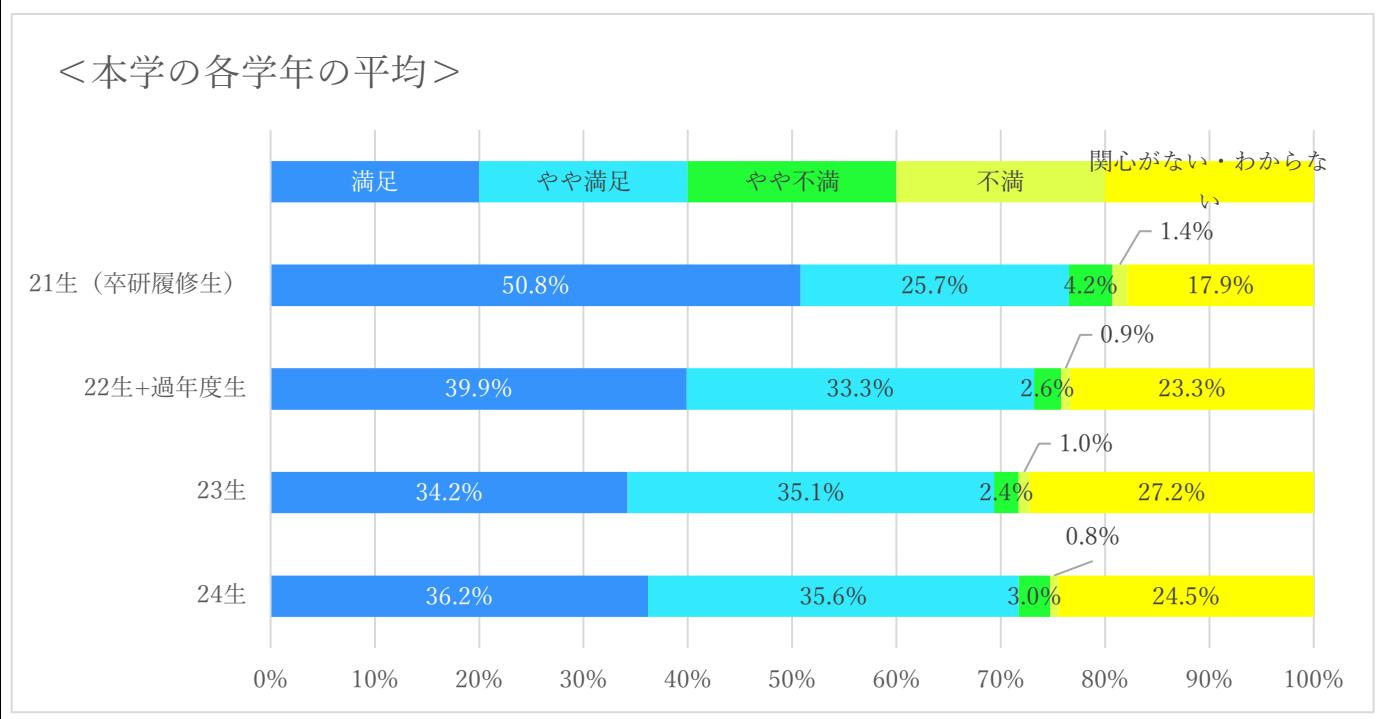
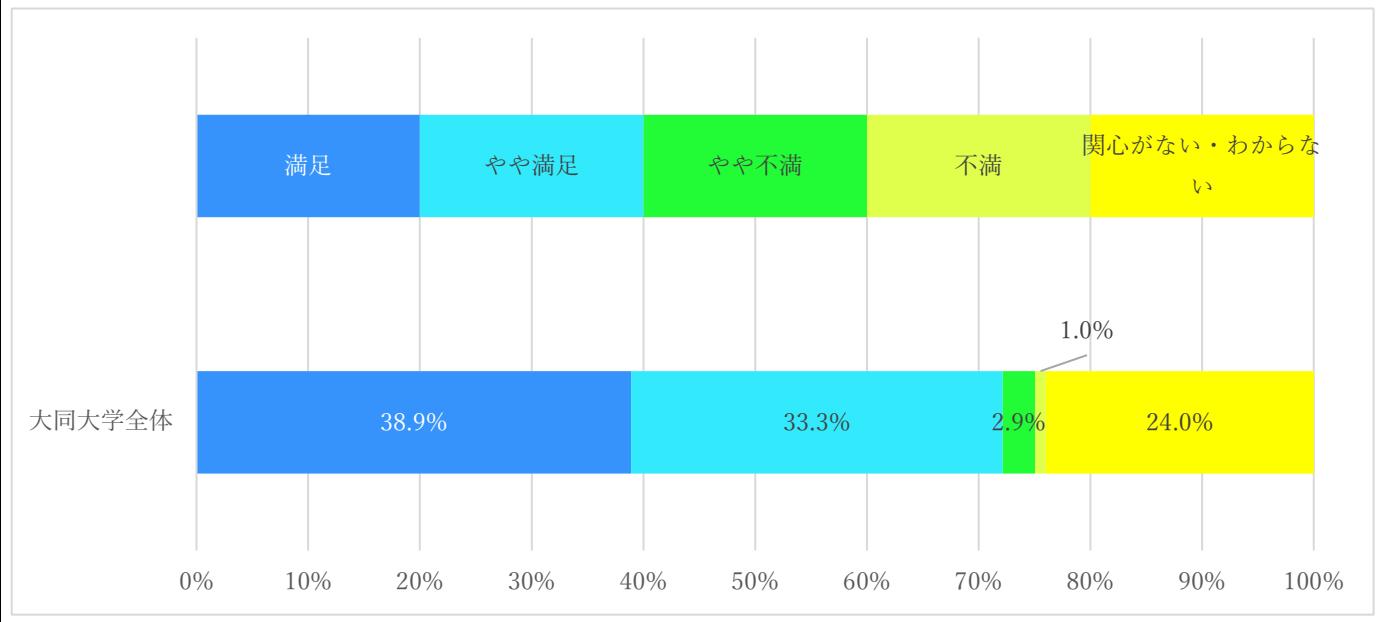


【学生室】

満足度は 24 生が最も高い

「満足」「やや満足」を合計した「満足群」を学年別で見ると、24 生が最も高く、74.7%である。ファースト・イヤー・セミナでのかかわりが大きいと考える。

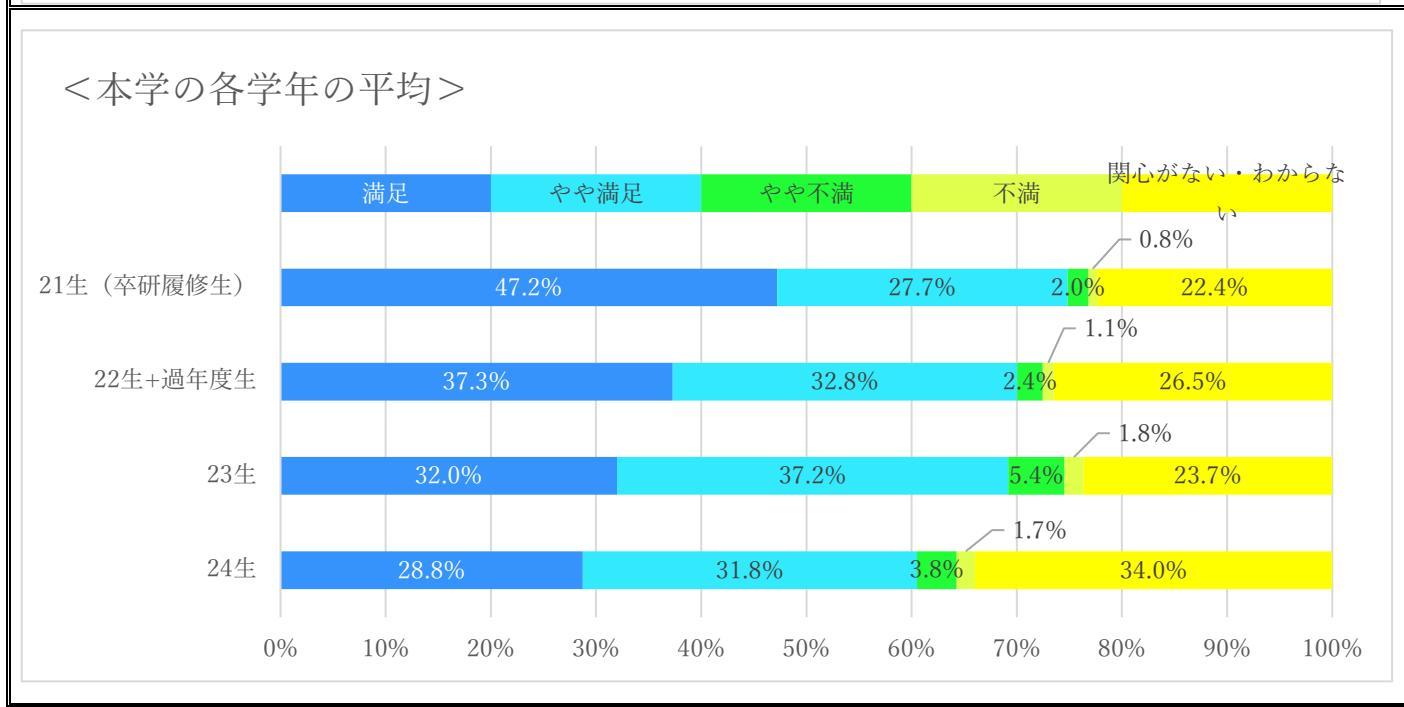
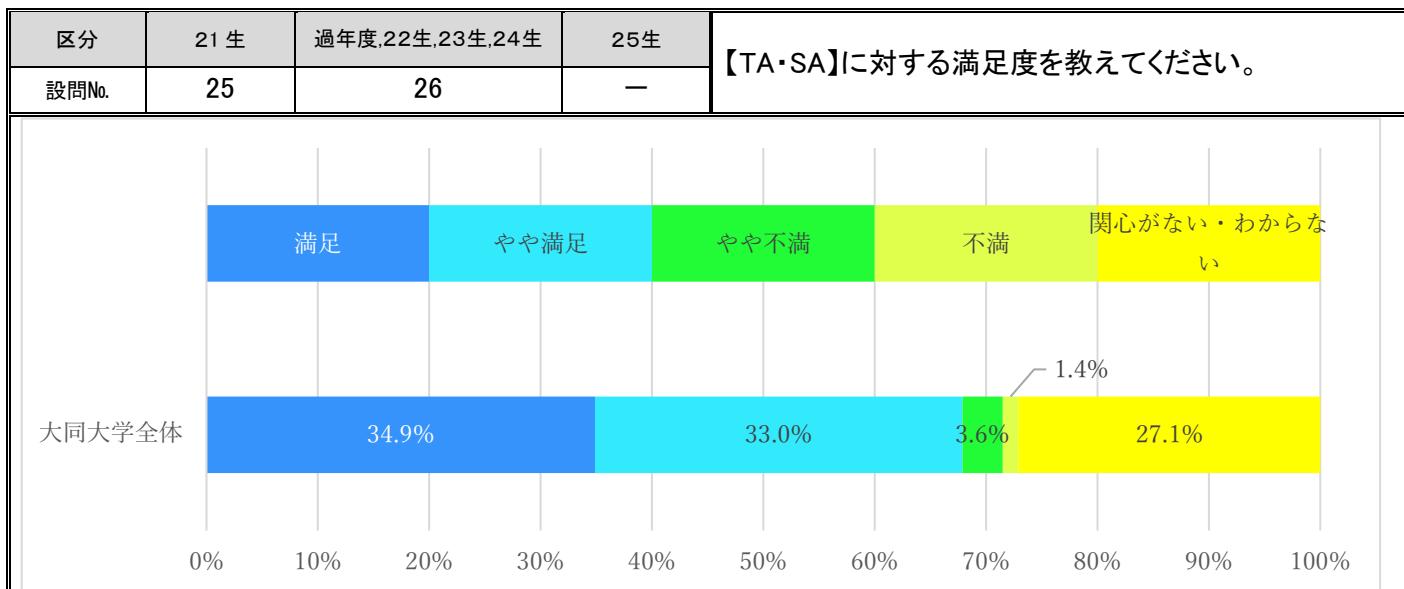
区分	21生	過年度、22生、23生、24生	25生	【技術補助員】に対する満足度を教えてください。
設問No.	24	25	一	



【総務室】

卒業時の満足度が最も高い

技術補助員に対する満足度について、「満足」との回答は、21生以上(卒業時)が50.8%、22生及び過年度生(3年次末)が39.9%、23生(2年次末)が34.2%、24生(1年次末)が36.2%であり、卒業時の満足度が高い結果となつた。

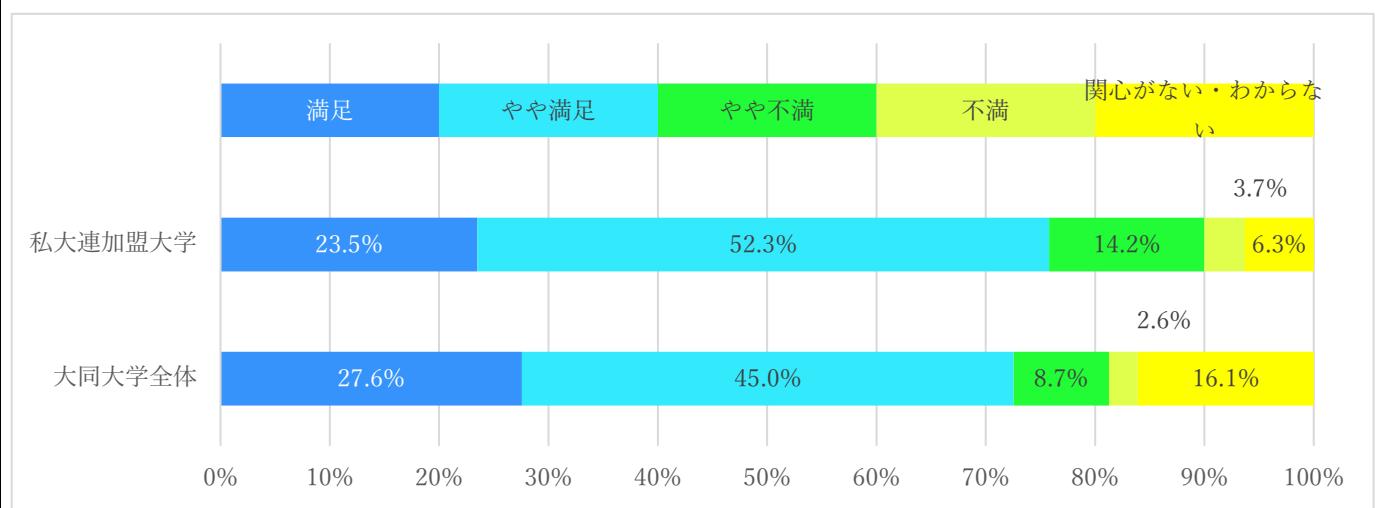


【教務室】

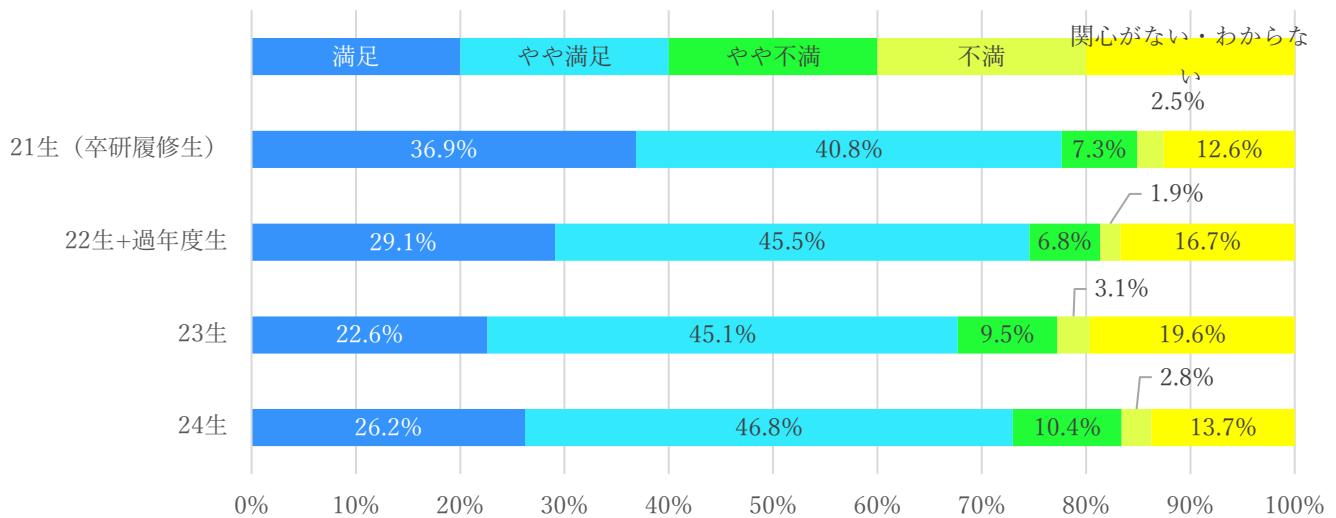
学生は満足している

大学全体で 67% が TA・SA に「満足している」。学年が上がっていくほど認知度があがり、満足度も上がっている。不満回答は 5% であり、本学の TA・SA は十分に機能していると思われる。

区分	21生	過年度、22生、23生、24生	25生	【カリキュラムの構成】に対する満足度を教えてください。
設問No.	26	27	一	



<本学の各学年の平均>

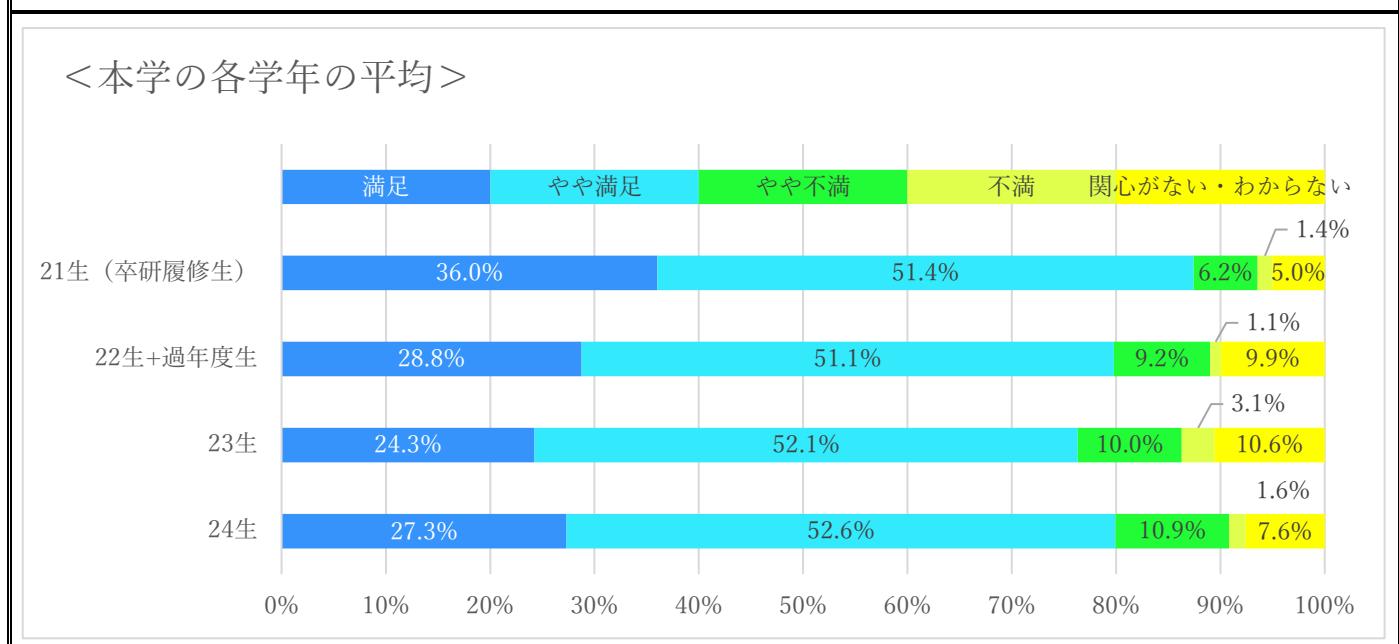
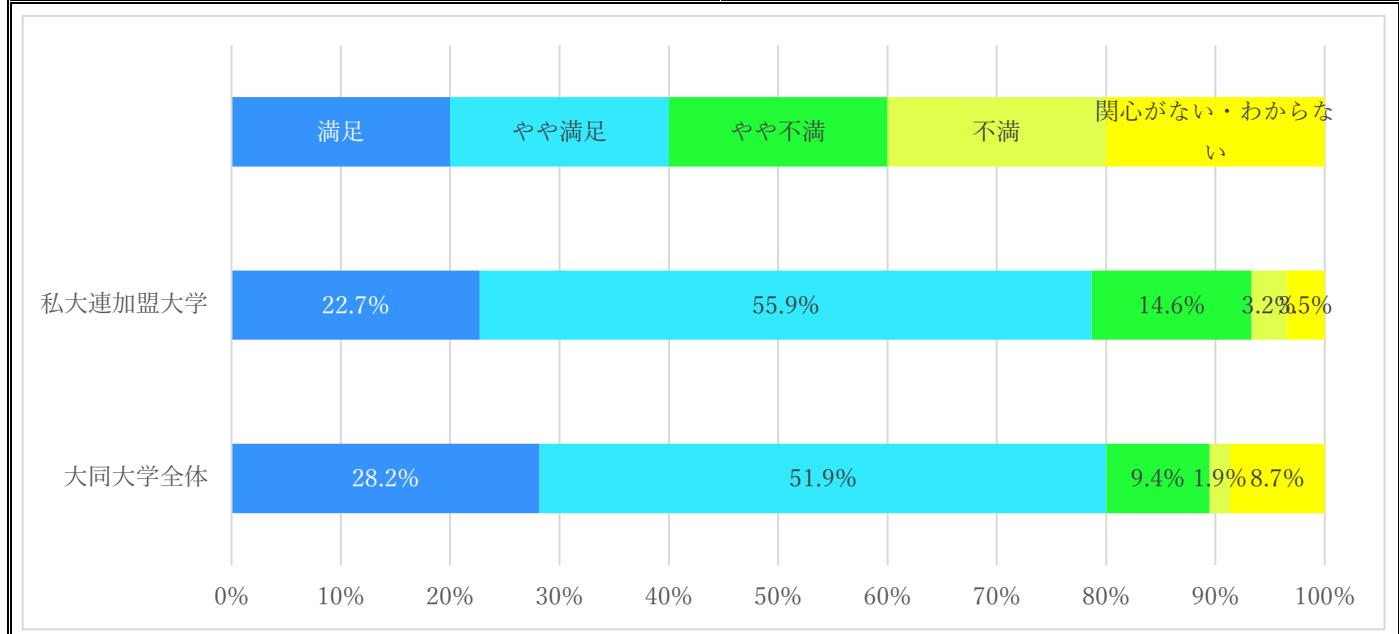


【教務室】

カリキュラムの満足度は高いが、、、

大学全体で満足度合計は72%程度である一方「関心がない・わからない」学生が16%程度占めている。カリキュラムの理解が十分でない学生が私大連加盟大学に比べ多く存在していることがうかがえる。

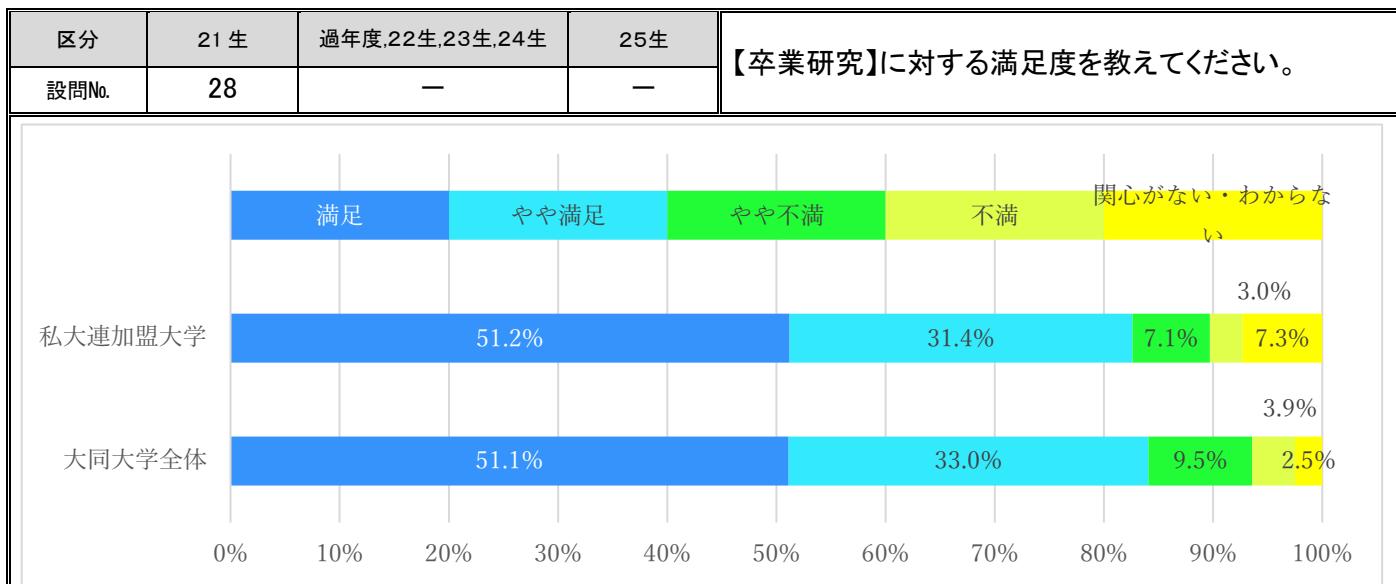
区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	【授業】に対する満足度を教えてください。
設問No.	27	28	一	



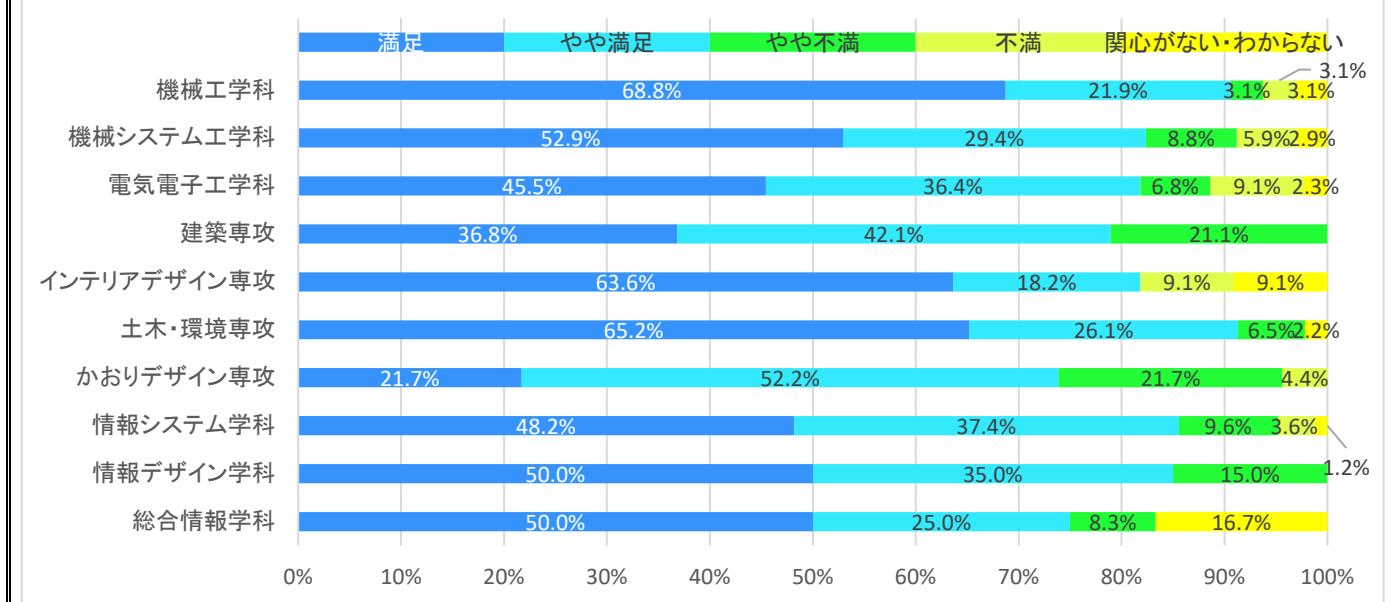
【教務室】

満足している学生が多い

私大連加盟大学と比較してもほぼ遜色はない。80%の学生が満足と回答している。



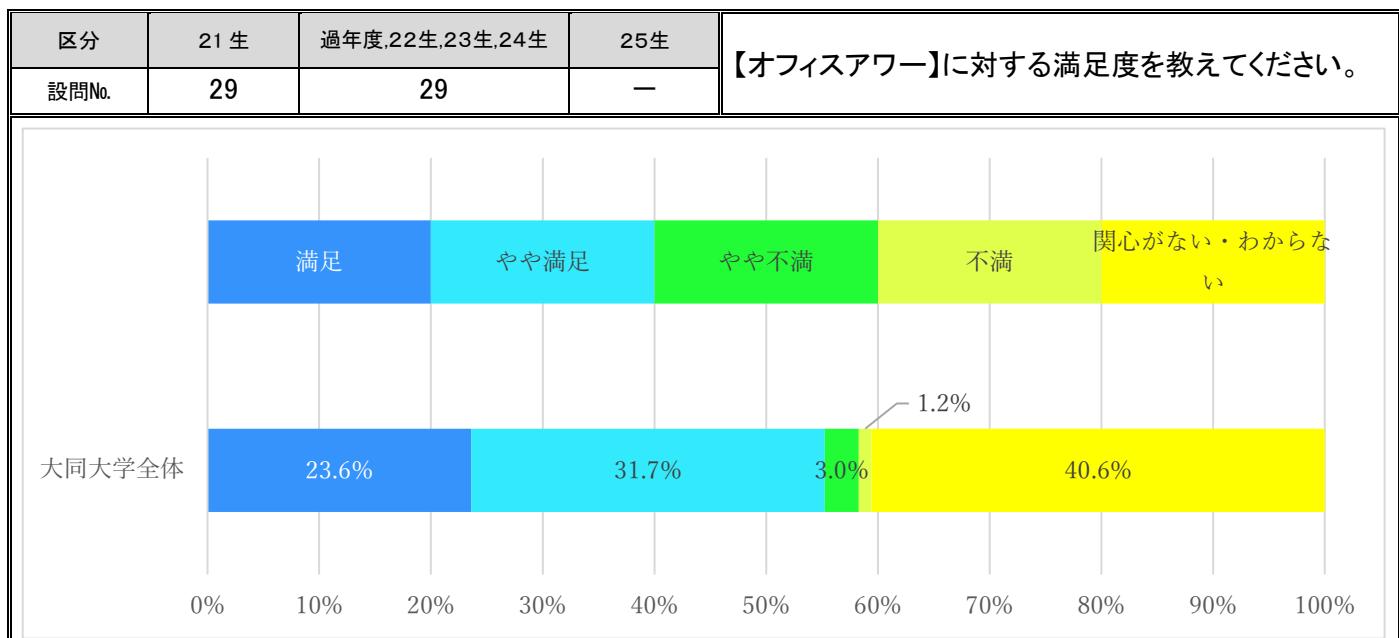
<本学の各学科の平均>



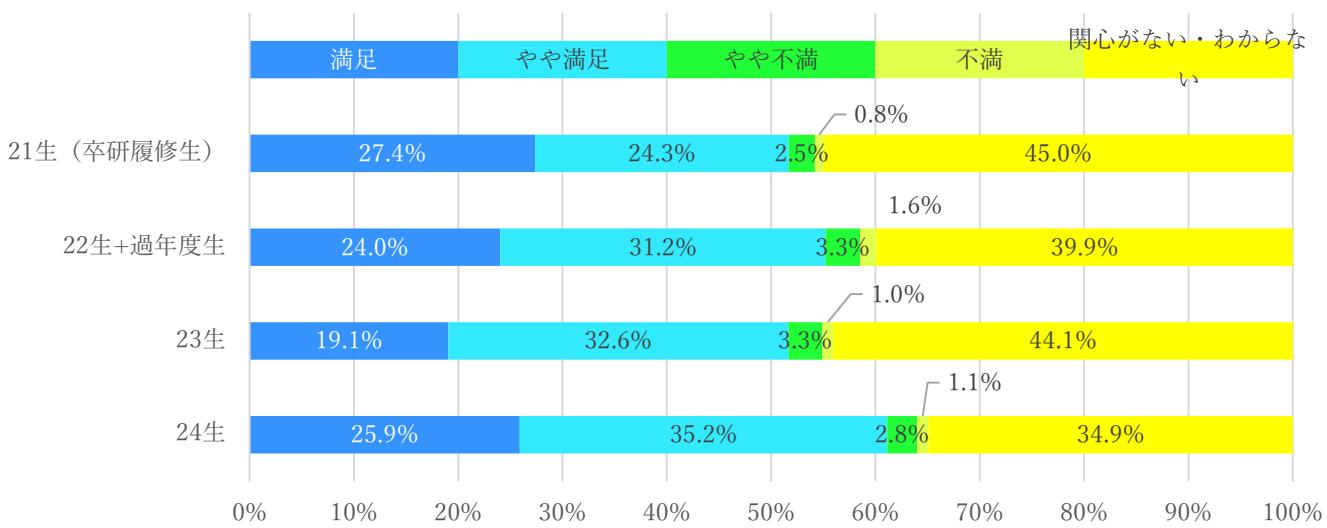
【教務室】

学生からの満足は得られている

84%の学生が満足と回答している。私大連加盟大学が 76%であり、本学の卒業研究の満足度は非常に高い。教育の総括である「卒業研究」の満足度が高いことは、その他の満足度の向上に寄与していると思われる。



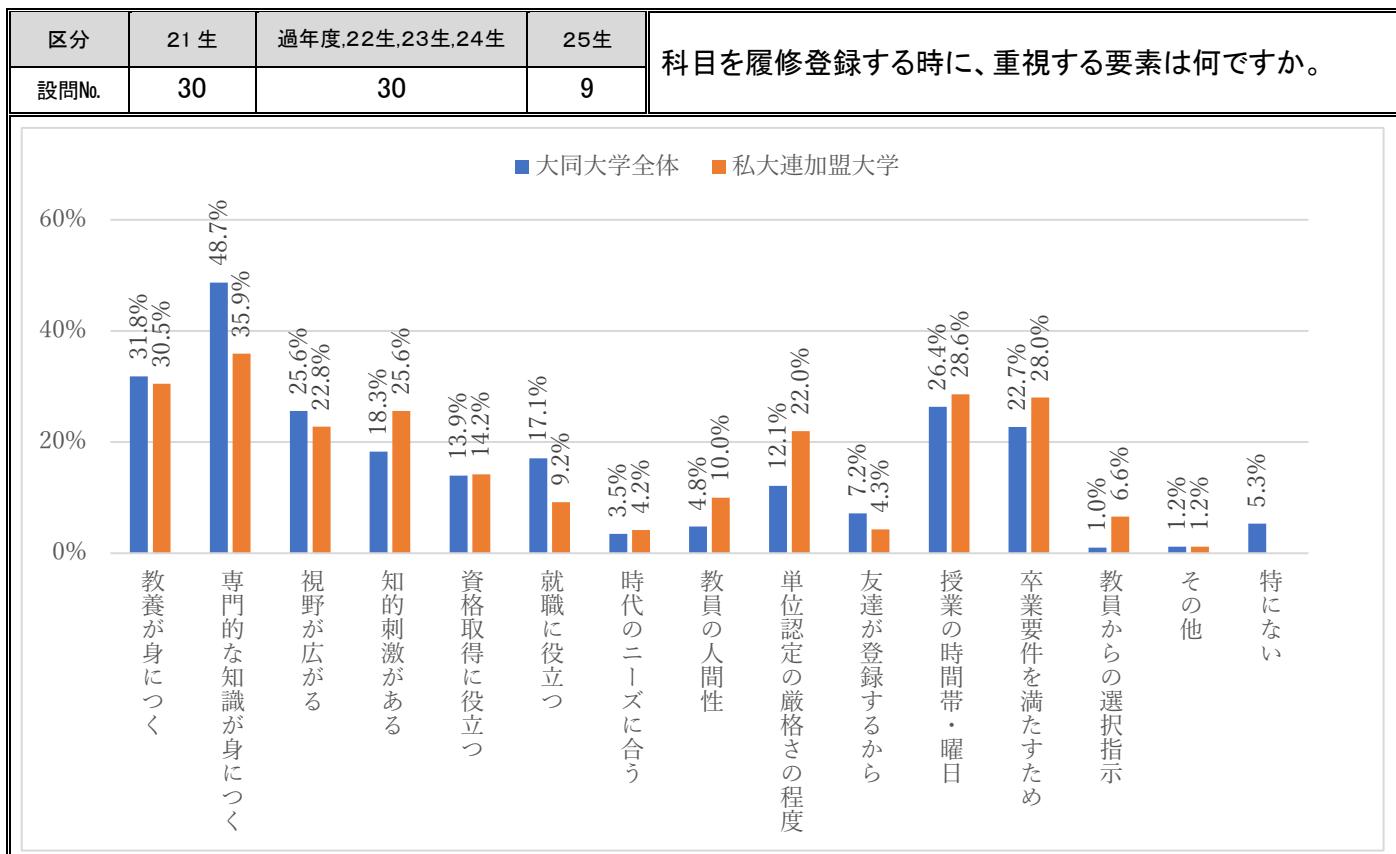
<本学の各学年の平均>



【教務室】

オフィスアワー利用者は満足している

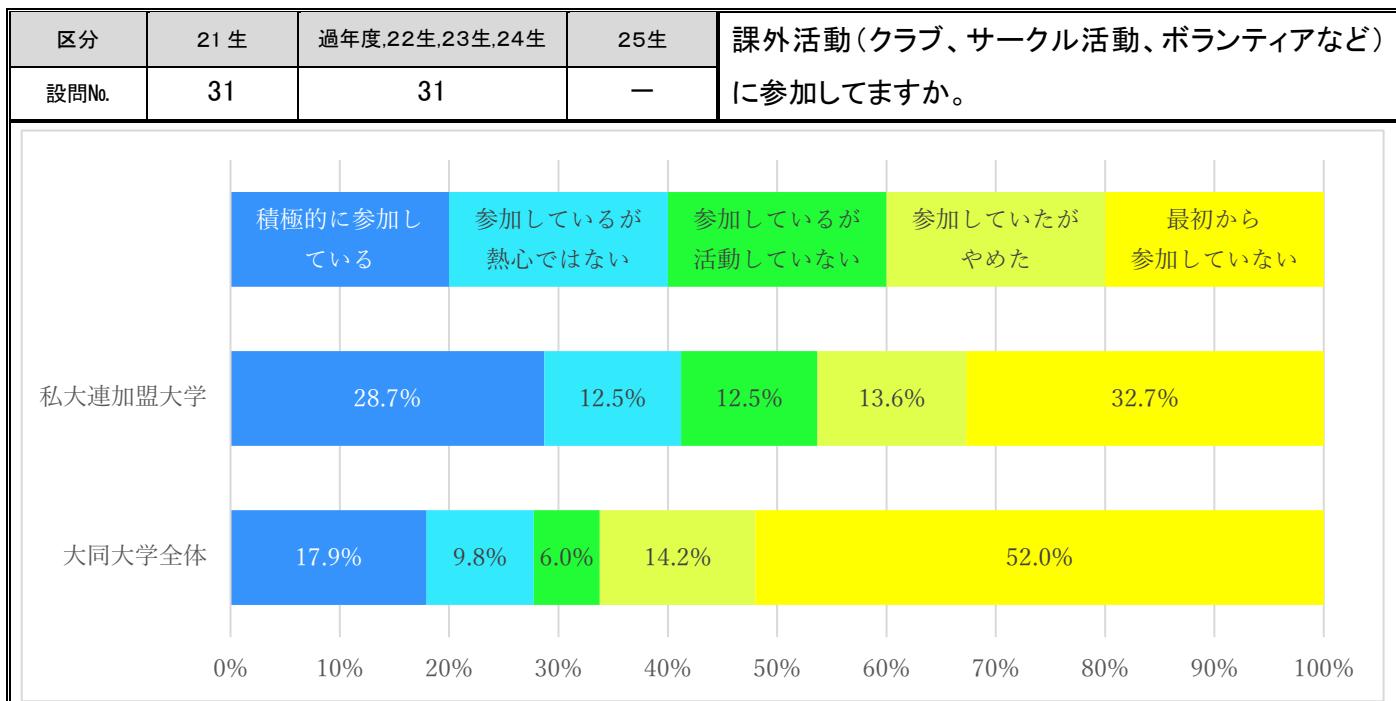
「関心がない・わからない」が 40%を占めているが、制度への不満が少なく満足度合計も 55%以上をしめているため、この制度を利用している(できている)学生の満足はしっかりと得られていると思われる。制度の周知が低いというよりは、制度を利用希望者が少ない状況による結果と思われる。



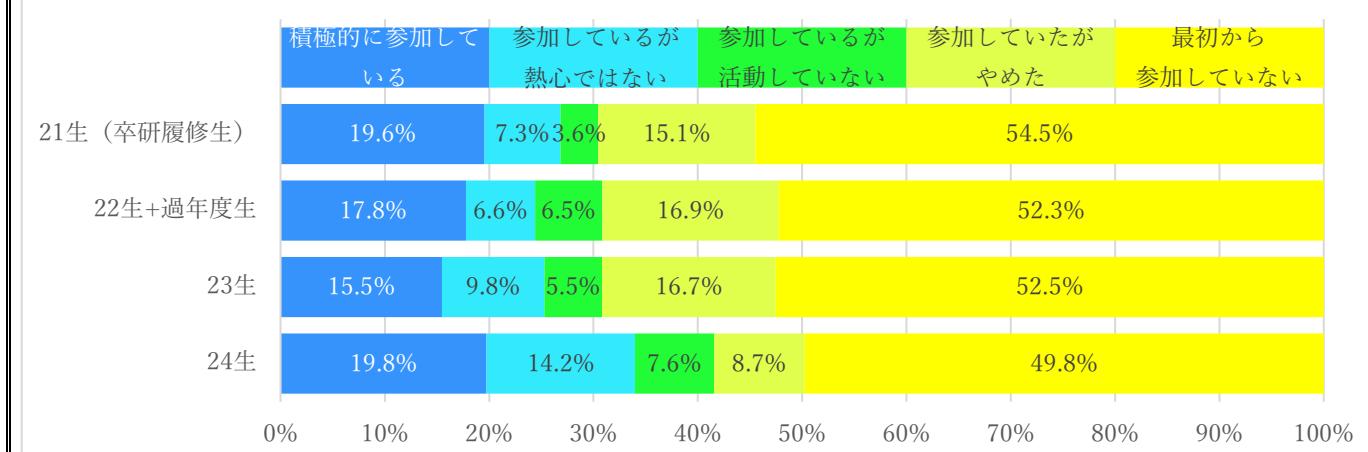
【教務室】

「専門的な知識」を求めている

私大連加盟大学に比べ「専門的な知識」を特に重視している結果が出ている。(10%ほど高い)これは、カリキュラムの満足度において、高学年になるほど上昇していることや、授業の満足度と関連があると思われる。また「就職に役に立つ」についても私大連加盟大学に比べ高くなっています。キャリア志向が強めであることも見受けられる。



<本学の各学年の平均>



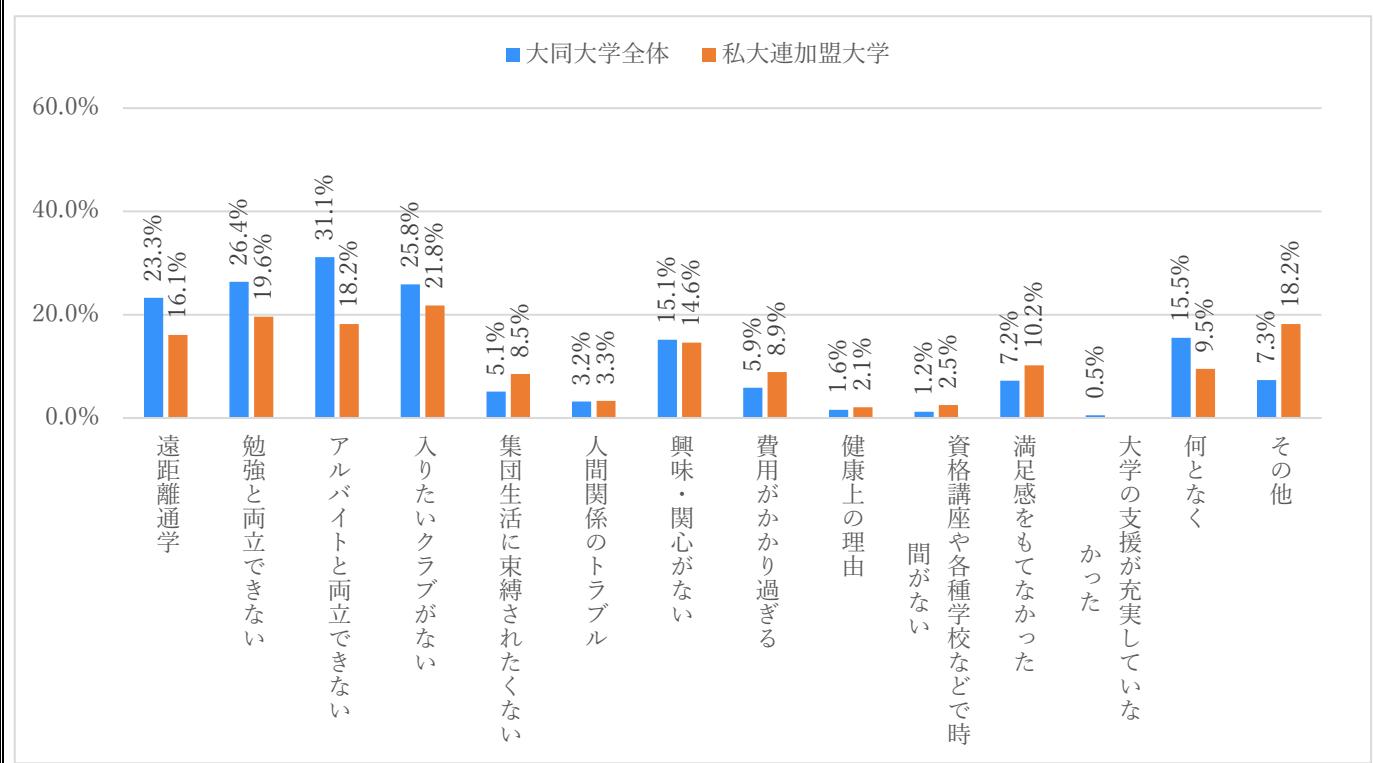
【学生室】

「積極的に参加している」が17.9%と低い

「参加している」と回答した本学学生は全国平均に比べ、かなり低い結果となった。

「積極的に参加している」と回答する学生が30.0%以上に増えるような取り組みを検討したい。

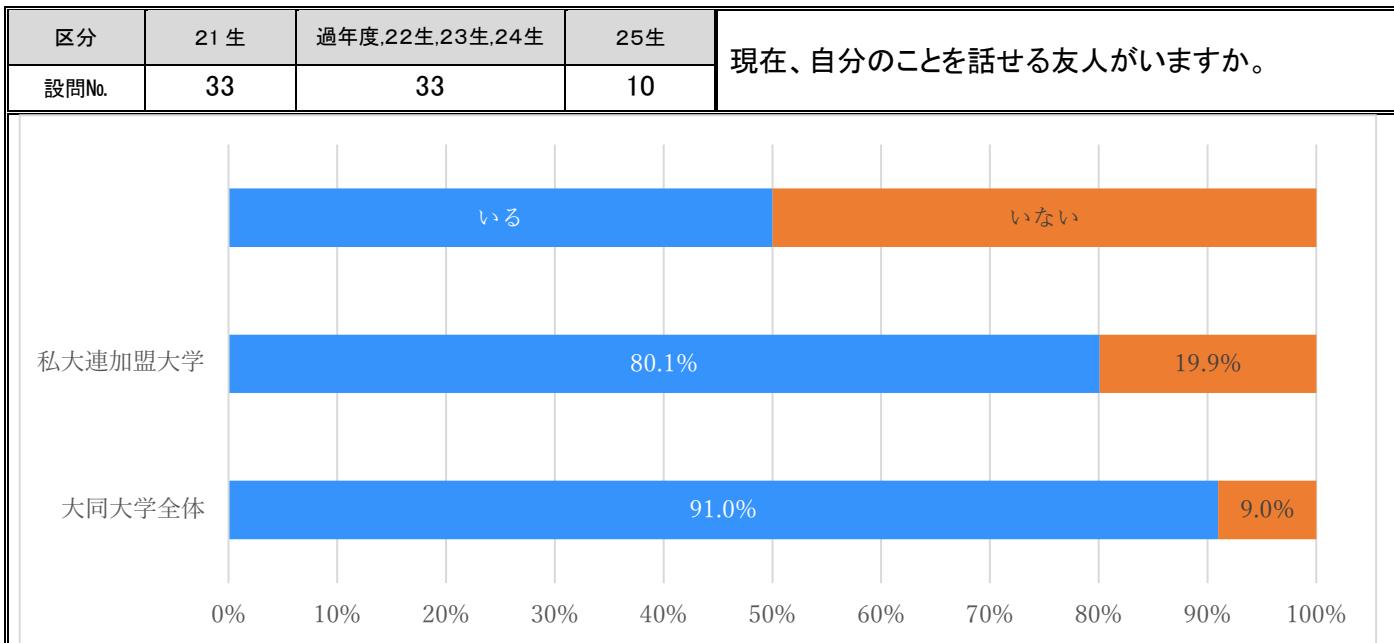
区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	課外活動に参加していたがやめたまたは最初から参加していない理由を選んでください。
設問No.	32	32	—	



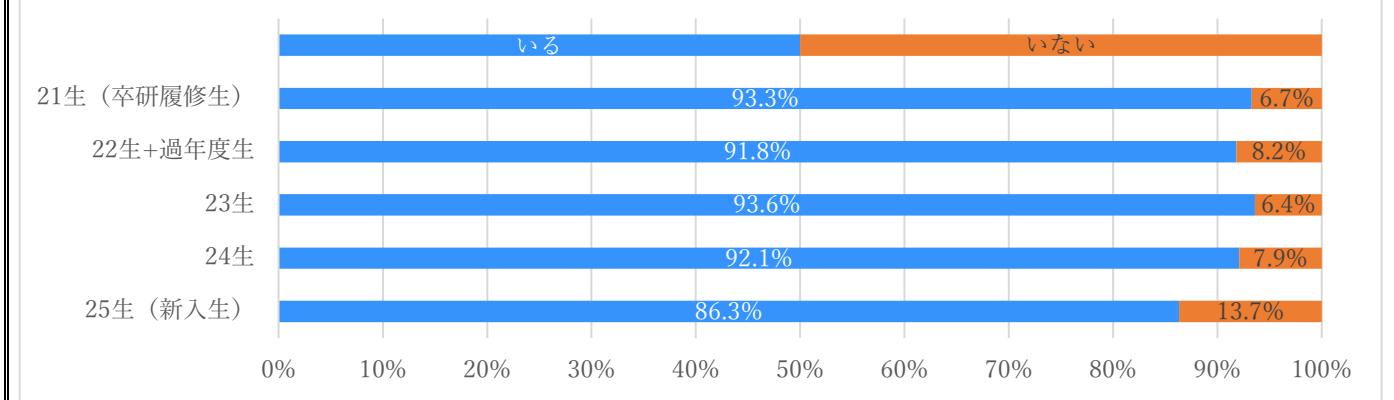
【学生室】

「アルバイトと両立できない」と回答した学生が最も多い

「アルバイトと両立できない」と回答した学生の割合が最も高く、次いで「勉強と両立できない」「入りたいクラブがない」の結果となっている。「入りたいクラブがない」については、解決策を検討したい。



<本学の各学年の平均>

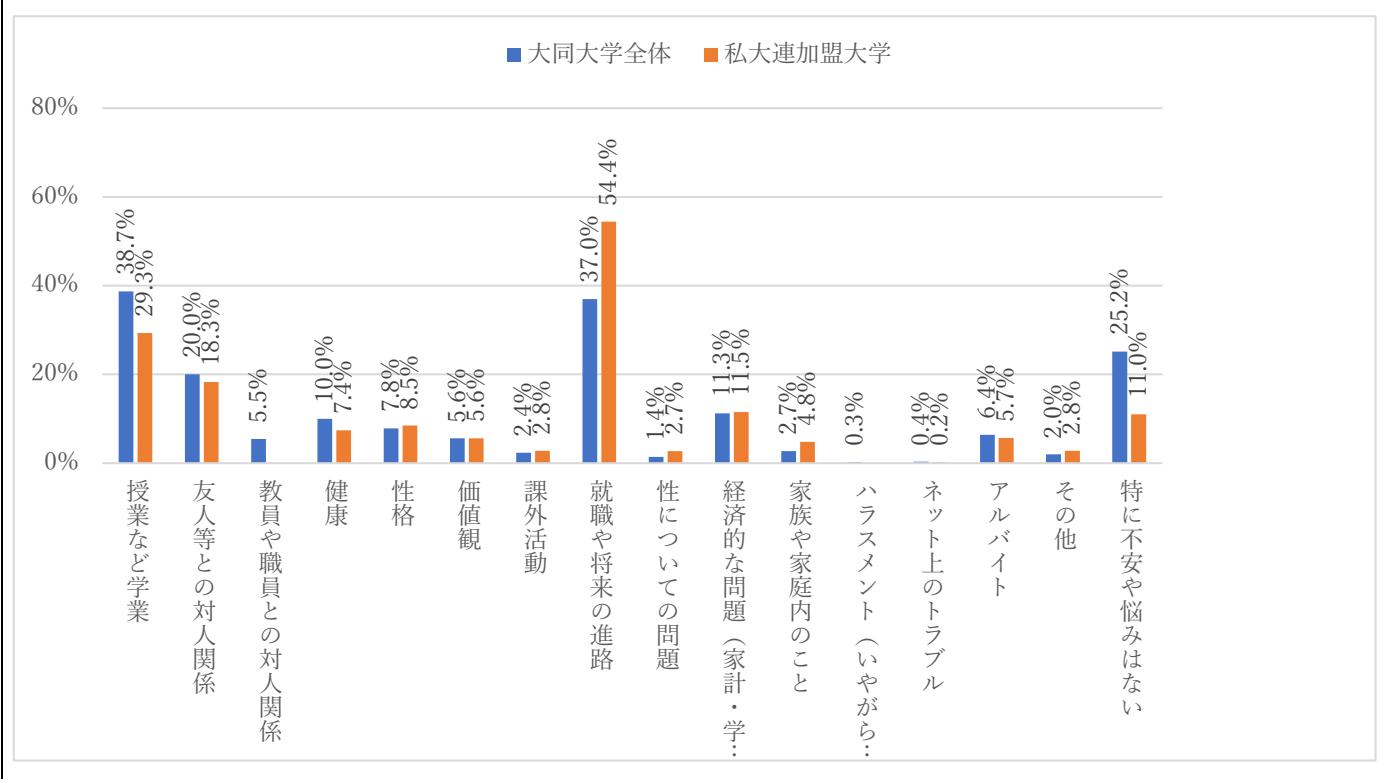


【学生室】

自分のことを話せる友人が「いる」と回答した学生は全国平均よりかなり高い

自分のことを話せる友人が「いる」と回答した本学全体の割合は、91.0%という結果となった。これは全国平均より 10.9 ポイント高い結果となっている。

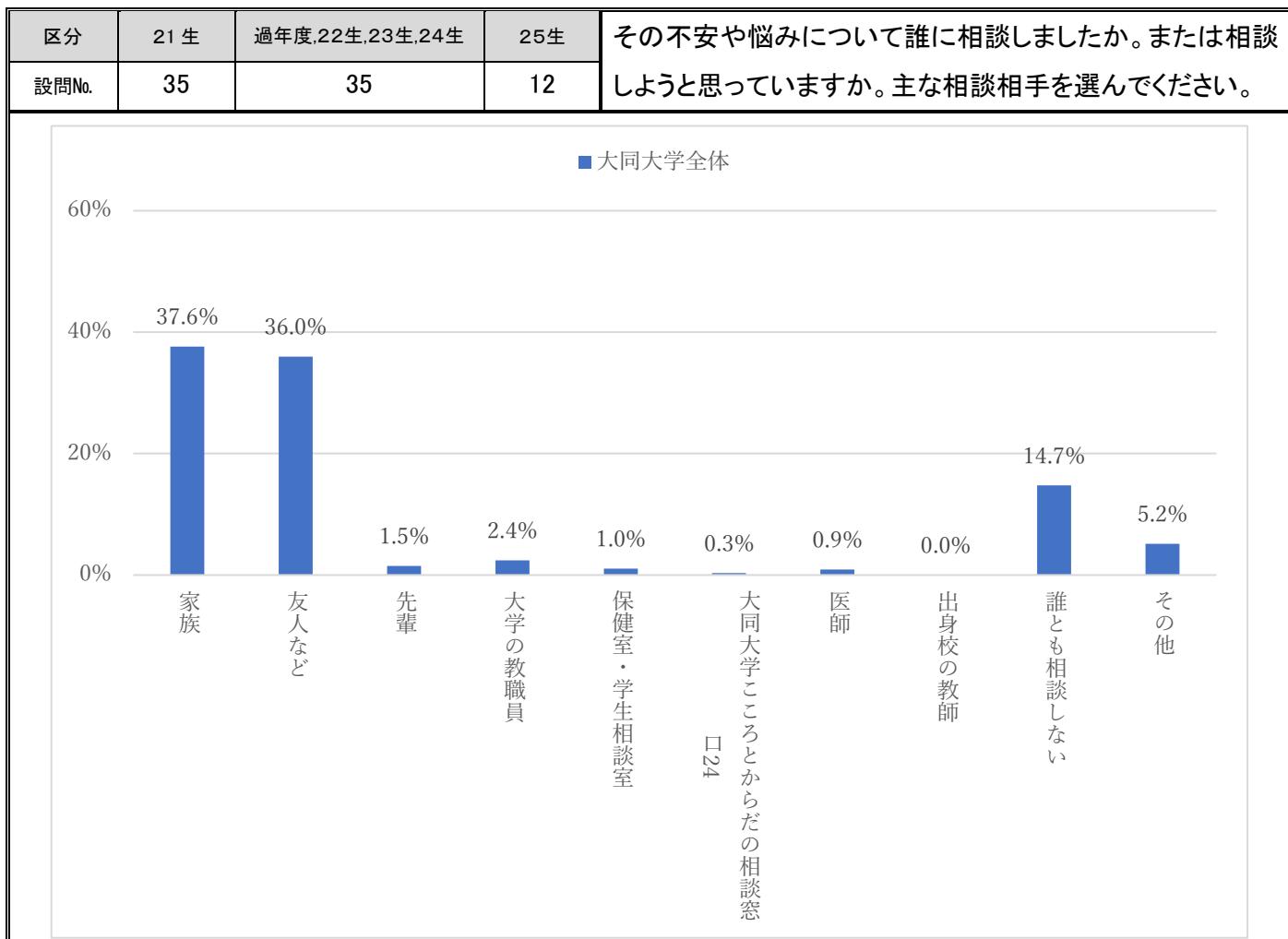
区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	いま、あなたに不安や悩みがあるとすれば、それはどのよう なものですか。
設問No.	34	34	11	



【学生室】

学業や進路に不安がある

「授業など学業」に対して不安や悩みがあると回答した学生の割合が最も高い結果となった。次いで回答の割合が高かった「就職や将来の進路」については、昨年度に比べると不安や悩みは減っている。

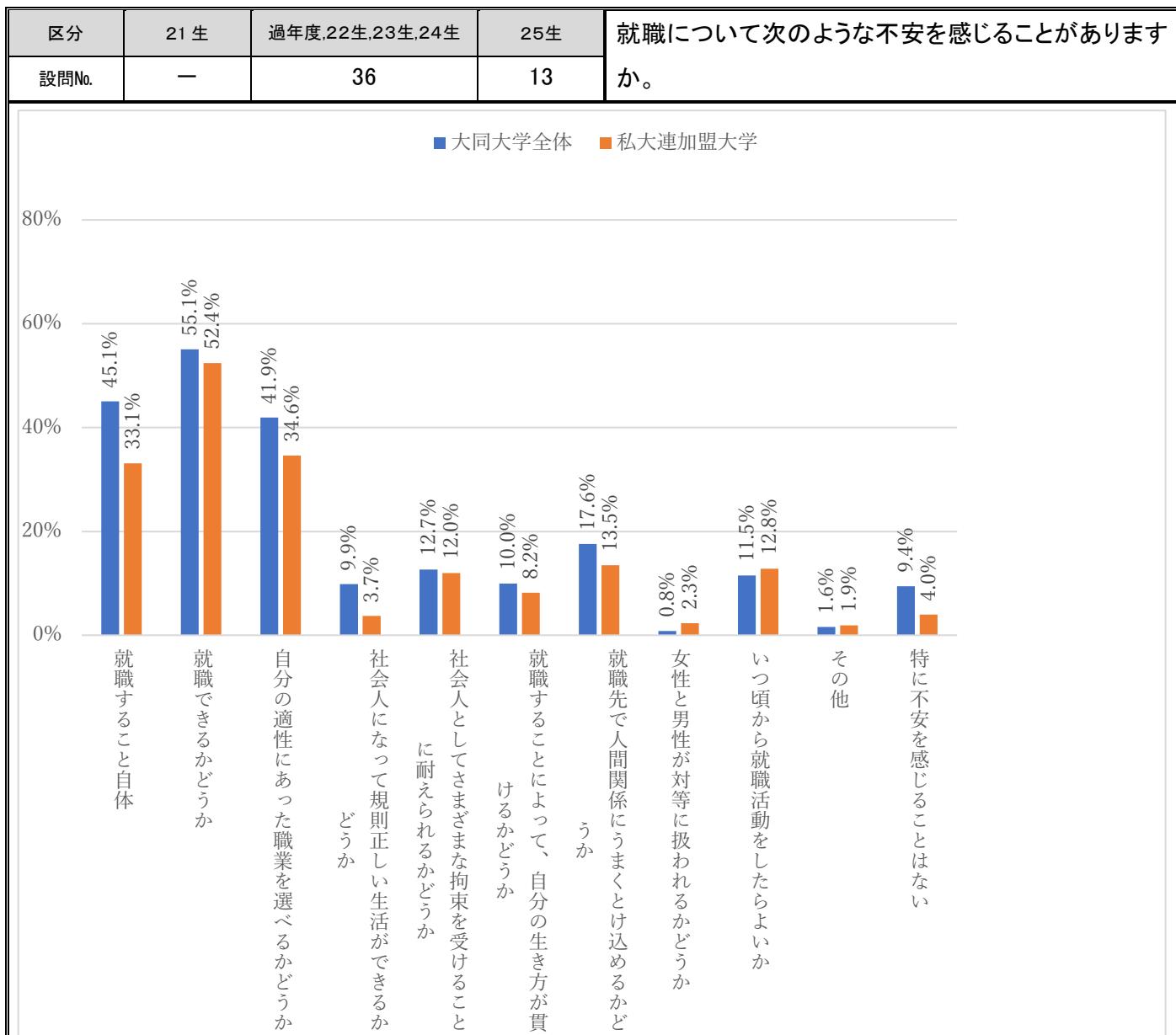


【学生室】

不安や悩みは家族や友人に相談

相談相手については「家族」「友人」と回答した学生の割合が昨年に引き続き、高い結果となった。どちらの割合も10ポイントほど上がっている。

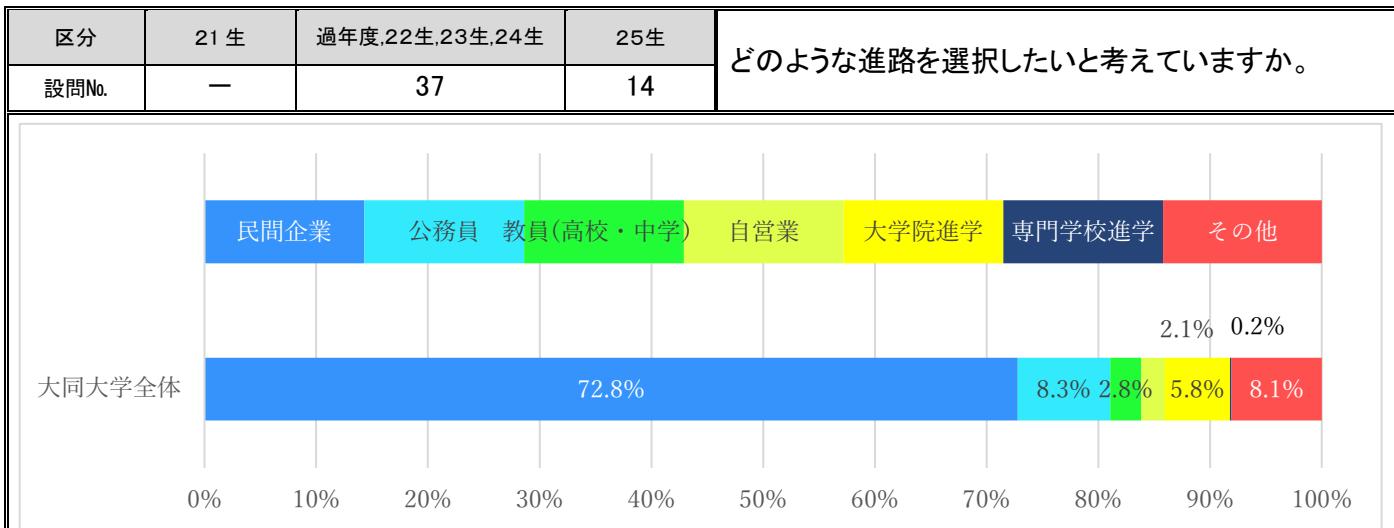
本学の学生は「学業や進路に不安・悩みがある」の回答が高いため、本来であればもっと「大学の教職員」が相談相手に選ばれなければならないと考える。



【キャリア支援室】

学生特有傾向に対する対応を考える必要

昨年度と比較すると全体傾向に変化はなく、全国平均より不安を感じるポイントが高い。「就職活動の開始時期について」のみ、全国平均を下回っており、ガイダンスの参加率が高い結果だと思われる。それ以外のポイントが高いのは、例年通り、本学の学生気質で問題である、「自信のなさ」からこのような結果になっていると想定される。これに対応する改善策を引き続き実施する必要がある。



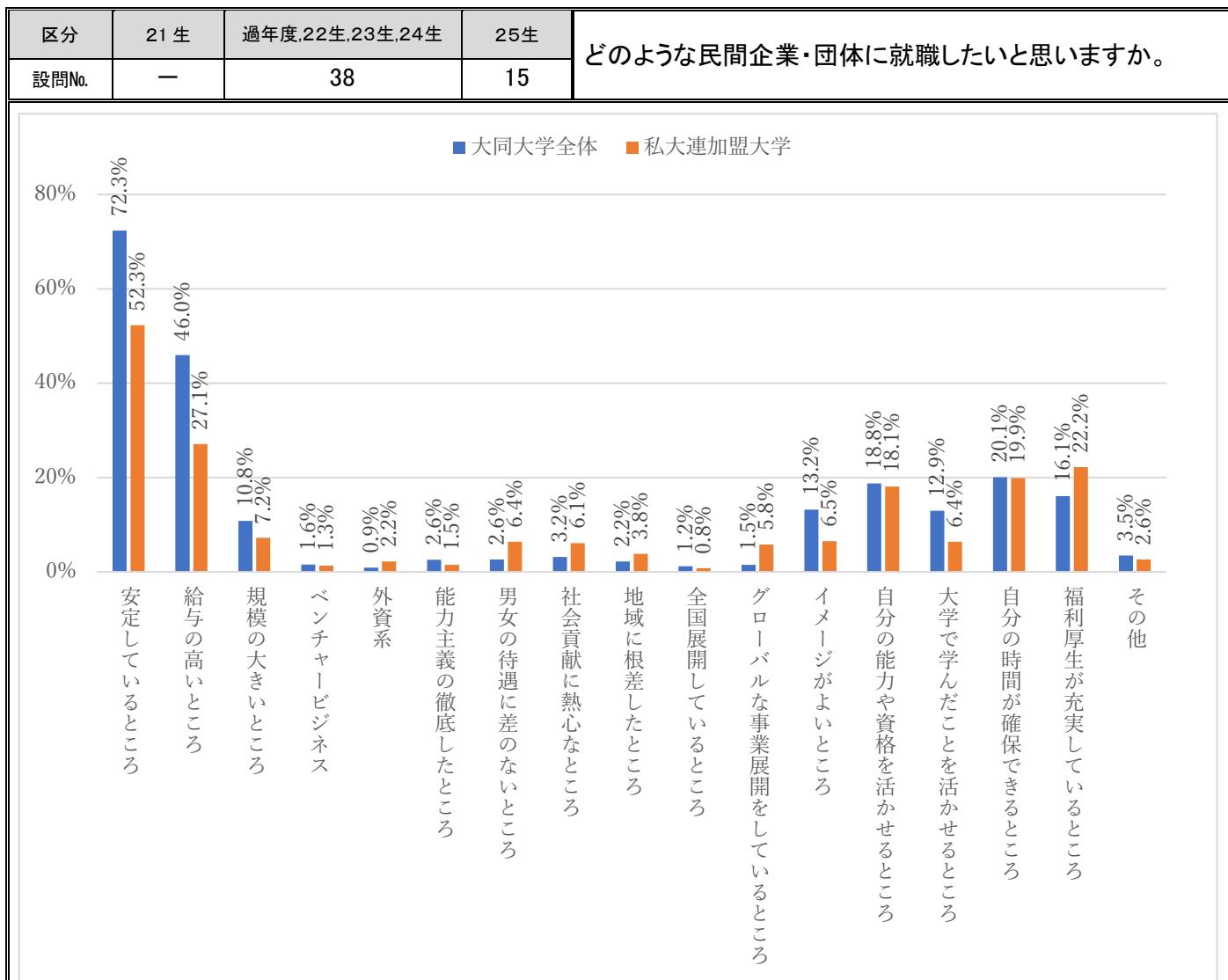
<本学の各学年の平均>



【キャリア支援室】

進路選択については、特に問題なし

昨年度と同様に、希望する進路については、「民間企業」を選んだ学生が多く、「公務員」を選んだ学生の割合が少ない。本学の進学実績とリンクしており、順当な結果であると感じる。



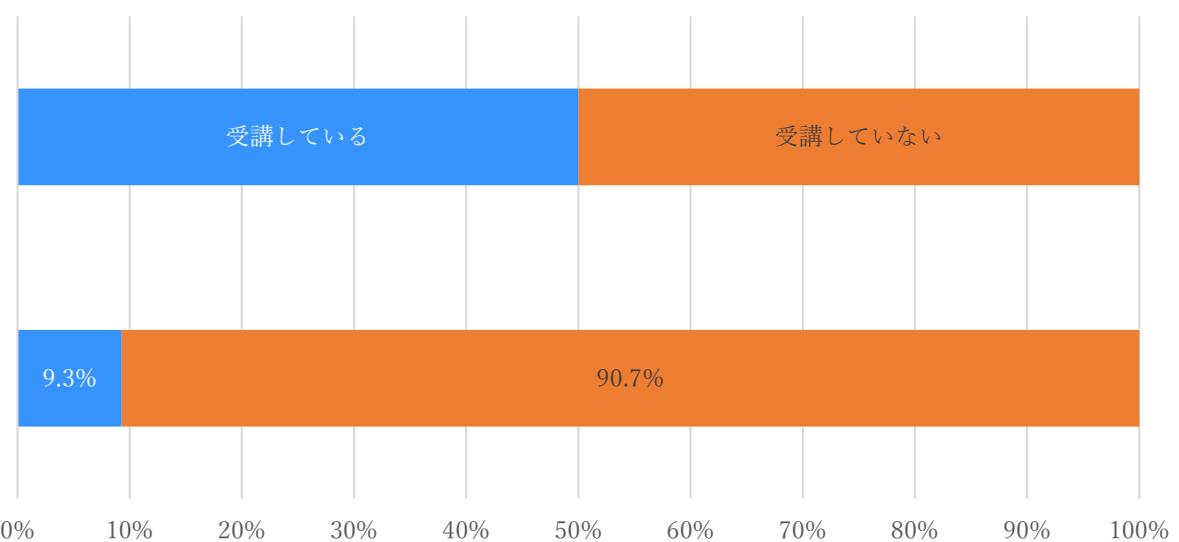
【キャリア支援室】

学生気質の変化を継続して観察してゆく

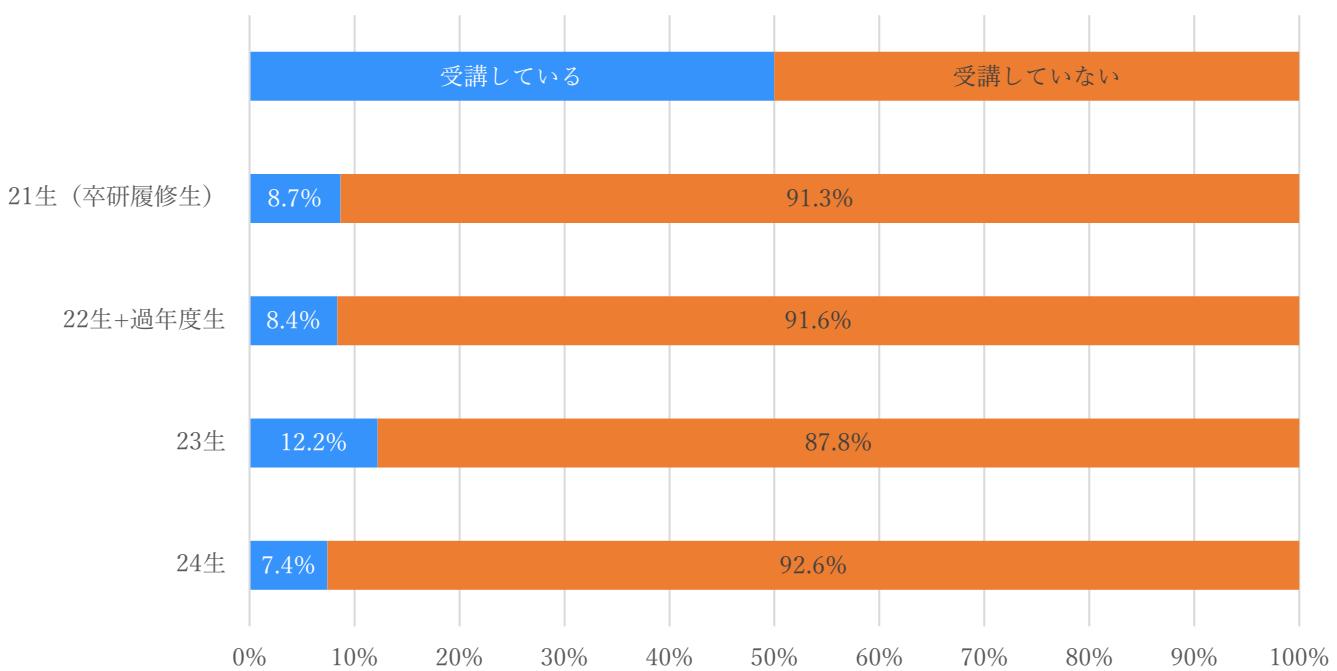
昨年度比較すると大きな変動はない。全国平均と比較して「安定しているところ」をかなり重視しており、昨年度と同様に、その傾向がかなり強くなっている。コロナ渦を経て、学生が「将来性」をかなり重視していることの現れであるといえるかもしれない。また、「自分の時間が確保できるところ」の割合が、減少し、全国平均に近い割合になった。

その他、昨年度と同様に「大学で学んだことを活かせるところ」の項目においては、全国平均を上回っている。このことは、本学の理念である「実学主義」が体現されていると言えるかもしれない。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	現在、資格、技術取得、受験等のために、学内の資格講座を受講したり、学外の各種学校などを受講していますか
設問No.	36	39	—	



<本学の各学年の平均>

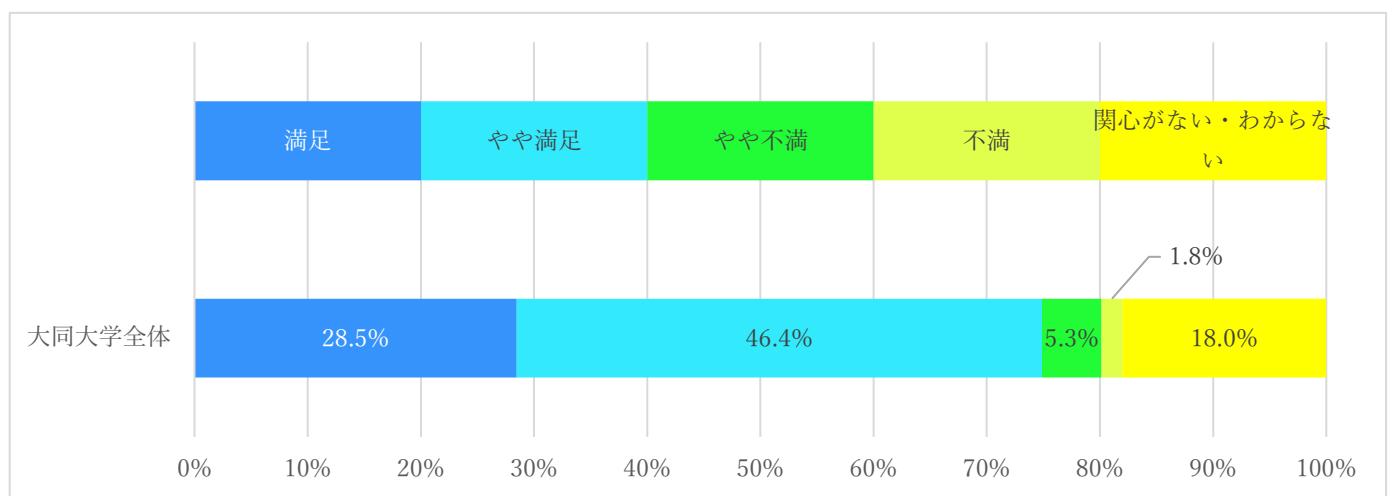


【キャリア支援室】

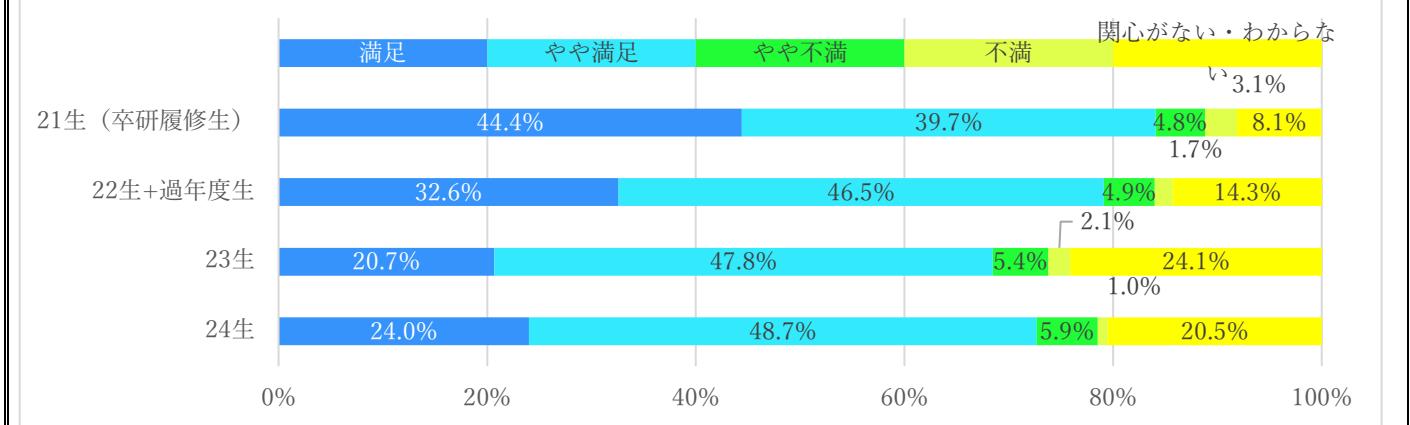
資格取得の理解を進める

昨年度と同様に、全体傾向として、資格に関する学びを受講している割合は、各学年ともに10%程度である。大学に慣れ、時間的に余裕にある2年生が若干高めとなっている。

区分	21生	過年度,22生,23生,24生	25生	就職・進学における大学の支援に満足していますか。
設問No.	37	40	—	



<本学の各学年の平均>



【キャリア支援室】

低学年へのキャリア支援をさらに進める

これまででは、低学年では、就職活動が本格的に始まっていないこと、ガイダンスへの参加率が低いこともあり、「関心がない」割合が高い傾向にあった。しかし、24生については、「関心がない・わからぬい」割合が昨年度比較すると、7ポイント低下している。就職に対する意識が高く、よろこばしい傾向にある。この傾向が続いていくのか、特異点であるのかを、今後、注視して観察してゆく必要がある。

第6章 授業評価アンケート

6. 1 授業評価アンケートの概要

本章では、本学の「授業評価アンケートの結果」を、以下の評価基準を元にした各学科及び全学科における授業科目の評価を掲載している。

なお、各調査の概要は以下の通り。

表1 調査概要

<全体>

調査実施時期	対象授業数	対象履修者数	回答数	回答率
2024 年度前期	826	32,966	20,930	63.5%
2024 年度後期	674	27,391	15,185	55.4%

表2 調査評価基準

評価基準				
S	A	B	C	D
理想的な状態	良好な状態	場合によって改善の検討を要する	改善の検討を要する	改善が必要
4.5 以上	4.0 以上～4.5 未満	2.5 以上～4.0 未満	1.5 以上～2.5 未満	1.5 未満

6. 2 各学科専攻の授業評価アンケート

2024年度 アセスメント・チェックシート

⑤ 機械工学科の 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

	2024年度結果																								
	24生								23生								22生								
	1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)				
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
〔I〕この授業の授業内容・授業方法について何思います。	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	A	3.97	S	4.00	A	3.93	A	3.97	A	3.62	A	3.96	A	3.82	A	3.93	A	3.88	S	4.00	A	3.81	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.65	A	3.88	A	3.94	A	3.88	A	3.70	A	3.88	A	3.78	A	3.87	A	3.72	A	3.89	A	3.88	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていたか。	A	3.56	A	3.69	A	3.79	A	3.70	A	3.51	A	3.68	A	3.57	A	3.65	A	3.55	A	3.69	A	3.72	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.51	A	3.75	A	3.85	A	3.78	A	3.52	A	3.77	A	3.68	A	3.77	A	3.66	A	3.78	A	3.74	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.76	A	3.88	A	3.94	A	3.84	A	3.63	A	3.84	A	3.75	A	3.81	A	3.72	A	3.84	A	3.83	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって質や量の点からみてどうでしたか。	S	4.30	S	4.20	S	4.46	S	4.16	A	3.98	S	4.13	S	4.20	S	4.11	S	4.15	S	4.14	S	4.13	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起すものでしたか。(興味)	A	3.59	A	3.78	A	3.85	A	3.78	B	3.45	A	3.74	A	3.58	A	3.72	A	3.66	A	3.76	A	3.75	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.73	A	3.87	A	3.87	A	3.85	A	3.52	A	3.80	A	3.70	A	3.79	A	3.68	A	3.82	A	3.87	A	3.93
	〔II〕あなたの自身の授業への姿勢や学習状況を伺います。	D	2.06	D	2.49	D	1.91	D	2.45	C	2.24	C	2.53	D	2.24	C	2.57	D	2.45	C	2.60	D	2.40	C	2.63
	2.授業への集中、質問・発言・討論、実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	B	3.37	A	3.50	B	3.47	B	3.47	B	3.35	B	3.46	B	3.21	B	3.43	B	3.41	B	3.45	A	3.54	A	3.56

⑤ 機械システム工学科の 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

	2024年度結果																								
	24生								23生								22生								
	1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)				
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
〔I〕この授業の授業内容・授業方法について何思います。	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.01	S	4.00	A	3.77	A	3.97	A	3.91	A	3.96	A	3.81	A	3.93	A	3.94	S	4.00	S	4.15	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.83	A	3.88	A	3.81	A	3.88	A	3.83	A	3.88	A	3.81	A	3.87	A	3.84	A	3.89	A	3.95	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていたか。	A	3.77	A	3.69	A	3.59	A	3.70	A	3.71	A	3.68	A	3.58	A	3.65	A	3.59	A	3.69	A	3.80	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.74	A	3.75	A	3.78	A	3.78	A	3.76	A	3.77	A	3.64	A	3.77	A	3.72	A	3.78	A	3.86	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.80	A	3.88	A	3.83	A	3.84	A	3.73	A	3.84	A	3.72	A	3.81	A	3.79	A	3.84	A	3.91	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって質や量の点からみてどうでしたか。	S	4.27	S	4.20	S	4.14	S	4.16	S	4.25	S	4.13	S	4.17	S	4.11	S	4.23	S	4.14	S	4.37	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起すものでしたか。(興味)	A	3.75	A	3.78	A	3.62	A	3.78	A	3.70	A	3.74	A	3.59	A	3.72	A	3.67	A	3.76	A	3.85	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.77	A	3.87	A	3.73	A	3.85	A	3.80	A	3.80	A	3.67	A	3.79	A	3.71	A	3.82	A	3.88	A	3.93
	〔II〕あなたの自身の授業への姿勢や学習状況を伺います。	C	2.53	D	2.49	C	2.61	D	2.45	D	2.17	C	2.53	C	2.74	C	2.57	C	2.58	C	2.60	D	2.33	C	2.63
	2.授業への集中、質問・発言・討論、実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	A	3.52	A	3.50	B	3.25	B	3.47	A	3.50	B	3.46	B	3.37	B	3.43	A	3.55	B	3.45	B	3.49	A	3.56

⑤ 電気電子工学科の 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

	2024年度結果																								
	24生								23生								22生								
	1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)				
	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
〔I〕この授業の授業内容・授業方法について何思います。	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	A	3.59	S	4.00	A	3.67	A	3.97	A	3.97	A	3.96	A	3.98	A	3.93	A	3.85	S	4.00	A	3.82	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.78	A	3.88	A	3.81	A	3.88	A	3.82	A	3.88	A	3.80	A	3.87	A	3.79	A	3.89	A	3.83	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていたか。	B	3.74	A	3.69	A	3.70	A	3.70	A	3.75	A	3.68	A	3.65	A	3.65	A	3.63	A	3.69	A	3.72	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.62	A	3.75	A	3.64	A	3.78	A	3.75	A	3.77	A	3.73	A	3.77	A	3.72	A	3.78	A	3.69	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.75	A	3.88	A	3.65	A	3.84	A	3.85	A	3.84	A	3.79	A	3.81	A	3.74	A	3.84	A	3.77	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって質や量の点からみてどうでしたか。	A	3.98	S	4.20	S	4.02	S	4.16	S	4.31	S	4.13	S	4.41	S	4.11	S	4.19	S	4.14	S	4.23	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起すものでしたか。(興味)	A	3.72	A	3.78	A	3.65	A	3.78	A	3.69	A	3.74	A	3.65	A	3.72	A	3.64	A	3.76	A	3.72	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.74	A	3.87	A	3.75	A	3.85	A	3.73	A	3.80	A	3.73	A	3.79	A	3.71	A	3.82	A	3.76	A	3.93
	〔II〕あなたの自身の授業への姿勢や学習状況を伺います。	C	2.53	D	2.49	D	2.23	D	2.45	D	2.42	C	2.53	D	2.32	C	2.57	C	2.60	C	2.60	C	2.81	C	2.63
	2.授業への集中、質問・発言・討論、実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	B	3.33	A	3.50	B	3.31	B	3.47	B	3.38	B	3.46	B	3.36	B	3.43	B	3.44	B	3.45	A	3.55	A	3.56

⑤ 建築学科建築専攻/インテリアデザイン専攻 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

i	[I]この授業の授業内容、授業方法について伺います。	2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		評価	スコア	評価	スコア																				
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.09	S	4.00	A	4.14	A	3.97	S	4.08	A	3.96	S	4.11	A	3.93	S	4.17	S	4.00	S	4.24	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.76	A	3.88	A	3.76	A	3.88	A	3.88	A	3.88	A	3.96	A	3.87	S	4.13	A	3.89	S	4.17	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをとっていましたか。	A	3.51	A	3.69	A	3.50	A	3.70	A	3.56	A	3.68	A	3.59	A	3.65	A	3.91	A	3.69	A	3.98	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.61	A	3.75	A	3.64	A	3.78	A	3.80	A	3.77	A	3.97	A	3.77	S	4.09	A	3.78	S	4.20	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.82	A	3.88	A	3.70	A	3.84	A	3.80	A	3.84	A	3.89	A	3.81	S	4.12	A	3.84	S	4.13	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買ひの点からみてどうでしたか。	S	4.41	S	4.20	S	4.38	S	4.16	S	4.38	S	4.13	S	4.34	S	4.11	S	4.44	S	4.14	S	4.54	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	A	3.80	A	3.78	A	3.74	A	3.78	A	3.82	A	3.74	A	3.96	A	3.72	S	4.05	A	3.76	S	4.11	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.88	A	3.87	A	3.82	A	3.85	A	3.85	A	3.80	A	3.99	A	3.79	S	4.07	A	3.82	S	4.18	A	3.93
	[II]あなたの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に関連した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読など)を行いましたか。	C	2.65	D	2.49	D	2.46	D	2.45	D	2.49	C	2.53	C	2.60	C	2.57	C	2.77	C	2.60	C	2.74	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	A	3.61	A	3.50	A	3.50	B	3.47	B	3.47	B	3.46	A	3.54	B	3.43	A	3.57	B	3.45	A	3.67	A	3.56

⑤ 建築学科都市空間インフラ専攻 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

i	[I]この授業の授業内容、授業方法について伺います。	2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		評価	スコア	評価	スコア																				
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	A	3.72	S	4.00	A	3.58	A	3.97	A	3.66	A	3.96	A	3.78	A	3.93	S	4.19	S	4.00	S	4.32	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.74	A	3.88	A	3.74	A	3.88	A	3.89	A	3.88	A	3.87	A	3.87	S	4.04	A	3.89	S	4.15	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをとっていましたか。	B	3.44	A	3.69	A	3.51	A	3.70	A	3.71	A	3.68	A	3.62	A	3.65	A	3.86	A	3.69	A	3.90	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.72	A	3.75	A	3.69	A	3.78	A	3.73	A	3.77	A	3.76	A	3.77	A	3.93	A	3.78	S	4.06	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.63	A	3.88	A	3.70	A	3.84	A	3.77	A	3.84	A	3.73	A	3.81	S	4.10	A	3.84	S	4.09	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買ひの点からみてどうでしたか。	S	4.09	S	4.20	A	3.94	S	4.16	S	4.06	S	4.13	S	4.06	S	4.11	S	4.51	S	4.14	S	4.51	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	B	3.46	A	3.78	A	3.60	A	3.78	A	3.63	A	3.74	A	3.65	A	3.72	S	4.05	A	3.76	S	4.03	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.68	A	3.87	A	3.70	A	3.85	A	3.71	A	3.80	A	3.74	A	3.79	S	4.07	A	3.82	S	4.10	A	3.93
	[II]あなたはこの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に関連した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読など)を行いましたか。	C	2.94	D	2.49	C	2.64	D	2.45	B	3.00	C	2.53	C	2.95	C	2.57	C	2.69	C	2.60	C	2.68	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	B	3.39	A	3.50	B	3.38	B	3.47	B	3.35	B	3.46	A	3.51	B	3.43	A	3.58	B	3.45	A	3.68	A	3.56

⑤ 建築学科かおりデザイン専攻 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

i	[I]この授業の授業内容、授業方法について伺います。	2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		評価	スコア	評価	スコア																				
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.29	S	4.00	A	3.83	A	3.97	S	4.15	A	3.96	A	3.92	A	3.93	S	4.35	S	4.00	S	4.59	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	S	4.22	A	3.88	A	3.89	A	3.88	S	4.09	A	3.88	A	3.99	A	3.87	S	4.17	A	3.89	S	4.47	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをとっていましたか。	A	3.99	A	3.69	A	3.88	A	3.70	A	3.95	A	3.68	A	3.77	A	3.65	S	4.15	A	3.69	S	4.38	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	S	4.11	A	3.75	A	3.80	A	3.78	A	3.85	A	3.77	A	3.75	A	3.77	S	4.00	A	3.78	S	4.40	A	3.90
	5.使用的した教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	S	4.21	A	3.88	A	3.93	A	3.84	S	4.16	A	3.84	A	3.93	A	3.81	A	3.96	A	3.84	S	4.50	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買ひの点からみてどうでしたか。	S	4.62	S	4.20	S	4.41	S	4.16	S	4.56	S	4.13	S	4.39	S	4.11	S	4.63	S	4.14	S	4.83	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	A	3.90	A	3.78	A	3.76	A	3.78	A	3.89	A	3.74	A	3.84	A	3.72	S	4.04	A	3.76	S	4.52	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	S	4.03	A	3.87	A	3.88	A	3.85	S	4.03	A	3.80	A	3.90	A	3.79	S	4.02	A	3.82	S	4.42	A	3.93
	[II]あなたはこの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に関連した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読など)を行いましたか。	C	2.73	D	2.49	D	2.42	D	2.45	C	2.79	C	2.53	C	2.91	C	2.57	B	3.27	C	2.60	C	2.83	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	A	3.57	A	3.50	B	3.39	B	3.47	B	3.42	B	3.46	B	3.38	B	3.43	A	3.79	B	3.45	S	4.02	A	3.56

⑤ 情報システム学科 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

		2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価																		
〔I〕この授業の授業内容、授業方法について伺います。	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.02	S	4.00	A	3.89	A	3.97	A	3.80	A	3.96	A	3.82	A	3.93	S	4.02	S	4.00	A	3.89	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.94	A	3.88	A	3.83	A	3.88	A	3.75	A	3.88	A	3.88	A	3.87	S	4.01	A	3.89	A	3.88	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをとっていましたか。	A	3.57	A	3.69	A	3.54	A	3.70	A	3.52	A	3.68	A	3.56	A	3.65	A	3.72	A	3.69	A	3.65	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.82	A	3.75	A	3.70	A	3.78	A	3.59	A	3.77	A	3.74	A	3.77	A	3.87	A	3.78	A	3.84	A	3.90
	5.使った教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.92	A	3.88	A	3.75	A	3.84	A	3.74	A	3.84	A	3.83	A	3.81	A	3.90	A	3.84	A	3.88	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買や量の点からみてどうでしたか。	S	4.35	S	4.20	S	4.28	S	4.16	S	4.18	S	4.13	S	4.24	S	4.11	S	4.33	S	4.14	S	4.28	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	A	3.88	A	3.78	A	3.74	A	3.78	A	3.56	A	3.74	A	3.64	A	3.72	A	3.75	A	3.76	A	3.78	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.94	A	3.87	A	3.81	A	3.85	A	3.62	A	3.80	A	3.76	A	3.79	A	3.90	A	3.82	A	3.87	A	3.93
	〔II〕あなたの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に参加した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読などを)を行いましたか。	D	2.37	D	2.49	C	2.59	D	2.45	C	2.66	C	2.53	C	2.58	C	2.57	C	2.60	C	2.60	C	2.62	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	B	3.36	A	3.50	B	3.38	B	3.47	B	3.28	B	3.46	B	3.36	B	3.43	B	3.42	B	3.45	B	3.37	A	3.56

⑤ 情報デザイン学科 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

		2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価																		
〔I〕この授業の授業内容、授業方法について伺います。	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.04	S	4.00	S	4.29	A	3.97	S	4.33	A	3.96	S	4.22	A	3.93	S	4.04	S	4.00	S	4.25	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	S	4.05	A	3.88	S	4.18	A	3.88	S	4.15	A	3.88	S	4.05	A	3.87	A	3.83	A	3.89	S	4.08	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていましたか。	A	3.93	A	3.69	S	4.07	A	3.70	A	3.93	A	3.68	A	3.98	A	3.65	A	3.74	A	3.69	S	4.06	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.91	A	3.75	S	4.12	A	3.78	S	4.08	A	3.77	A	3.95	A	3.77	A	3.70	A	3.78	A	3.99	A	3.90
	5.使った教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	S	4.01	A	3.88	S	4.17	A	3.84	S	4.17	A	3.84	S	4.02	A	3.81	A	3.77	A	3.84	A	3.98	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買や量の点からみてどうでしたか。	S	4.42	S	4.20	S	4.61	S	4.16	S	4.57	S	4.13	S	4.50	S	4.11	S	4.36	S	4.14	S	4.45	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	A	3.92	A	3.78	S	4.08	A	3.78	S	4.14	A	3.74	S	4.04	A	3.72	A	3.77	A	3.76	S	4.04	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.99	A	3.87	S	4.14	A	3.85	S	4.14	A	3.80	S	4.07	A	3.79	A	3.78	A	3.82	S	4.02	A	3.93
	〔II〕あなたの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に参加した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読などを)を行いましたか。	C	2.61	D	2.49	C	2.60	D	2.45	B	2.75	C	2.53	C	2.70	C	2.57	C	2.88	C	2.60	B	3.20	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	A	3.61	A	3.50	A	3.82	B	3.47	A	3.76	B	3.46	A	3.76	B	3.43	A	3.58	B	3.45	A	3.74	A	3.56

⑤ 総合情報学科 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)

		2024年度結果																							
		24生								23生								22生							
		1年生(前期末)				1年生(後期末)				2年生(前期末)				2年生(後期末)				3年生(前期末)				3年生(後期末)			
		学科評価	全学評価	学科評価	全学評価	学科評価	全学評価																		
〔I〕この授業の授業内容、授業方法について伺います。	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	
	1.授業内容のレベルは、全体的にみてどうでしたか。(難易度)	S	4.13	S	4.00	S	4.12	A	3.97	A	3.97	A	3.96	A	3.94	A	3.93	A	3.96	S	4.00	S	4.10	S	4.06
	2.担当教員は授業を行うにあたって工夫や配慮をしていましたか。	A	3.91	A	3.88	A	3.91	A	3.88	A	3.84	A	3.88	A	3.72	A	3.87	A	3.79	A	3.89	A	3.99	A	3.98
	3.担当教員は学生の質問や意見を述べられるような配慮やコミュニケーションをしていましたか。	A	3.76	A	3.69	A	3.86	A	3.70	A	3.71	A	3.68	A	3.75	A	3.65	A	3.64	A	3.69	A	3.76	A	3.82
	4.担当教員の授業内容の説明の仕方や教え方は上手でしたか。(教え方)	A	3.80	A	3.75	A	3.75	A	3.78	A	3.77	A	3.77	A	3.65	A	3.77	A	3.62	A	3.78	S	4.00	A	3.90
	5.使った教材(テキスト・配布資料など)は適切(量・難易度)でしたか。	A	3.94	A	3.88	A	3.91	A	3.84	A	3.79	A	3.84	A	3.69	A	3.81	A	3.65	A	3.84	A	3.94	A	3.93
	6.この授業における課題や宿題をやることは、あなたにとって買や量の点からみてどうでしたか。	S	4.43	S	4.20	S	4.38	S	4.16	S	4.27	S	4.13	S	4.21	S	4.11	S	4.27	S	4.14	S	4.35	S	4.21
	7.この授業は興味・関心を呼び起こすものでしたか。(興味)	A	3.70	A	3.78	A	3.80	A	3.78	A	3.66	A	3.74	A	3.57	A	3.72	A	3.61	A	3.76	A	3.74	A	3.87
	8.この授業の満足度はどうでしたか。(満足度)	A	3.83	A	3.87	A	3.82	A	3.85	A	3.78	A	3.80	A	3.59	A	3.79	A	3.76	A	3.82	A	3.82	A	3.93
	〔II〕あなたの授業について、平均すると毎週どれくらい授業に参加した学習(予習や復習、レポートの作成、情報の検索や関連図書の講読などを)を行いましたか。	D	2.10	D	2.49	D	2.20	D	2.45	D	2.21	C	2.53	D	2.40	C	2.57	D	2.04	C	2.60	D	2.15	C	2.63
	2.授業への集中・質問・発言・討論・実験実習の活動など、あなたはこの授業に積極的に取り組めたと思いますか。	A	3.52	A	3.50	B	3.44	B	3.47	A	3.55	B	3.46	B	3.43	B	3.34	B	3.45	B	3.46	A	3.56</		

第7章 学修成果の点検・検証の総括（2021年度入学生）

2021年度入学生に対する学修成果の点検・評価の総括

学修成果検証小委員会
主査 棚橋 秀行

1. はじめに

○2019年11月の第12期・第1回教育改革実行委員会において、学修成果の点検・評価は卒業生を送り出した都度行うこととなりました。2020年度秋に受審した大学認証評価の結果、本学の教育における学修成果の可視化の取り組みは一定の評価をいただくことができました。しかしながら、当時の学修成果の可視化の手法にはまだ改善すべき点や検討が不足している点があることも同時に浮かび上がってきました。これに対して今後あるべき学修成果の可視化はどういうものか、といった点に対する教育改革実行委員会における議論の成果は、現在進行中の24年度カリキュラムにおける専門科目と人間科学科目群の貢献度を融合した新たな12のDP小項目の設定などへと繋がりました。

○2025年5月7日の大学運営委員会において、2021年度入学生に対する点検・評価を各学科長等へ依頼し、7月25日締め切りで回答をいただきました。本報告はこの点検・評価を通じて得られた知見の総括を行ったものです。

2. DP ポイントグラフに関して

本学では学科（専攻）ごとに、教育目的を踏まえて身につけるべき能力を明確にしたDP項目を定めています。DPポイントグラフはDPの各項目に対して、教育プログラム単位、および個々の学生単位での学修成果を可視化するためのグラフであり、履修モデルごとのDPポイントの想定値、および学生が獲得したDPポイントの分布状況をグラフ化しています。これらのグラフから、

- 学位授与の方針、カリキュラム、カリキュラムマップ、カリキュラム・フローチャート、履修モデル等の教育制度上の視点より評価する。
- 教育内容・方法の視点より評価する。
- 履修指導や学修指導の視点より評価する。

といった点検・評価が行われました。教育課程編成・実施の方針で述べられているような教育プログラムや授業科目ごとの検証につなげるものです。

3. 大同大学の学位授与の方針と学科等の定めたDPとの対応

以下に大同大学のDPを示します。

- a. 社会人として活動するために必要な基礎的な能力を身につけている
- b. 豊かな教養を身につけている
- c. 確かな専門性を身につけている
- d. 豊かな創造力を身につけている

これと関連付けて整理することにより、学科等の目指す教育の特色が明らかになると考えられます。

4. DP ポイントが低いケース（履修モデル・学生DPポイント分布）について

○DPポイントの想定値を各項目で総和を取ると、124（卒業に必要な単位数）×100（貢献度[%]）×1.167

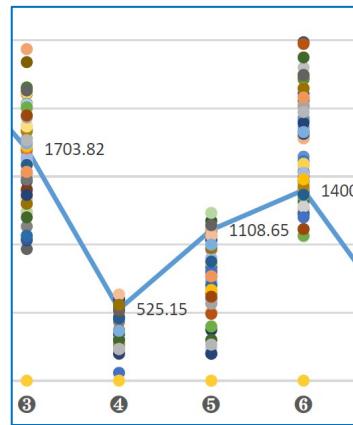
(学業成績評価係数、良に相当) = 14,471 となります。このとき、DP の項目毎にポイントの想定値の最低ラインをどのように考えればよいか、といった点は重要です。

○ 例えば DP ポイントが 200 である項目は、2 単位で貢献度 (100) の科目が1 つ、成績可 (学業成績評価係数 1.0) であれば到達できてしまう値 ($2 \times 1 \times 100 \times 1.0$) であることを示しています。学位授与の方針として掲げる項目としては数値が低いと考えられるのではないでしょうか。

○ 「DP ポイントが低い」 ケースには、以下のような 3 つがあります。

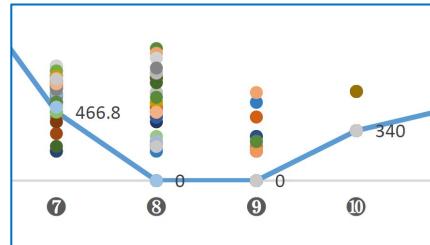
(ア) ある DP 項目において履修モデルでは DP ポイント想定値がある程度あるが、学生の DP ポイント分布があまりに下方に乖離している・ほとんどゼロのケース (例: 電気電子履修モデル A 右図の④⑤)

他の DP 項目では学生の DP ポイント分布が履修モデル DP ポイント想定値を逆に大きく上回っている傾向もあり、そのような DP 項目と対になっているのではないかと考えられます。ただし、2 年前の 19 生までの点検の際よりも全学的にこのケースはかなり少なくなりました。昨年 20 生からは新カリキュラムとなったことで、全学的な見直しがなされたものと思われます。



(イ) ある DP 項目において、学生の DP ポイント分布はある程度の値であるが、設定された履修モデルの DP ポイント想定値がほとんどゼロのケース (例: 電気電子履修モデル A 右図の⑧⑨)

履修モデル A の DP 項目 8 と 9、履修モデル B の DP 項目 4 と 5、履修モデル C の DP 項目 4 と 5 は履修モデルの想定値がゼロとなっていました。履修モデルごとの選択科目の差を認めた設計のためでしたが、24 カリではこれらの項目を専門内容の修得を示す包括的な方針に改訂されました。



(ウ) ある DP 項目において、履修モデルの DP ポイント想定値・学生の DP ポイント分布ともにほとんどゼロであるケース。

(例: 建築専攻履修モデル A 右図の⑩)

DP 項目数が 10 個と多すぎたことも、履修モデル設定 DP ポイントがどこかの DP 項目で小さくなってしまう、ひとつの要因であったと考えられます。新 24 カリではこれまでより専門科目に関する DP 項目数を絞り、DP 値が極めて低くなる項目を生じさせないように改訂されました。

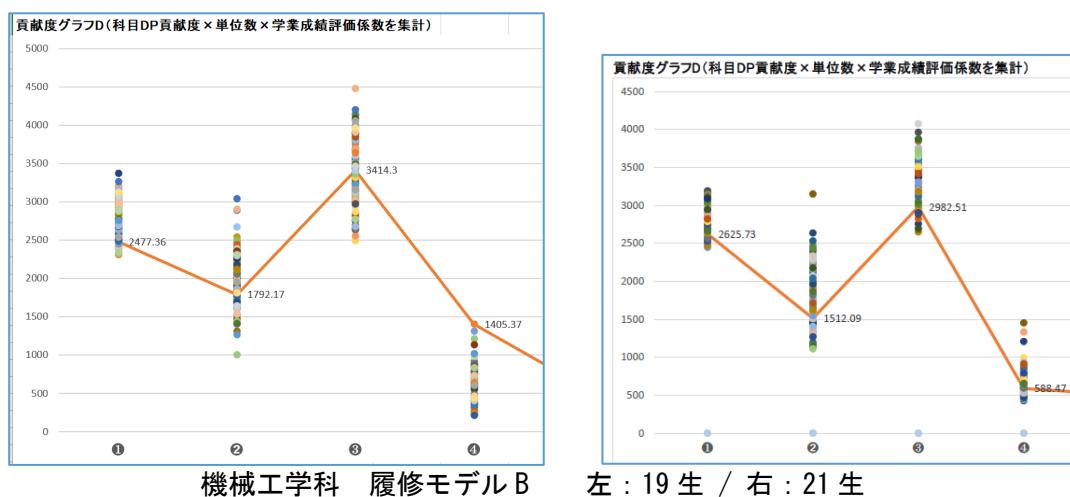


上記 (ア) (イ) (ウ) のような点の抜本的な改善は、学生の履修指導では限界があるため、現行の 24 カリにおいてはカリキュラムマップと履修モデルを設計段階から見直し、その際に履修モデルの DP ポイント想定値 500 (そのうち主要科目で 200) を学位授与方針ごとの DP ポイントの標準目標値の全学共通の下限値とすることにしました。

5. 各学科等の点検・評価

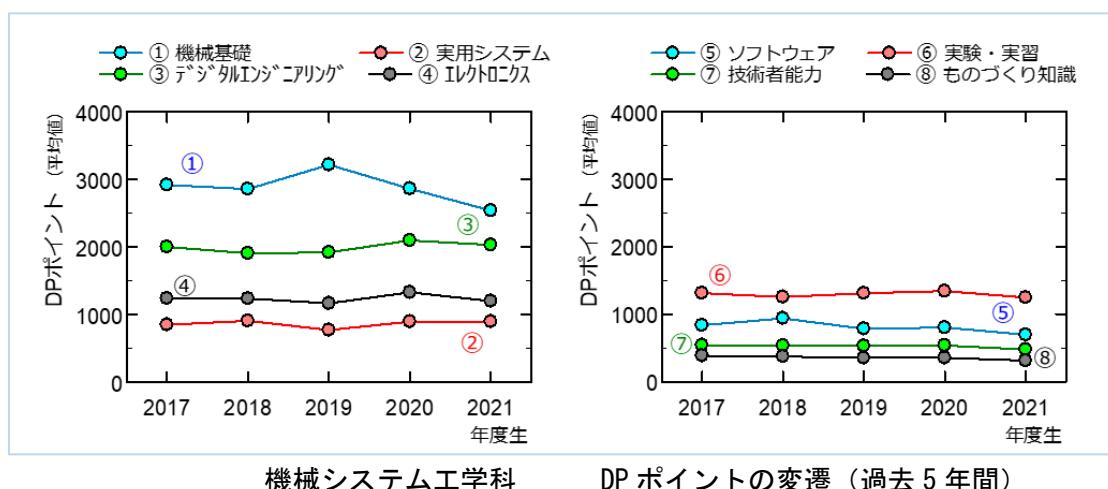
【機械工学科】

○2019年度までは項目4で目標値を下回る学生が多くなっていたが、2020年度、2021年度入学生ではその傾向は見られない。また、2021年度の入学生も2020年度入学生と同様に新型コロナウィルスの影響を受けており、これまでの傾向と異なっていることも考えられる。また、2020年度の入学生からカリキュラムが若干変更されており、2019年度入学以前の学生と直接比較できない部分もある。



【機械システム工学科】

○下図にて過去5年間の本科学生の各項目のDPポイントの変遷を示す。図中の値は、各年度入学生の学生全員のポイント（貢献度グラフD）の平均値を示す。本学科のカリキュラムは、機械工学に加えて電気・電子工学、情報工学と幅広い分野を学習範囲に設定しているため、基本を重視するものとなっている。そのため、数学、力学を含めた機械系基礎科目に対応するDP①[機械基礎]のDPポイントが他の項目に比べて高くなるのは当然で、機械工学に軸足を置くという学科の方針に合っていると言える。図より、①[機械基礎]のポイントがこの2年間減少している。

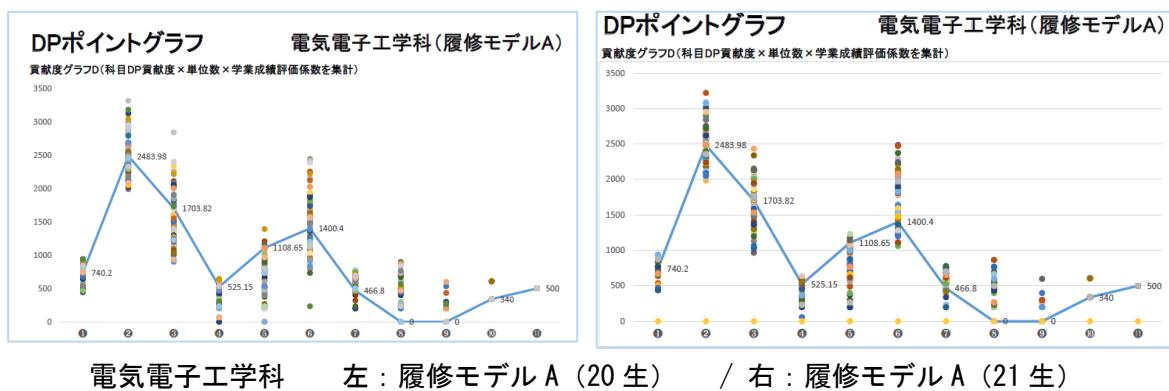


○ここ数年学生の取得ポイントが減少傾向にあるだけでなく、分布の広がりが大きく、取得ポイントが非常に低い学生が見られるようになってきた。これにより、昨年は目標値を上回っていた平均取得ポイントが、目標値を下回っている。この結果の要因として、学生の基礎学力の低下とともに、修学心不足の学生が増えていることが考えられ、昨今の入試状況を鑑みると今後さらにこの傾向が進むことが懸念されることから、単純に目標値の見直しを検討するだけではなく、これらの学生に対する対応や教育そのものについても考えていく必要があると思われる。【まとめにて引用】

【電気電子工学科】

○電気電子工学科の20カリの学位授与方針は11項目から構成されている。しかしながら、学位授与においては全ての方針を満たす必要はない。すなわち、必修科目の方針1~3および10~11が全員の必要項目であり、方針4~9については選択する科目によって、その内の2つ程度を満たせば良い。24カリでは、その学位授与方針を改訂したが、今回は現状の方針に沿って考察する。

○必修科目の方針である方針1の基礎となる数学科目についてのポイントはやや低く、方針3の実験についてのポイント分布が幅広い。これらは必修科目であるが、数理知識及び課題探求能力に関して全体的に成績が低いことが要因と思われる。いずれの科目も重要な科目であるため、良く調査を行った上で、必要であれば改善を検討したい。

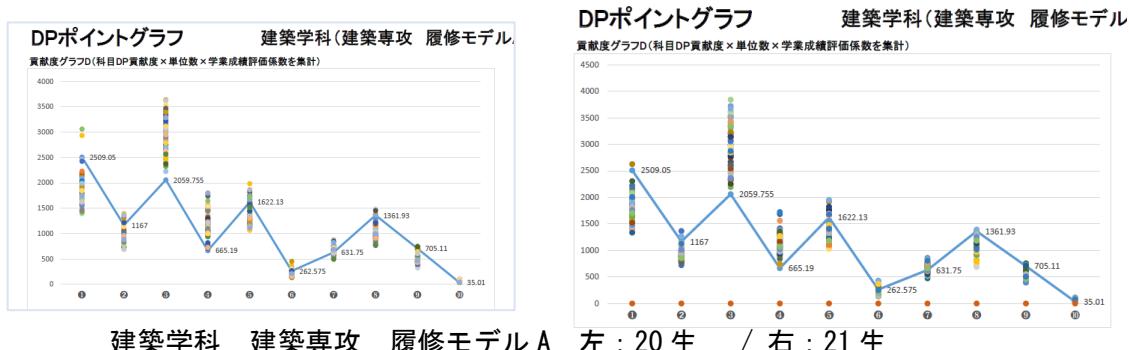


【建築学科（建築・インテリア）】（棚橋にて文面を編集しました）

○履修モデルA

学位授与方針の3.（建築の設計・計画に関して）：学生の分布 上振れ

学位授与方針の4.（建築造形、意匠と歴史に関して）：学生の分布 上振れ

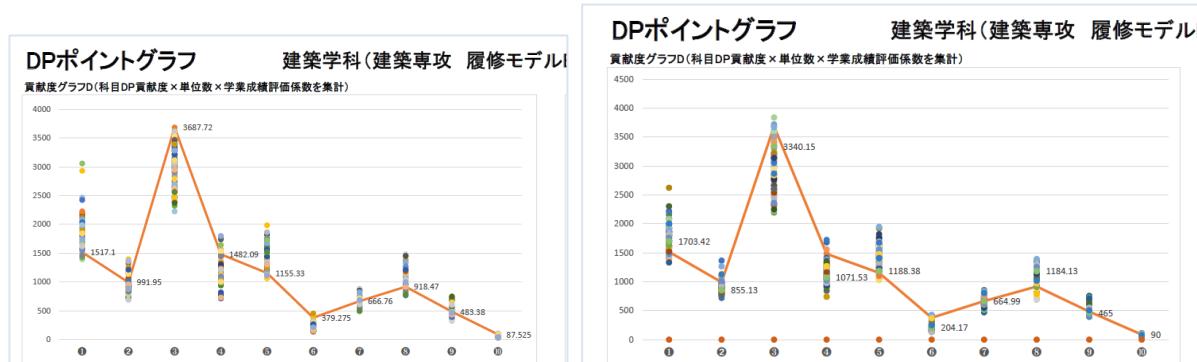


○履修モデル B

学位授与方針の 3. (建築の設計・計画に関して)：学生の分布 下振れ

学位授与方針の 4. (建築造形、意匠と歴史に関して)：学生の分布 下振れ

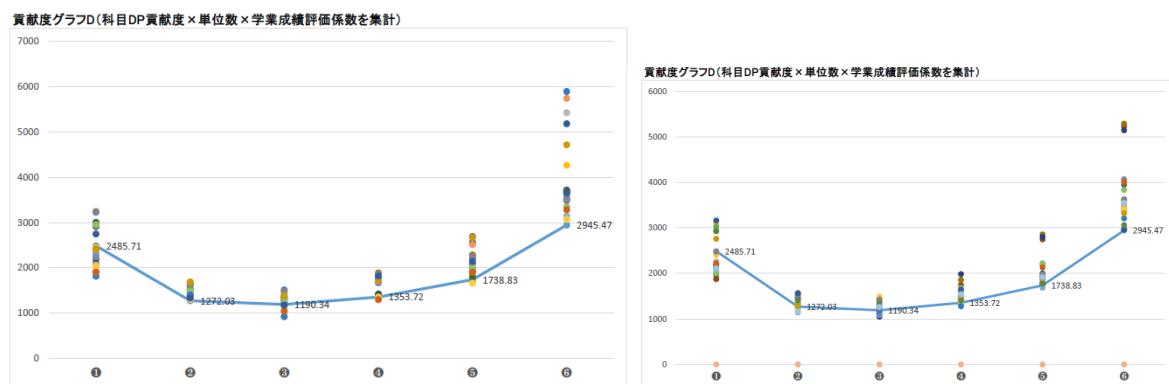
○この傾向は 20 生も同様であった。昨今、設計・計画系の研究室志望学生が増加している傾向からも、今後、設定の見直しを検討する必要があるだろう。



建築学科 建築専攻 履修モデル B 左 : 20 生 / 右 : 21 生

【建築学科（かおりデザイン専攻）】

○ 全体として、「2. 臭気対策技術」「3. 香料に関する知識・調香技術」「4. 心理・生理と香りの活用に関する知識」「5. 快適な生活環境の創造」の高評価者が昨年度よりも減少しており、「1. 嗅覚の特性に関する知識と基本的な測定・評価能力」は前年と同程度の水準であった。学生間の差については、昨年度同様に大きく、特に「6」の項目における差が顕著である。この点は、今後の教育の中で検討すべき課題であるといえる。



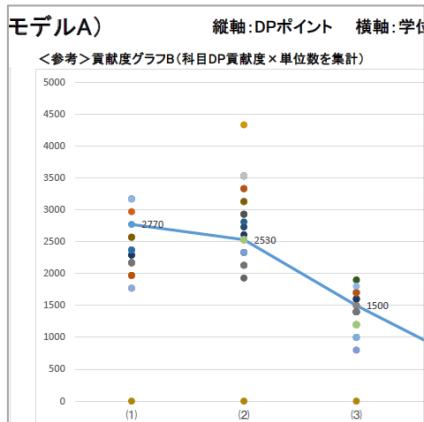
かおりデザイン専攻 履修モデル A 左 : 20 生 / 右 : 21 生

【建築学科（土木・環境専攻）】

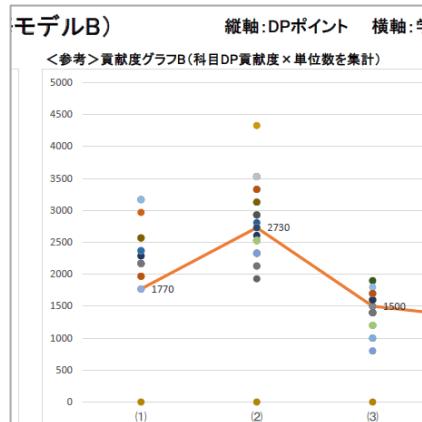
○履修モデル間の基準ポイントが大きく変わる方針①④・変わらない方針②③⑤に分類した分析がなされた。ここでは③の「下振れ」について紹介する。

・方針③（データ分析・考察） グラフ B（学業成績評価係数を乗じないもの）では単位数が下振れしており、科目の履修が、2つの履修モデルが想定する科目を履修から外している可能性がある。方針③に重心を置く科目は、1年の社会基盤設計、2年のビオトープ設計・測量学1・2、測量実習、3年の環境調査

法同実験、道路工学、環境アセメント、まちづくりデザイン実習となっているが、3年生の選択科目が多く、2コマの実習系科目を時間割から外しながら履修するため、方針③の科目の履修単位数が少なくなる傾向があるものとみられる。2024年カリでは、3年生の専門科目の修得単位数に下限を設けていくため、この点の改善が期待される。



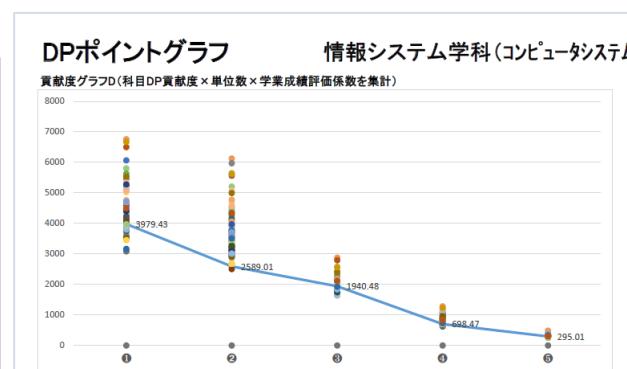
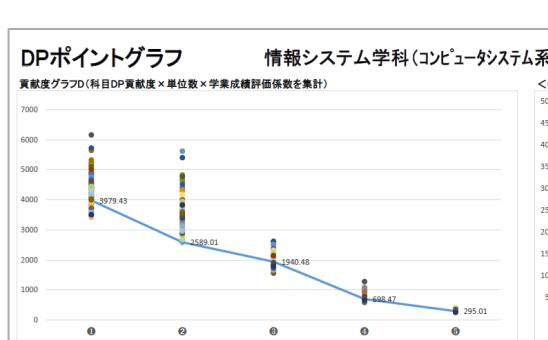
土木・環境専攻 貢献度グラフ B



左：履修モデルA / 右：履修モデルB

【情報システム学科】

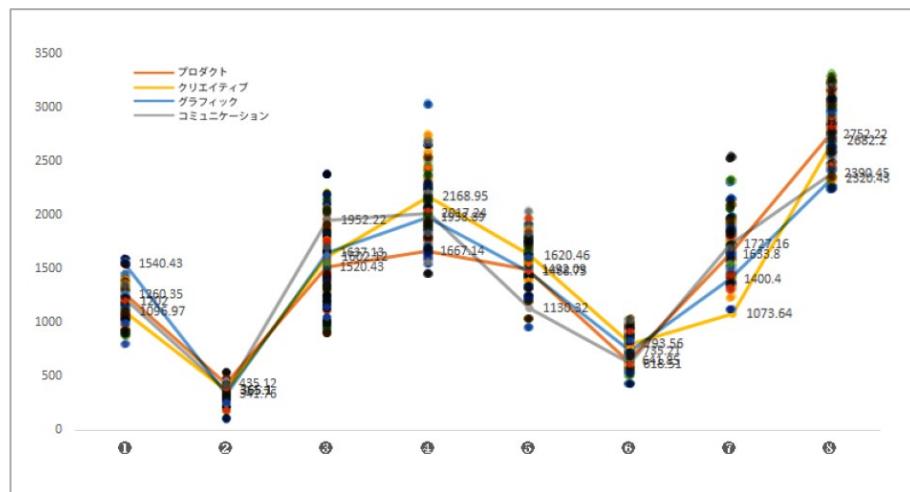
- 20カリでは、履修モデルがコンピュータシステム系／情報ネットワーク系／応用情報系の3つに細分化された。いずれのモデルでも学位授与の方針1. のポイントが高く、続いて同方針2. 以降のポイントが低くなる設定であり、実際の学生の成績のDPポイントの分布も同様な傾向である。
- 3つの系統の間で学位授与の方針1、2での多少のばらつきはあるものの、平均の成績はいずれも「良」評価を基準とした想定値を超えたものとなっており、かつ2020年度より高い結果となっていた。全体を通して、2021年度生も2020年度生と同様にコロナ禍の影響を受けた学年であったが、コロナ後に対応した学修が順調に行われており、十分に高い学修成果が得られたと考える。



情報システム学科 コンピュータシステム系の履修モデル 左：20生 / 右：21生

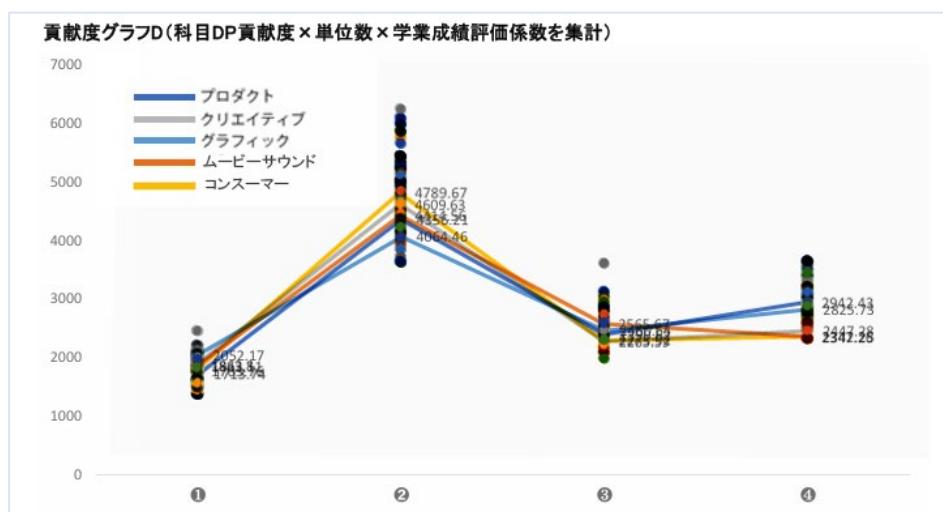
【情報デザイン学科】

○(2023年度の19生総括より引用) 16カリキュラムでは4つの履修モデル(プロダクト/クリエイティブ/グラフィック/コミュニケーション)がある(以下に重ねて図示)。DP項目2のコミュニケーションにおいては大同のウイークポイントにあたるのでカリキュラム視点で強化していきたい。



情報デザイン学科 19生総括より

○20カリキュラムでは4つの履修モデル(ムービーサウンド/グラフィック/クリエイティブビジネス・コンスマービジネス/3D(プロダクト))がある(以下に重ねて図示)。
棚橋コメント:20カリにおけるDP項目1「主体的な学びの態度が備わり、情報化社会にふさわしい倫理観を持って、他者と協調・協働して、目標実現のために積極的に行動できる。」が16カリでウイークポイントにあたるとしていたDP項目2コミュニケーションに対応するものと思われます。大きく上昇しています。



情報デザイン学科 21生総括より

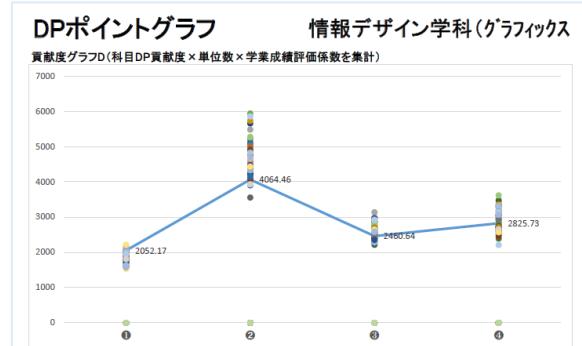
○グラフィック分野について

DP項目1に対しての期待度が高すぎるのか？

DP項目2の目標値はもっと上げてもよい。

DP項目3は達成できてきている。

○グラフィックデザインとしての技量や個性を生かした発案など達成度は高い一方、積極性（DP項目1）などグラフィックデザイン要素としては不足を感じる。

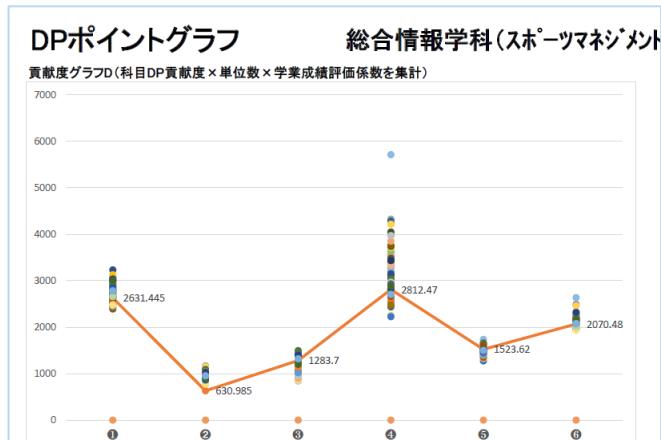


【総合情報学科】

○総合情報学科では19カリキュラムより、経営情報コース、スポーツ情報コースの2コース制となり、それに履修モデルが存在している。入学試験もコース別に実施されている。20カリキュラムから学位授与の方針は6項目となっており、コースは違っていても学位授与の方針は同一である。

○経営情報コース、スポーツ情報コースいずれの履修モデルにおいてもDPポイント分布（貢献度グラフD）及び想定値は方針1と方針4が相対的に高い値を示しており、方針2と方針3が低い傾向にある。方針4は両コースにおいて専門教育の根幹となる内容であり、DPポイントの分布も相対的に高くなっていることが伺える。

○昨年度20生の分析において、『スポーツ情報コースでは方針5（経営またはスポーツ分野の情報や調査・実験データを論理的に分析することができ、かつ問題解決のための応用ができる）の成績の分布がDPポイントの想定値を下回っている傾向が強く、実際に実験データを扱い論理的に分析する科目が少ないことからその分野の能力が比較的低かったのかもしれない』という記述があった。下の図に示すように今年度（21生）も同様な傾向がみられるが、問題ではない範囲と思われる。



総合情報学科 スポーツマネジメント履修モデル 左 20生/右 21生

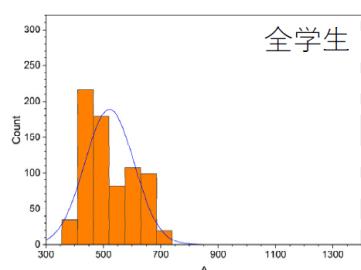
【教養部】

○教務室から全学生のデータ入手し、化学教室の田中宏昌教授を中心に教養部で独自に分析を行った。学位授与方針（DP）の項目A～Hのそれぞれについてヒストグラムを作成し、過去の分布と比較した。

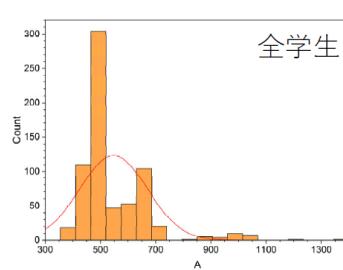
○一例を示す。次ページの図は、項目A『英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的

なコミュニケーションを行うことができる』についての比較である。2019と比較して学生数が最も多い層が2020では高ポイント側にシフトした。また、一般的な学生と比べて、極端に多くのポイントを獲得した学生が現れた（30名程度）。期末試験がなかったため遠隔講義において、課題やテストで好成績をとった学生が多かったのかもしれない。こうした「極端に多くのポイントを獲得した学生」は、この項目Aのみならず2020では他の項目でも散見された。

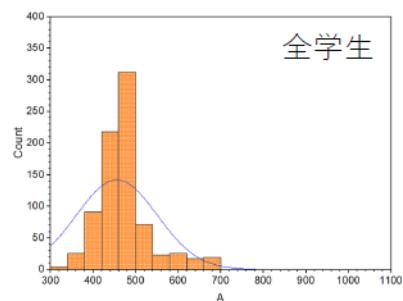
2019



2020



2021



項目Aについてのヒストグラム (DP ポイント～学生数) 3年間の比較

○2021生は2020生とくらべて、高得点層が明らかに減少した。特に、2020生に存在していた、高得点グループが消失し、500点近辺に多くの学生が集中している。工学部と情報学部の分布に大きな差異はなかった。

○以下の表では、項目A～Hについて「DPポイントの平均値と中央値の年度比較」を表で提示した。

DP ポイントの平均値と中央値の年度比較 (全学生のみ)

平均値	2021	前年比	2020	2019	2018	2017	中央値	2021	前年比	2020	2019	2018	2017	平一中	2021	2020	2019	2018	2017
学生数	844		685	735	694	695	学生数	844		685	735	694	695	学生数	844	685	735	694	695
A	456	-91	547	521	464	446	A	462	-47	509	499	452	441	A	-6	38	22	12	5
B	289	-52	341	320	291	282	B	295	-30	325	312	287	279	B	-6	16	8	4	3
C	340	-21	361	353	352	351	C	347	0	347	347	352	347	C	-7	14	6	0	4
D	825	-44	869	822	861	830	D	816	-29	845	811	857	811	D	9	24	11	4	19
E	747	-115	862	809	777	818	E	721	-83	804	770	737	771	E	26	58	39	40	47
F	1189	-235	1424	1289	1246	1194	F	1228	-212	1440	1334	1301	1201	F	-39	-16	-45	-55	-7
G	101	-14	115	199	207	204	G	50	-3	53	226	86	250	G	51	62	-27	121	-46
H	1117	-206	1323	1347	1192	1198	H	1082	-262	1344	1406	1273	1210	H	35	-21	-59	-81	-12

○2021生と2020生を比較すると、全項目で平均値・中央値ともに大幅減少した。したがって、21生は人数は多いが、全体的な学力は低下していると判断できる。教養部科目は低学年生を対象としているので、入学時の学力がそのまま反映されている可能性が高い。この傾向は今後もしばらく続くと予想される。

○20生との大きな違いは、平均値を引き上げていた数十名の高学力層が消失し、平均値と中央値の差が多くの項目で小さくなっていることである。これは、2018年以前の傾向に近い。あえて過激な表現を用いるならば、低いレベルにまとまりつつあるということである。（教官のブレのない評価を反映しているともいえる）

○下記が特に大きかったのが、理系科目（数・物・化）に対応する項目FとH（※）なのが気にかかる。授業を担当している教員は、肌感覚として納得できるかもしれない。ただし、20生は講義の大半が遠隔形式だったのに対し、21生は後半に対面形式が復活したこと考慮しておく必要がある。（20生が1年生のときは、期末試験を実施しなかった科目が多い）

※項目Fと自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。

※項目H 工学（情報学）の基礎として、数学、自然科学を活用することができる。

6. まとめ

本報告では、2021年度入学生に対する学修成果の点検・評価に関する総括を行うとともに、現在進行中の24年度カリキュラムにおける学修成果の可視化においてクリアすべき可視化手法の課題点を再確認しました。

- 1) 今回対象とした2021年度入学生は、2年前の19生までとカリキュラム・履修モデルが異なるものの、多くの学科専攻における学生のDPポイント分布の傾向は、これまでとほぼ同様であった。
- 2) 低学年時の学力を考察するにあたり、教養部の分析が大変に参考になった。教養部科目は低学年生を対象としているので、入学時の学力がそのまま反映されている可能性が高く、21生は入学前の学力が低下していたと判断できる。下げる幅が特に大きかったのが、理系科目（数・物・化）に対応する項目であったことも重要な指摘であり、いくつかの学科専攻でも21生の専門科目におけるDPポイントの低下が指摘されている。機械システム工学科のまとめにもあったように、昨今の入試状況を鑑みると今後さらにこの傾向が進むことが懸念されることから、単純に目標値の見直しを検討するだけではなく、これらの学生に対する対応や教育そのものについても考えていく必要がある。
- 3) 抽出された20カリキュラムの可視化の課題のはほとんどは、学位授与方針と履修モデルに基づいて算出したDPポイントの想定値と学生が獲得したDPポイントの分布状況の乖離にある。こうした点は20カリキュラムでの対応は限界があるため、現在進行中の24カリの策定時にカリキュラムマップと履修モデルの設計段階から以下のような再構築が行われた。これにより可視化の課題が解決されることに期待したい。

〈DPポイントグラフの横軸：DP項目に関して〉

- 大学の学位授与方針（大項目DP）と小項目DPの相関を整理すること。
- 教養と専門科目の小項目DPに対する貢献度配分を融合すること。
- DP値が極めて低くなる項目を生じさせないようにするために、これまでより専門科目に関するDP項目数を絞る。
- 学修ポートフォリオにおけるレーダーチャートとの連携を考慮し、全学科専攻共通で12項目とする。

〈DPポイントグラフの縦軸：あらたなDPポイント標準目標値に関して〉

- 学修ポートフォリオへの接続を考え、学科専攻内に複数の履修モデルが存在しても、単一のDPポイントグラフでDPポイント標準目標値を設定できること。
- 履修モデルが無い教養科目に関しても、DPポイント標準目標値を設定できること。
- 履修モデルのDPポイント想定値500（そのうち主要科目で200）をDPポイントの標準目標値の下限とする。

- 4) 今後は本報告における正課授業成績による学修成果の可視化以外の点検・評価方法として、学生実態調査や2024年度より導入された学修ポートフォリオ、そして外部アセスメントテスト（GPS-Aなど）などを包括し、「2024年度大同大学アセスメント調査結果報告書」として取り纏める予定である。こうした活動を通じて得られた学修成果の把握・評価の結果が、第4期の大学認証評価の項目（次ページの表参照）にも示されているような教育内容・方法及び学修指導の改善、さらには次期カリキュラムの作成にフィードバックすることが重要であると考える。

－以上－

(参考 日本高等教育評価機構 第4期評価基準 基準4 教育課程 4-3.学修成果の把握・評価)

日本高等教育評価機構 第4期 評価基準

基準4.教育課程

趣旨

大学の機能の中核である学修の柱となるのは教育課程です。大学は、その使命・目的を踏まえて、学部・学科・研究科などごとの教育研究上の目的を明確に定めるとともに、これを達成するための方策として、三つのポリシーを定めることが必要になります。その上で、単位授与や卒業・修了の認定基準を定めて、これを厳正に運用するとともに、教育課程の編成と実施に反映させる必要があります。また、教授方法の工夫や学修成果の把握・評価結果のフィードバックを通じて、大学の教育を可視化し、外部からの評価を受けながら、更なる教育課程、教育内容・方法及び学修指導などの改善を不斷に図っていくことが、教育の質を高めるために不可欠なことです。

4-3.学修成果の把握・評価

①三つのポリシーを踏まえた学修成果の把握・評価方法の確立とその運用

- 三つのポリシーのうち、特にディプロマ・ポリシーを踏まえた学修成果を明示しているか。
- 学生の学修状況・資格取得状況・就職状況の調査、学生の意識調査、卒業時の満足度調査、就職先の企業アンケートなどを実施し、大学が定めた多様な尺度・指標や測定方法に基づいて学修成果を把握・評価しているか。

②教育内容・方法及び学修指導などの改善へ向けての学修成果の把握・評価結果のフィードバック

- 学修成果の把握・評価の結果を教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしているか。

7. 2 各学科専攻のDP一覧

機械工学科

1. 機械工学の専門分野の基礎的な理論・概念に関する知識を身につけている。
2. 機械工学の専門分野の高度な理論・概念に関する知識を身につけている。
3. 機械工学の専門分野の方法論に関する知識を身につけている。
4. 機械工学の専門分野の情報・データを理論的に分析し、問題解決のために応用できる。
5. 自由な発想のもと、新たな知見を想像する力が備わっている。
6. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用する力が備わっている。

機械システム工学科

1. 工学の基礎となる数学、力学などを通して、機械工学の諸現象を論理的に考察し理解する能力を身につけている。
2. 実社会で活躍しているエネルギー・システム、航空宇宙システム、自動車システム、ロボットシステムなどを学習し、幅広い機械システム技術を理解する能力を身につけている。
3. 機械システムやロボットシステムの設計・解析・生産などのものづくり技術を学習し、これらをコンピュータを応用して行うための技術を理解する能力を身につけている。
4. エレクトロニクスの知識を持ち、メカトロニクス機器の開発技術を理解する能力を身につけている。
5. コンピュータのプログラムによる機械制御技術を理解する能力を身につけている。
6. 広い視野に立って課題を自ら発見し、実験、実習などの実践を通じて、これらの工学課題を設定・遂行・解決する能力を身につけている。
7. 技術者として工学の諸分野に対する興味・関心と主体的に目標を定めて行動する力を持ち、また、コミュニケーションを通じて他者と協働する力を身につけている。
8. ものづくり産業に必要な文化・社会に関する一般的知識を身につけ、これらを活用するための技術を理解する能力を身につけている。

電気電子工学科

1. 基礎学力としての数学を身に付け、電気電子工学分野に応用できる。
2. 電気電子工学分野の基幹科目に関する知識を身に付けている。
3. 実験や設計・演習を通じて専門分野の知識に関する理解を深めるとともに、課題探求能力を身に付けている。
4. 現代社会を支える電気エネルギーの発生から利用までを理解している。
5. 電気エネルギーの利用や供給の分野で、装置、機械器具等の設計や開発を行うことができる。
6. ロボット、電気自動車、電気エネルギー分野に利用されているパワーエレクトロニクス及びコンピュータ制御技術について理解している。
7. コンピュータのプログラミングと電子回路設計・製作ができる。
8. 材料の物性及びデバイスの動作原理を理解している。
9. エレクトロニクス用デバイスの機能とその応用における基礎技術を理解している。
10. 課題解決のために、実験を計画・実行し、解析・考察し、自分の論点や考え方についてわかり易く、論理的に発表できる。
11. 電気電子工学における先端技術に興味・関心を持ち、その本質を見極めることができる。

建築学科 建築専攻

1. 荷重や、建築物がそれを支える仕組みを理解し、地震などの自然界の脅威に抵抗し、機能の保全と安全性の確保を満たしうる設計ができる。
2. 材料の性質を理解し、地球環境に配慮した建築物の品質・耐久性・経済性を満足する適切な材料の選択および施工方法を考えることができる。
3. 建築の設計を理解し、必要な知識体系を身につけている。
4. 建築造形の基礎を身に付け、建築デザインの論理を理解している。さらに文化遺産としての建築の価値を歴

史的背景と共に理解している。

5. 快適な環境作りと環境問題への対処のために、建築環境工学諸分野の原理と実践を理解し、あわせて建築設備を適切に活用できる。
6. 持続可能な社会システムのあり方を理解し、環境負荷の低減や、時間軸を考慮した付加価値の創出、建築文化の継承を行うための手法を身につけている。
7. 諸技術を総合し、情熱をもって「ものつくり」に取り組むことができる。
8. 状況に応じて知識を多角的に展開させることができる。
9. 技術的課題に対して誠実かつ真筆な態度で臨むことができる。
10. 地域社会のなかで信頼を得ながら技術を適用していくことができる。

建築学科 インテリアデザイン専攻

1. 力に対して必要な強度を有する安定した構造の仕組みや形を理解し、空間を構成する要素の機能や安全性を確保できる。
2. 材料の性質を理解し、地球環境に配慮した建築物の品質・耐久性・経済性を満足する適切な材料の選択および施工方法を考えることができる。
3. インテリアの設計を理解し、必要な知識体系を身につけている。
4. 室内造形の基礎を身に付け、建築デザインの論理を理解している。さらに文化遺産としての建築の価値を歴史的背景と共に理解している。
5. 快適な環境作りと環境問題への対処のために、建築環境工学諸分野の原理と実践を理解し、あわせて建築設備を適切に活用できる。
6. 諸技術を総合し、情熱をもって「ものつくり」に取り組むことができる。
7. 状況に応じて知識を多角的に展開させることができる。
8. 技術的課題に対して誠実かつ真筆な態度で臨むことができる。

建築学科 土木・環境専攻

1. 社会基盤に携わる技術者として必要な土木の3つの力学（構造・水理・土質）の基礎を身につけている。
2. 社会基盤整備の計画・調査・設計・施工等に必要な主要分野に関する専門知識を身につけている。
3. 実験・測量等調査におけるデータを正確に分析し、論理的に考察することができる。
4. 技術者に必要な汎用的な情報処理能力に加え、社会基盤整備の実践に関わる情報活用能力を身につけている。
5. 多様で複雑な状況を、確かな教養と専門知識に基づいて正しく整理するとともに、倫理観を持ち主体的に思考することで、都市基盤整備における新たな提案・価値を創造することができる。

建築学科 かおりデザイン専攻

1. 嗅覚の特性に関する知識があり、基本的なにおい・かおりの測定・評価ができる。
2. におい・かおりの特性に関する知識があり、有効な臭気対策が提案できる。
3. におい・かおりの化学、香料の成分に関する知識があり、かおりの特性を踏まえた適切なかおりを調香できる。
4. におい・かおりの特性、人とかおりの関係に関する基礎知識があり、その時々で適切なかおりを選定し、活用方法を提案できる。
5. 生活環境要素に関する基礎知識があり、におい・かおりの要素を取り入れた快適な生活環境を創造できる。
6. 論点を的確に捉え、必要な調査・実験データ、情報を収集し、そのデータを理論的に分析し、課題を解決することができ、客観的なデータに基づく自らの考えを分かりやすく伝えることができる。

情報システム学科

1. 情報学分野における基礎理論を理解し自らの問題に応用できる。
2. 情報学分野の専門知識と理論を理解し他者と深く議論できる。

3. 実験・実習を通して理論と現象を結びつけて分析・理解・説明できる。
4. 課題解決に必要なツールを探索し使いこなし自らのスキルを向上できる。
5. 研究的活動も含め、実験・実習を通して問題発見・課題解決できる。

情報デザイン学科

1. 主体的な学びの態度が備わり、情報化社会にふさわしい倫理観を持って、他者と協調・協働して、目標実現のために積極的に行動できる。
2. 形、音、色彩、広告、ことば、コンピュータ、材料、製作法など広くデザインに関する知識を身につけており、的確な分析・評価により、理解を行動に活かせる。
3. 豊かな感性および論理性により、状況に応じて適切に企画、発案ができ、効果的に創作ができる。
4. グラフィック、サウンド、映像、CADなどのソフトウェアの操作法、ならびにプレゼンテーション、制作、加工方法に習熟しており、実践的な表現・制作ができる。

総合情報学科

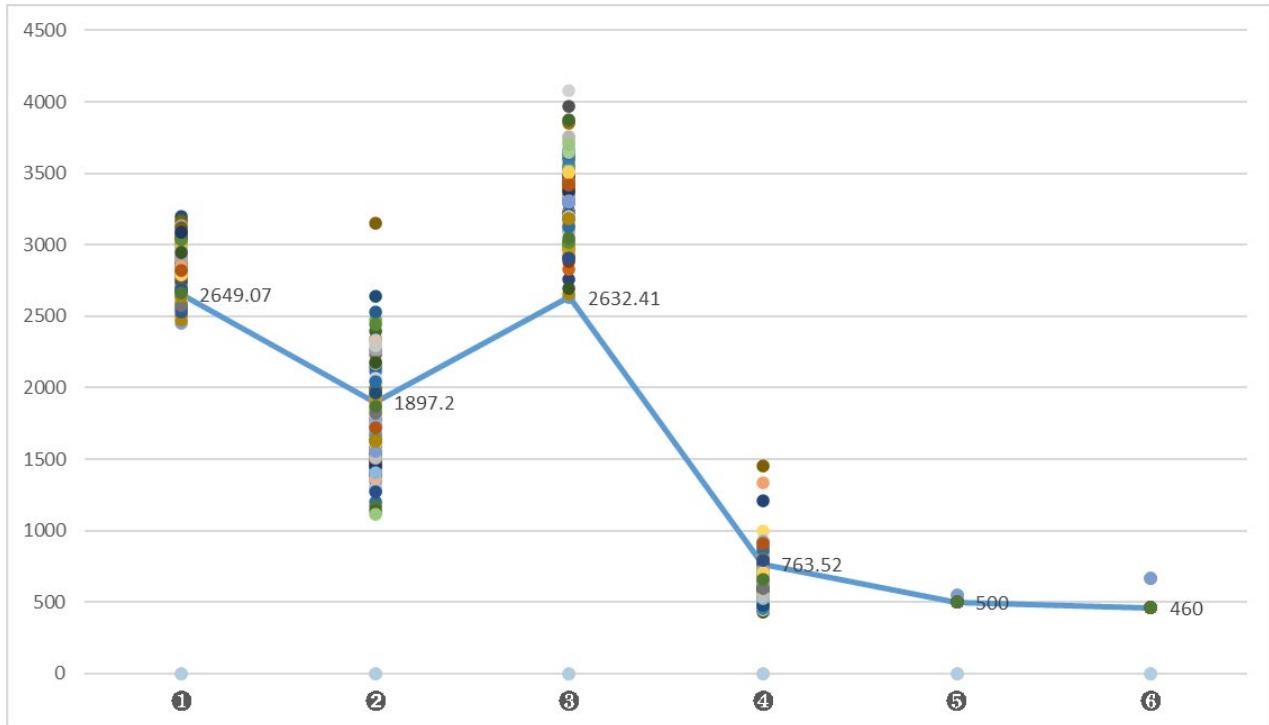
1. 知と技能を高めていく主体的な学習態度が備わり、目標実現のために行動できる。
2. 情報化社会にふさわしい倫理観を持って他者と協調・協働し、適切にコミュニケーションできる。
3. データサイエンスに関する知識・技能を身につけ、経営またはスポーツの分野に応用できる。
4. 経営またはスポーツ分野の基礎から応用までの理論・概念や方法論に関する知識を身にしている。
5. 経営またはスポーツ分野の情報や調査・実験データ等を論理的に分析することができ、かつ問題解決のために応用できる。
6. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想の下、独自に工夫・応用し、新たな知見を創造する力が備わっている。

教養部（※8.については工学部のみ）

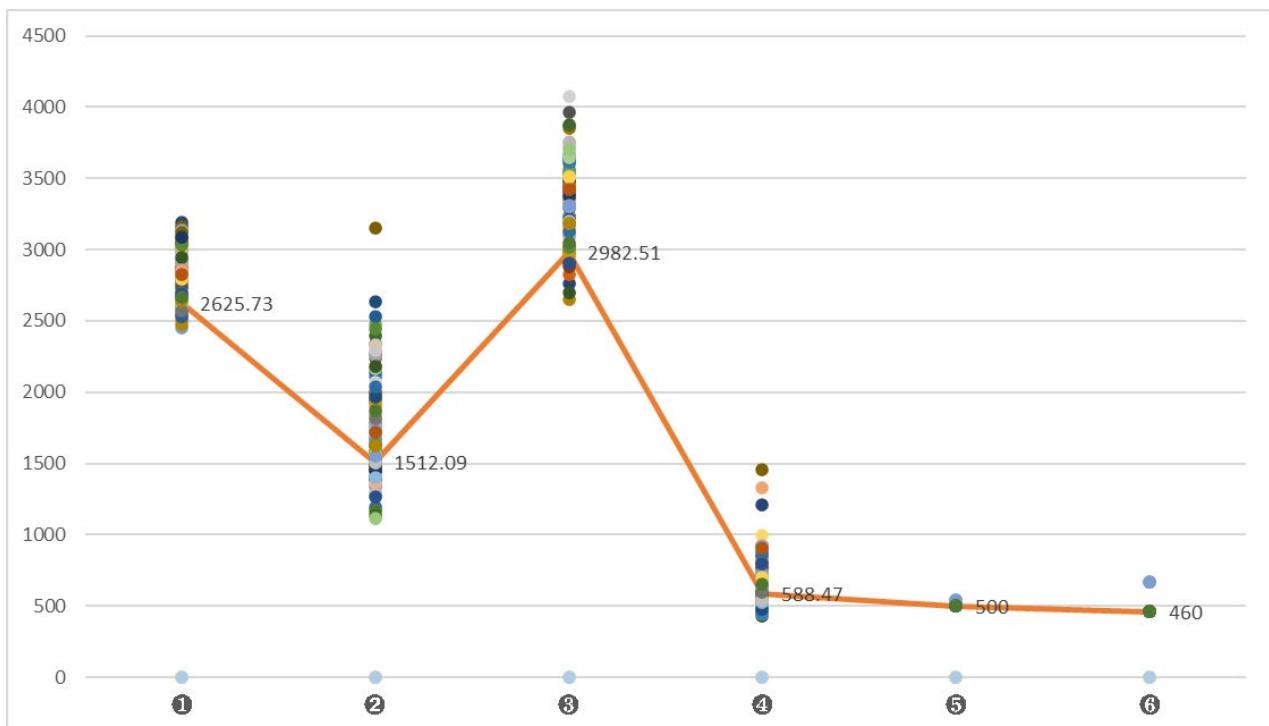
1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応するための素養を身につけることができる。
3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身にしている。
4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。
5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。
6. 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。
7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。
8. 工学の基礎として数学、自然科学を活用することができる。※

7. 3 各学科専攻の2021年度のDPポイントグラフ

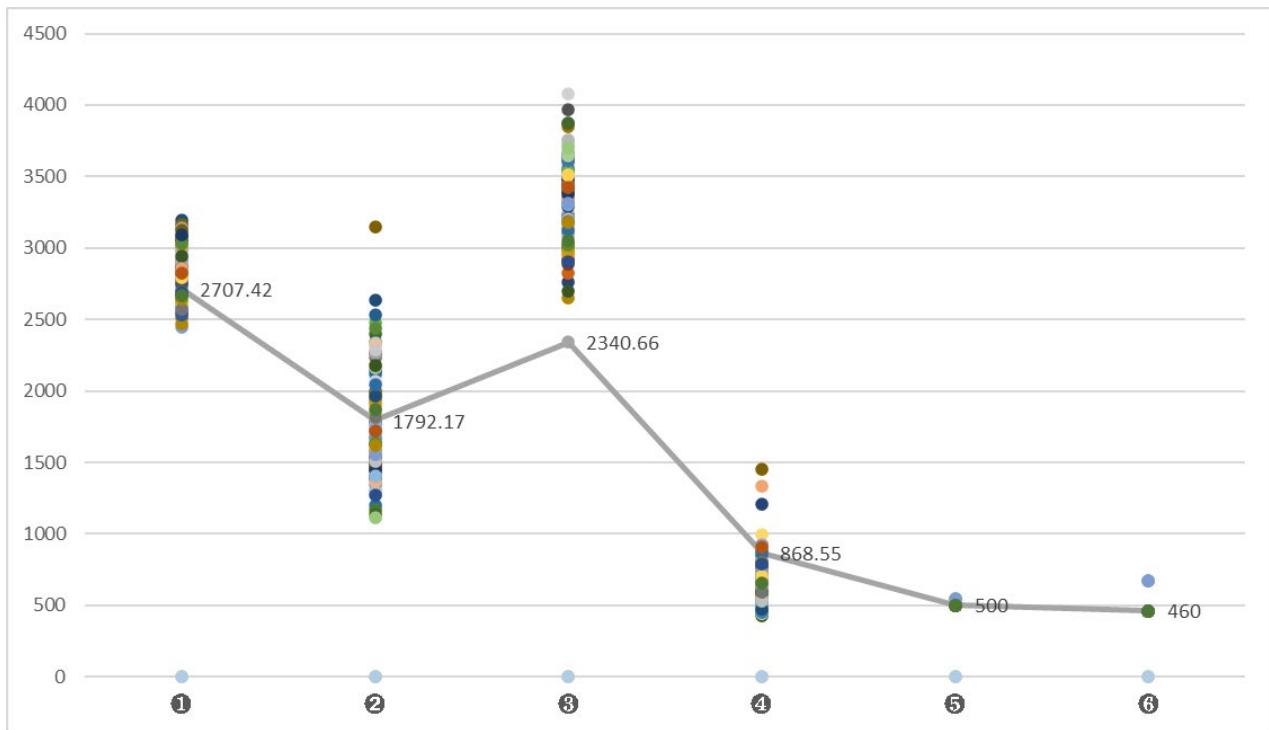
・機械工学科（履修モデル A）



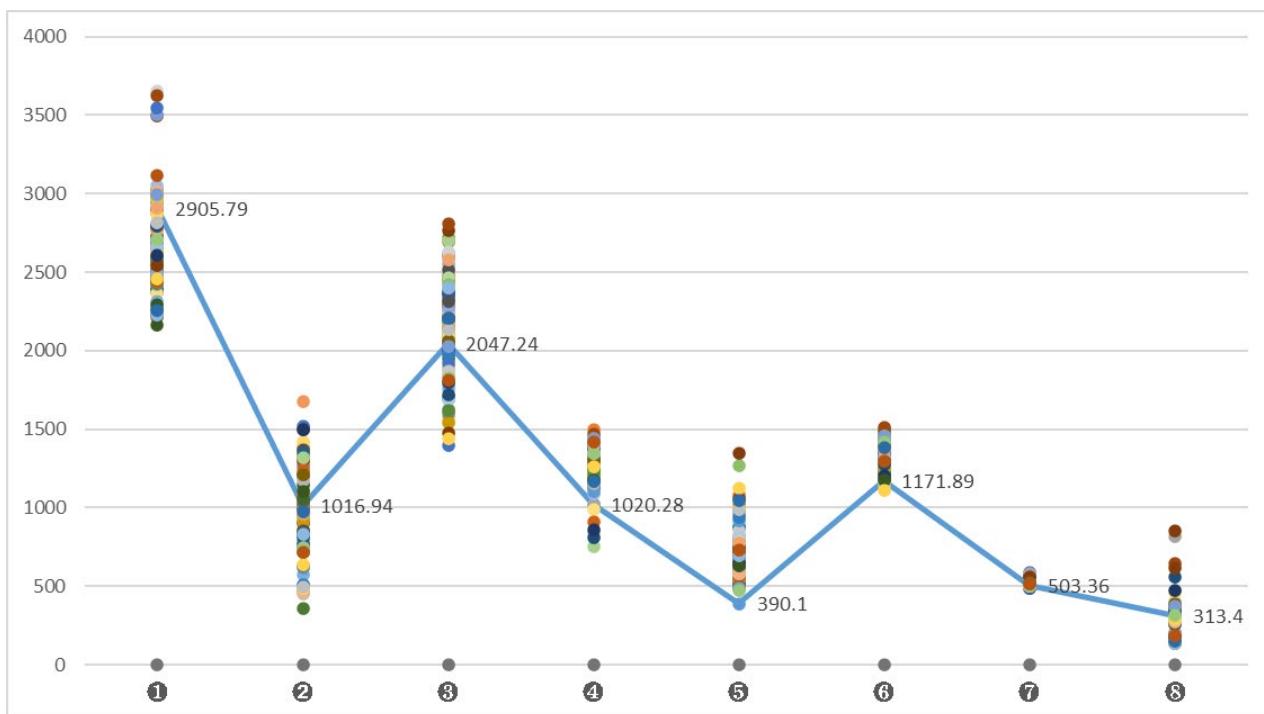
・機械工学科（履修モデル B）



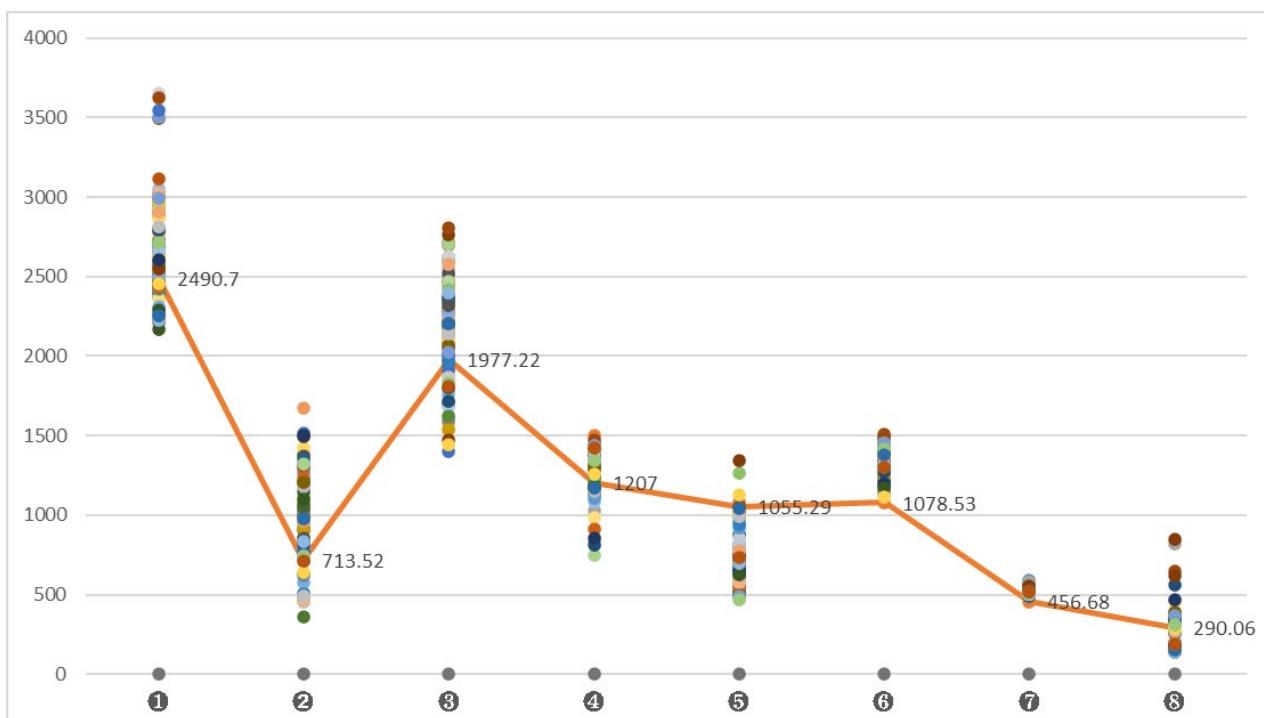
・機械工学科（履修モデル C）



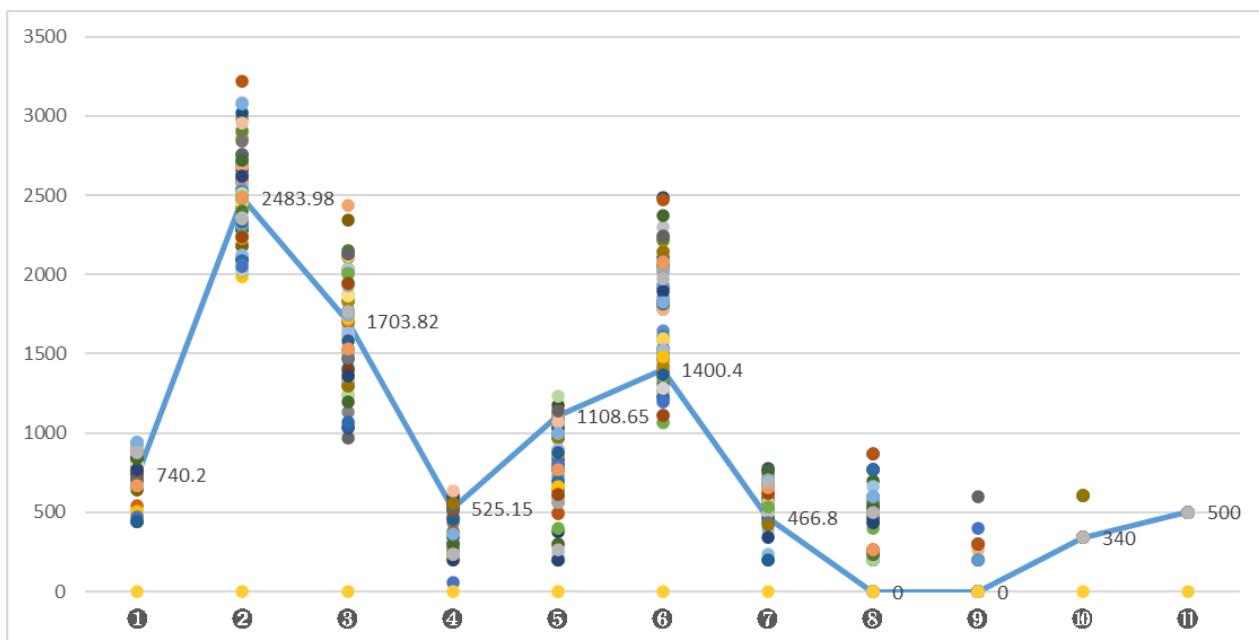
・機械システム工学科（履修モデル A）



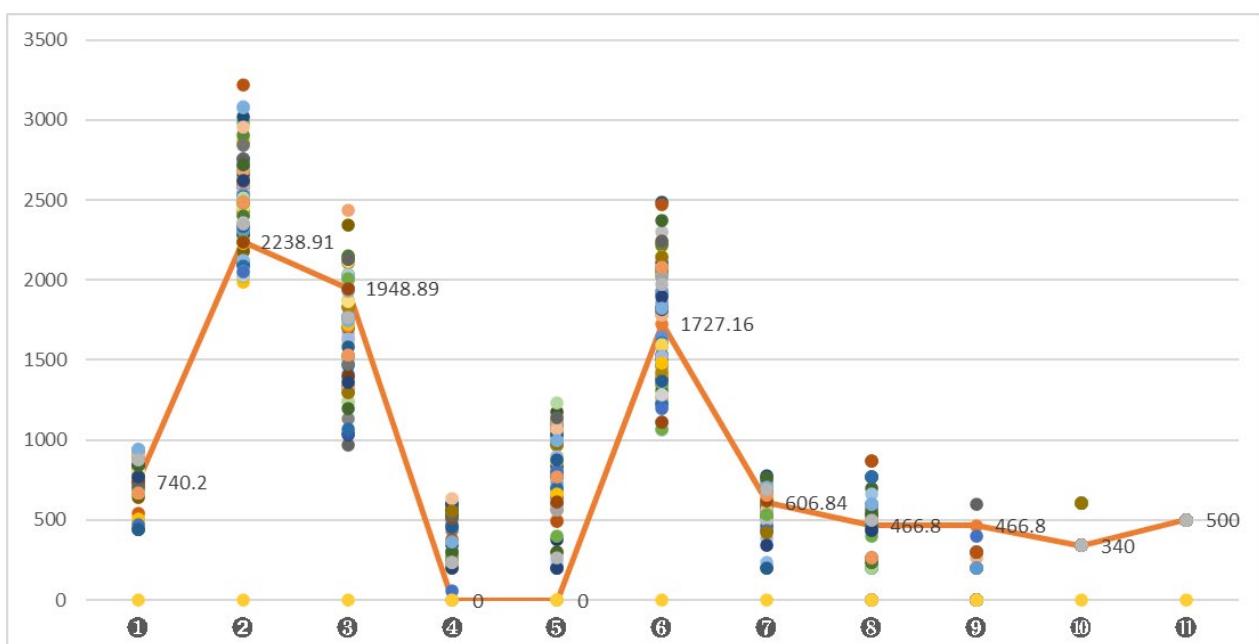
・機械システム工学科（履修モデル B）



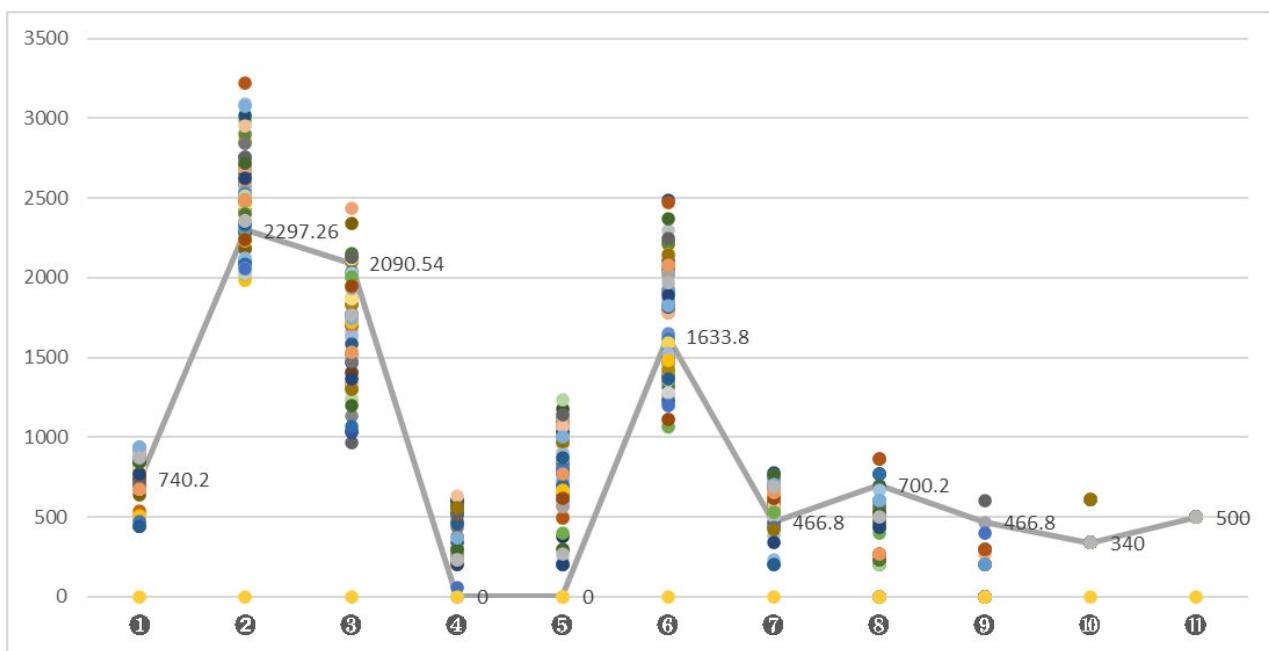
・電気電子工学科（履修モデル A）



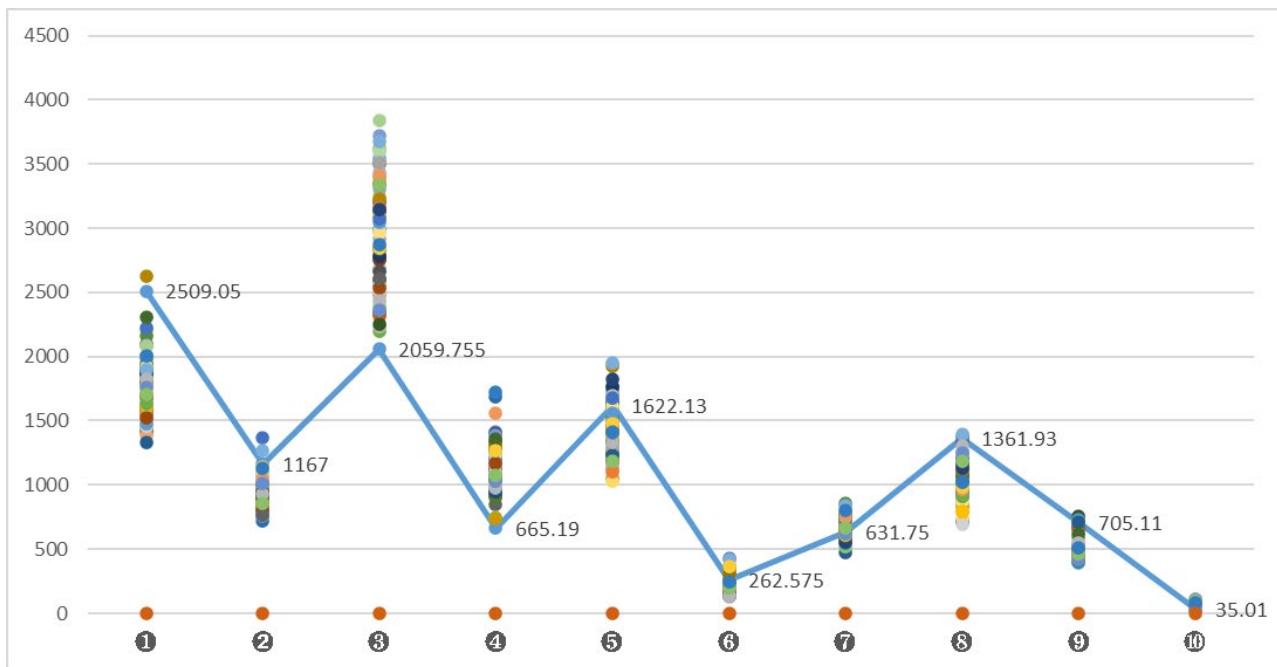
・電気電子工学科（履修モデル B）



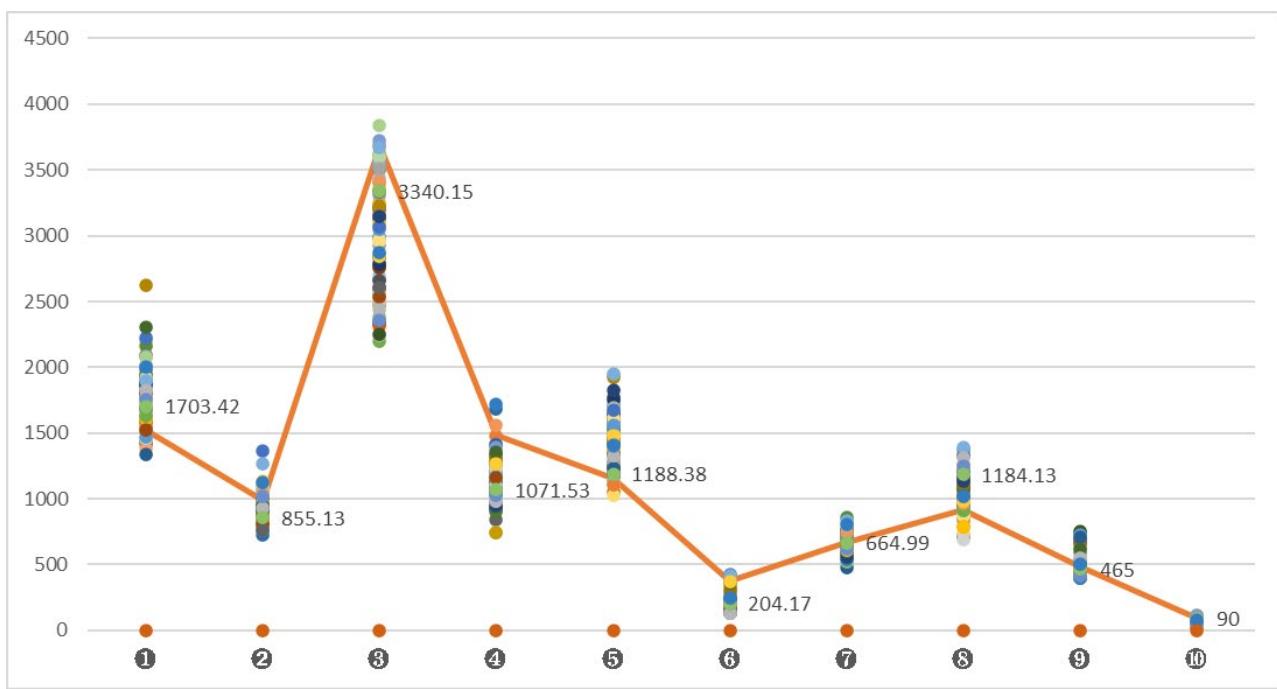
・電気電子工学科（履修モデル C）



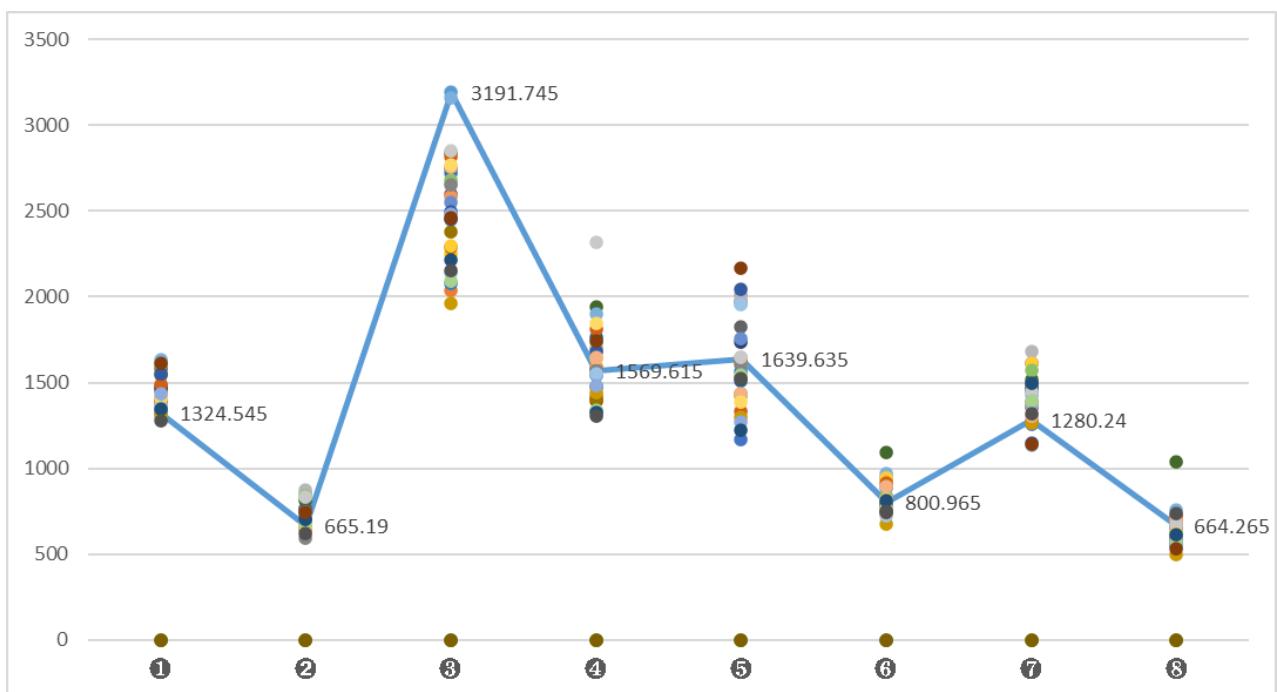
・建築学科（建築専攻 履修モデル A）



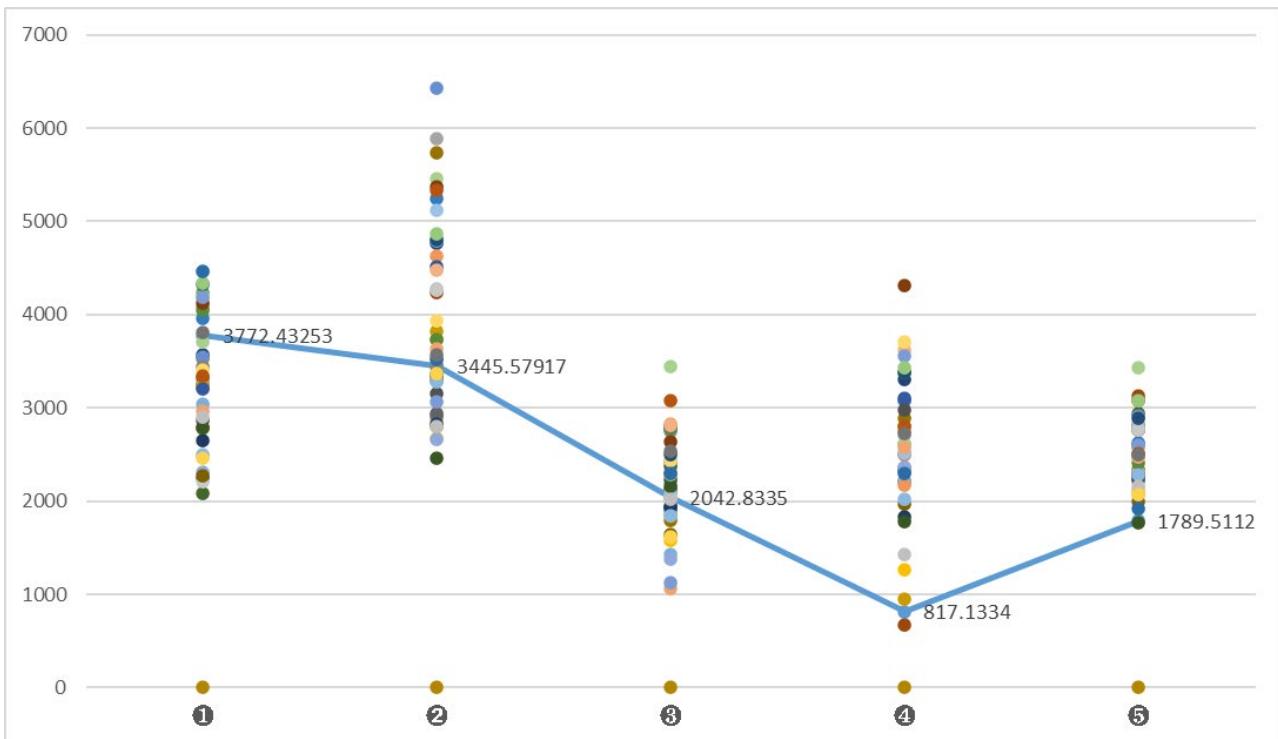
・建築学科（建築専攻 履修モデル B）



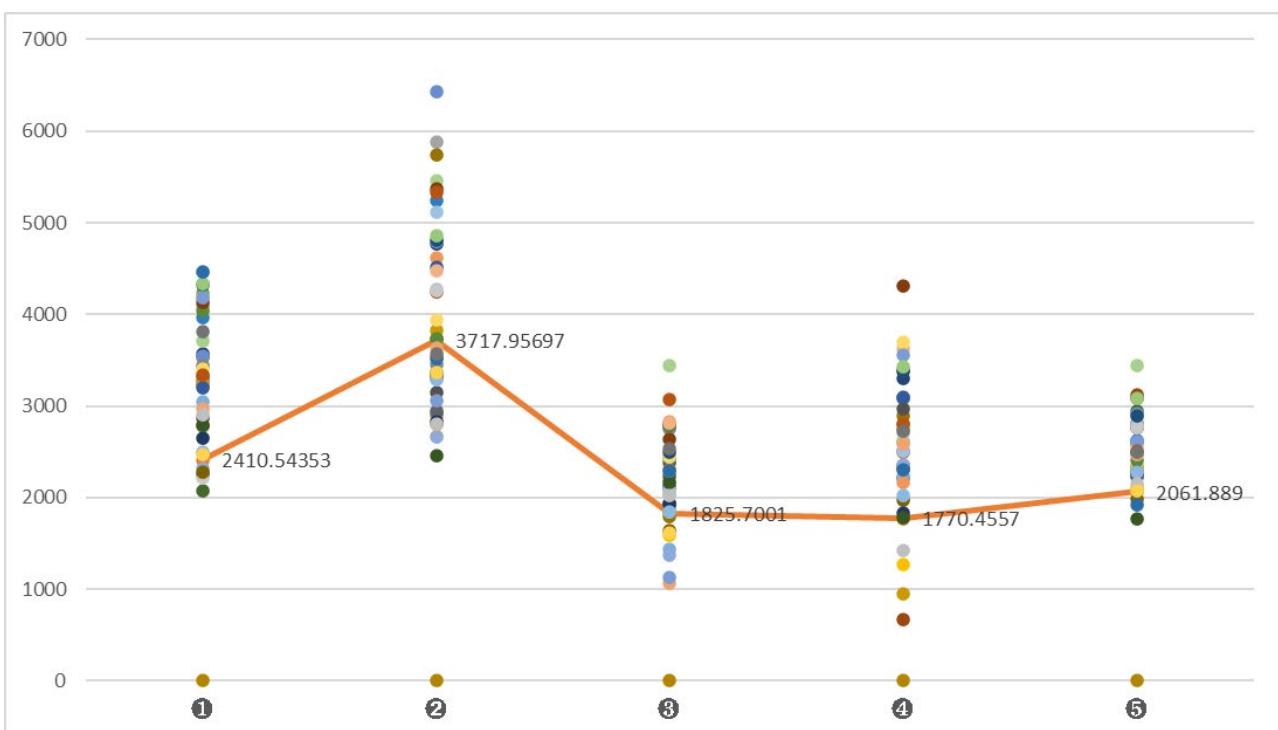
・建築学科（インテリアデザイン専攻 履修モデル）



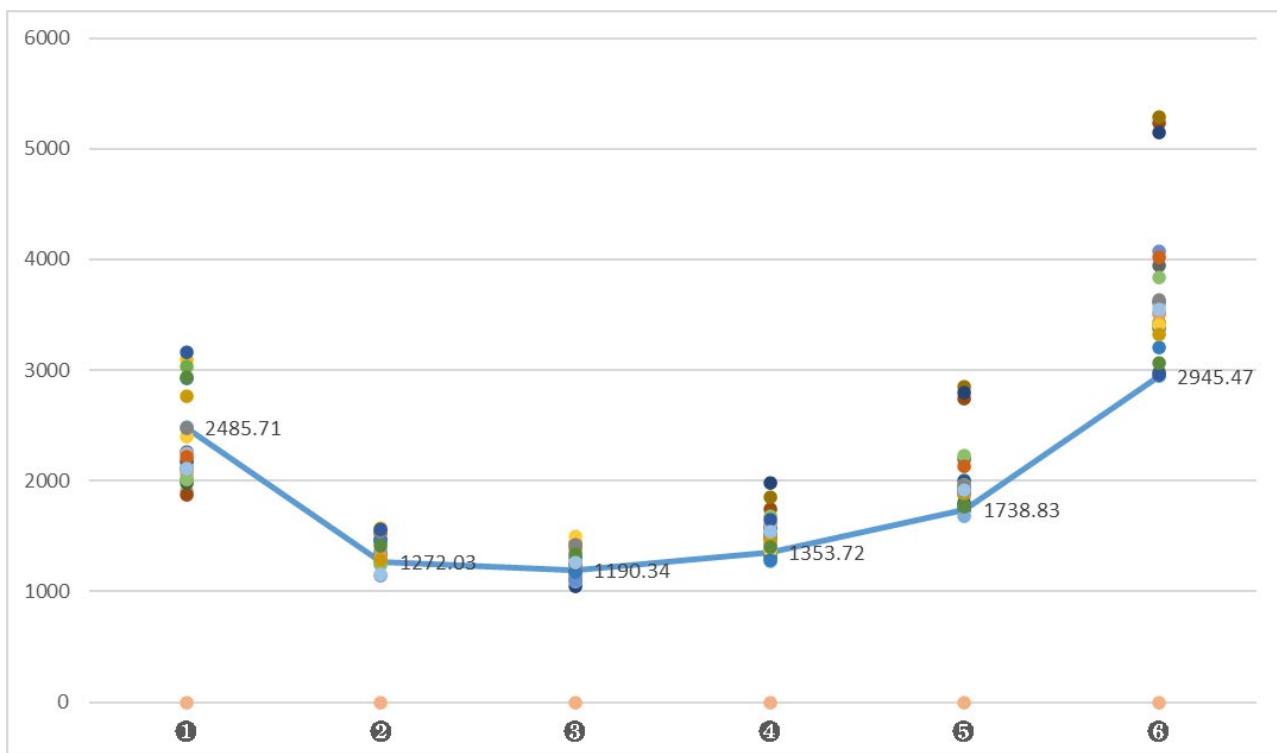
・建築学科（土木・環境専攻 履修モデル A）



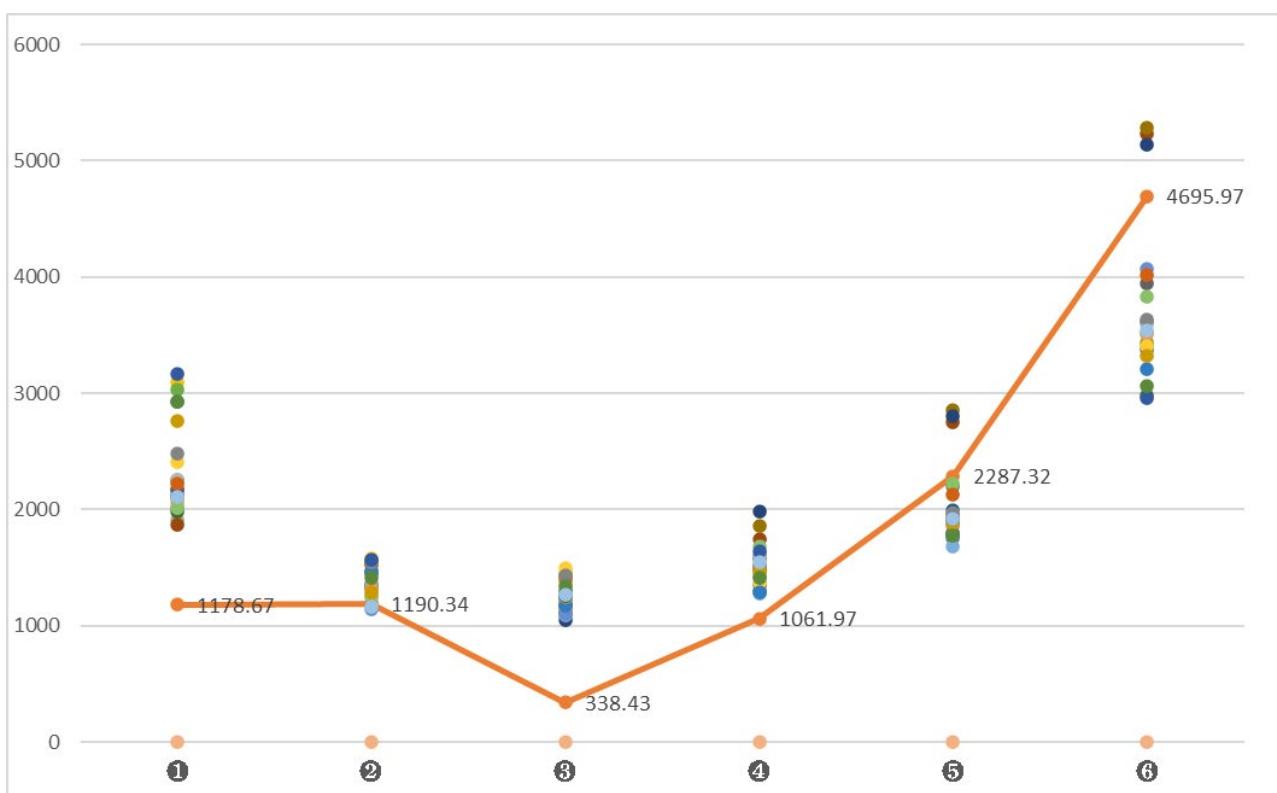
・建築学科（土木・環境専攻 履修モデル B）



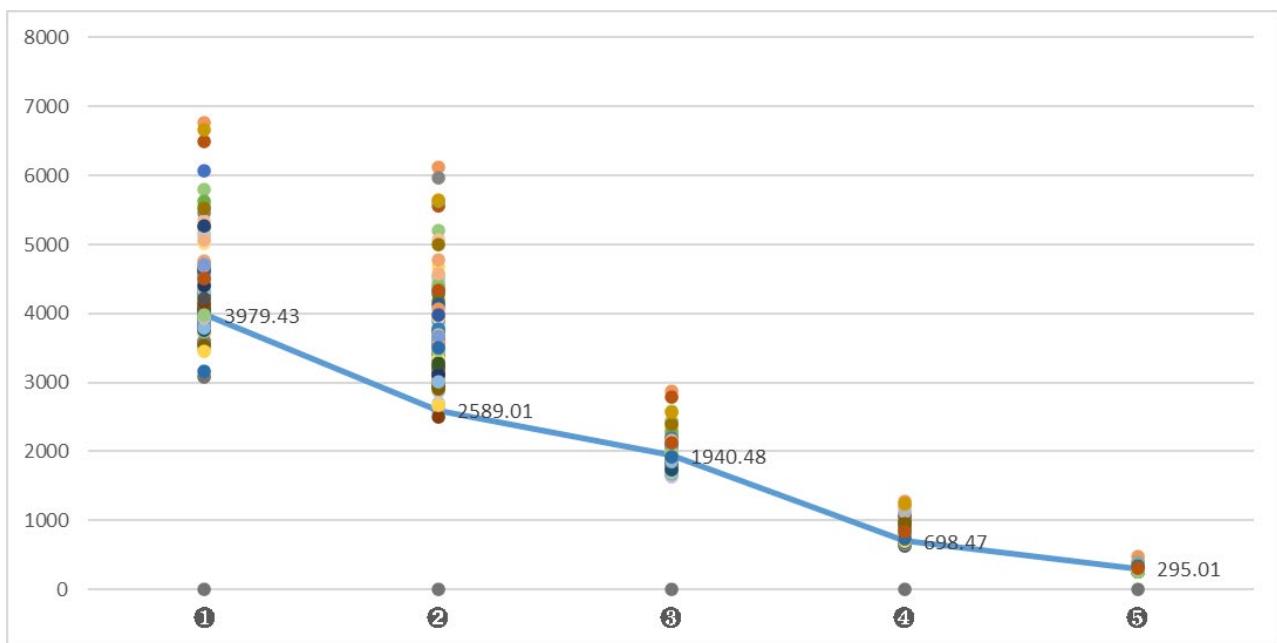
・建築学科（かおりデザイン専攻 履修モデル A）



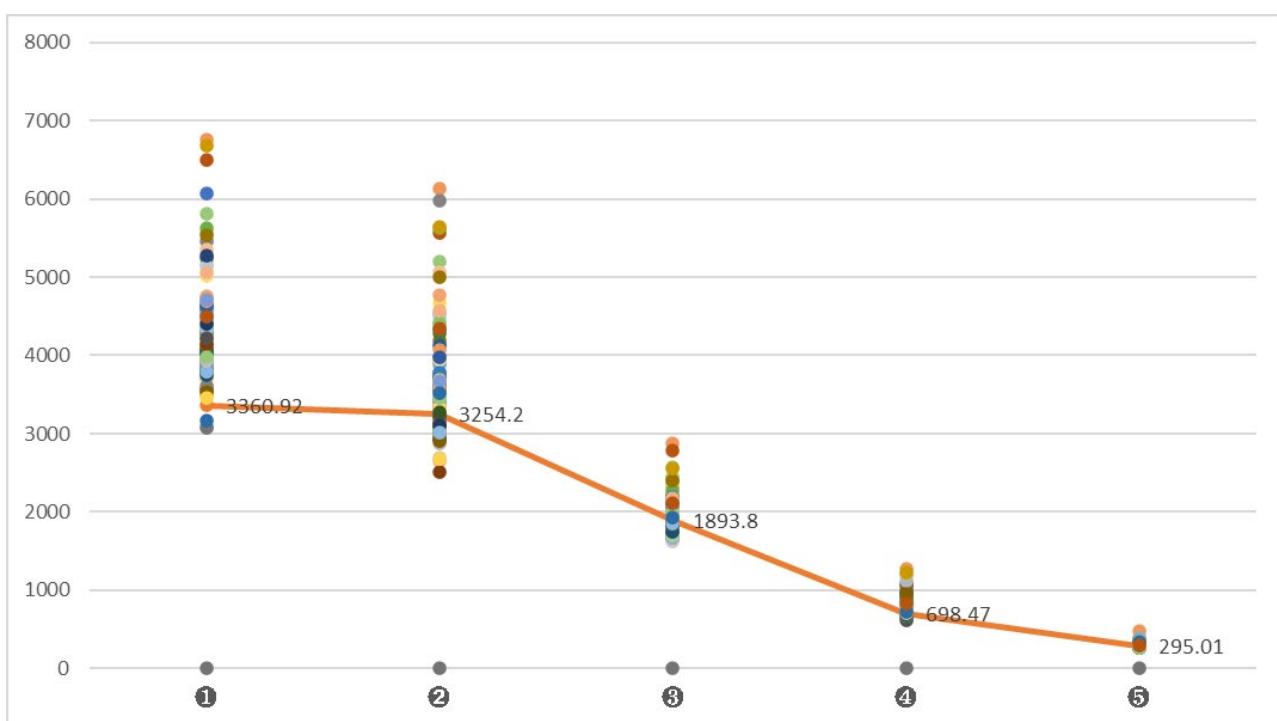
・建築学科（かおりデザイン専攻 履修モデル B）



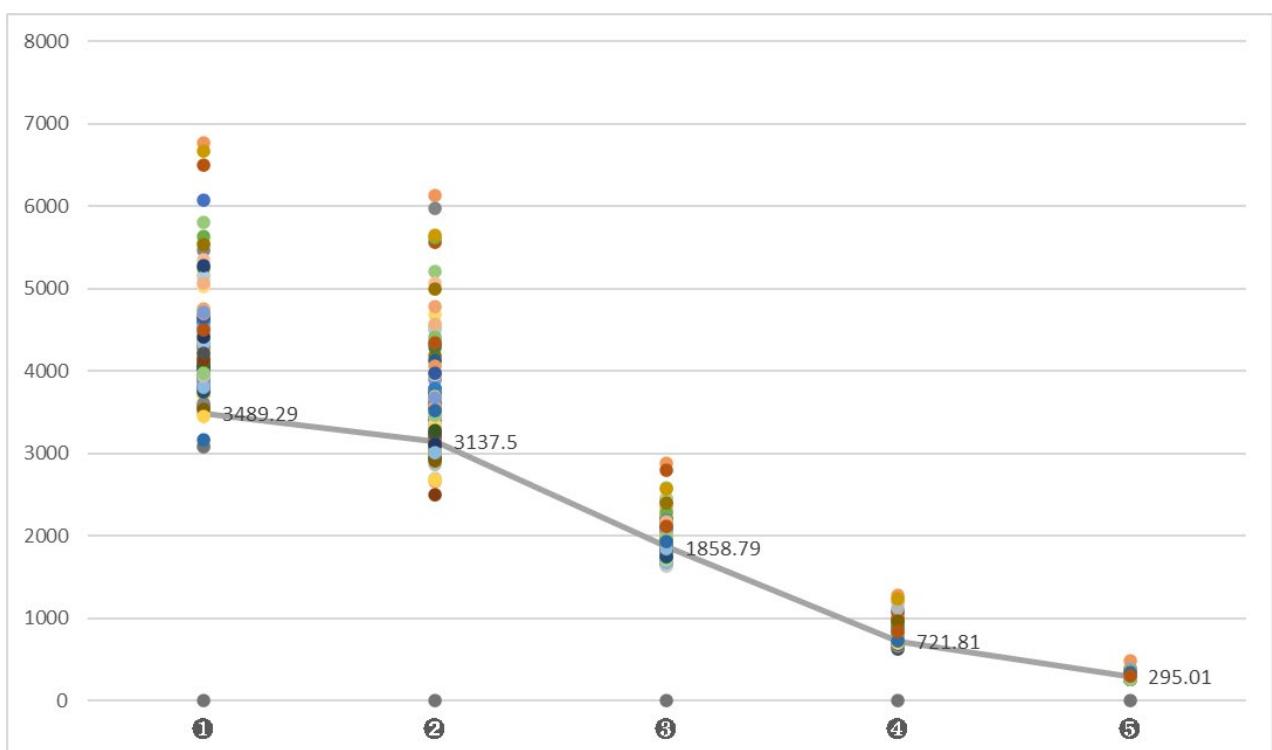
・情報システム学科（履修モデル A）



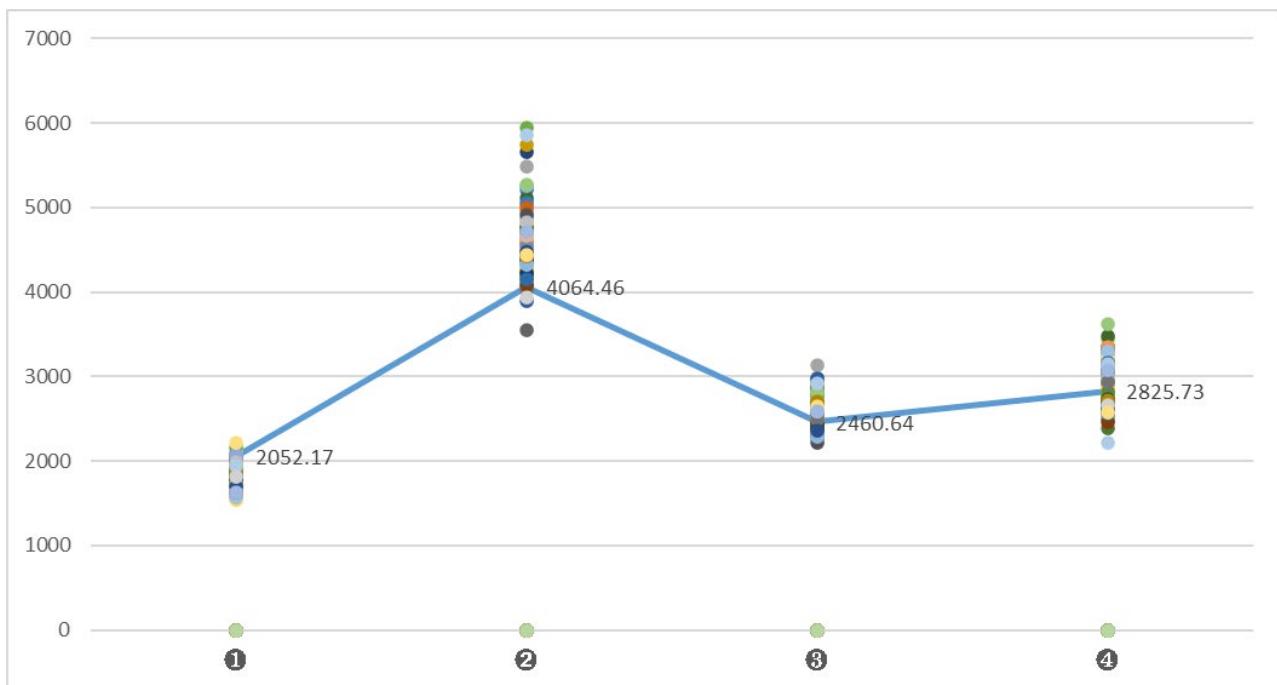
・情報システム学科（履修モデル B）



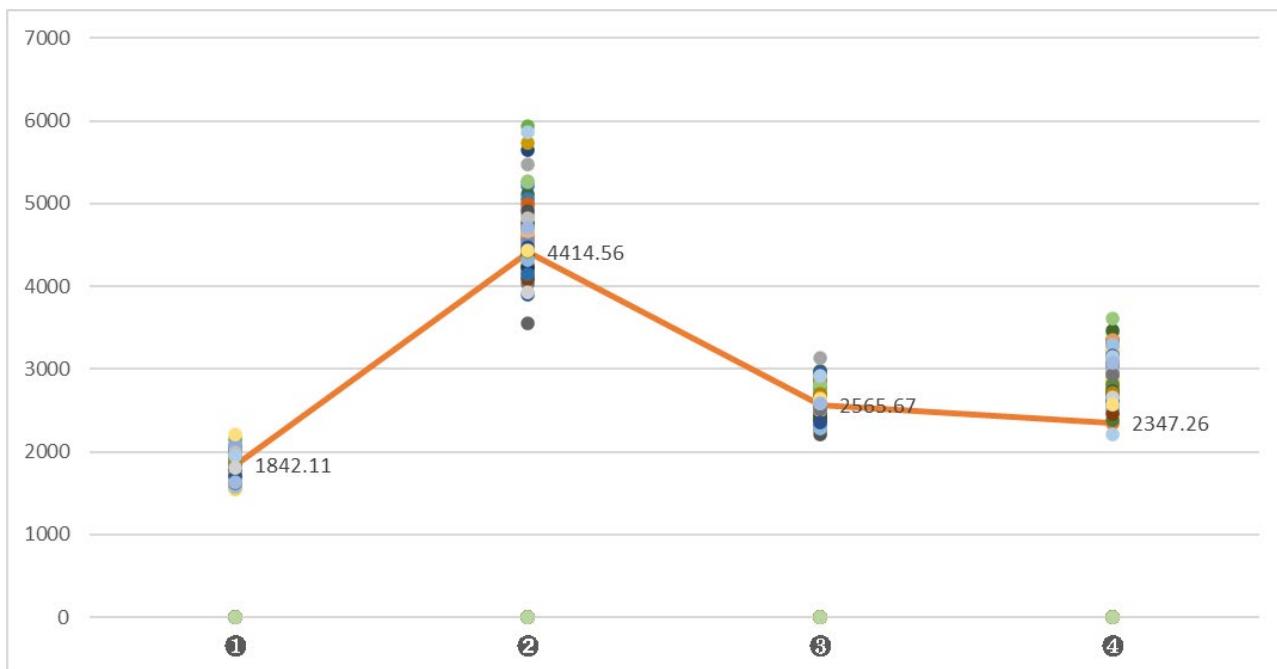
・情報システム学科（履修モデル C）



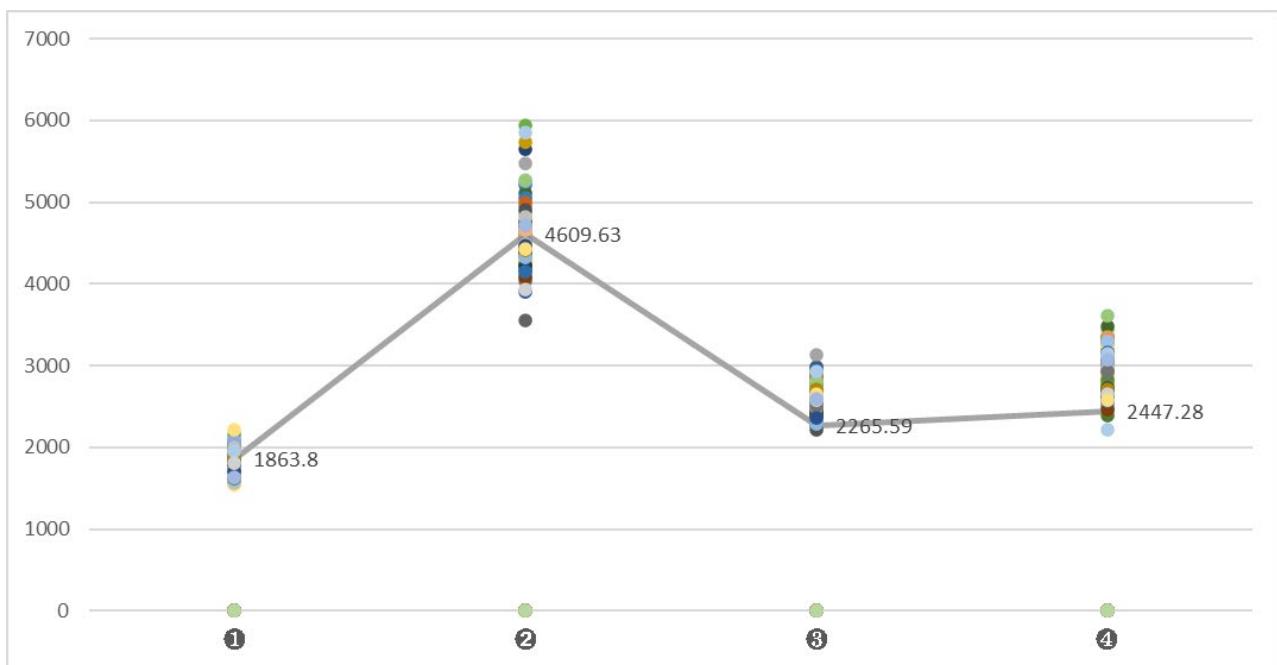
・情報デザイン学科（履修モデル A）



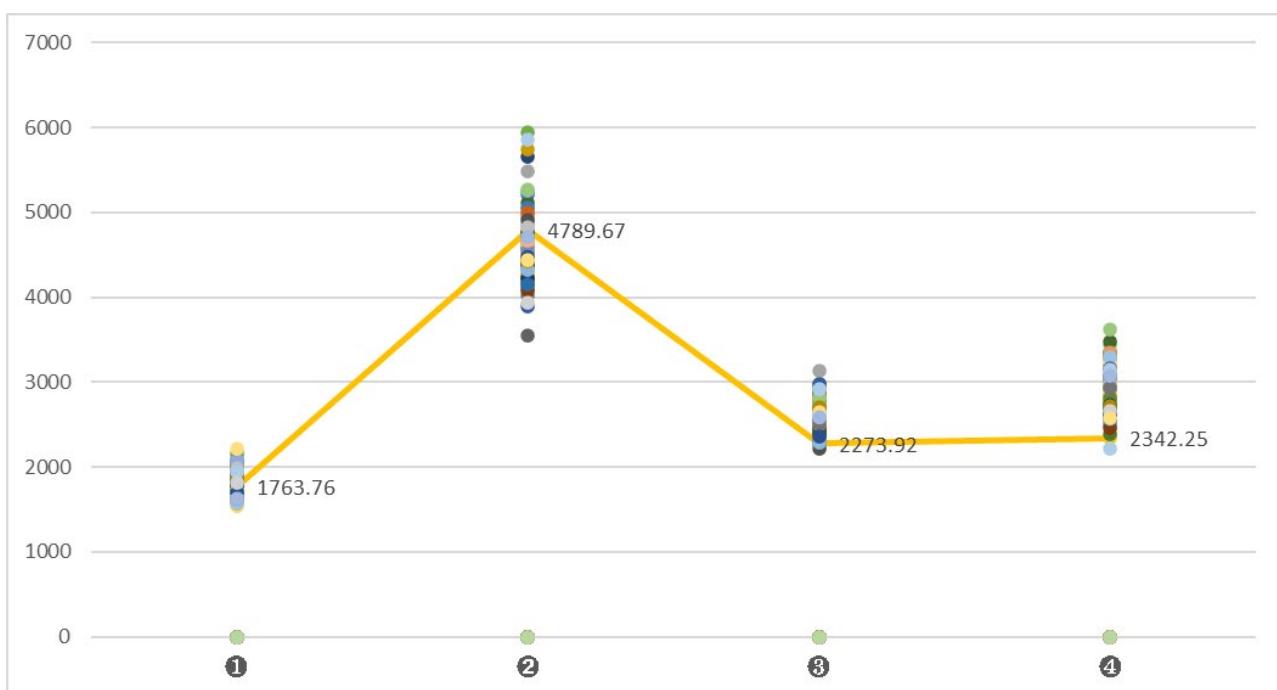
・情報デザイン学科（履修モデル B）



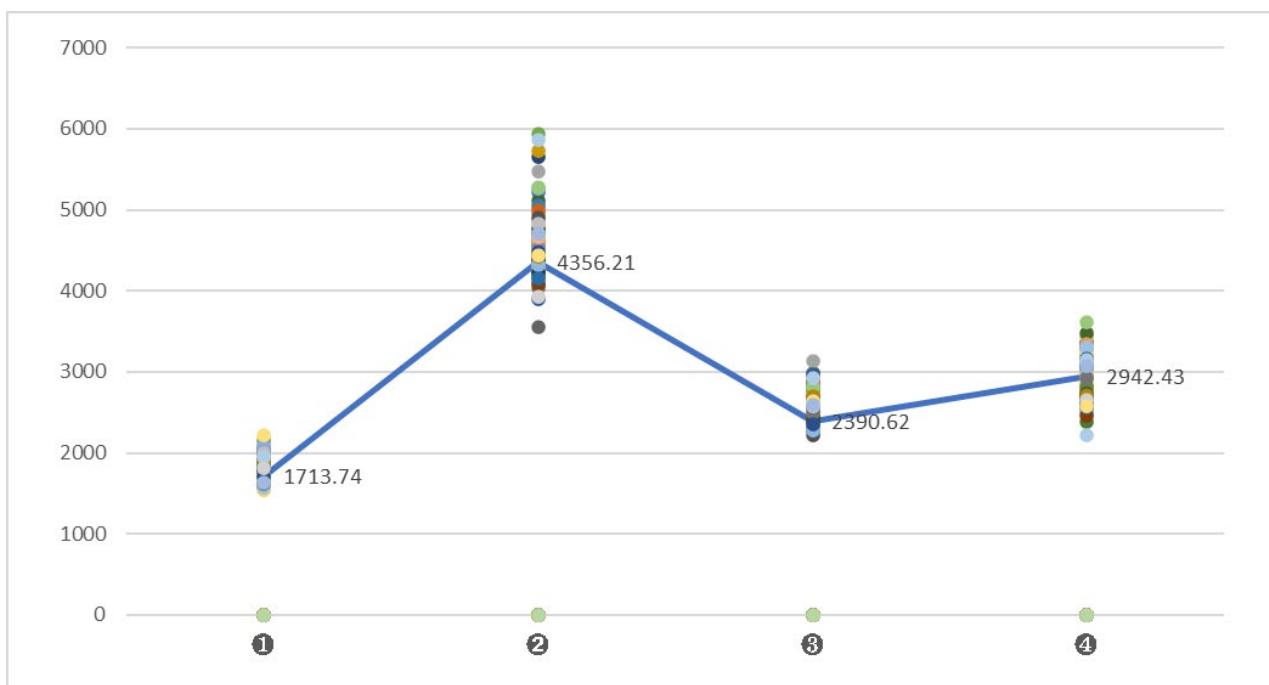
・情報デザイン学科（履修モデル C）



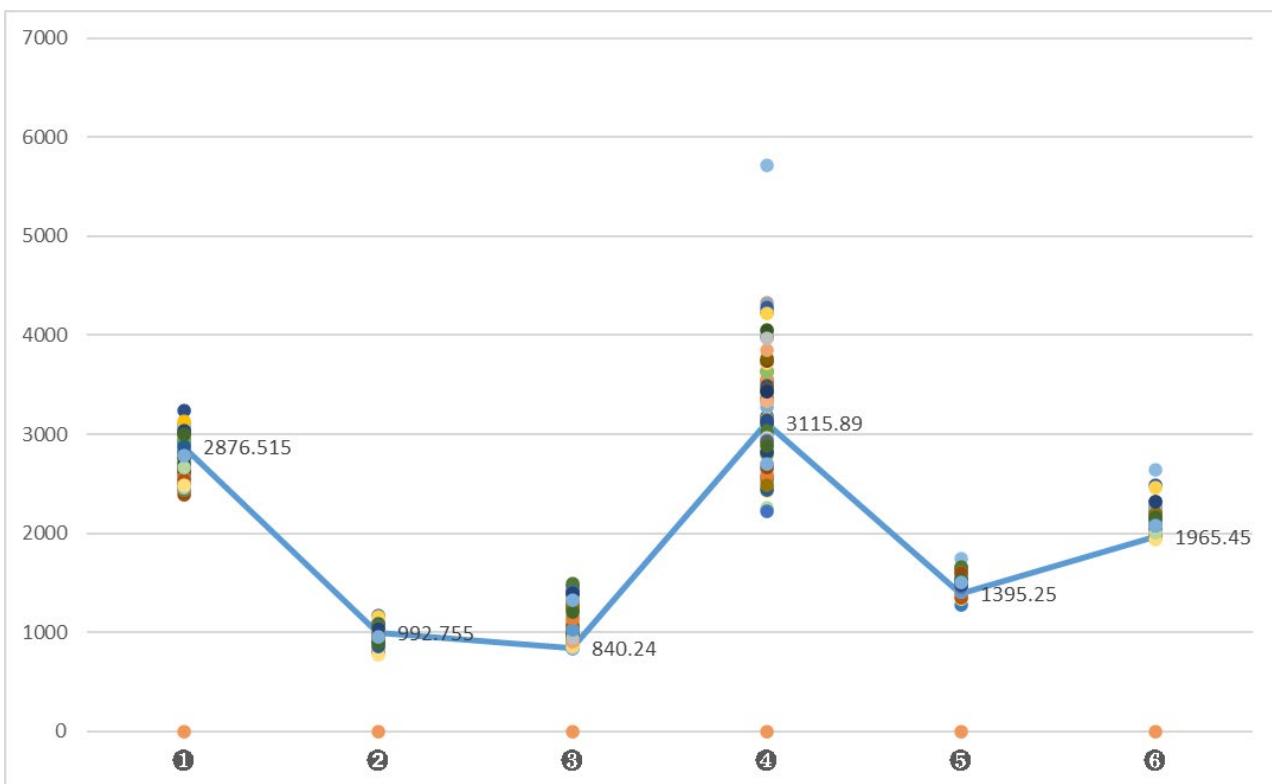
・情報デザイン学科（履修モデル D）



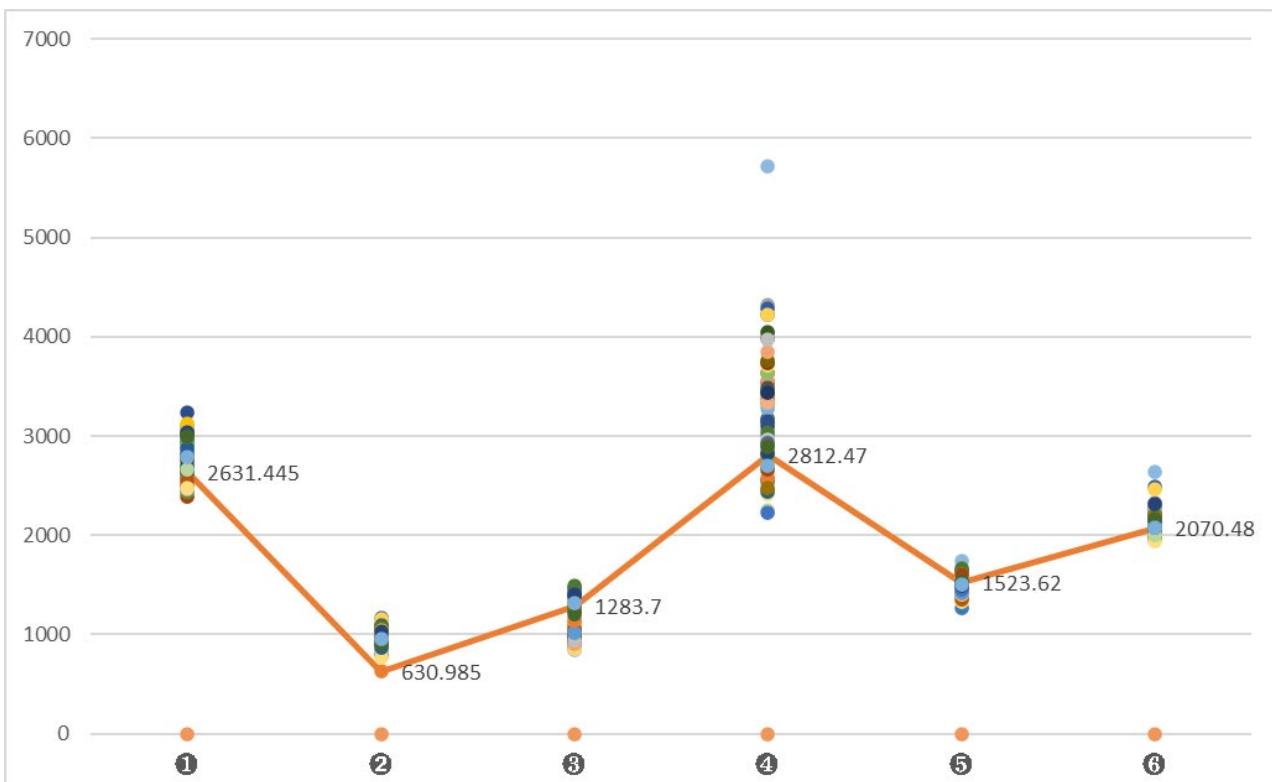
・情報デザイン学科（履修モデル E）



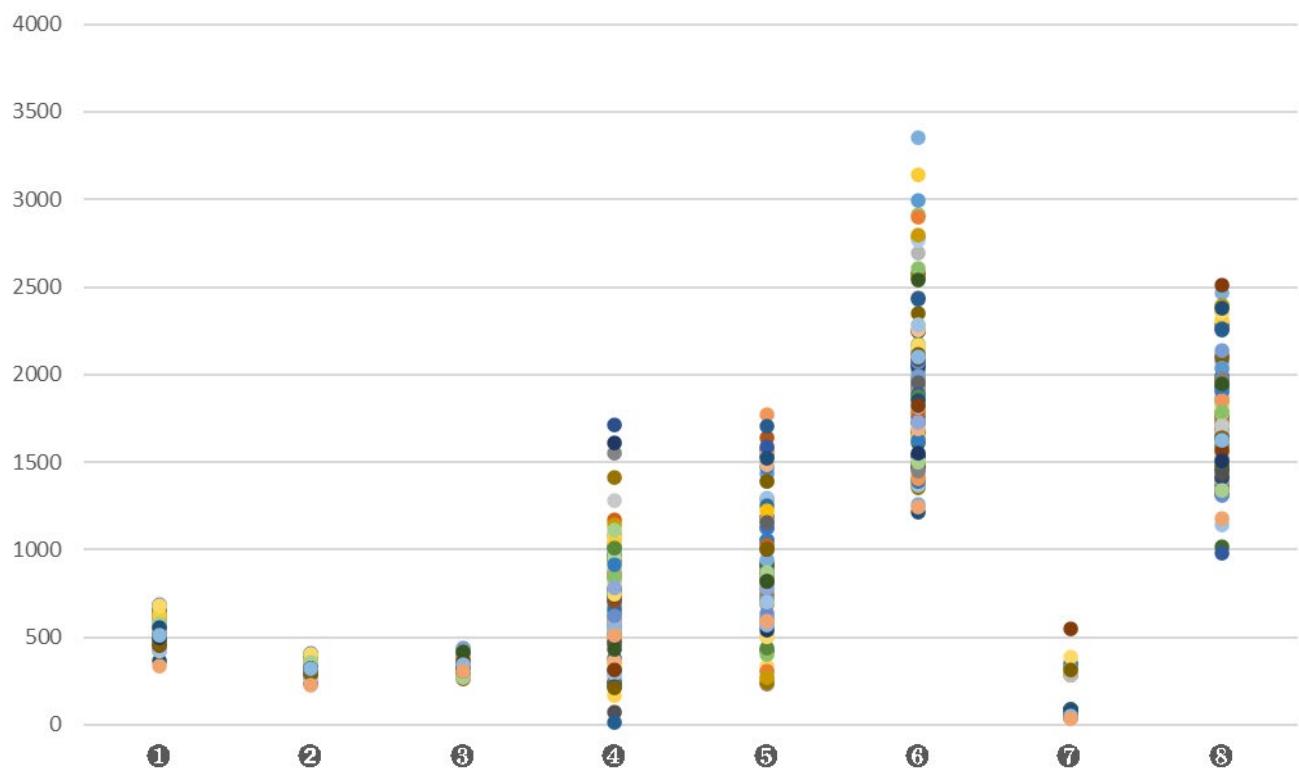
・総合情報学科（履修モデル A）



・総合情報学科（履修モデル B）



・教養部



第8章 各学科専攻のコメントシート

8. 各学科専攻のコメントシート

本章では、第2～6章までに掲載された「取組状況の評価」「DP到達度の評価（学生実態調査と企業・卒業生アンケート）」「DP到達度の評価（GPS-A）」「満足度の評価（学生実態調査）」「授業評価アンケートの結果（学科・専攻平均）」について、それぞれの学科専攻長からコメント及び状況を踏まえた今後の改善計画を掲載している。

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
機械工学科	薦森 秀夫
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
<p>学生実態調査の3・4年生。授業評価アンケートで回答率がやや低かった。アンケートの目的や回答することのメリット（情報のフィードバック）をしっかりと説明し、理解を得ることが重要だと思う。また、学習ポートフォリオの学生記入率、教員記入率が低かった。機械工学科では、成績配布時の対面面談を重要と考え継続しており、ポートフォリオがなくても学生への指導が適切にできているという意識があるのかもしれない。</p>	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>2023年度と比べて、主体性、コミュニケーション力、想像力の評価が上がり、協調生、専門知識の評価が下がっている。2023年度卒業生はコロナ1年目で、完全オンライン授業などの特別な時期だったこともこの差に影響しているかもしれない。</p>	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>入学時3ヶ月での比較では、23生、24生、25生ともに全学平均と同等だが、25生、24生が計画。実行でやや下回り、25生で創造的思考力が全額評価に対してやや下回っている。21生の経年比較では自己管理、対人関係、計画・実行、共同的思考力で成長していることが伺える。</p>	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
<p>4年生の後期末では、学科教員の満足度、卒業研究に対する満足度、指導教員に対する満足度の3つでS評価であり、全学評価を上回っている。これは卒業研究を通じた指導教員を中心とした機械工学科の教育内容に満足していることを意味しており、非常に良い状態である。他学科と比較しても満足度が高い状態にある。</p>	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>全学評価と比べてやや低い項目があるものの概ね良好である。全学的にも評価の低い予習・復習時間については機械工学科では全学平均と同じかやや低い傾向であった。課題の量を増やすあるいは予習・復習を促す必要があると思われるが、正確な回答を得るために、質問内容についても吟味が必要かもしれない。復習時間は中間試験や期末試験前に重点的に行うことが予想されるが、それらを含めるような質問内容になっていないと思う。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>今回のアンケートの結果、卒業時の満足度が非常に高い状態にあることが分かった。教育内容を大きく変える必要はないと思われる。一方、近年、機械工学科への応募が少なく、定員割れが2年続いている。文系型受験の導入の検討や低学力学生の対応、特に大学入学後の数学・物理の学習支援の強化など28カリに向けて検討していく。</p>	

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
機械システム工学科	小里泰章
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
<p>回答対象により回答率に若干の高低はあるものの、全学と同程度の高い回答率が得られており、取り組み状況は良好であると言える。ただ、スタートしたばかりのポートフォリオの記入状況が決して良いとは言えず、学生・教員ともに負担なく記入率を上げる方策を検討すべきと考える。</p>	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>学生の実態調査において、年度により身につけたと感じる力が異なる傾向にはあるが、学生の実感は比較的高めの評価であることが分かる。しかし、教養や創造力に対する評価が、項目の中では低い傾向が続いていることから、これらを実感させる教育について考える必要もありそうである。</p>	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>同一学生の経年変化から、入学時に低かった思考力に関する評価が一旦良くなるものの最終的に卒業時に低下して、入学時以上に低くなり、この傾向は全学でも同様である。本学の学生に限ったことではないが、考える力を身につけさせる教育が非常に重要であると考える。</p>	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
<p>全ての学年で学生の満足度は非常に高く、特に4年生の評価が高い。卒業研究や就活を通して教職員との関りが増えていることが要因であろうが、満足度が高いことは非常に望ましいことである。今後もより多くの機会で学生との関りを持つことが大事であると考える。</p>	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>時間外学習に関する項目を除いて、全ての学年で授業に対する評価は非常に高く、上記の学生の満足度と呼応する結果となり、継続的な授業運営が望まれる。学生の授業への取り組みも決して悪くない評価であることから、時間外学習の評価設定値が高すぎると言えるかもしれない。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>本科の現状は全学的に見ても遜色なく良い状態であると考えられるが、DP 到達度の評価結果からも、学生が様々なことについて考える力を得られていないことが明らかになっているため、教員が少しでも多く学生と関わりながら、学生自身に自ら考え、言葉にして表現し、議論や行動する機会が与えられる教育について考えていくべきだ。</p>	

2024年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
電気電子工学科	植田俊明
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
電気電子工学科の各調査の回答率であるが、全学評価に比べて、高い回答率もあれば、低い回答率もあり、それほど特徴的な傾向はない。しかし、しいて言えば、今年から始まった学習ポートフォリオの記入率が後期になって低下してきている。これは2回目の記入でポートフォリオに対する学生の興味が薄れてきているためではないかと思われる。	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
学生実態評価において倫理観、協働性の評価が2023年にくらべ低下しているが、一方企業案アンケートからはそこまで低い評価ではないので、学生自身厳しめの評価になっているものと思われる。また学生実態評価において豊かな教養、論理的思考力の評価は上がっているが、企業アンケートではそこまでの高評価ではないので、企業の求めるレベルまで自己研鑽し向上する必要がある。	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
21生経年比較では協働的思考力が入学時はD評価であったが3年時B, 4年時Cと評価があがっており学生の成長が感じられる。入学時3か年比較では創造的思考力が24、23生にくらべ25生は高評価であり、入学以前の教育が変化してきている可能性も考えられる。	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
教員や授業などに対する満足度が年々下がっている。入学者の偏差値などレベルが下がってきてるので、授業などについていけない学生が多くなってきてていると思われる。今後学生のレベルに応じた授業をすることで満足度を上げることが課題である。	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
学科の授業評価アンケートにおいて[1]授業内容や授業方法に関する評価は1年生での評価よりも2, 3年生の評価が幾分改善されている。裏を返せば最近の1年生の評価が低いということであり、今後、学生のレベルに合わせた授業方法を取り入れることが必要であろう。	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
少子化が進み、入学定員を確保するために、年々入学者のレベルが低下傾向であり、それに伴って授業評価アンケートの評価などが低くなっている。今後は、学生のレベルに応じた授業方法の改善により各種満足度を上げることが必要と考えられる。	

2024年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
建築学科建築専攻／インテリアデザイン専攻	中島 貴光
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
<p>各調査において上位学年になるほど回答率が低下する傾向が見られるが、特に建築専攻において上位学年で全学評価を下回る項目が多く見られた。また、24年度から導入された学修ポートフォリオにおいて、インテリアデザイン専攻では、学生・教員ともに記入率が高かったものの、建築専攻ではいずれも低いスコアであり、次年度以降の改善が期待される。</p>	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>企業アンケートを見ると、特に「主体性」、「協働性」、「コミュニケーション力」が求められていることがわかる。「協働性」、「コミュニケーション力」については卒業生に関して企業から高く評価されているが、4年生の実感としては両専攻ともに低い評価に留まっている。また、「主体性」については、インテリアデザイン専攻で評価が上昇しているものの、企業評価は23年度から変わらずに「B」評価であり、今後の課題として捉えることができる。</p>	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>21生の経年比較を見ると、全学的な傾向と同様に思考力の評価が全体的に低いことがわかる。特にインテリアデザイン専攻では、思考力の4項目全てにおいて「D」評価となっている点が気がかりである。また、両専攻ともに「コラボレーション」の項目で4年次において評価が下がっており、上記②のアンケート結果とリンクして、4年次での成長実感が乏しいことが伺える。入学時3ヵ年の比較では、25生の結果もこれまでと大きく変わりはないが、両専攻ともに思考力の評価が過去2年と比較して高く、今後の経過を注視したいと思う。</p>	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
<p>両専攻とともに、上位学年になるにつれて、満足度の評価が高くなっている様子が伺える。4年次においてやや評価が下がる項目があるものの、全学的な傾向と概ね一致している。私大連評価と比較しても、4年次での評価はほぼ全ての項目で上回っており、卒業時においての総合的な満足度は高いと言えるだろう。</p>	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>[I] の質問に関しては、全ての項目でSないしAの評価となっており、全学的な傾向と一致して、高いスコアで推移しているのがわかる。[II] に関しても、やはり全学的な傾向と同様で、低めの評価が多く見られる。特に2年次前期では、[時間外学習]、[授業参加]とともにそれぞれ「D」、「B」と低い評価となっている。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>総じて、学年を経るごとに満足度が高くなっていく傾向があるが、一方で学生の自己評価として、企業が求める「協働性」や「主体性」で、必ずしも高い自己評価に結びついていない。やや厳し目に内省しているようにも取れるが、DP到達度における「思考力」とあわせて、より自ら考える力を育んでいくことが肝要であると思われる。導入された学修ポートフォリオは、こうした自身を振り返り論理的に物事を考える大きな契機となり得るものであり、回答率上昇に向けた改善を行いたい。24年度に新設された建築学部の完成年度に向けて、今後どのように各評価が推移していくのか注意深く見守っていく必要があるだろう。</p>	

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
かおりデザイン専攻	光田 恵
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
「DP 到達度調査の回答率」「学生実態調査の回答率」「GPS-A に対する回答率」「授業評価アンケート回答率」「学修ポートフォリオ学生記入率」「学修ポートフォリオ教員記入率」のすべてにおいて、A または S 評価を得ており、取り組み状況は極めて良好である。	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
2024 年度の結果から、コミュニケーション力や主体性、協働性などは S または A 評価が多く、一定の成果が見られる。一方で、「倫理観」「規律性」「課題発見力」「論理的思考力」「創造力」「豊かな教養」などの項目では C または D 評価が複数見られ、特に創造力と教養に関しては、企業・卒業生・学生いずれの評価でも課題が顕著である。これらは社会的・職業的実践力の基盤であり、早期からの体系的な育成が不可欠である。今後は課題解決型の授業や探究活動の充実、学際的な学びの推進を通じて、創造力や課題解決力、教養の涵養を重点的に図る必要がある。	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
21 生の経年変化では、多くの項目で入学時より改善が見られるが、「批判的思考力」「協働的思考力」「創造的思考力」は C または D 評価にとどまり、特に「協働的思考力」は一貫して低評価である。23 生と 22 生も同様に、対人関係や計画・実行で良好な評価が見られる一方、思考力系項目では D 評価が複数見られ、課題である。入学時の 3 ヶ年比較でも思考力系の低評価が継続しており、これらの課題は恒常的といえる。2024 年度の結果でも同傾向が見られ、思考力育成のための体系的かつ早期からの支援の検討が必要である。	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
各学年において「主指導教員」に対する満足度は高く、安定した評価を得ている。授業やカリキュラムの満足度も概ね良好であり、特に 1 年生から 3 年生にかけて高評価が多く見られる。一方で、学科専攻の教員や就職・進学支援に関しては、B 評価も見られることから、さらなる支援強化が必要である。学生生活の充実度も高評価であり、全体として満足度は良好である。	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
2024 年度の授業評価において、全体的に高評価が見られる。特に「授業内容のレベル」や「担当教員の工夫・配慮」「授業内容の説明の上手さ」などは多くの項目で S 評価を獲得し、質の高い授業運営がうかがえる。一方で、学生自身の学習時間に関しては C から D 評価が続き、予習・復習の実施状況に課題が残る。また、授業への積極的な取り組みは比較的良好であるが、学習態度のさらなる向上が求められる。今後は学生の自主的学習支援の強化が必要である。	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
今後の改善計画として、まず高評価を得ている調査回答率の維持とさらなる向上を図るために、学生への周知徹底と利便性の向上に努める。次に、思考力系能力の育成が恒常的課題であるため、批判的思考力や創造力、協働的思考力を体系的かつ早期から育成する授業展開を進める必要がある。また、倫理的思考力や豊かな教養の向上を目指し、教員間での連携強化や実践的な学習機会の拡充を図る。さらに、学生の自主的学習習慣を促進するために、予習・復習支援の体制整備を行い、あわせて就職・進学支援や学科教員の支援体制も強化し、学生満足度のさらなる向上を目指す。これらの施策を通じ、課題に対して計画的・段階的に対応していく方針である。	

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
都市空間インフラ専攻	鷺見 哲也
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
①取り組み状況の評価	
<p>いずれの調査・記入活動も、全学に比べて良好であったが、それは相対的なものである。大半の調査が 90%以上の回答率・記入率であるのに対し、授業評価アンケートは学科全体ですら 60%台でのものもあり、無作為抽出ではない部分集合の評価値は意味をなさないため、評価そのものが困難である。回答の有無すら情報提供されない現状では、強制力は働くかかず、呼びかけではこれ以上改善することは困難である。回答を事実上義務化する施策が全学で必要である。</p>	
②DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>企業から期待されている「主体性」「協同性」「コミュニケーション力」は、4 年次学生も卒業生も高い評価をつけており、マッチしている。2024 年卒業生は「規律性」「課題発見力」「教養」「想像力」が低く、「規律性」の低さ過去とは異なっており、懸念すべきことと考えている。</p>	
③DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>21 生の経年比較を見る。対人的な項目については、高めで、リーダーシップについては卒業研究などを通して成長を実感しているように見える。自己管理力も強化していると認識しているようだ。思考力については、自己否定的ではあり、批判的思考以外は成長を実感できていない。</p>	
④満足度の評価(学生実態調査)	
<p>21 生(4 年)は、他のアンケートでもわかっているが、高い評価を返す学年である。1、3 年の 4.0 を挟む評価値にあまり大きな差ではなく、23 生のみ全体に低い。具体的にどういう点に不満があるのかはこの調査だけでは不明である。カリキュラムの変更がないのに特徴が大きく異なっている。</p>	
⑤授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>回答率が 100%に近くにはないため、評価値の代表性は失われていると認識している。よって、評価値の相対差・増減についてコメントすることは差し控える。自宅学習の評価が低いのは、対応時間数が少ない方に回答した学生が多いと推測されるため、もっと課題を出した方がよいと考える。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> 他者と共同して行う業務や危険な業務、公務などがかわる分野であるため、規律性の低下は由々しき事態である。これまで以上に、社会人基礎力・就職を踏まえた社会行動をとらせる普段の授業での情報涵養・指導を行う。 自宅学習を通して「思考力」をつける機会を与えられるよう配慮すること。 	

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
情報システム学科	桑野 茂
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
<p>全項目において全額評価よりも高いスコアを得ている。これは学生に気質による部分が大きいと考えられるが、特に 4 年生について学科としての周知や指導の効果があったものと考えられる。今後もこの状態を維持できるようにしていきたい。また、学修ポートフォリオ教員記入率については、もう少し改善するように取り組みたい。</p>	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>学生実態調査については、2023 年度より規律性と協働性が 1 つ下がっているが、全学評価以上とはなっている。但し全学評価も 2023 年度より下がっている。一方で、企業アンケートでは評価は変わっておらず、卒業生アンケートでは協働性の評価は上がっている。これらから、今回の学生実態調査での評価低下は自己評価が厳しめに出ていたためであると考える。</p>	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>経年比較について、思考力に関連する部分は少し低下しているが、これは学修内容が高度化していることをちゃんと認識できているためであると考える。それ以外の項目については向上しており、社会人に向けて成長してきていると考える。</p>	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
<p>4 年生については全項目で A 以上の評価であり満足度が高いことがわかる。これに対して、1 ~2 年生では特にカリキュラム構成と授業に関する満足度が 4 を割り込んでいる。全学評価を超えてはいるが、この点は 2~4 カリになってしまって改善していないことから、今後の状況をよく見ていく必要があると考える。</p>	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>授業内容等に関する評価は 4 前後であり、すでに十分に高い評価であると考えられ、これ以上大幅に高くすることは難しいと考える。また、予復習に関する評価は 2.5 程度と低い状態となっているが、難易度に対する評価が高いことを考えると、単純に時間だけで評価することは少し難しいと考える。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>今回の結果を見る限り現状に大きな課題はないように思える。このため、全般的には現状の教育・指導を進め、2~4 カリでの各種評価の推移に注目しながら必要に応じて改善を行っていくことしたい。今回の評価では顕著に表れてはいないが、本学科の学生に目立つコミュニケーションスキルの不足について、まずは上位層向け教育として授業外での施策を検討していくことしたい。</p>	

2024 年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
情報デザイン学科	佐々木 勝史
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
① 取り組み状況の評価	
<p>全体に対し回答率は良い方ではあるが 4 年生は平均を下回る。学習ポートフォリオに対し前期は不慣れなこともありスコアが悪いが後期で挽回した。</p>	
② DP 到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>参加率が全体に比べて非常に悪い。卒業後のコンタクトを呼びかけられたがあまり効果は無かった。前年度と比較して規律性が B→D と落ちている。論理的思考・創造力は上がっている。学科の特徴としては独自性、論理的思考に重きを置いていたため良い傾向。</p>	
③ DP 到達度の評価(GPS-A)	
<p>1 年生はまじめに参加しているが、4 年生になると全体平均の半分となっているので精度は怪しいが、自己実現や対人関係など向上が見られる。学科としては専門性を武器とし対人関係で苦労しないような教育を行っているため、ある程度狙い通りの結果が得られている。</p>	
④ 満足度の評価(学生実態調査)	
<p>1 年次から大学全体に比べ満足度が高い傾向にあるが、学年が上がるほど向上している。職員の窓口対応については S も見られる。</p>	
⑤ 授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>授業外の学習時間以外は A、S が並び非常に高評価。実習系の授業が多く授業外学習時間は全体平均より少しある傾向がみられるが、学科の特異性を考えるともう少し伸ばしていきたいところである。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>高学年及び卒業生の回答率を上げていきたい。今のうちからこのような調査を行っている旨を周知し意識を改善していく必要がある。</p>	

2024年度 アセスメントチェックシートに対するコメントシート

学科・専攻名	評価者氏名
総合情報学科	齊藤慎太郎
アセスメント・チェックシートの評価指標に基づく現状	
①取り組み状況の評価	
<p>2024年度の総合情報学科の取り組み状況については、改善が必要とされるD評価に該当するものが「DP到達度調査の回答率」で、卒業直前の回答率が16.4とかなり低調であった。また「学生実態調査の回答率」「GPS-Aに対する回答率」でそれぞれ4年後期末と「学習ポートフォリオ教員記入率」後期末に関してもD評価と低いポイントとなった。</p>	
②DP到達度の評価(学生実態調査と企業・卒業生アンケート)	
<p>今年度の学生、企業、卒業生のそれぞれの到達度の評価アンケート結果から、「コミュニケーション力」に関してS評価という高いポイントで評価が一致していた。改善の必要なD評価については学生実態調査からは「課題発見力」「豊かな教養」などが改善の必要があるとされた。昨年度D評価であった「論理的思考力」「想像力」についてはDからCへ改善が見られた。企業アンケートからは、本学の学生に必要とされる能力で「豊かな教養」「想像力」について改善の必要があると評価された。</p>	
③DP到達度の評価(GPS-A)	
<p>21生については、入学時から4年次末までで、思考力において改善が必要なD評価となっている。3年次も含め4年間で批判的思考力、協働的思考力、創造的思考力それぞれにおいて成長、または改善ができなかったことがわかる。2年次末において、22生は思考力総合または思考力の他の項目においても改善が必要なD評価となっており、23生が協働的思考力のみがD評価であったことと比べると違いがわかる。入学時の3ヵ年比較では、思考力において23生24生はほとんどがD評価であったことに対し、25生は協働的思考力のみがD評価と大きく差が見られた。</p>	
④満足度の評価(学生実態調査)	
<p>学生実態調査からの学生の満足度については、24生(1年次)、23生(2年次)、24生(3年次)に関しては全学評価のスコア、評価とほぼ同等であったのに対し、21生(4年次)においては「卒業研究」「指導教員」「職員の対応」以外は全学評価に比べ低い傾向にあった。</p>	
⑤授業評価アンケートの結果(学科・専攻平均)	
<p>1年前期末次は評価としては全学評価と全く同じであったが、「興味」「満足度」「予習復習」においてのスコアは、全学評価のスコアを下回っていた。後期末ではさらに「教え方」も低スコアに加わった。2年次では逆に上回っている項目が減り、「満足度」「コミュニケーション」「課題・宿題」「授業への積極的参加」が前後期ともに全学評価のスコアを上回っていた。3年時では「課題・宿題」のみが全学評価スコアを上回っているだけで、他の項目は前後期いずれかが下回っていた。</p>	
以上の状況を踏まえた今後の改善計画	
<p>上記のことから、実際のデータの収集において4年次の回答率の向上を促す必要があり、その影響で他のスコアの数値に少なからず影響を及ぼしているように思われる。学生への周知徹底と実施時期を多数の4年生が参加可能な時期に行いうことで参加率の向上が期待できると考える。また、GPS-Aにおいて、思考力が全学年において低スコアを記録していたが、特に4年次末のデータが顕著であった。これは前述の4年生のデータ数の影響なのか、それとも21生(4年次のデータは21生のみ)だけの特徴なのか今後経年的に観察する必要がある。</p>	

第9章まとめ

本報告書は、2024年度に施行された「アセスメント・ポリシー」および「アセスメント・プラン」に基づいた調査を行い、その結果を「大同大学アセスメント調査結果報告書」として取り纏めたものである。「アセスメント・ポリシー」および「アセスメント・プラン」は学位授与方針に基づく学修成果の点検の手法に関するものであるが、本報告書では学生生活や就職などに関する他の調査結果も含め分析・考察を行った。本報告書を取り纏めることにより得られた知見と今後の課題について、アセスメント・チェックシートの分析を軸に以下にまとめる。

①取り組み状況の評価

各調査の取り組み状況には以下の傾向が見られる。学生実態調査は、新入生時点では全体の回答率は96.5%（S）と極めて高いが、学年が進むにつれて低下し、特に4年次後期では45.3%まで落ち込む（C）。DP到達度調査における卒業直前調査の回答率は全学では47.5%（C）となるが、ばらつきが大きく、都市空間インフラ専攻やかおりデザイン専攻等では95%以上（S）と極めて高い。GPS-Aについては、1年生では100%（S）、2年生では92.9%（S）と高水準を維持しているが、4年次では54.5%にまで低下する。授業評価アンケートは、1年生前期で90.9%（S）以上と比較的高い水準にあるが、学年進行に伴い回答率が下がり、3年生後期末では47.9%（B）で、3割を割り込む学科も見られる。導入初年度となる学修ポートフォリオの学生記入率は、前期は約94.4%（A）と良好な記入率ではあるものの、後期については81%（B）と落ち込んでいる。後期については学科によるばらつきが存在する（50%台～95%超）。今後は定着を図りつつ、その活用を検討していく必要がある。以上の通り、新入生段階では回答率が高い一方、学年進行に伴い低下の傾向が明確である。こうした回答率の低さは、学科・専攻のコメントでも懸念されていたように、調査から導かれる傾向と母集団の傾向の不一致をもたらすため、回答率の向上や、回答者・未回答者の属性の分析などの対策が必要である。

②DP到達度の評価（学生実態調査・企業卒業生アンケート）

DP到達度調査は、アセスメント・プランにおいて定義された、本学の掲げる学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー「DP」）に求められる学生が卒業時に達成すべき質的水準を確保するための具体的な能力を点検・評価の指標とした調査である。

2023年度の結果と比較すると、全体的に「主体性」「協働性」「コミュニケーション力」等、社会性に関わる項目が上昇傾向にある。一方で、「豊かな教養」「創造力」「専門知識・技術」は、伸び悩んでいる。企業の期待は社会性に関わる項目に集中しているため、その意味では本学の学生は企業の期待に応えていると言える。但し、「専門知識・技術」は当然のこと、勤続と共に「豊かな教養」「創造力」等も必要になる可能性が高い為、これら能力の涵養は今後の重点課題である。各学科の分析では、探究・討議・表現等の反復機会の不足が指摘されている。これら機会の不足が、学修成果を社会で創造的に生かす事を妨げている可能性が高い。その他、各調査別の傾向は以下のとおりである。

・学生実態調査

2023年度の結果と比較して、「主体性」「協働性」「コミュニケーション力」、またばらつきがあるものの「論理的思考力」は多くの学科・専攻で評価の上昇が確認された。一方、「創造力」「課題発見力」等に関する自己評価は全体的に低下傾向にある。「豊かな教養」の自己評価については多くの学科・専攻で上昇傾向にあるが、一方で企業アンケートの結果はなおD評価であり、企業の求める水準に達してい

ない可能性もある。

- ・企業アンケート（卒業生が社会で発揮している力）

「協働性」「コミュニケーション力」等は、2023年度でも高い評価（全学S）を得ていたが、2024年度はさらに改善し、各学科・専攻単位でもS評価が増加している。これは社会性が本学の学生の強みとして定着しつつある可能性を示している。他方で、「豊かな教養」や「創造力」は2023年度・2024年度とともにC～D評価が中心であり、伸び悩んでいる。

- ・卒業生アンケート（卒業生自己評価）

全体の傾向として「倫理観」(C→B)、「主体性」(C→A)、「協働性」(B→A)、「コミュニケーション力」(B→S)、「豊かな教養」(D→C)、「論理的思考」(C→B)等に対する自己評価が上昇し、「課題発見力」(A→B)、「他者理解」(A→B)が下降している。「創造力」については依然C評価であり、成長が十分に実感されていない。卒業生アンケートの結果を企業アンケートの結果と比較すると、「規律性」(企業A>卒業生B)・「協働性」(企業S>卒業生A)等は企業の評価が卒業生の評価を上回っているが、その他の項目は自己評価の上昇と共に一致しつつある。

- ・企業アンケート（在学中に身に着けて欲しいと期待される力）

企業が学生に期待する力について大きく変化しておらず、いずれの年度も「協働性」と「コミュニケーション力」がS評価であり、2024年度には「主体性」が新たにS評価となっている。また「専門知識」(C→B)や「論理的思考力」(D→C)等、専門性に関わる期待が上昇傾向にある。一方、「豊かな教養」および「創造力」への期待はD評価にとどまり、企業側が本学の学生に高度な教養や創造力を強く求めない状況が続いている。

③ DP 到達度調査 (GPS-A)

全体の傾向としては、入学から卒業に至るまでの期間で「リーダーシップ」「自己管理」「対人関係」「計画・実行」等の能力の成長が確認できるが、特に4年次での伸びが著しい。この点からは、学科・専攻の分析でも言及されているように、卒業研究や就職活動を通じて成長している事がうかがえる。一方で、思考力に対する評価が低い事が各学科・専攻共通の懸念として存在する（但し、全受験大学の平均と比較すると、本学の21生はいずれの時点でも、全受験大学平均と同じか、やや高い評価である）。また思考力評価の経年変化は学科・専攻により異なるが、例えば学修の積み重ねと共に思考力が右肩上がりに上昇する、という単純な構図にはなっていない。例えば21生の経年変化では、全体的に1年入学直後には低く（思考力総合C）、3年次には上昇するものの（思考力総合B）、4年の卒業直前には落ちる（思考力総合C）という状況が存在する。入学時の評価に関しては、例年大きくは変わらないが、24生については思考力が全体的に他より低く（全てD）、25生に関しては例年よりも創造的思考力が高い（B）という特徴があり、学科・専攻コメントにおいても、入学前の教育が変化した可能性が指摘されている。

④満足度の評価（学生実態調査）

本学では、2022年度以降『学生実態調査』を実施し、学生の意見・要望をくみ上げる仕組みを構築している。質問項目には、大学認証評価の留意点として記されている項目に対応する設問を含めるとともに、他大学との比較のために、日本私立大学連盟の「学生生活実態調査」の設問も参考にしている。ま

た、教室に集合して端末から短時間（15分程度）のWeb入力を行うという簡便・低負荷な回答方式を採用し、回答率の向上に努めている。

アセスメント・チェックシートにより明らかになった全体の傾向としては、1年生（24生）では全体的にB評価が多く比較的低調であるものの、学年の進行とともに評価が上昇し、4年生（21生）では大きく評価が上がっている（全学オールA評価）。以上から学生の満足度は全体的に良好であると言える。但し、学科・専攻のコメントとして「より満足度を上げたいとは思うが、何が要因なのかデータが不足している」旨の意見もあったため、以下アセスメント・チェックシートの元データとなった『学生実態調査』も参照しつつ得られた知見を示す（以下、「満足」「やや満足」を合計した割合を満足度として示す）。

まず入学時点の満足度であるが、2024年度新入生の「学科・専攻に入学して良かったか」（私大連75.3%>本学73.2%）「カリキュラムに対する満足度」については、私大連加盟大学平均に比べ若干下回っている（私大連75.8%>本学73.0%）。これは2023年度新入生の調査と同様であるが、これら項目は入学直後に低く、学年の進行とともに評価が高くなるという傾向を示している。これは図らず本学に入学した学生が、本学教員の丁寧かつ少人数での指導によって満足度が上っていく、という流れが反映されたものと考えられる。

但し2024年度新入生については、「教員に対する満足度」（私大連76.9%<本学78.0%）、「授業に対する満足度」（私大連78.6%<本学79.9%）などの項目について、初年度から評価が高くなっている、2023年度とは逆転し、私大連の平均を若干上回る結果となった。この結果には、2024年度に運用が開始された学修ポートフォリオが影響している可能性がある。学修ポートフォリオには、学生の記入に対して主指導教員・副指導教員がコメントを返す仕組みがある事から、交流は以前以上に密になっているおり、それを裏付けるように「主指導教員に対する満足度」も高く（2023年度83.0%<2024年度84.8%）、「副指導教員に対する満足度」（2023年度68.1%<2024年度74.7%）は特に高くなっている。

卒業研究については、私大連加盟大学の平均の82.6%と比較して、本学の卒業研究の満足度は84.1%でやや高い。しかし詳細にみると学科・専攻間での開きは大きく、90%超に達する学科・専攻もある一方で、不満（「不満」「やや不満」と答えた学生の割合）の回答が2割を超えた学科・専攻もある。但し設問上、この回答については「卒業研究の指導・研究環境等」に関する評価と「自らの卒業研究の完成度」に関する評価の両方が総合されている可能性がある。例えばこれが「卒業研究指導に対する評価」であれば、それを担う主指導教員の評価に近似すると考えられるが、実際には主指導教員への満足度は高く、不満を持つ4年生の割合は顕著に低い（卒業研究13.4%>主指導教員5.5%）。学修の集大成である「卒業研究」は重要な科目であるので、今後は調査または分析時に要因を切り分けつつ、改善策を検討する必要がある。

近年、全国の大卒有効求人倍率は高い水準で推移しており（2025年卒1.75倍）、本学においても就職状況は好調である。しかし、本学と私大連の調査結果を比較すると、本学の学生は就職についてより強い不安を感じている事がわかった。特筆すべき点は、一般に想像する「就職できるかどうか」（私大連52.1%<本学55.1%）の不安以上に、「就職すること自体」（私大連33.1%<本学45.1%）に対する不安が顕著な事である。この点については以下の通り推測される。本学の学生の90.2%は自宅生であり、これは全国の私大の自宅生割合66.0%を大きく上回る（参考：日本学生支援機構,2024,『令和4年度学生

生活調査報告])。評価軸の変化の他、生活環境・人間関係の変化、自活・自己管理の必要等、下宿生の場合には学生生活を通して段階的に経験・適応する変化が、自宅生の場合には就職を契機に唐突かつ複合的に生じるため、それが断絶・未知の領域として強く意識され、漠然とした「就職すること自体」への不安として表出している可能性がある。こうした変化に対する適応経験の欠落は、本学の学生気質である「自信のなさ」を形成する一因になっていると思われる。こうした適応力・人間力を授業のみで養うには限界があり、部活動や地域貢献・ボランティアなどの課外活動の場で経験を積み涵養する事が望まれる。しかし本学学生のこうした活動への参加率は低く（私大連 53.7%>本学 33.7%）、経験の欠如から生じる「自信のなさ」がそのまま残る構造が存在する。「大学生活の中で大切だと思っていることは何ですか」といった質問項目に対して、「経験を豊富にし、見聞を広めること」と答えた割合が私大連加盟大学の半分に満たない（私大連 32.0%>本学 14.7%）事もこの構造を反映したものであろう。2024年から導入した学修ポートフォリオでは、学生個人がこうした課外活動などについてどう取り組んだかを毎期振り返って記入し、指導教員がコメントをする取り組みを行っている。この仕組みにより課外活動への参加を促進し、学生の成長とその実感にもとづく自信につなげることが今後の課題である。

⑤授業評価アンケート

授業評価アンケートの結果からは、本学における教育の質と学生の学習姿勢の双方に明確な傾向が確認された。まず授業運営に関する項目では、「授業内容の工夫」「教員の説明の分かりやすさ」「教材の適切性」「興味・関心」「コミュニケーション」など全般的に A 評価以上で安定しており、授業改善・開発の着実な取り組みが反映されている。また、授業全体の満足度も A 評価以上に維持されており、本学の授業は一定の水準を安定的に確保している。一方で、学生の主体的な学修行動については改善の余地がある。「予習・復習の実施状況」や「授業への積極的参加」等の項目は C~D 評価にとどまる場合が多く、自宅学習など自律的な学びの姿勢が十分に根付いていないが、学生の主観としては「課題・宿題の質や量」に関しては S 評価であり、適切と感じている可能性が高い。この点については、学科・専攻からも、授業評価アンケートで想定する水準の高さや、期末試験勉強の勉強時間が除外されている可能性等が指摘されている。これらは重要な指摘であるが、一方で授業そのものは高い評価を得ているにもかかわらず、学生側の主体的参加が追随していないという構造も確かに存在するため、この点についても検討課題である。

以上

あとがき

本報告書は、2024 年度に制定した「アセスメント・ポリシー」および「アセスメント・プラン」に基づき、DP 到達度調査（4 年次、卒業後 3 年、企業）、学生実態調査、外部アセスメント調査（GPS-A）、授業評価アンケート等の結果を分析・考察したものです。本年度も、学生の学びと成長の実態を多面的に把握し、今後の教育の質の向上に向けた重要な知見を得ることができました。

今回の調査で得られた大きな課題の 1 つは就職に対する学生の意識です。本学の学生は「就職できるか」という不安以上に、「就職すること自体」への不安を強く抱いていることが明らかになりました。これは、全国的に就職環境が好調であり、本学の就職実績も高水準にあるにもかかわらず生じている傾向です。本報告書のまとめにも記されているように、この背景には、本学学生の約 9 割が自宅から通学していることが要因となっている可能性がありそうです。本学への進学の段階では、生活環境はそれほど大きくは変わりませんが、就職を契機として初めて生活や人間関係、自己管理について急激な適応を迫られるため、その変化が未知の領域として意識され、不安が強まるのではないかと推察されます。このような状況に対して、26 年度入学生から導入される 1 年次および 2 年次を対象に全学的に実施するキャリア教育が、少しでもその不安の解消に繋がることを期待しています。

しかし、正課の授業だけで学生の適応力や人間力を涵養するには限界があり、部活動や地域貢献、ボランティア活動といった様々な課外活動の場で経験を積むことが重要であると考えています。残念ながら本学では、こうした課外活動への参加率が全国平均を下回っていることも明らかにされており、経験の不足が「自信のなさ」に繋がっていると推察されます。キャリア教育の充実とともに課外活動などへの参加を促進する取組みや仕組みづくりは、今後の大きな課題であると考えています。

学生の課外活動の活性化に対しては、2024 年度から導入した学修ポートフォリオが一助となるのではないかと考えています。学修ポートフォリオによる学生と教員とのやり取りを通じて、学生が正課外の活動を含めて幅広い学びを意識するきっかけとなっていると考えています。今後は、学生の課外における活動を活性化する仕組みを構築するとともに、課外での優れた取組みを表彰する制度などを導入したいと考えています。

また今回の各種調査やアンケート結果から、回答率の向上についても何らかの対策が必要であると考えています。新入生の段階では極めて高い回答率を実現していますが、学年が進むにつれて低下し、特に 4 年次後期には半数を割り込む結果も見られました。学生に、これらの調査は自らの成長を振り返る大切な機会であることをしっかりと伝えるとともに、確実に学生が回答することになるような仕組みを工夫する必要があると考えています。

文部科学省は、2019 年から試行的に実施してきた「全国学生調査」を今年度から本格的に実施する方針を打ち出しました。この調査に参加することにより、他大学との比較も可能

になることから、本学もこれに参加することにしました。この「全国学生調査」を含め、今後も各種調査・アンケートを継続的に実施し、データに基づいた教育改善を推進することで、本学の教育の質を高め、学生が自信を持って社会に羽ばたけるようにしたいと考えています。

また今年度、本学は外部評価委員会を立ち上げ、本学の様々な取組みに対して外部の有識者からご意見をいただく機会を設けました。委員会では様々な視点から貴重なご意見をいただきました。これらの意見・助言も今後の改善・向上に繋げていきたいと考えています。このような不断の取組みによって、本学が産業と社会に貢献する大学として発展できると確信しております。

最後になりましたが、各種調査・アンケートに回答していただいた学生の皆さん、そして調査の実施・分析にご尽力いただいた教職員の皆さんに、心より感謝申し上げます。

2025年11月
大同大学
学長 渡邊慎一